

平成 24 (2012) 年度

「授業評価アンケート」報告書

平成 25 (2013) 年 7 月

学習院大学

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

はじめに

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員長 青木 幸弘

本学において、履修学生による「授業評価アンケート」が全学的に統一されたフォーマットで実施されるようになって、本年で7年目となる。実施そのものに関しては、教職員への周知徹底や学生諸君の協力もあって、ほぼ100%に近い実施率となっている。

学生数から見て中規模クラスの本学では、履修者数が30 - 40人程度の授業数が非常に多い。このため伝統的に教員と学生との距離が近く、日常の教員と学生とのコミュニケーションをもとに、これまでも各教授会や各学科の会議において授業改善のための議論がなされてきた。「授業評価アンケート」は、これまでの授業改善活動に、学生側からの新たな情報を加えるものとして位置づけられる。今回の報告書を見ると、授業の総合的な評価を問う項目では、少しずつではあるが、学生側からの評価が高まっていることが見て取れる。この点は、教員側が「授業評価アンケート」の導入によって、さらに授業の改善を続けている成果の一つとして捉える事ができる。

そもそもファカルティ・ディベロップメントは、米国の大学で導入されたものであるが、日本では米国の趣旨をそのまま踏襲して実施されているわけではない。このため、各大学によってファカルティ・ディベロップメントの実施方法や、使い方は様々であり、現在でも改善のための検討が進行しているといった状況である。また「授業評価アンケート」は、授業改善のための一手段であり、アンケートの情報だけで、大学全般の授業の評価を決めることはできない。特に少人数の授業では「授業評価アンケート」とは異なった方法で授業の評価と改善が行われる必要がある。この点に関し本学では、従来から各教員が授業形態に応じた教育の工夫を続けてきたところであるが、それを教員固有の創意工夫として留めるのではなく、大学全体の共有財産として認識するために、新たに「授業への取り組み例」という形で、報告書に付け加えることとした。

授業形態や授業方法は、それ自体自己完結的なものではなく、新たな技術のサポートや社会環境の変化によって絶えず変化していくものである。その意味で授業改善は、継続的な作業であると言える。本学の伝統である教員と学生の緊密なコミュニケーションに、「授業評価アンケート」の結果や「授業の取り組み例」を加えることによって、今後も全学的なレベル、各学部学科やセンターごとのレベル、そして授業担当者である個別の教員のレベルで、授業改善への努力が続けられることを期待したい。

平成25(2013)年7月

目次

はじめに

第1章 授業評価アンケート実施の概要	1
I. 実施の経緯	2
II. 実施の方法	3
III. 実施に関わる全体的な状況と評価	5
IV. 今後の授業評価、FD活動に向けて	12
第2章 各部門の分析・評価	14
「授業評価アンケート」結果の経年比較（全学的な傾向分析）	16
I. 法学部	18
II. 経済学部	24
III. 文学部	33
IV. 理学部	41
V. 計算機センター	50
VI. 外国語教育研究センター	58
VII. スポーツ・健康科学センター	67
VIII. 基礎教養科目運営委員会	71
IX. 教職課程	80
X. 学芸員課程委員会	86
第3章 授業への取り組み例	92
第4章 資料集（質問項目別基礎データクロス表）	111
ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧	141

第 1 章

授業評価アンケート実施の概要

I. 実施の経緯

ファカルティ・ディベロップメント（以下FD）が本学において意識されるようになったのは、平成15（2003）年8月の各学部・センターの有志の教員14名からなる「FD勉強会」の組織からである。ここでは、FDの定義についての確認、FDに関する他大学の状況説明等があり、これらにつき意見交換がなされた。また、学部・学科、センターにおけるFDへの取り組み状況が紹介、説明され、また、経済学部、法学部・法学科、スポーツ健康科学センターおよび外国語教育研究センターが実施（あるいは予定）していた、学生による授業評価アンケートについての報告もあった。その後「FD勉強会」は「FD研究プロジェクト」と名称を変え、FDをめぐる様々な事項について意見交換がなされ、とりわけ授業評価アンケートやFDを推進してゆくための組織について集中的に討議された。その結果、「ファカルティ・ディベロップメント準備委員会」を経て、学長補佐を委員長とする「学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会」（以下、「FD推進委員会」）が発足、平成16（2004）年7月、第1回の委員会が開催された。委員会規程によれば、本学におけるFDとは「授業に関する技量及び教育効果を高めるための組織的かつ継続的な取り組みを行うこと等を通して教育の内容及び方法の改善を図ること」であるとされ、委員会では、そのために全学の取り組むべき活動として、学生による授業評価アンケートの実施を緊急かつ最優先に議論することとなった。授業評価の主たる目的は個々の授業の改善にあるが、同時に様々なFD活動への情報提供という意味をも持ち、また学生や社会に対する説明責任を果たすための活動としても位置づけられている。

その後、FD推進委員会で、アンケートの質問形式と質問項目、アンケート対象科目、実施スケジュールと方法等について集中的に議論を進め、その結果を「授業評価アンケートの実施に関するガイドライン」としてまとめた。一方、授業評価アンケートの結果は個々の授業担当者に関する個人情報であると考えられることから、「学習院個人情報保護規程」の趣旨をふまえた「授業評価アンケートにおける個人情報の取扱いに関するガイドライン」がまとめられた。これらふたつのガイドラインにそって、教務部（現学生センター教務課）の協力のもとに実務に関する細部の調整が行われ、平成18（2006）年度、全学にわたる授業評価アンケートが初めて実施された。

．実施の方法

第1学期は6月下旬から7月上旬、第2学期は12月の所定の期間中(各2週間)に、無記名のアンケートにより実施した。実施にあたっては、学生センター教務課により実施本部が設置され、各教員が授業前に実施本部でアンケート票一式を受け取り、アンケート終了後、回収用の封筒に封入された記入済みアンケート票その他を実施本部に提出することになっている。

アンケート実施対象科目は以下のとおりであり、学部学生が履修することのできるほぼ全ての科目が該当する。

第1学期： 第1学期科目および通年科目のうち学期単位で担当者が変わる科目

第2学期： 第2学期科目および通年科目

注1.集中講義については、通常の期間ではなく開講期間中に実施。

2.大学院・専門職大学院の科目は対象外だが、学部・大学院共通の科目は実施。

3.総履修者数が5名以下の科目は対象外。

4.回答者数が5名以下の科目は、その回答データを担当教員個人へフィードバックしない。このデータは保存するが、各種集計データには含めない。

なお、集計結果分析に資するため、アンケート実施上の授業形態として、授業科目を「講義」「演習」「語学」に分類した。それぞれの授業開設部門の持つ授業形態は下表のとおりである。

部門	形態	
法学部	講義	演習
経済学部	講義	演習
文学部	講義	演習
理学部	講義	演習
計算機センター	講義	
外国語教育研究センター	語学	
スポーツ・健康科学センター	演習	
基礎教養科目運営委員会	講義	演習
教職課程	講義	演習
学芸員課程委員会	講義	演習

質問項目については、5段階の評価方式とし、学生全員が回答すべき基本的な11項目の他、授業形態等によって追加的な項目を加えた。自由記述方式の回答を求める質問についても検討されたが、全学の授業評価には馴染まないこと等から、採用しないこととした。

実際に使用されたアンケート票のコピーを次ページに掲載する。

第1章 授業評価アンケート実施の概要



平成24(2012)年度 学習院大学 授業評価アンケート

このアンケートは、学習院大学の授業を改善し、さらに充実させることを目的に行われます。回答の内容があなたの成績評価に影響することは一切ありません。早直かつ責任を持った回答をお願いします。

学習院大学

1 この授業の「時間割コード」「授業形態」とあなたの所属する「学科コード」「学年」「性別」を記入・マークしてください。

【注意事項】



時間割コード	
①	①
②	②
③	③
④	④
⑤	⑤
⑥	⑥
⑦	⑦

授業形態
講義 ①
演習 ②
語学 ③

学科コード	
①	①
②	②
③	③
④	④
⑤	⑤

学年	
	年
①	
②	
③	
④	
⑤	

性別
男 ①
女 ②

- ・必要事項を記入の上、マーク欄に正しくマークしてください。
- ・記入・マークには、必ず鉛筆・シャープペンシルを使用してください。
- ・筆りは消しゴムで完全に消してください。
- ・指定以外のところには書き込まないでください。
- ・記入ミス・マークミスがあった場合、その回答は無効となります。
- ・このアンケート用紙を折り曲げたり汚したりしないでください。
- ・所属する「学科コード」とは、本学が付与している学籍番号
□□-□□□-□□□□にある□の3桁の数字です。
例) 08-011-9999の場合「011」
08-095-9999の場合「095」
- ・本学の学籍番号が付与されていない学生(F-Campus生・大学観交流学生)は、学科コードを「000」、学年を「0」と記入・マークしてください。

【回答の基準】

- 5:強くそう思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない
2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない

2 以下の質問項目について、回答を回答欄にマークしてください。

質問項目	回答欄				
	5	4	3	2	1
● 1～11は「全員」回答してください。					
1 私はこの授業によく出席している ⑤:出席率90%以上 ④:出席率89～80% ③:出席率79～70% ②:出席率69～50% ①:出席率49%以下	5	4	3	2	1
2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	5	4	3	2	1
3 この授業のレベルは適切である	5	4	3	2	1
4 この授業を進める進さは適切である	5	4	3	2	1
5 授業に対する教員の熱意が感じられる	5	4	3	2	1
6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている	5	4	3	2	1
7 教員は理解しやすい授業を行っている	5	4	3	2	1
8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	5	4	3	2	1
9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	5	4	3	2	1
10 この授業のシラバスは受講に役立つ(シラバスを読まなかった人は「0」をマークしてください)	5	4	3	2	1
11 総合的に見てこの授業は高く評価できる	5	4	3	2	1
● 12・13は「授業形態」が「講義」「語学」の科目の場合のみ回答してください。					
12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	5	4	3	2	1
13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	5	4	3	2	1
● 14・15は「授業形態」が「演習」「語学」の科目の場合のみ回答してください。					
14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	5	4	3	2	1
15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	5	4	3	2	1
● 16・17は「授業形態」が「語学」の科目の場合のみ回答してください。					
16 1回1回の授業のねらいが明確である	5	4	3	2	1
17 教員は授業時間を有効に活用している	5	4	3	2	1
● 18・19は「開設部門」が「基礎教養科目運営委員会」の科目の場合のみ回答してください。					
18 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった	5	4	3	2	1
19 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった(複数講師による授業の場合のみ回答)	5	4	3	2	1
● 20・21は「開設部門」が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の科目の場合のみ回答してください。					
20 私は授業に遅刻したことがない	5	4	3	2	1
21 高校で履修した数学科目 ④:数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲを履修した ③:数Ⅰ・数Ⅱのみ履修した ②:数Ⅰのみ履修した ①:いずれにも該当しない(例:留学生)	5	4	3	2	1
● 22～29は「開設部門」が「スポーツ・健康科学センター」の科目の場合のみ回答してください。					
22 運動量は ⑤:十分であった ④:おおよね十分であった ③:どちらとも言えない ②:やや不足していた ①:不足であった	5	4	3	2	1
23 体力・健康状態が改善された	5	4	3	2	1
24 運動技術が向上した	5	4	3	2	1
25 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた	5	4	3	2	1
26 身体や運動に対する関心が高まった	5	4	3	2	1
27 自分の身体の健康、体力の再確認ができた	5	4	3	2	1
28 自分の生活習慣を見直す機会となった	5	4	3	2	1
29 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた	5	4	3	2	1

．実施に関わる全体的な状況と評価

上述の通り、授業評価アンケートは、総履修者数 5 名以下という例外を除けば、学部生が履修可能なほぼ全科目を対象科目として行われたことになる。対象科目数 2,041、実施科目数 2,001、実施率 98.04%となり、実施率としては非常に高い数値となった。これに対して学生の回答率(= 回答者数 / 総履修者数)は 52.12%にとどまった。回答率が毎年 50%前後となってしまう主要な原因は、学年はじめの履修登録者数を総履修者数とみなしているためである。法学部・経済学部の講義科目では、相当数の学生が履修を中断したり、期末試験を棄権したりするが、その総数を事前に把握するのは困難である。そのため、履修登録者数の多い授業ほど、回答率は低くなる傾向がある。

初回(平成 18(2006)年度)のアンケート実施後、いくつかの問題点が発見された。まず、アンケート実施上の授業形態についての確認が完全ではなく、また実施段階での変更等もあり多少の混乱が生じた。総履修者数 5 名以下の科目について、アンケートの信頼性への疑問や教員へのフィードバックに対する様々な懸念があらためて指摘された。これらの問題は第 2 回(平成 19(2007)年度)以降改善された。また、質問項目のうち、「Q3 授業のレベル」、「Q4 授業を進める速さ」を問う項目について、最良の評価が 3 となる質問形式が 5 段階評価にそぐわず、結果集計の際にもデータに重みを付けるなど多少複雑な処理が必要であった。この問題については、平成 20(2008)年度実施時から他の質問項目同様に最良の評価が 5 になるように質問形式を変更している。

平成 25(2013)年 3 月、教員へのフィードバックとして、個々の授業についてのアンケート結果を担当教員に送付した。同年 4 月には速報版を Web ページに公開し、授業開設部門別、授業形態別に、各設問(主な 11 設問 +)に対する平均・標準偏差の表、およびそれらをグラフ化した「基礎集計結果」を掲載した。また、「実施概要」および「授業満足度にみる集計結果」もあわせて公開した。また、これらに加え、部門別、形態別、学年別、総履修者数別の集計をとった「基礎データクロス表」、およびアンケートの問に対する相関係数を部門別・形態別にまとめた「相関係数表」を作成した。さらに、前回より作成を開始した「授業への取り組み例」も、情報を追加・更新する形で今年度も作成した。

「相関係数表」は「基礎集計結果」とともに第 2 章の各部門の頁末に、「授業への取り組み例」は第 3 章に、「基礎データクロス表」は第 4 章に掲載する。また、前回に引き続き、経年変化比較表(5 年間)を部門別・形態別に作成し、第 2 章の各部門の頁末に掲載する。次章における各部門の分析・評価の概要はこれらのデータをもとに行われたものである。以下に Web ページに公開された「実施概要」および「授業満足度にみる集計結果」を転記する。

第1章 授業評価アンケート実施の概要

1. 実施概要

第7回目の実施となった平成24(2012)年度のアンケートについては、第1学期は7月4日から7月17日まで、第2学期は12月11日から12月24日のそれぞれ2週間に、学部生が履修することのできるほぼ全科目を対象として行われました。具体的には、対象科目数2,041、実施科目数2,001、実施率は98.04%(前年度比-0.64%)となり、実施率としては前年度より若干低下しましたが、引き続き非常に高い数値となりました。実施科目における学生の回答率(=回答者数/総履修者数)は52.12%(前年度比+0.3%)と前年度より上昇しました。

部門別・形態別の実施率・回答率が図表1に示されています。

図表1 アンケート実施率および実施科目の回答率

部門別			実施率			回答率		
			対象科目数	実施科目数	実施率	総履修者数	回答者数	回答率
部門別	計セ	講義	82	82	100.00%	4,975	3,748	75.34%
		合計	82	82	100.00%	4,975	3,748	75.34%
	外セ	語学	493	491	99.59%	12,808	10,005	78.12%
		合計	493	491	99.59%	12,808	10,005	78.12%
	スポ健	演習	99	97	97.98%	2,264	1,717	75.84%
		合計	99	97	97.98%	2,264	1,717	75.84%
	基礎教養	講義	81	80	98.77%	10,766	5,393	50.09%
		演習	1	1	100.00%	83	45	54.22%
		合計	82	81	98.78%	10,849	5,438	50.12%
	法学部	講義	141	140	99.29%	26,696	7,886	29.54%
		演習	108	104	96.30%	2,140	1,518	70.93%
		合計	249	244	97.99%	28,836	9,404	32.61%
	経済学部	講義	148	145	97.97%	23,353	7,656	32.78%
		演習	111	102	91.89%	1,631	1,351	82.83%
		合計	259	247	95.37%	24,984	9,007	36.05%
	文学部	講義	162	159	98.15%	11,962	7,215	60.32%
		演習	329	319	96.96%	8,050	6,193	76.93%
		合計	491	478	97.35%	20,012	13,408	67.00%
	理学部	講義	135	133	98.52%	8,942	4,882	54.60%
		演習	42	40	95.24%	2,431	1,600	65.82%
合計		177	173	97.74%	11,373	6,482	56.99%	
教職課程	講義	30	30	100.00%	2,400	1,618	67.42%	
	演習	53	53	100.00%	2,312	1,869	80.84%	
	合計	83	83	100.00%	4,712	3,487	74.00%	
学芸員	講義	16	16	100.00%	1,113	826	74.21%	
	演習	10	9	90.00%	99	83	83.84%	
	合計	26	25	96.15%	1,212	909	75.00%	
形態別	講義計	795	785	98.74%	90,207	39,224	43.48%	
	演習計	753	725	96.28%	19,010	14,376	75.62%	
	語学計	493	491	99.59%	12,808	10,005	78.12%	
全科目		2041	2001	98.04%	122,025	63,605	52.12%	

注1 総履修者数が5名以下の科目はアンケート実施対象外

注2 総履修者数が6名以上の科目でも、当日の回答者が5名以下の科目は含まれていない。

【図表1で使用している用語の定義】

「部門別」:学部やセンターといった授業の開設部門の単位で、10の部門にまとめています。「計算機センター」「外国語教育研究センター」「スポーツ・健康科学センター」については、それぞれ「計セ」「外セ」「スポ健」という略称を用いています。なお、学部生が履修できる大学院科目については、それぞれ対応する学部を開設部門として集計しています。

「形態別」:アンケート実施上の授業形態で、「講義」「演習」「語学」の3種類です。

「実施率」:実施対象となった全科目に対する実施科目数の集計結果です。

「回答率」:実際にアンケートを実施した全科目の総履修者数に対する集計結果です。

次に、アンケートを実施した科目のうち、それぞれの総履修者数を10段階にランク分けし、さらに「形態別」に分類した状況をまとめたものが図表2です。前年度とほぼ同様の傾向になっています。

図表2 形態別・総履修者数ランク

		総履修者数ランク					
		25名以下	26～50名	51～100名	101～150名	151～200名	201～250名
形態別 講義	科目数	86	120	305	103	54	14
	%	10.96%	15.29%	38.85%	13.12%	6.88%	1.78%
演習	科目数	449	214	56	5	1	0
	%	61.93%	29.52%	7.72%	0.69%	0.14%	0.00%
語学	科目数	212	279	0	0	0	0
	%	43.18%	56.82%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
合計	科目数	747	613	361	108	55	14
	%	37.33%	30.63%	18.04%	5.40%	2.75%	0.70%

		総履修者数ランク				合計
		251～300名	301～350名	351～400名	401名以上	
形態別 講義	科目数	31	33	16	23	785
	%	3.95%	4.20%	2.04%	2.93%	100.00%
演習	科目数	0	0	0	0	725
	%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
語学	科目数	0	0	0	0	491
	%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
合計	科目数	31	33	16	23	2,001
	%	1.55%	1.65%	0.80%	1.15%	100.00%

回答者の種別については図表3のとおりです。前年度同様、回答者の約92%が本学の学部生であること、また、学部生に限ると、1年生の回答者数が最も多く、学年が進むにしたがって回答者数が減少していることも前年度と同様の傾向です。

図表3 回答者の種別

	1年	2年	3年	4年	他大生他	無回答	合計
学部生	24,536	17,904	10,544	3,948	37	1,004	57,973
大学院生(博士前期課程)	300	130	6	6	0	13	455
大学院生(博士後期課程)	11	15	18	6	3	3	56
科目等履修生(学部)	43	119	73	15	27	37	314
科目等履修生(大学院)	0	0	0	1	11	2	14
他大学生(大学院生含む)	3	8	4	2	87	10	114
不明	1,803	1,626	730	152	25	343	4,679
合計	26,696	19,802	11,375	4,130	190	1,412	63,605

第1章 授業評価アンケート実施の概要

一部、学生種別と学年との回答の関係としてふさわしくないものもありますが、そのまま掲載しています。

2. 授業満足度に見る集計結果

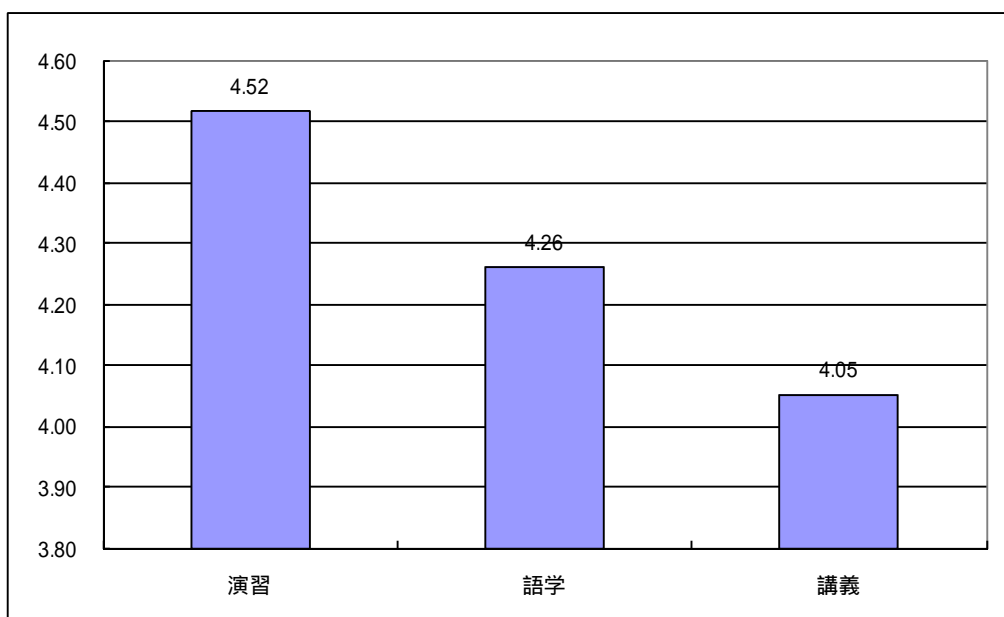
今回のアンケート結果については、全回答を単純に集計する「回答者ベース」と、科目単位で集計した「科目ベース」の2種類の集計を行っています。これは、「回答者ベース」による集計結果だけで分析すると、履修者数の多い科目の影響を強く受けてしまうことがあるためです。

以下では、質問項目11の「総合的に見てこの授業は高く評価できる」という質問に対する回答結果に注目し、授業に対する満足度を「形態別」、「総履修者数ランク別」、質問項目1の回答による「出席率別」、「学部生の学年別」(以下、「学年別」) という4つの視点から分析してみることにします。

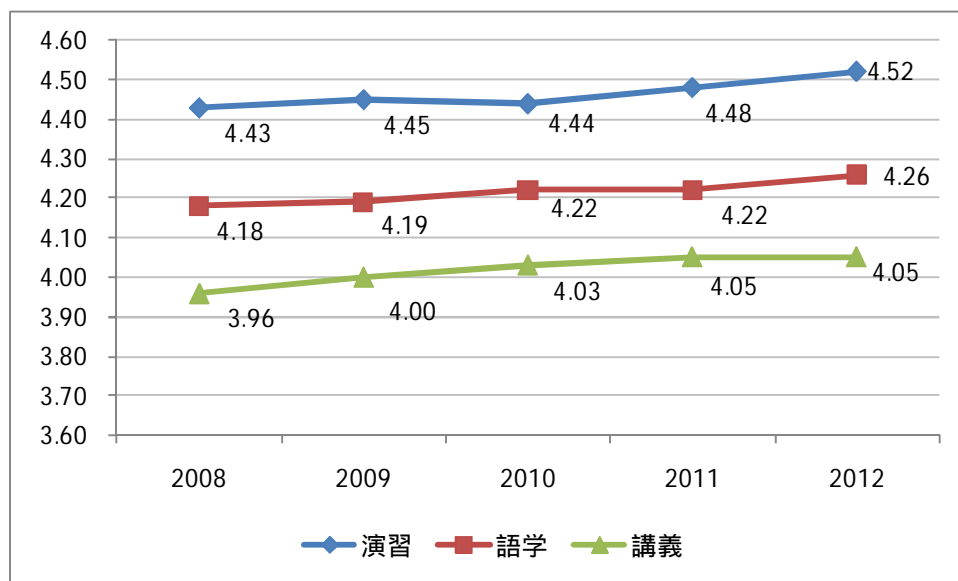
・「形態別」による集計結果

「講義」「演習」「語学」という3種類の形態別に集計した結果が図表4です。前年度の結果と比較してみると、「演習」(+0.04ポイント)、「語学」(+0.04ポイント)、「講義」(同ポイント)ともに昨年度とほぼ同じ数値でした。比較的少人数で教員と学生の距離が近く、学生の授業への参加度が高いと思われる「演習」に対する満足度に比べると、発表など学生の授業への直接参加が少ないと思われる「講義」、初習外国語の授業を含む「語学」に対する満足度がやや低いことが分かります。

図表4-1 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)



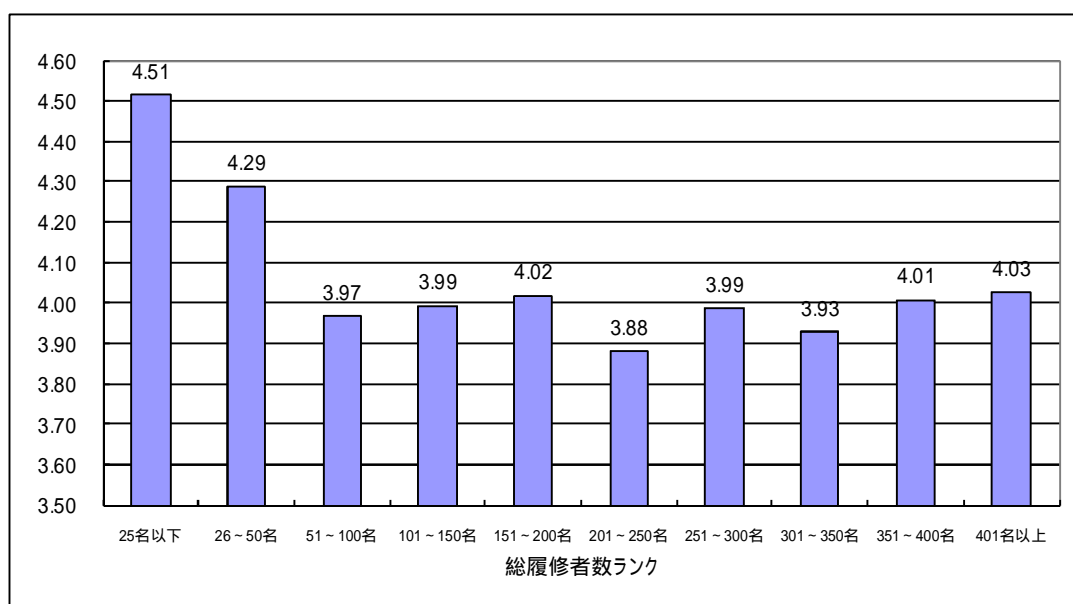
図表 4-2 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)
(過去5ヵ年)



・「総履修者数ランク別」による集計結果

「形態別」の集計結果にも関係していることですが、授業の規模によって満足度に差があることも考えられます。このため、アンケート実施科目の総履修者数を10のランクに分けた上で集計した結果が図表5です。昨年度から10のランク分けを行いました。全体としては、前年度同様、総履修者数が少ない科目の方が満足度が高い傾向にあります。履修者数が400名を越える科目についても、やや高い満足度が示されています。

図表 5 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「総履修者数ランク別」集計結果
(科目ベース)

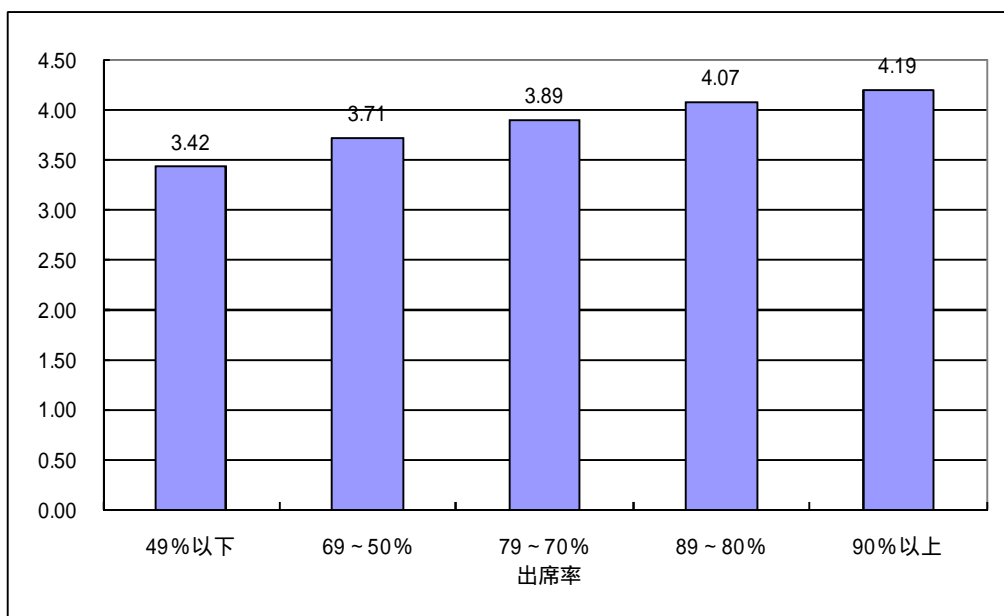


第1章 授業評価アンケート実施の概要

・「出席率別」による集計結果

授業への満足度は、出席率とどのような関係にあるのでしょうか。その集計結果が図表6です。前年度と比較すると、「49%以下」(-0.06ポイント)、「69~50%」(同ポイント)、「79~70%」(+0.02ポイント)、「89~80%」(+0.04ポイント)、「90%以上」(+0.03ポイント)でした。「出席率が高いのは、授業に対する満足度が高い証拠」ともいえそうです。

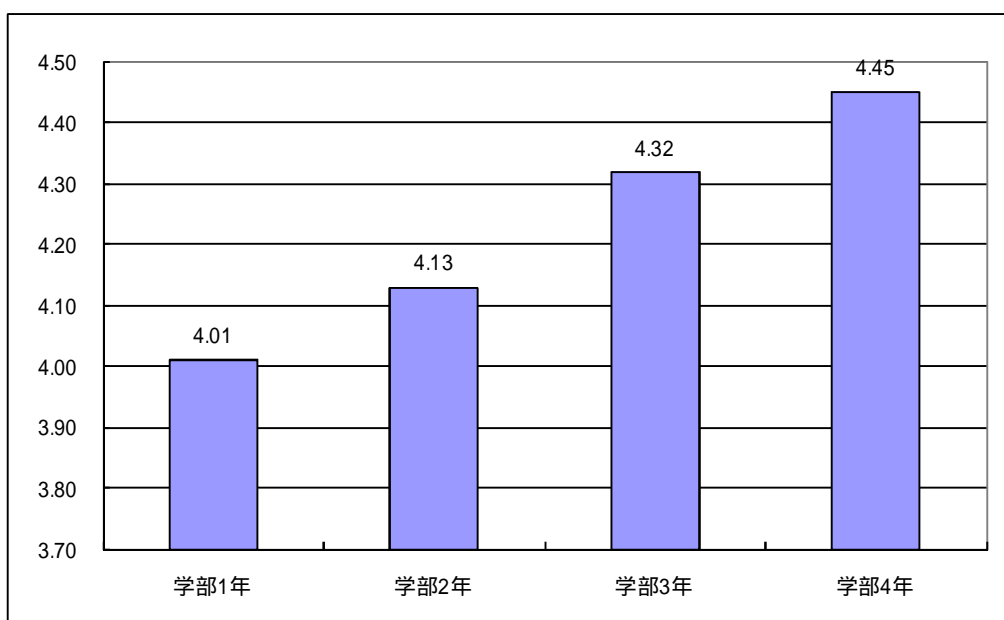
図表6 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」と「1 出席率」の集計結果(回答者ベース)



・「学年別」による集計結果

学年毎の満足度の差はあるのでしょうか。これを確認するために、学部生に限定して「学年別」の分析を行った結果が図表7です。前年度と比較すると、「学部1年」(+0.02ポイント)、「学部2年」(-0.01ポイント)、「学部3年」(+0.05ポイント)、「学部4年」(-0.01ポイント)となりました。前年同様、学年が進むにつれて満足度が高くなっていく様子が見えます。

図表7 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「学年別」集計結果(回答者ベース)



3. シラバスと受講科目選択との関係性

平成 22 年度の授業評価アンケートより「この授業のシラバスは受講に役立った」かどうかを問う設問を追加しました。全体的な傾向としては、昨年度に引き続き、3 人に 1 人程度の割合でシラバスを読まずに受講しており、必修科目として指定されている授業ほどその傾向が強いようです。

また、シラバスを読んで受講した学生の反応としては、受講に役立っていると評価する傾向がやや強いようですが、「どちらとも言えない」との評価も少なくありません。

．今後の授業評価、FD活動に向けて

7年目を迎えた授業評価アンケートは、過去6年間のアンケートの経験を踏まえ、極めて順調に実施することができた。FD推進委員会各委員、学長室経営企画課、学生センター教務課、教員、そして学生諸君の協力に心から感謝する。

これまでの授業評価アンケート実施にあたり、FD推進委員会では実施主体の組織化、関係各部の協力体制づくり、さらには教員と学生に対する啓蒙活動など多くの活動に取り組んできた。こうした基礎作業を着実にやってきたため、今回の授業評価アンケートは大きな混乱もなく整然と実施することができたといえよう。FD推進委員会、経営企画課、教務課の間の連繋も順調であった。

このように、授業評価アンケートが順調に実施されつつある一方、FD活動全体としては、将来的な課題もまた無視することはできない。これまで、FD推進委員会の主要な活動が、授業評価アンケートの実施に傾いていたことは否めない。授業評価アンケートは、授業の基礎的な条件を満たしているかどうかを検討するには重要な資料であるが、この授業評価アンケートだけでは捉えきれない、各教員の工夫も多数あると考えられる。このため、できる限り各教員の授業での工夫を共有化するために実施している「授業への取り組み例の収集・整理」を今年度も引き続き報告書に掲載することとなった。これまで限られた範囲で行われていた創意工夫を全教員にフィードバックすることで、より良い授業作りのための情報を共有化できれば幸いである。

現在、授業評価は教員にも学生にも確実に定着しつつある。その真の意義は、個々の教員の努力により具体的な授業改善に結びついてはじめて理解されるのであろう。個人の努力を大学全体で共有化でき、より良い授業作りのための改善が継続的に行われるシステムを構築することがFD活動の次の課題である。

第 2 章

各部門の分析・評価

第2章 各部門の評価・分析

この章では、各種集計結果に基づき行われた授業開設各部門の分析・評価の概要を掲載する。

分析に使用する主なデータとして、各質問項目に対する回答の平均・標準偏差を部門別・形態別にまとめた「基礎集計表」、「相関係数表」および「経年変化比較表」（ともに各部門の頁末に掲載）がある。「相関係数表」は、質問項目に対する回答の方向性の強弱を見ることが出来るもので、相関係数の絶対値が1に近いほど強い正負の相関を示し、0に近いほど相関が弱いことを示す。また、部門別、形態別、学年別、総履修者数別に集計された「基礎データクロス表」（第4章に掲載）がある。

なお、本文中、各質問項目を Q1、Q2、…、Q29 として引用する（第1章 アンケート票参照）。

例えば、「語学」科目であるにもかかわらず、「スポ健」科目に対する項目について回答されたといった、指定項目以外の回答については無効とし、それらを除外して集計しています。

「授業評価アンケート」結果の経年比較（全学的な傾向について）

授業評価アンケートについて、昨年度に引き続き、部門別・形態別の「経年変化比較表」を作成し、5年間の数値の変化を確認した。

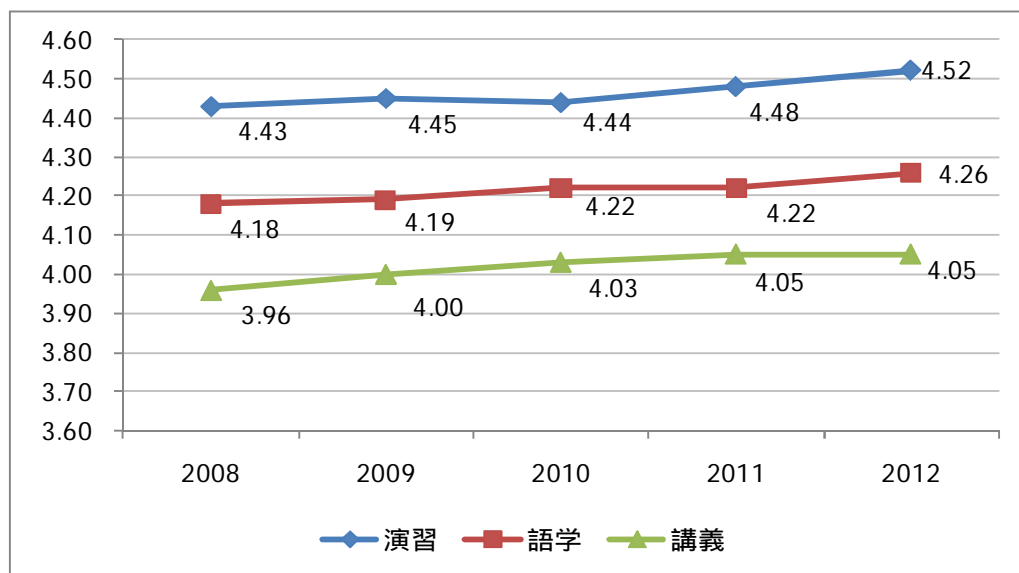
「科目ベース」の部門別・形態別平均で見た場合、いずれの授業形態においてもほとんどの部門で「問2 私は授業に意欲的に取り組んでいる」及び「問5 授業に対する教員の熱意が感じられる」の回答において、過去5ヵ年で最高の数値を示している。

平成22年度から設問として設けた「問10 この授業のシラバスは受講に役立った」の回答においても、ほとんどの部門において改善の傾向が見られており、シラバスの内容については良化しているといえる。また「問3 この授業のレベルは適切である」の数値についても、改善が見られており、シラバスを確認した上で、授業を選択し、その授業のレベルが適切であったという関係が成り立ちつつあることが言える。一方で、シラバスを確認せずに履修する学生も多くいることが分かっており、こういった学生に対してシラバスを読むように促す仕組み作りが必要であろう。

なお、「問1 私はこの授業によく出席している」については、部門・形態によって多少の差はあるものの、全体的に高い数値を示している。

図表4-2「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果（科目ベース）に見られるように、「演習」、「語学」、「講義」とも、学生の満足度は年々上昇しており、特に「演習」及び「語学」については、昨年度と比較して0.04ポイント上昇し、過去最高を記録した。これは教員にとっても喜ばしい結果であり、今後の授業改善に向けてよいきっかけになると思われるが、「講義」の数値の上昇は鈍化してきており、これ以上の学生満足度を望むためには、抜本的な改善策が必要になるのではないかと。

図表 4-2 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)



【部門別・形態別比較】(対象期間:平成20年度~平成24年度)

※比較対象施設は、「全国回答」である施設番号1~11とする。

平成21年度以前は1~100の平均、平成22年度から1~110の平均とする

部門別・形態別	平成24(2012)年度										平成23(2011)年度										平成22(2010)年度										平成21(2009)年度										平成20(2008)年度									
	実施率		回答率		回答者ハズ		科目ハズ		科目ハズ		実施率		回答率		回答者ハズ		科目ハズ		科目ハズ		実施率		回答率		回答者ハズ		科目ハズ		科目ハズ		実施率		回答率		回答者ハズ		科目ハズ		科目ハズ											
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差												
計七	講義	100.00%	75.34%	3.79	1.113	3.81	0.536	100.00%	73.71%	3.74	1.117	3.80	0.550	100.00%	72.50%	3.68	1.124	3.71	0.520	100.00%	73.24%	3.76	1.098	3.79	0.522	100.00%	72.41%	3.66	1.124	3.72	0.538																			
	外七	99.59%	78.12%	4.21	0.882	4.23	0.403	99.97%	79.40%	4.18	0.909	4.20	0.437	99.79%	76.25%	4.16	0.914	4.18	0.440	99.93%	75.74%	4.15	0.928	4.16	0.460	100.00%	78.18%	4.11	0.917	4.14	0.440																			
	入内七	97.96%	75.84%	4.52	0.742	4.57	0.311	100.00%	71.38%	4.50	0.766	4.55	0.345	100.00%	71.18%	4.51	0.771	4.55	0.354	98.10%	71.42%	4.54	0.729	4.56	0.316	100.00%	73.51%	4.50	0.741	4.52	0.318																			
基礎科	講義	98.77%	50.06%	4.09	0.622	4.10	0.397	100.00%	44.72%	4.06	0.630	4.09	0.405	100.00%	41.65%	4.10	0.639	4.11	0.421	100.00%	38.71%	4.04	0.973	4.06	0.461	100.00%	42.64%	3.98	0.969	4.00	0.439																			
	演習	100.00%	54.22%	3.89	0.950	3.89	-	100.00%	54.65%	3.78	1.059	3.78	-	100.00%	58.00%	4.13	0.957	4.13	-	100.00%	32.93%	3.83	1.151	3.83	-	100.00%	30.56%	3.71	0.968	3.71	-																			
	計	98.78%	50.12%	4.09	0.933	4.10	0.397	100.00%	44.79%	4.06	0.931	4.09	0.407	100.00%	41.72%	4.10	0.939	4.11	0.419	100.00%	38.67%	4.04	0.974	4.05	0.461	100.00%	42.57%	3.96	0.969	4.00	0.441																			
法学部	講義	99.29%	29.54%	3.93	1.006	4.03	0.413	99.33%	31.31%	3.94	1.019	3.98	0.492	100.00%	33.89%	3.93	1.030	3.99	0.501	98.61%	32.72%	3.94	1.037	3.97	0.496	100.00%	33.35%	3.83	1.077	3.86	0.526																			
	演習	96.30%	70.93%	4.48	0.753	4.50	0.379	100.00%	71.08%	4.38	0.852	4.50	0.409	99.04%	75.15%	4.28	0.912	4.37	0.474	100.00%	74.13%	4.30	0.879	4.38	0.417	100.00%	82.53%	4.45	0.782	4.47	0.378																			
	計	97.99%	32.61%	4.02	0.990	4.23	0.460	99.60%	34.21%	4.01	1.068	4.19	0.524	99.60%	36.79%	3.98	1.022	4.15	0.525	99.15%	35.98%	3.99	1.025	4.13	0.508	100.00%	35.97%	3.91	1.063	4.11	0.558																			
経済学部	講義	97.97%	32.78%	3.98	1.044	4.09	0.488	96.72%	32.99%	3.96	1.049	4.12	0.505	96.73%	29.25%	3.94	1.022	4.10	0.483	99.30%	32.48%	3.91	1.063	4.00	0.520	100.00%	34.06%	3.86	1.054	3.96	0.541																			
	演習	91.89%	82.83%	4.59	0.688	4.57	0.358	96.52%	83.14%	4.56	0.708	4.56	0.362	95.87%	73.09%	4.49	0.739	4.51	0.389	94.17%	84.24%	4.55	0.706	4.55	0.352	100.00%	85.31%	4.46	0.939	4.48	0.428																			
	計	95.97%	36.05%	4.07	1.022	4.29	0.498	96.64%	36.75%	4.06	1.024	4.31	0.469	97.49%	33.23%	4.05	1.000	4.27	0.486	96.96%	36.59%	4.03	1.037	4.25	0.530	100.00%	38.10%	3.97	1.040	4.20	0.553																			
文学部	講義	98.15%	60.32%	4.06	0.947	4.15	0.450	98.20%	60.89%	4.08	0.925	4.15	0.413	98.69%	55.41%	4.05	0.951	4.13	0.439	97.59%	56.62%	4.03	0.944	4.10	0.416	100.00%	59.73%	4.24	0.875	4.03	0.469																			
	演習	96.90%	78.93%	4.37	0.802	4.40	0.398	98.48%	77.88%	4.34	0.814	4.37	0.378	98.18%	76.19%	4.31	0.825	4.33	0.400	95.08%	74.57%	4.32	0.811	4.34	0.383	98.69%	77.42%	3.97	0.980	4.29	0.425																			
	計	97.95%	67.00%	4.20	0.896	4.32	0.415	98.38%	67.32%	4.20	0.887	4.29	0.402	98.34%	63.99%	4.18	0.901	4.27	0.423	95.93%	63.93%	4.17	0.896	4.26	0.411	99.12%	66.59%	4.09	0.943	4.20	0.457																			
理学部	講義	98.52%	54.60%	3.87	1.056	3.91	0.556	97.61%	54.53%	3.82	1.080	3.89	0.547	100.00%	52.34%	3.79	1.086	3.84	0.528	99.12%	52.99%	3.69	1.125	3.74	0.588	100.00%	49.88%	4.24	0.875	3.77	0.589																			
	演習	95.24%	65.82%	4.16	0.921	4.11	0.452	97.62%	64.75%	4.02	1.002	3.96	0.470	100.00%	55.30%	4.02	1.006	3.96	0.487	100.00%	65.48%	3.94	1.047	3.88	0.519	93.94%	67.47%	3.82	1.088	3.79	0.509																			
	計	97.74%	59.99%	3.94	1.032	3.96	0.540	97.77%	56.70%	3.87	1.065	3.91	0.531	100.00%	52.99%	3.84	1.073	3.87	0.522	99.23%	55.91%	3.76	1.110	3.77	0.560	98.55%	53.13%	3.74	1.087	3.77	0.572																			
教職課程	講義	100.00%	67.42%	4.20	0.870	4.21	0.349	100.00%	65.88%	4.13	0.913	4.19	0.380	100.00%	64.17%	4.14	0.919	4.14	0.393	100.00%	65.54%	4.18	0.917	4.18	0.409	88.57%	62.53%	4.25	0.941	4.26	0.348																			
	演習	100.00%	80.94%	4.49	0.770	4.51	0.309	100.00%	80.58%	4.42	0.821	4.44	0.349	100.00%	78.94%	4.31	0.919	4.34	0.369	100.00%	80.72%	4.43	0.836	4.40	0.398	100.00%	81.89%	4.37	0.946	4.42	0.369																			
	計	100.00%	74.00%	4.36	0.820	4.40	0.354	100.00%	72.91%	4.28	0.877	4.35	0.382	100.00%	72.09%	4.24	0.923	4.27	0.388	100.00%	71.55%	4.29	0.891	4.30	0.417	95.29%	72.43%	4.32	0.946	4.36	0.370																			
学芸員	講義	100.00%	74.21%	4.09	0.881	4.12	0.341	100.00%	70.31%	4.15	0.906	4.17	0.416	100.00%	69.29%	4.25	0.842	4.23	0.383	100.00%	68.89%	4.20	0.872	4.28	0.378	100.00%	73.60%	4.03	0.933	4.17	0.386																			
	演習	90.00%	83.94%	4.62	0.597	4.62	0.277	100.00%	82.78%	4.59	0.679	4.57	0.355	100.00%	83.02%	4.61	0.641	4.61	0.311	100.00%	80.24%	4.56	0.650	4.55	0.280	100.00%	83.33%	4.55	0.685	4.55	0.332																			
	計	96.15%	75.00%	4.14	0.855	4.30	0.395	100.00%	72.47%	4.24	0.883	4.38	0.431	100.00%	72.23%	4.34	0.812	4.46	0.387	100.00%	70.37%	4.26	0.851	4.42	0.357	100.00%	74.96%	4.10	0.884	4.35	0.409																			
合計	98.04%	52.12%	4.11	0.962	4.24	0.464	98.68%	51.82%	4.09	0.976	4.21	0.482	99.16%	50.08%	4.07	0.983	4.19	0.488	98.07%	50.33%	4.06	0.992	4.17	0.469	99.47%	51.37%	4.01	1.005	4.14	0.513																				

．法 学 部

1．集計データからわかること

法学部のアンケート結果は、今年度もほぼ例年どおりであった。総合的な満足度（質問11）の平均値は、講義科目が 3.97 / 4.08（スラッシュの前後はそれぞれ、学生回答単純平均、部門別形態別平均。以下同じ）、演習科目が 4.56 / 4.58 であり、2011年度ないしそれ以前と較べて、ほとんど変化がない。個別の項目についても、授業のレベル（質問3）に関する平均値は講義科目が 3.82 / 3.90、演習科目が 4.35 / 4.36、授業の進度（質問4）は講義科目が 3.82 / 3.94、演習科目が 4.41 / 4.42、教員の熱意（質問5）は講義科目が 4.16 / 4.24、演習科目が 4.55 / 4.57、理解しやすさ（質問7）は講義科目が 3.89 / 4.02、演習科目が 4.51 / 4.55、そして教員の話し方（質問8）は講義科目が 3.90 / 4.02、演習科目が 4.50 / 4.54 であり、過去数年とほとんど変わらない。なお、講義科目の部門別形態別平均の値が、わずかではあるが、出席率（質問1）を除くすべての質問項目において上昇している。学生回答単純平均では、それに対応した上昇が記録されていない項目もあるので、これは、少人数の授業において高い評価が得られているのではないかと想像される。

次に、質問項目相互間の相関関係を見よう。授業のレベル（質問3）と授業の進度（質問4）の相関係数は 0.716、理解しやすさ（質問7）と教員の話し方（質問8）の相関係数は 0.740 であり、きわめて強い相関を示している。興味深いことに、授業のレベルと理解しやすさの間にも高い相関があるが(0.700)、授業のレベルと教員の話し方の間の相関は高くない(0.582)。おそらく、相関関係の背後にある因果関係は、授業のレベルが適切であれば理解しやすいと感じられる一方で、教員の話し方が理解しやすさを助けるといった面もあるが、教員の話し方が授業のレベルに対する感覚を左右するわけではないというものである。そうだとすれば、授業のレベルを学生に合わせて適切に設定することが、授業に対する満足度を高める上で重要だということができる。

相関関係について、いま一つ注目される点は、シラバスの有用性（質問10）が、出席率を除くいずれの項目とも高い相関を持たないという事実である（0.33 を超える相関を示す項目は、出席率(0.87)のみである）。これを、シラバスによって授業内容に関心を持った学生が受講し、熱心に出席していると見れば、シラバスは一定の役割を果たしているということもできよう。しかし、授業のレベル（質問3）や総合的な満足度（質問11）との相関も低い（前者との相関係数は 0.285、後者との相関係数は 0.309）という点は、やや検討の余地があるのではないか。昨年度の分析において指摘した、法学部の試験における棄権（試験当日の欠席）の多さとも関連して、学生の授業選択行動について、調査を行う必

要があるようにも感じられる。

2 . 今後の授業改善に向けて

データの分析（前述 1 .）にも記述したとおり、教室内での様々な工夫以上に、授業内容を適切に設定することが、学生の理解を高め、総合的な満足度に結び付くと考えられる。これを言い換えれば、カリキュラムの内容を、学生のニーズやレベルに合わせて絶えず調整することの重要性である。法学科、政治学科のそれぞれにおいて、教員間の意思疎通を図りつつ、学生にとって有益かつ有効な教育を提供すること、すなわち学生に最もふさわしい教育体系を不断に検証することが必要とされよう。

第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 集計結果

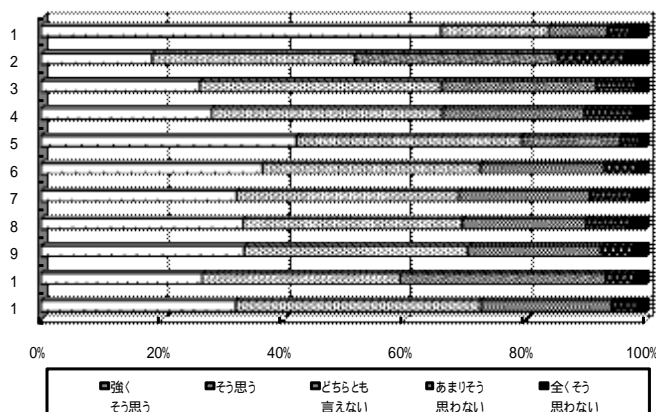
部門名 法学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	7,886	26,696	29.54%

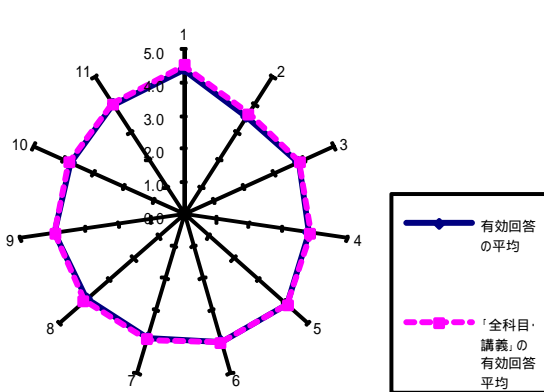
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によ(出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率40%以下)	5,193 65.85%	1,408 17.85%	759 9.62%	280 3.55%	228 2.89%	18 0.23%	7,886 100.00%	4.41	0.998	4.38	0.284
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,445 18.32%	2,636 33.43%	2,617 33.19%	864 10.96%	298 3.78%	26 0.33%	7,886 100.00%	3.52	1.032	3.64	0.370
	3	この授業のレベルは適切である	2,065 26.19%	3,134 39.74%	2,005 25.42%	511 6.48%	147 1.86%	24 0.30%	7,886 100.00%	3.82	0.956	3.90	0.344
	4	この授業を進める速さは適切である	2,217 28.11%	2,999 38.03%	1,830 23.21%	624 7.91%	191 2.42%	25 0.32%	7,886 100.00%	3.82	1.009	3.94	0.364
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3,319 42.09%	2,930 37.15%	1,268 16.08%	244 3.09%	98 1.24%	27 0.34%	7,886 100.00%	4.16	0.891	4.24	0.336
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	2,880 36.52%	2,828 35.86%	1,600 20.29%	404 5.12%	148 1.88%	26 0.33%	7,886 100.00%	4.00	0.972	4.15	0.371
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	2,541 32.22%	2,882 36.55%	1,694 21.48%	544 6.90%	197 2.50%	28 0.36%	7,886 100.00%	3.89	1.015	4.02	0.428
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	2,624 33.27%	2,842 36.04%	1,607 20.38%	549 6.96%	239 3.03%	25 0.32%	7,886 100.00%	3.90	1.040	4.02	0.443
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	2,636 33.43%	2,892 36.67%	1,716 21.76%	407 5.16%	192 2.43%	43 0.55%	7,886 100.00%	3.94	0.990	4.07	0.352
	10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 30.51%)	1,448 18.36%	1,775 22.51%	1,837 23.29%	255 3.23%	116 1.47%	49 0.62%	7,886 100.00%	3.77	0.966	3.86	0.310
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,512 31.85%	3,153 39.98%	1,678 21.28%	318 4.03%	136 1.72%	89 1.13%	7,886 100.00%	3.97	0.926	4.08	0.372
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	2,031 25.75%	2,380 30.18%	2,022 25.64%	798 10.12%	331 4.20%	324 4.11%	7,886 100.00%	3.66	1.112	3.79	0.436
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	2,363 29.96%	2,678 33.96%	1,857 23.55%	461 5.85%	182 2.31%	345 4.37%	7,886 100.00%	3.87	1.003	4.01	0.385

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 集計結果

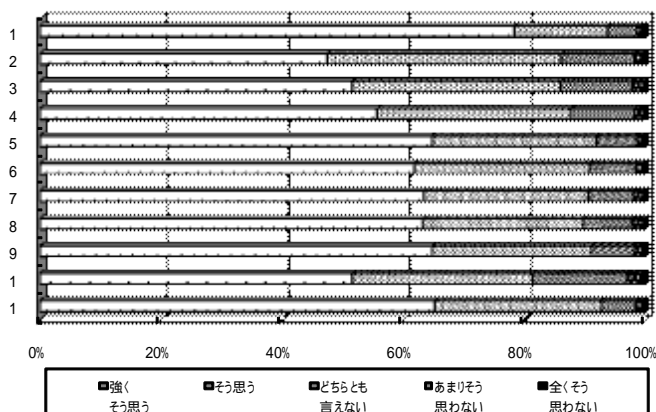
部門名 法学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,518	2,140	70.93%

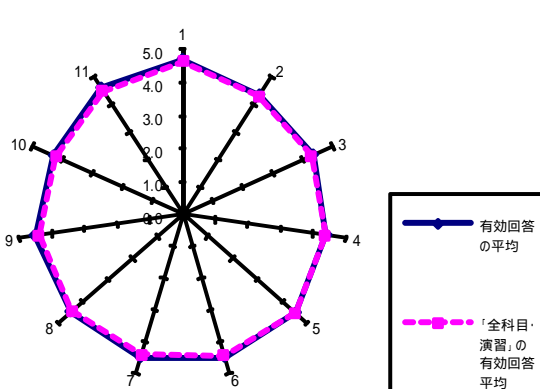
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース			
			5 強く 思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	1,189	233	74	14	8	0	1,518	4.70	0.653	4.67	0.288
			78.33%	15.35%	4.87%	0.92%	0.53%	0.00%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	719	585	183	20	8	3	1,518	4.31	0.774	4.35	0.299
			47.36%	38.54%	12.06%	1.32%	0.53%	0.20%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	783	522	179	28	6	0	1,518	4.35	0.788	4.36	0.358
			51.58%	34.39%	11.79%	1.84%	0.40%	0.00%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	845	485	158	24	5	1	1,518	4.41	0.765	4.42	0.349
			55.67%	31.95%	10.41%	1.58%	0.33%	0.07%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	983	412	102	14	7	0	1,518	4.55	0.702	4.57	0.346
			64.76%	27.14%	6.72%	0.92%	0.46%	0.00%	100.00%				
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	938	438	117	18	6	1	1,518	4.51	0.723	4.55	0.318
		61.79%	28.85%	7.71%	1.19%	0.40%	0.07%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	962	412	112	24	7	1	1,518	4.51	0.740	4.55	0.381	
		63.37%	27.14%	7.38%	1.58%	0.46%	0.07%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	958	402	121	28	7	2	1,518	4.50	0.759	4.54	0.381	
		63.11%	26.48%	7.97%	1.84%	0.46%	0.13%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	981	398	106	22	8	3	1,518	4.53	0.735	4.57	0.356	
		64.62%	26.22%	6.98%	1.45%	0.53%	0.20%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 26.48%)	574	332	172	26	9	3	1,518	4.29	0.868	4.27	0.489	
		37.81%	21.87%	11.33%	1.71%	0.59%	0.20%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	978	412	85	19	6	18	1,518	4.56	0.696	4.58	0.352	
		64.43%	27.14%	5.60%	1.25%	0.40%	1.19%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	887	339	148	24	15	105	1,518	4.46	0.829	4.53	0.387
			58.43%	22.33%	9.75%	1.58%	0.99%	6.92%	100.00%				
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	848	375	151	26	10	108	1,518	4.44	0.810	4.48	0.371
			55.86%	24.70%	9.95%	1.71%	0.66%	7.11%	100.00%				

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



第2章 各部門の評価・分析

相関係数表 部門名 法学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.382(**)	1											
Q3	.171(**)	.545(**)	1										
Q4	.127(**)	.451(**)	.716(**)	1									
Q5	.177(**)	.402(**)	.521(**)	.543(**)	1								
Q6	.133(**)	.397(**)	.462(**)	.495(**)	.564(**)	1							
Q7	.124(**)	.462(**)	.700(**)	.678(**)	.589(**)	.574(**)	1						
Q8	.111(**)	.394(**)	.582(**)	.677(**)	.538(**)	.522(**)	.740(**)	1					
Q9	.178(**)	.524(**)	.592(**)	.532(**)	.567(**)	.497(**)	.646(**)	.570(**)	1				
Q10	.087(**)	.310(**)	.285(**)	.272(**)	.233(**)	.213(**)	.282(**)	.256(**)	.325(**)	1			
Q11	.191(**)	.526(**)	.675(**)	.660(**)	.649(**)	.583(**)	.767(**)	.687(**)	.715(**)	.309(**)	1		
Q12	.115(**)	.400(**)	.528(**)	.568(**)	.481(**)	.469(**)	.628(**)	.588(**)	.502(**)	.287(**)	.636(**)	1	
Q13	.129(**)	.402(**)	.546(**)	.558(**)	.506(**)	.486(**)	.614(**)	.565(**)	.530(**)	.289(**)	.650(**)	.688(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 法学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.245(**)	1											
Q3	.109(**)	.565(**)	1										
Q4	.086(**)	.481(**)	.735(**)	1									
Q5	.068(**)	.449(**)	.551(**)	.610(**)	1								
Q6	0.041	.396(**)	.502(**)	.592(**)	.682(**)	1							
Q7	.058(**)	.451(**)	.628(**)	.645(**)	.679(**)	.693(**)	1						
Q8	0.05	.376(**)	.549(**)	.617(**)	.568(**)	.612(**)	.734(**)	1					
Q9	.078(**)	.482(**)	.544(**)	.573(**)	.616(**)	.573(**)	.667(**)	.562(**)	1				
Q10	0.012	.241(**)	.268(**)	.269(**)	.266(**)	.239(**)	.277(**)	.252(**)	.276(**)	1			
Q11	.073(**)	.477(**)	.647(**)	.664(**)	.721(**)	.664(**)	.763(**)	.638(**)	.726(**)	.298(**)	1		
Q14	0.034	.429(**)	.477(**)	.497(**)	.526(**)	.561(**)	.571(**)	.499(**)	.488(**)	.186(**)	.609(**)	1	
Q15	.058(*)	.447(**)	.506(**)	.522(**)	.581(**)	.543(**)	.576(**)	.482(**)	.549(**)	.257(**)	.616(**)	.684(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業のシラバスは受講に役立った(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 法学部

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2011年度				2010年度				2009年度				2008年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
'全員' 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.41	0.998	4.38	0.284	4.54	0.893	4.51	0.278	4.52	0.920	4.51	0.294	4.50	0.938	4.47	0.270	4.39	1.053	4.35	0.383
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.52	1.032	3.64	0.370	3.56	1.035	3.61	0.451	3.55	1.060	3.61	0.445	3.55	1.032	3.57	0.393	3.38	1.054	3.40	0.426
	3	この授業のレベルは適切である	3.82	0.956	3.90	0.344	3.83	0.986	3.82	0.444	3.80	0.999	3.82	0.484	3.78	1.024	3.78	0.459	3.68	1.030	3.69	0.471
	4	この授業を進める速さは適切である	3.82	1.009	3.94	0.364	3.84	1.010	3.89	0.451	3.81	1.030	3.89	0.449	3.80	1.045	3.82	0.451	3.70	1.069	3.74	0.483
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.16	0.891	4.24	0.336	4.14	0.899	4.19	0.397	4.14	0.917	4.21	0.407	4.15	0.907	4.19	0.391	4.07	0.941	4.08	0.408
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.00	0.972	4.15	0.371	4.00	0.973	4.11	0.390	4.02	0.969	4.12	0.370	4.00	0.967	4.09	0.360	3.92	1.003	4.00	0.384
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.89	1.015	4.02	0.428	3.89	1.056	3.91	0.537	3.89	1.056	3.93	0.550	3.86	1.080	3.88	0.539	3.75	1.111	3.79	0.552
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.90	1.040	4.02	0.443	3.86	1.076	3.91	0.518	3.87	1.071	3.94	0.523	3.85	1.092	3.88	0.548	3.74	1.132	3.81	0.580
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3.94	0.990	4.07	0.352	3.90	1.007	3.95	0.429	3.90	1.009	4.00	0.455	3.93	1.003	3.98	0.436	3.79	1.050	3.87	0.469
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.77	0.966	3.86	0.310	3.73	0.995	3.77	0.379	3.66	1.002	3.75	0.371	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価)できる	3.97	0.926	4.08	0.372	3.99	0.953	4.01	0.476	3.96	0.964	4.02	0.483	3.99	0.985	4.02	0.465	3.87	1.013	3.91	0.496
'講義' '語学' のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.66	1.112	3.79	0.436	3.70	1.135	3.76	0.558	3.68	1.126	3.78	0.510	3.69	1.129	3.73	0.504	3.61	1.135	3.62	0.557
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.87	1.003	4.01	0.385	3.91	1.000	3.98	0.415	3.86	1.013	3.95	0.409	3.89	1.009	3.92	0.382	3.77	1.039	3.83	0.464

部門名 法学部

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2011年度				2010年度				2009年度				2008年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
'全員' 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.70	0.653	4.67	0.288	4.76	0.592	4.73	0.216	4.74	0.617	4.74	0.267	4.70	0.629	4.69	0.269	4.69	0.659	4.66	0.371
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.31	0.774	4.35	0.299	4.21	0.845	4.33	0.382	4.11	0.896	4.22	0.402	4.09	0.895	4.18	0.390	4.25	0.791	4.28	0.347
	3	この授業のレベルは適切である	4.35	0.788	4.36	0.358	4.18	0.929	4.31	0.426	4.02	0.978	4.12	0.489	4.04	0.941	4.10	0.422	4.15	0.893	4.16	0.453
	4	この授業を進める速さは適切である	4.41	0.785	4.42	0.349	4.30	0.866	4.42	0.400	4.18	0.916	4.25	0.478	4.19	0.880	4.25	0.367	4.32	0.811	4.33	0.368
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.55	0.702	4.57	0.346	4.46	0.807	4.60	0.365	4.37	0.864	4.49	0.404	4.39	0.831	4.45	0.379	4.55	0.693	4.58	0.320
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.51	0.723	4.55	0.318	4.38	0.880	4.51	0.398	4.29	0.910	4.42	0.430	4.30	0.885	4.40	0.387	4.50	0.709	4.54	0.291
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.51	0.740	4.55	0.381	4.40	0.847	4.54	0.383	4.27	0.928	4.39	0.478	4.29	0.905	4.40	0.429	4.48	0.735	4.50	0.347
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.50	0.759	4.54	0.381	4.42	0.816	4.55	0.363	4.33	0.905	4.43	0.474	4.34	0.903	4.43	0.431	4.49	0.727	4.52	0.320
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.53	0.735	4.57	0.356	4.40	0.858	4.56	0.382	4.29	0.914	4.41	0.448	4.34	0.850	4.44	0.382	4.53	0.715	4.58	0.315
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.29	0.868	4.27	0.489	4.17	0.947	4.22	0.465	4.05	1.014	4.08	0.481	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価)できる	4.56	0.696	4.58	0.352	4.45	0.807	4.59	0.375	4.33	0.856	4.45	0.437	4.36	0.852	4.45	0.404	4.54	0.701	4.56	0.319
'演習' '語学' のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.46	0.829	4.53	0.387	4.38	0.860	4.47	0.423	4.29	0.885	4.40	0.419	4.26	0.887	4.32	0.447	4.48	0.755	4.49	0.343
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.44	0.810	4.48	0.371	4.34	0.863	4.44	0.420	4.24	0.923	4.34	0.443	4.22	0.929	4.29	0.457	4.42	0.791	4.46	0.386

． 経 済 学 部

ここでは2012年度授業評価アンケート集計結果のうち、経済学部に関する内容や、質問項目間の相関係数から推測される評価項目の間の関連性を紹介し、さらに2012年度のデータを過去5年分の結果と比較することで、FDの方向性を検討する。

A) 集計データから読み取れること

1. 「総合評価の高さ」と高い相関を見せている項目

まず「Q11 総合評価」について考察を行う。講義に関しては、平均値が4.13、演習(少数教育)に関しては4.62と高い値を示している。2006年度から集計してきた平均値は、講義に関しては昨年までは毎年増加していたが、今年度の値は昨年度の4.18を若干下回った。演習に関しても最高値であった昨年度の4.63と同様の数字となっている。このように、今年度の平均値はいずれも昨年度より若干下がったものの、標準偏差を考えると誤差の範囲である可能性は排除できず、また昨年度以前の数字と比較すれば高水準にあることがわかる。

次に、「総合評価」がどの他の項目と高い相関を見せているかであるが、講義に関しては1位「Q7 理解しやすい授業」(相関係数は.821)、2位「Q9 知的好奇心の刺激、新しいものの見方の取得」(.771)、3位「Q8 教員の話し方」(.727)となっている。特にQ7とQ8は相互に関連しており(.774)、教員の話すスピードや聞き取りやすさが理解しやすさに影響を与える因果関係の存在を示唆している。これらの結果の順位は昨年度と同様であり、結果の頑強性が分かる。

演習に関しては1位「Q7 理解しやすい授業」(.721)、2位「Q9 知的好奇心の刺激、新しいものの見方の取得」(.686)が高く、くしくも講義と同じ順位となった。また「Q8 教員の話し方」(.675)は3位であったが、Q9と高い相関(.759)を持つことは講義の結果と同様であった。ここでも1位と2位に関しては昨年度と順位は同様である。

これにより、学生が講義に関しても演習に関しても分かりやすく知識が習得できる授業を期待していることが表れていると考えられる。

また、その他にQ11 総合評価と0.6以上の相関係数を持っている項目としては、講義については「Q3 レベルの適切さ」(.718)、「Q4 授業の速さの適切さ」(.700)、「Q5 教員の熱意」(.707)、「Q6 教室の教員による環境保全」(.640)、「Q12 板書やスライド提示の適切さ」(.675)、「Q13 教材内容の適切さ」(.684)であり、演習についてはQ5(.674)、Q6(.616)、「Q14 教員による参加者の発言や議論への働きかけ」(.612)、「Q15 教員による参加者の課題取り組みへの補助」(.637)があった。

2. 総合評価と高相関であった項目と関連が高い項目

それでは、総合評価と関連が高かった項目に関して、他のどの項目と相関が高かったかについて検討してみる。

まず講義においては、「Q7 理解しやすい授業」との関連性は上記した Q8 (.774)の他には、「Q9 知的好奇心の刺激、新しいものの見方の取得」(.715)が最も高かった。また、「Q3 レベルの適切さ」(.711)と「Q4 授業の速さの適切さ」(.714)が次いで最も高かった。これら 2つの項目同士は.771、という相関係数を持っている。よって、新しい刺激のある内容を提示しつつ、学生の理解度を把握しつつ授業を行うために、適度なレベルとスピードを設定しておくことの重要性が示唆された。なお、Q3 と Q4 の関係性は演習でも.771 と高い相関を見せている。

「Q8 教員の話し方」に関しては、Q7 と Q11 以外では 0.6 以上 0.7 未満の相関を持っている項目が Q3、Q4、「Q5 教員の熱意」、「Q6 教室の教員による環境保全」、Q9、「Q12 板書やスライド提示の適切さ」、「Q13 教材内容の適切さ」となった。また、「Q9 知的好奇心の刺激、新しいものの見方の取得」に関しては同様であるが Q7 に対しては.715 であった。これらに関しては突出しているわけではないが、評価への幅広い影響を、話し方や知識の提供が学生に与えることが分かった。

次に演習においては、上記のように「Q7 理解しやすい授業」は「Q8 教員の話し方」と高相関(.759)しているが、それ以外には Q3、Q4、Q5、Q6、Q9 と 0.6 以上 0.7 未満の相関を持っていた。このように、演習においても講義ほどではないが同様の傾向が見られることが分かった。

これらの結果により、総合評価に対して高相関を持っている項目は、総合評価と 0.6 以上の相関係数を持っている項目との相関が高く、それぞれの項目が授業の質を上げていくために重要であることが示唆されたと言える。

3. 授業への「出席率」と「意欲」、そして「シラバス」について

それでは、アンケート項目に存在するが上記の分析には出てこなかった 3 項目について考察を行う。まず「Q1 授業への出席率」について見る。講義においてもっとも相関が強いのが「Q2 意欲」(.376)であり、それ以外は統計的に有意で正である相関係数ではあるが.106 から.155 の間に収まる緩い相関となっている。演習においても Q2 が.340 と最も高く、その他は統計的に有意で正ではあるが.086 から.181 の間に収まる緩い相関となっている。なお、「Q20 私は授業に遅刻したことがない」という項目は講義・演習双方において.437 そして.294 と正の相関があった。意欲が高い学生は出席もし、出席する学生は遅刻も少ないことが考えられる。

その「意欲」であるが、講義・演習共に、Q3 から Q13 まで演習の「Q10 シラバスの有用性」を除いて全ての項目で.421 から.756 の正の有意な相関が見られた。「Q1 出席率」より「意欲」のほうが総合評価に関係する項目との関係性が高いと思われる。講義では特に Q7 (.681)と Q12 (.756)が高い。学生にとって、理解しやすく見やすい授業の方が意欲的に取

第2章 各部門の評価・分析

り組みやすいということが示唆される。

最後に「Q10 シラバスの有用性」であるが、Q2 から Q13 までの項目に対し、講義では.272 から.382、演習では.193 から.243 の相関係数を得られた。このようにシラバスの有用性が総合評価やそれに関連する項目に与える影響は必ずしも大きくなく、またその影響は講義より演習の方が小さいことが言えると考えられる。

4. 過去5年間の結果との比較

本年度の結果を、過去5年間の結果と比較して、どのような傾向があるかを考察する。

図1はアンケートの各項目の平均値を2つの基準で示したものを講義・演習ともに示している。「回答者ベース」では全ての回答を単純に集計している。それに対して「科目ベース」では科目ごとにまとめたものを平均することにより、履修者数の多い科目が与える強い影響を軽減する意図がある。ここで得られた結果は2つの基準による大きな違いはないと推測される。

図1

講義

番号	質問内容	2012		2011		2010		2009		2008		2007	
		回答者	科目	回答者	科目	回答者	科目	回答者	科目	回答者	科目	回答者	科目
1	私はこの授業によく出席している	4.46	4.46	4.45	4.46	4.43	4.39	4.42	4.36	4.34	4.35	4.34	4.33
2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	3.65	3.75	3.65	3.81	3.61	3.75	3.53	3.60	3.44	3.59	3.32	3.52
3	この授業のレベルは適切である	3.85	3.95	3.82	3.98	3.79	3.95	3.74	3.82	3.71	3.82	4.17*	4.21*
4	この授業を進める速さは適切である	3.88	4.03	3.84	4.03	3.82	4.02	3.75	3.89	3.73	3.87	4.21*	4.36*
5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.17	4.25	4.17	4.30	4.17	4.30	4.15	4.19	4.06	4.15	3.97	4.09
6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている	4.04	4.19	4.00	4.21	4.05	4.24	3.97	4.08	3.91	4.05	3.84	4.05
7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.96	4.08	3.92	4.12	3.93	4.13	3.87	3.99	3.84	3.96	3.72	3.90
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.04	4.15	3.97	4.16	3.97	4.14	3.92	4.05	3.90	4.03	3.78	3.97
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.86	4.00	3.88	4.09	3.82	4.07	3.81	3.97	3.78	3.93	3.66	3.87
10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.85	3.93	3.82	3.95	3.75	3.85	-	-	-	-	-	-
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.01	4.13	3.99	4.18	3.98	4.16	3.95	4.07	3.93	4.04	3.82	3.99
12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.96	4.05	3.89	4.06	3.92	4.04	3.84	3.90	3.80	3.89	3.63	3.80
13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.00	4.09	3.96	4.11	3.97	4.12	3.90	3.99	3.89	3.98	3.75	3.90

演習

番号	質問内容	2012		2011		2010		2009		2008		2007	
		回答者	科目	回答者	科目	回答者	科目	回答者	科目	回答者	科目	回答者	科目
1	私はこの授業によく出席している	4.84	4.80	4.80	4.75	4.75	4.74	4.79	4.75	4.78	4.75	4.80	4.75
2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる	4.52	4.49	4.48	4.48	4.38	4.41	4.44	4.43	4.34	4.36	4.23	4.24
3	この授業のレベルは適切である	4.46	4.45	4.41	4.42	4.34	4.36	4.35	4.36	4.27	4.30	4.41*	4.41*
4	この授業を進める速さは適切である	4.51	4.51	4.49	4.49	4.41	4.45	4.44	4.45	4.32	4.33	4.65*	4.67*
5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.63	4.63	4.62	4.63	4.58	4.61	4.61	4.61	4.49	4.51	4.31	4.31
6	教員は教室内が学習にふさわしい状態	4.62	4.62	4.60	4.60	4.54	4.57	4.55	4.56	4.46	4.47	4.34	4.35
7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.59	4.59	4.57	4.58	4.53	4.55	4.56	4.57	4.47	4.49	4.33	4.34
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.61	4.62	4.60	4.62	4.55	4.58	4.59	4.60	4.51	4.51	4.37	4.37
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.58	4.57	4.58	4.59	4.50	4.52	4.56	4.58	4.48	4.50	4.33	4.36
10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.29	4.30	4.32	4.33	4.20	4.23	-	-	-	-	-	-
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.63	4.62	4.62	4.63	4.55	4.57	4.60	4.61	4.52	4.54	4.41	4.42
14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.58	4.56	4.53	4.54	4.50	4.50	4.52	4.53	4.46	4.43	4.30	4.31
15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.56	4.55	4.54	4.57	4.50	4.51	4.53	4.55	4.48	4.47	4.33	4.33

* 2007年度のQ3とQ4はその後に集計方法が違うことに留意する必要がある。

まず講義では、回答者ベースと科目ベースの平均値の双方について、全ての項目において、2012年度が最高になっているか、2010年度から2012年度が拮抗しているかのどちら

かであることが分かる。特に興味深いのは、2011年度と2012年度を比較すると、科目ベースでは2011年度が高い科目が11、低い科目が0、同点が2だったのに対し、回答者ベースでは2012年度が高い科目が10、低い科目が1、同点が2という真逆の結果となったことである。標準偏差の値から、この上昇や若干の減少に統計的意味がどこまであるかは疑問が残るところであるが、全ての項目が高止まりしている傾向にあるという結論が正しいと想定される。

次に、2012年度の結果を2007年度からの各年と(集計方法が違うQ3とQ4は2008年度から)比較して得られることを述べる。(以下、回答者ベースの平均値について言及していく。)まず講義であるが、「Q1 出席」、「Q2 意欲」、「Q3 レベル」、「Q4 速さ」、「Q5 教員の熱意」、「Q8 教員の話し方」、「Q9 知的好奇心の習得」、「Q11 総合評価」については各年上昇している。その中で、Q2が0.33と2007年度からの上昇値が最も大きく、学生の意欲が年々高まっているという良い傾向が見られる。他方、「Q6 教室環境」、「Q7 理解しやすい授業」、「Q12 板書やスライド提示方法」、「Q13 教材内容」については、一昨年度から昨年度にかけて減少したが、今年度は全て上昇している。特に昨年0.05下がったQ6は0.04上昇しており、教室内の環境保全について注意をする必要があるという昨年度の心配は杞憂であるようだ。

次に演習であるが、昨年度すべての項目において過去最高値を達成していたが、今年度はQ10のシラバスの項以外は更に過去最高値となった。傾向としては2009年度に高かった平均点が2010年度に少し減少し、2011年度にその減少分以上増加し、2012年度に更に上昇している。総合評価が2007年度の4.41から2012年度は4.63と大きく上がっており、また全体的に講義より演習の平均点が大幅に大きいことから、経済学部の少人数教育は順調に行われていると考えられる。

最後に、一昨年度から導入された「Q10 シラバスの履修への有用性」であるが、昨年度は0.1点程度の上昇となったが今年度は0.03点の減少となった。この項目については来年度以降も傾向を確認し、シラバスの正確な記述への促進に繋げていければと考えられる。

B) 今後の授業改善に向けて

以上の分析をまとめて今後の授業改善に向けたい。まず、講義については学生が授業を評価する際に「理解しやすいこと」、「知的好奇心が刺激され、新しいものの見方が得られること」、「教員の話し方が工夫されていること」が最も重要な指標とされている。この結果は昨年度の結果と一致しており、結果の頑健性が示唆される。よって、これらの項目事項を引き続き維持・改善していくことが重要である。また、他の項目も同様であるが、昨年度から平均値が減少した項目について注意をする必要があるか今年度のアンケートに注視する必要があるだろう。

演習に関しても、理解のしやすさと知的好奇心の刺激は重要な変数であり、これらもこれら、そして他の項目も高水準を維持していくことを心掛けたい。平均値はある程度高

第2章 各部門の評価・分析

く、講義に比べても 0.6 ほど平均で高いことから、演習は効果的かつ高評価であることが示唆される。これらの水準を引き続き高く維持することを今年度以降の更なる目標としてこの節のまとめとしたい。

学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 集計結果

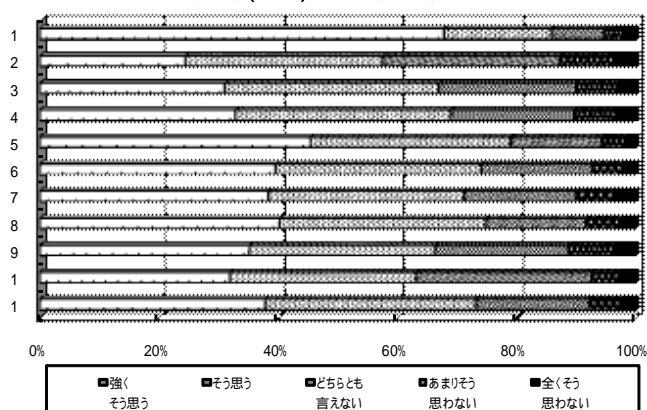
部門名 経済学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	7,656	23,353	32.78%

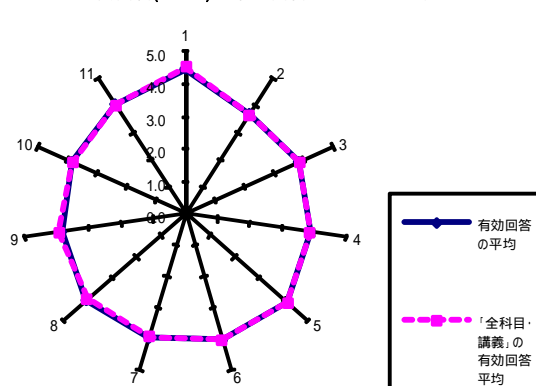
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率40%以下	5,178	1,377	669	239	172	21	7,656	4.46	0.939	4.46	0.336
			67.63%	17.99%	8.74%	3.12%	2.25%	0.27%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,864	2,522	2,275	679	291	25	7,656	3.65	1.059	3.75	0.493
			24.35%	32.94%	29.72%	8.87%	3.80%	0.33%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	2,368	2,741	1,757	521	247	22	7,656	3.85	1.040	3.95	0.462
			30.93%	35.80%	22.95%	6.81%	3.23%	0.29%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	2,504	2,758	1,572	531	264	27	7,656	3.88	1.053	4.03	0.454
			32.71%	36.02%	20.53%	6.94%	3.45%	0.35%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3,466	2,559	1,162	288	150	31	7,656	4.17	0.952	4.25	0.456
			45.27%	33.42%	15.18%	3.76%	1.96%	0.40%	100.00%				
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3,019	2,628	1,415	380	182	32	7,656	4.04	0.997	4.19	0.415
		39.43%	34.33%	18.48%	4.96%	2.38%	0.42%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	2,923	2,507	1,434	475	287	30	7,656	3.96	1.076	4.08	0.520	
		38.18%	32.75%	18.73%	6.20%	3.75%	0.39%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3,070	2,636	1,275	435	208	32	7,656	4.04	1.021	4.15	0.446	
		40.10%	34.43%	16.65%	5.68%	2.72%	0.42%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	2,676	2,370	1,701	568	292	49	7,656	3.86	1.096	4.00	0.539	
		34.95%	30.96%	22.22%	7.42%	3.81%	0.64%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 30.07%)	1,692	1,654	1,558	239	156	55	7,656	3.85	1.018	3.93	0.370	
		22.10%	21.60%	20.35%	3.12%	2.04%	0.72%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,863	2,675	1,425	397	201	95	7,656	4.01	1.008	4.13	0.498	
		37.40%	34.94%	18.61%	5.19%	2.63%	1.24%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	2,780	2,457	1,370	504	241	304	7,656	3.96	1.064	4.05	0.463
			36.31%	32.09%	17.89%	6.58%	3.15%	3.97%	100.00%				
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	2,787	2,529	1,455	367	189	329	7,656	4.00	1.006	4.09	0.413
			36.40%	33.03%	19.00%	4.79%	2.47%	4.30%	100.00%				
経済学部共通・ 経済・経営学科	20	私は授業に遅刻したことがない	2,160	1,240	979	698	736	1,843	7,656	3.58	1.409	3.56	0.523
			28.21%	16.20%	12.79%	9.12%	9.61%	24.07%	100.00%				
	21	高校で履修した数学科目	0	743	4,181	557	247	1,928	7,656	-	-	-	-
			0.00%	9.70%	54.61%	7.28%	3.23%	25.18%	100.00%				

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 集計結果

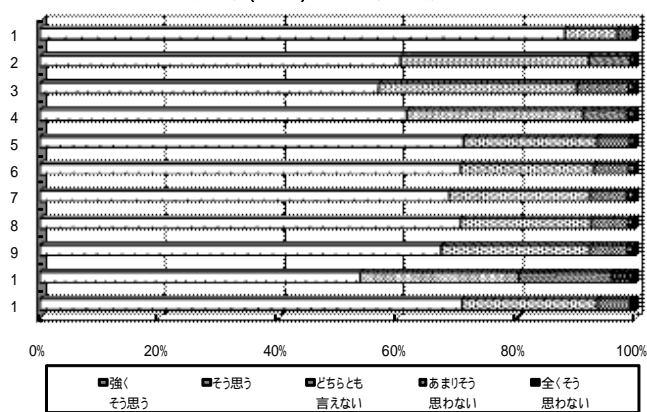
部門名 経済学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,351	1,631	82.83%

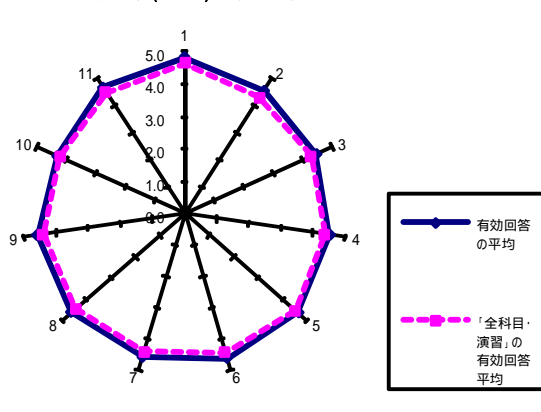
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5 強く 思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率40%以下	1,189	118	34	8	0	2	1,351	4.84	0.466	4.80	0.303
			88.01%	8.73%	2.52%	0.59%	0.00%	0.15%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	817	427	93	11	2	1	1,351	4.52	0.674	4.49	0.322
			60.47%	31.61%	6.88%	0.81%	0.15%	0.07%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	767	448	118	13	3	2	1,351	4.46	0.713	4.45	0.337
			56.77%	33.16%	8.73%	0.96%	0.22%	0.15%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	831	398	101	18	1	2	1,351	4.51	0.699	4.51	0.309
			61.51%	29.46%	7.48%	1.33%	0.07%	0.15%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	960	304	71	13	2	1	1,351	4.63	0.643	4.63	0.337
			71.06%	22.50%	5.26%	0.96%	0.15%	0.07%	100.00%				
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	953	302	80	14	1	1	1,351	4.62	0.652	4.62	0.296
		70.54%	22.35%	5.92%	1.04%	0.07%	0.07%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	926	318	84	17	3	3	1,351	4.59	0.685	4.59	0.352	
		68.54%	23.54%	6.22%	1.26%	0.22%	0.22%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	952	295	84	13	5	2	1,351	4.61	0.681	4.62	0.320	
		70.47%	21.84%	6.22%	0.96%	0.37%	0.15%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	906	335	84	15	5	6	1,351	4.58	0.693	4.57	0.331	
		67.06%	24.80%	6.22%	1.11%	0.37%	0.44%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 27.98%)	518	256	150	32	7	10	1,351	4.29	0.898	4.30	0.439	
		38.34%	18.95%	11.10%	2.37%	0.52%	0.74%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	947	305	72	9	4	14	1,351	4.63	0.646	4.62	0.359	
		70.10%	22.58%	5.33%	0.67%	0.30%	1.04%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	879	301	95	15	2	59	1,351	4.58	0.692	4.56	0.391
			65.06%	22.28%	7.03%	1.11%	0.15%	4.37%	100.00%				
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	863	307	98	17	5	61	1,351	4.56	0.725	4.55	0.397
			63.88%	22.72%	7.25%	1.26%	0.37%	4.52%	100.00%				
経済学部共通・ 経済・経営学科	20	私は授業に遅刻したことがない	559	195	115	57	80	345	1,351	4.09	1.267	4.00	0.643
			41.38%	14.43%	8.51%	4.22%	5.92%	25.54%	100.00%				
	21	高校で履修した数学科目	0	142	719	101	35	354	1,351	-	-	-	-
			0.00%	10.51%	53.22%	7.48%	2.59%	26.20%	100.00%				

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 経済学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q20	Q21
Q1	1														
Q2	.376(**)	1													
Q3	.153(**)	.546(**)	1												
Q4	.111(**)	.459(**)	.771(**)	1											
Q5	.144(**)	.447(**)	.566(**)	.588(**)	1										
Q6	.120(**)	.408(**)	.538(**)	.562(**)	.633(**)	1									
Q7	.104(**)	.473(**)	.711(**)	.714(**)	.683(**)	.648(**)	1								
Q8	.109(**)	.419(**)	.615(**)	.672(**)	.644(**)	.620(**)	.774(**)	1							
Q9	.148(**)	.534(**)	.684(**)	.622(**)	.615(**)	.554(**)	.715(**)	.639(**)	1						
Q10	.106(**)	.344(**)	.354(**)	.339(**)	.272(**)	.298(**)	.329(**)	.307(**)	.382(**)	1					
Q11	.155(**)	.534(**)	.718(**)	.700(**)	.707(**)	.640(**)	.821(**)	.727(**)	.771(**)	.359(**)	1				
Q12	.124(**)	.405(**)	.555(**)	.589(**)	.585(**)	.551(**)	.678(**)	.633(**)	.579(**)	.307(**)	.675(**)	1			
Q13	.141(**)	.421(**)	.584(**)	.583(**)	.589(**)	.550(**)	.681(**)	.616(**)	.582(**)	.304(**)	.684(**)	.756(**)	1		
Q20	.437(**)	.304(**)	.103(**)	.064(**)	.082(**)	.076(**)	.059(**)	.043(**)	.117(**)	.122(**)	.097(**)	.074(**)	.092(**)	1	
Q21	0.012	0.002	-0.02	-0.023	-0.021	-0.013	-0.021	-0.01	0.006	-0.030(*)	0.001	-0.012	-0.018	0.009	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

「上記の表において、Q20・Q21は、開設部門が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の科目の場合のみ回答する設問であることから、それ以外の設問と回答者数が異なります。」

相関係数表 部門名 経済学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q13	Q14	Q20	Q21
Q1	1														
Q2	.340(**)	1													
Q3	.166(**)	.521(**)	1												
Q4	.150(**)	.472(**)	.701(**)	1											
Q5	.112(**)	.429(**)	.482(**)	.506(**)	1										
Q6	.175(**)	.421(**)	.518(**)	.561(**)	.629(**)	1									
Q7	.119(**)	.408(**)	.602(**)	.625(**)	.651(**)	.638(**)	1								
Q8	.102(**)	.376(**)	.517(**)	.558(**)	.641(**)	.622(**)	.759(**)	1							
Q9	.134(**)	.456(**)	.502(**)	.471(**)	.554(**)	.510(**)	.605(**)	.546(**)	1						
Q10	.086(**)	.220(**)	.205(**)	.193(**)	.225(**)	.218(**)	.210(**)	.231(**)	.241(**)	1					
Q11	.161(**)	.481(**)	.559(**)	.588(**)	.674(**)	.616(**)	.721(**)	.675(**)	.686(**)	.243(**)	1				
Q12	.181(**)	.391(**)	.476(**)	.473(**)	.493(**)	.501(**)	.565(**)	.500(**)	.488(**)	.198(**)	.612(**)	1			
Q13	.136(**)	.423(**)	.468(**)	.441(**)	.587(**)	.499(**)	.580(**)	.537(**)	.531(**)	.245(**)	.637(**)	.665(**)	1		
Q20	.294(**)	.211(**)	.076(**)	.075(**)	.095(**)	.107(**)	.074(**)	.090(**)	.117(**)	.066(**)	.101(**)	.104(**)	.073(**)	1	
Q21	-0.038	0.009	0.02	0.025	0.013	-0.002	0.011	-0.031	0.027	-0.004	0.02	0.001	-0.014	-0.039	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

「上記の表において、Q20・Q21は、開設部門が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の科目の場合のみ回答する設問であることから、それ以外の設問と回答者数が異なります。」

【全員回答】

- Q1 私はこの授業によく出席している
- Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q3 この授業のレベルについて
- Q4 この授業を進める速さについて
- Q5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q10 この授業のシラバスは受講に役立った(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【開設部門が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の場合のみ回答】

- Q20 私は授業に遅刻したことがない
- Q21 高校で履修した数学科目(数・数・数、数・数、数のみ、その他)

第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 経済学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.46	0.939	4.46	0.336	4.45	0.954	4.46	0.306	4.43	0.973	4.39	0.364	4.42	0.969	4.36	0.368	4.34	1.061	4.35	0.402	
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.65	1.059	3.75	0.493	3.65	1.040	3.81	0.489	3.61	1.035	3.75	0.501	3.53	1.062	3.60	0.468	3.44	1.057	3.59	0.531	
	3	この授業のレベルは適切である	3.85	1.040	3.95	0.462	3.82	1.039	3.98	0.505	3.79	1.016	3.95	0.458	3.74	1.052	3.82	0.493	3.71	1.016	3.82	0.502	
	4	この授業を進める速さは適切である	3.88	1.053	4.03	0.454	3.84	1.084	4.03	0.503	3.82	1.026	4.02	0.472	3.75	1.082	3.89	0.503	3.73	1.043	3.87	0.491	
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.17	0.952	4.25	0.456	4.17	0.936	4.30	0.420	4.17	0.900	4.30	0.437	4.15	0.941	4.19	0.451	4.06	0.946	4.15	0.496	
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.04	0.997	4.19	0.415	4.00	1.008	4.21	0.441	4.05	0.956	4.24	0.438	3.97	0.984	4.08	0.446	3.91	0.993	4.05	0.476	
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.96	1.076	4.08	0.520	3.92	1.088	4.12	0.562	3.93	1.027	4.13	0.502	3.87	1.101	3.99	0.549	3.84	1.073	3.96	0.581	
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.04	1.021	4.15	0.446	3.97	1.046	4.16	0.503	3.97	1.010	4.14	0.456	3.92	1.049	4.05	0.486	3.90	1.024	4.03	0.496	
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3.86	1.096	4.00	0.539	3.88	1.096	4.09	0.538	3.82	1.069	4.07	0.526	3.81	1.098	3.97	0.533	3.78	1.077	3.93	0.558	
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.85	1.018	3.93	0.370	3.82	0.997	3.95	0.433	3.75	0.992	3.85	0.386	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価できる)	4.01	1.008	4.13	0.498	3.99	1.009	4.18	0.506	3.98	0.968	4.16	0.484	3.95	1.020	4.07	0.509	3.93	0.997	4.04	0.527	
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.96	1.064	4.05	0.463	3.89	1.082	4.06	0.522	3.92	1.030	4.04	0.469	3.84	1.084	3.90	0.529	3.80	1.082	3.89	0.528	
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.00	1.006	4.09	0.413	3.96	1.011	4.11	0.476	3.97	0.975	4.12	0.439	3.90	1.038	3.99	0.489	3.89	1.008	3.98	0.468	
「経済」 のみ	20	私は授業に遅刻したことがない	3.58	1.409	3.56	0.523	3.62	1.396	3.59	0.500	3.50	1.409	3.48	0.498	3.48	1.409	3.41	0.538	3.34	1.417	3.37	0.534	
	21	高校で履修した数学科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.97	0.640	2.93	0.225	2.95	0.653	2.91	0.253	

部門名 経済学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.84	0.466	4.80	0.303	4.80	0.556	4.75	0.317	4.75	0.631	4.74	0.302	4.79	0.563	4.75	0.319	4.78	0.605	4.75	0.343	
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.52	0.674	4.49	0.322	4.48	0.709	4.48	0.306	4.38	0.791	4.41	0.359	4.44	0.741	4.43	0.333	4.34	0.829	4.36	0.391	
	3	この授業のレベルは適切である	4.46	0.713	4.45	0.337	4.41	0.777	4.42	0.368	4.34	0.847	4.36	0.431	4.35	0.794	4.36	0.404	4.27	0.860	4.30	0.416	
	4	この授業を進める速さは適切である	4.51	0.699	4.51	0.309	4.49	0.715	4.49	0.317	4.41	0.795	4.45	0.379	4.44	0.724	4.45	0.339	4.32	0.851	4.33	0.421	
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.63	0.643	4.63	0.337	4.62	0.651	4.63	0.311	4.58	0.678	4.61	0.340	4.61	0.664	4.61	0.323	4.49	0.825	4.51	0.454	
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.62	0.652	4.62	0.296	4.60	0.648	4.60	0.280	4.54	0.686	4.57	0.283	4.55	0.708	4.56	0.300	4.46	0.802	4.47	0.396	
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.59	0.685	4.59	0.352	4.57	0.719	4.58	0.366	4.53	0.719	4.55	0.362	4.56	0.713	4.57	0.350	4.47	0.812	4.49	0.429	
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.61	0.681	4.62	0.320	4.60	0.701	4.62	0.352	4.55	0.693	4.58	0.325	4.59	0.669	4.60	0.320	4.51	0.780	4.51	0.418	
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.58	0.693	4.57	0.331	4.58	0.695	4.59	0.325	4.50	0.759	4.52	0.379	4.56	0.711	4.58	0.332	4.48	0.814	4.50	0.421	
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.29	0.898	4.30	0.439	4.32	0.869	4.33	0.470	4.20	0.934	4.23	0.458	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価できる)	4.63	0.646	4.62	0.359	4.62	0.656	4.63	0.339	4.55	0.700	4.57	0.379	4.60	0.658	4.61	0.338	4.52	0.772	4.54	0.421	
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が発表に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.58	0.692	4.56	0.391	4.53	0.747	4.54	0.379	4.50	0.760	4.50	0.404	4.52	0.731	4.53	0.359	4.46	0.798	4.43	0.448	
	15	教員は参加者が課題に取り組みの助けを くれた	4.56	0.725	4.55	0.397	4.54	0.734	4.57	0.380	4.50	0.772	4.51	0.395	4.53	0.717	4.55	0.342	4.48	0.776	4.47	0.434	
「経済」 のみ	20	私は授業に遅刻したことがない	4.09	1.267	4.00	0.643	4.10	1.281	4.00	0.661	3.97	1.323	3.96	0.597	3.93	1.333	3.87	0.585	3.98	1.305	3.89	0.730	
	21	高校で履修した数学科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	0.610	3.01	0.204	3.00	0.654	3.00	0.240	

III. 文 学 部

1. 集計データから分かること

はじめに実施状況と結果データの利用について触れておきたい。今回（2012年度）の実施率は97.35%であり、昨年とほぼ同じ水準であった。実際の回答者は、講義については7,215名（総履修者の60.32%）、演習については6,193名（同76.93%）、合計では13,408名（同67%）であった。講義ではほぼ昨年並みであったが、演習は102人（ほぼ1ポイント）の減少が見られた。この減少の理由について述べると、1ポイントの減少はさほど大きなものではないし、総履修者数が5名以下、また6名以上でもアンケート実施日の回答者が5名以下ならアンケートを行わないという規定と関係があるだろう。もともと個々の科目の履修者数が少ない演習でアンケートを実施せず、その結果、総履修者数にたいする回答者数が減ったことが要因のひとつになったと考えられる。

得られた結果は、各授業科目で、質問項目に対する選択肢別（「強くそう思う」を5、「全くそう思わない」を1などとしたもの）の回答者数、その割合、それを数値化した平均値を出し、さらにその全体の平均値を参考値として併せ示したものを授業担当教員にフィードバックした。

各教員および学科では、これを基本資料の一つとして、授業の改善に恒常的に取り組む態勢をとっている。ここでは、質問項目毎の学部全体の平均値（「科目ベース」）を、講義と演習という授業形態別に扱い、「授業評価アンケート」に表れた授業の姿を点検する。末尾には、「集計結果」、質問項目の「相関係数表」、「経年変化比較表」を示した。

集計結果については、多くの学生が「そう思う」あるいは「強くそう思う」と答え、肯定的な評価になっていること、すなわち評価の平均値が4.00を超えていることを一つの目安として点検していきたい。その点からみると、講義科目では<Q2 学生の意欲的取り組み>が3.74、<Q10 役に立つシラバス>が3.92、と2項目のみが4.0を昨年と同じく下回っている。演習科目では、昨年同様4.00を下回った質問項目は存在しなかった。

一方、講義科目では<Q1 出席>4.45 や<Q5 教員の熱意>4.36 をはじめとし、<Q8 話し方の適切さ>4.21、<Q9 好奇心の刺激、新しい見方の獲得>4.20、<Q11 総合的に高い評価>4.19 のように、残る全ての項目が4.00を超えた。昨年の数値と比べると、<Q2 学生の意欲的取り組み> が0.06ポイント上がっているのを除くと、その他はすべて昨年と同様か、最大0.03ポイント減少している。しかし増減の幅の小ささを考えると、そこに有意な変動を見出すことはできない。

また演習科目では、<Q1 出席>4.58、<Q5 教員の熱意>4.54 をはじめとし、<Q9 好奇心の刺激、新しい見方の獲得>4.40、<Q11 総合的に高い評価>4.46 など、全項目が4.00を超えていた。しかも微増ではあるが、そのほとんどが一昨年度、昨年度、今年度と数値

は年度を追って高くなってきている。

次に、4.00 を下回った講義の2つの項目について検討を加える。第1は、講義科目のQ2(質問項目名「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)」)の数値が3.74にとどまったことである。昨年度の3.68に比べると数字はごくわずか改善されているが、それは有意な変動とはいえない。この数値の低迷は、学生の意欲を掻き立てるべく教師の側がなんらかの対策をさらに行う余地のあることを示していよう。この報告書につけられた「授業の取り組み例」を見ると、教員側がさまざまに工夫をして授業を改善しようとしている努力が感じられるが、それがまだ十分実を結んでいないということであろうか。

しかし、当然のことながら、学生の熱意の薄さは、教師の側が行う授業改善のみで解決できない教育全体を覆う大きな問題である。ここではアンケートそのものが抱える問題を指摘するに止めよう。そもそもアンケートのほかの質問がすべて教師の授業運営の問題に向けられているのに対して、Q2のみが異質で、授業にたいする学生の取り組みを問うている。ある教育研究によれば(教員の個人的な経験からしてもそうだが)、授業に意欲的でない学生ほど教壇から離れた後ろの席に座ることが多く、さらにそうした学生は授業そのものに批判的な評価を下す傾向にあるという。とすれば、これが「笛吹けど踊らず」という状況をつくりだしているとも言えるし、また学生の意欲の問題が教師の授業運営の客観的評価を歪めているとも言える。この点に関しては、Q2のアンケートに「あまりそう思わない」・「全くそう思わない」と答えた学生が他の質問でどのような答え方をしているかを抽出し、それを全体的な数値と比較すると、興味深い結果が現れるのではないか。こうした分析の結果によっては、対策の新たな視野が開かれると思われる。

なお、数値の経年変化を見ると、3.47、3.37、3.53、3.61、3.68、3.68、3.74と推移しており、数値に若干の改善傾向が見られる。相関係数表からは、この項目と関連を持つ項目は見つからない。なお、「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)」という質問にたいして「強くそう思う」「そう思う」が57.29%にたいして、「どちらとも言えない」・「あまりそう思わない」・「全くそう思わない」と答えた学生の割合は合計約42.55%にのぼる。この数字は去年の43.99%と比べ、喜ぶほどではないにせよ、わずかながら改善している。しかしこの比較的大きな数値は、講義科目に対する学生の姿を映し出している点で、注目に値する。講義科目はおもに教師の語ることばを聴くということが中心になる授業の性格上、学生は受け身にならざるをえず、熱意を持ちにくい面を持つ。このことは演習科目の<Q2 学生の意欲的取り組み>の回答の結果(「強くそう思う」「そう思う」が87.20%、「どちらとも言えない」・「あまりそう思わない」・「全くそう思わない」が2.39%)と比較してみれば明らかである。ここから言えるのは、講義科目においても「質疑応答」「ミニレポートの提出」などを利用して学生の意欲を引き出すなど、工夫の余地があることである。またもうひとつは「少人数教育」の有効性である。演習のような「顔の見える」授業では学生の熱意はとうぜん上がる。したがって、講義科目・

演習科目ともに少人数化をさらに推し進める必要があるのではなかろうか。

第 2 に、<Q10 役に立つシラバス>の 3.92 についてである。この質問項目は前々回のアンケートではじめて設けられ、実際の項目名は「この授業のシラバスは受講に役立った（シラバスを読まなかった人は「0」をマークしてください）」とされた。この「0」をマークした学生は別に集計されており、講義科目で 29.81%、演習科目では 29.95% であって、昨年度の講義科目 28.50%、演習科目 29.93% より、ごくわずかではあるが増えている。

ここで注目すべきは、この項目で「あまりそう思わない」あるいは「全くそう思わない」と回答した学生の割合が、昨年度と比べると若干の増減はあるものの、講義科目で 4.39%、演習科目で 2.15% と低いことである。すなわち、シラバスを読んだ人の中では、明確にネガティブな回答をした学生が少ないのである。このことは、シラバス利用の指導が不足していたことを窺わせる。しかし一方、「読まなかった人」の割合に、「全くそう思わない」から「どちらとも言えない」までの割合を加えると、講義科目で 53.30%、演習科目で 45.49% にのぼる。いずれもおよそ半数の学生が、シラバス利用の必要性または有用性を感じていないか、それに無関心であることがわかる。もっとも学生の側からすれば、自分の専門分野との関係で、授業を選ぶ際に選択肢がかなり限られてしまうか、特定の科目をとらざるをえず、シラバスを読む必要があまりないということもあるだろう。またシラバスに書かれた客観的な内容とは別に、上級生や同級生などの経験や評判を重視する傾向も否定出来ない。とはいえ、上記の数字には改善すべき課題が潜んでいることは否定できない。なお相関係数表からは、この項目と関連を持つ他の項目は見つからない。

以上の検討から、問題点としては、講義科目における学生のやや消極的な姿と、講義科目・演習科目の両方におけるシラバスの利用と有用性に関する課題が見えた。しかし一方、このアンケート全 28 項目（講義科目 13 項目、演習科目 15 項目）のうち、先に触れた 2 項目を除いた 26 項目において、多くの学生が「そう思う」あるいは「強くそう思う」と回答し、すなわち良好であると評価していた。4.0 を上回った 26 の質問項目において、講義科目では 13 項目中 10 項目の評価が減少した。しかし、その差は 0.01 0.03 ポイントのうちにあり、通常の変動の範囲に収まっている。また演習科目では、15 項目中、Q1（「私は授業によく出席している」）のみが 0.03 ポイント減少している。この全般的な上昇は評価すべきだが、14 項目の増加分 0.03 0.09 ポイントと同様、あまり有意な変化とはいええない。以上の数字から、文学部の授業科目は全般に、安定的に良好な評価を得ていると言うことができる。

2. 今後の取り組みについて

本年度のアンケート実施率は昨年度とほぼ同じ数値であった。学生の目に映った授業の

第2章 各部門の評価・分析

有り様を数値で把握する本アンケートは、上記のように授業の実施と成果について一通りの点検ができる点で、一定の有効性をもつ。今後とも継続的に実施の意義について確認し、実施率を維持していくことが求められよう。

一方、既にほとんどの項目で多くの学生が「そう思う」あるいは「強くそう思う」と表明している中で、数値を上昇させるための方策を追い求めて事足りりとしてしまえば、研究教育の実質を踏み外してしまうことにもなりかねない。多角的な点検・評価方法（例えば、成果事項の意識的な把握・公表や、外部の標準・指針・試験の活用等）により材料を集積しながら、立体的に、またやや長い時間の中で授業を見つめ、磨き上げていくことが必要ではないだろうか。

今回の点検では、新たにシラバスの利用と有用性に関する課題の存在が浮かび上がった。3年目だということもあり、必ずしもその問題を具体的に掴むには至っていないが、他の様々な授業システムに関連する可能性もある。その背景事情等を丁寧に検討し、授業改善のヒントとする必要がある。

なお、文学部では、2012年12月11日の教授会終了後、2011年度の「授業評価アンケート」結果を踏まえて、そこで明らかになった問題点とその解決策、ならびに授業改善への取り組みについて1時間ほどの意見交換と討議を行った。この討議の結果が2013年度以降の授業の改善に反映されることを期待したい。

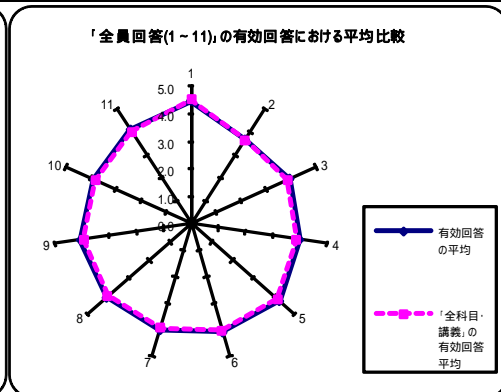
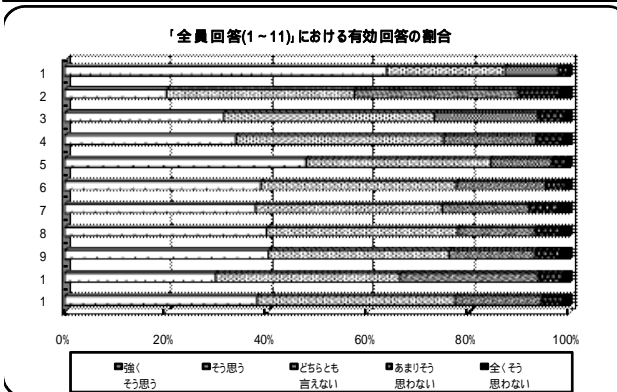
学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 文学部

形態名 講義

	合計	総履修者数	回収率
回収数	7,215	11,962	60.32%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4,591	1,688	753	126	45	12	7,215	4.48	0.799	4.45	0.268
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,455	2,678	2,332	568	170	12	7,215	3.65	0.965	3.74	0.405
	3	この授業のレベルは適切である	2,267	2,998	1,473	360	98	19	7,215	3.97	0.917	4.04	0.395
	4	この授業を進める速さは適切である	2,440	2,953	1,311	380	107	24	7,215	4.01	0.931	4.10	0.427
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3,439	2,630	862	199	67	18	7,215	4.27	0.847	4.36	0.374
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	2,796	2,781	1,269	270	78	21	7,215	4.10	0.896	4.20	0.364
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	2,719	2,659	1,226	403	187	21	7,215	4.02	1.003	4.14	0.499
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	2,876	2,724	1,098	339	160	18	7,215	4.09	0.966	4.21	0.468
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものが見方が得られたりした	2,890	2,563	1,225	341	154	42	7,215	4.07	0.976	4.20	0.439
	10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 29.81%)	1,506	1,838	1,378	229	88	25	7,215	3.88	0.947	3.92	0.384
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,721	2,799	1,217	285	119	74	7,215	4.08	0.924	4.19	0.459
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	2,377	2,602	1,408	510	179	139	7,215	3.92	1.022	4.00	0.506
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	2,697	2,685	1,226	303	148	156	7,215	4.06	0.955	4.16	0.467



第2章 各部門の評価・分析

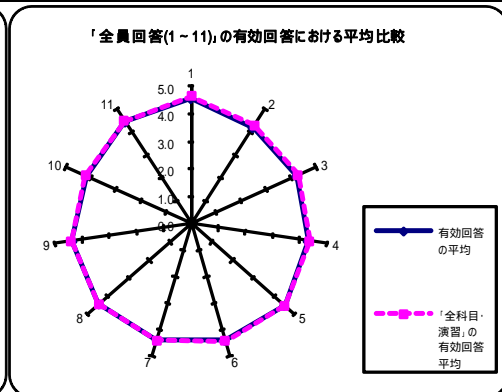
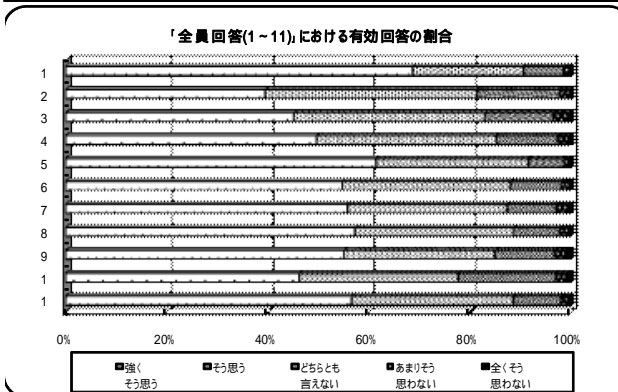
学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 文学部

形態名 演習

	合計	総履修者数	回収率
回収数	6,193	8,050	76.93%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	科目ベース			
			5	4	3	2	1	学生回答 単純集計 平均		学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						無回答
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4,245	1,356	489	80	14	9	6,193	4.57	0.712	4.56	0.310
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	2,443	2,589	1,002	125	23	11	6,193	4.18	0.799	4.22	0.334
	3	この授業のレベルは適切である	2,790	2,335	837	181	40	10	6,193	4.24	0.840	4.27	0.347
	4	この授業を進める速さは適切である	3,069	2,199	749	131	34	11	6,193	4.32	0.807	4.35	0.345
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3,797	1,859	439	62	23	13	6,193	4.51	0.705	4.54	0.325
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3,383	2,058	617	94	28	13	6,193	4.40	0.766	4.44	0.317
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3,447	1,953	594	140	47	12	6,193	4.39	0.811	4.44	0.371
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3,533	1,939	552	113	35	21	6,193	4.43	0.776	4.47	0.342
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3,392	1,838	723	137	70	33	6,193	4.35	0.856	4.40	0.385
	10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 29.95%)	1,994	1,356	829	85	48	26	6,193	4.20	0.892	4.21	0.396
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3,463	1,959	567	87	43	74	6,193	4.42	0.774	4.46	0.372
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	3,329	1,861	647	128	38	190	6,193	4.39	0.810	4.45	0.369
	15	教員は参加者が課題に取り組みのを助けた	3,433	1,830	577	109	45	199	6,193	4.42	0.797	4.47	0.335
			55.43%	29.55%	9.32%	1.76%	0.73%	3.21%	100.00%				



相関係数表 部門名 文学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.294(**)	1											
Q3	.122(**)	.535(**)	1										
Q4	.079(**)	.435(**)	.742(**)	1									
Q5	.116(**)	.388(**)	.539(**)	.582(**)	1								
Q6	.109(**)	.409(**)	.535(**)	.564(**)	.624(**)	1							
Q7	.055(**)	.445(**)	.713(**)	.705(**)	.627(**)	.627(**)	1						
Q8	.056(**)	.383(**)	.624(**)	.703(**)	.604(**)	.593(**)	.759(**)	1					
Q9	.107(**)	.506(**)	.633(**)	.583(**)	.604(**)	.548(**)	.686(**)	.626(**)	1				
Q10	0.015	.280(**)	.315(**)	.308(**)	.262(**)	.273(**)	.317(**)	.292(**)	.341(**)	1			
Q11	.104(**)	.516(**)	.706(**)	.692(**)	.683(**)	.635(**)	.806(**)	.718(**)	.770(**)	.340(**)	1		
Q12	.062(**)	.386(**)	.573(**)	.621(**)	.534(**)	.552(**)	.684(**)	.645(**)	.552(**)	.281(**)	.667(**)	1	
Q13	.086(**)	.404(**)	.608(**)	.623(**)	.551(**)	.553(**)	.690(**)	.639(**)	.584(**)	.295(**)	.692(**)	.729(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 文学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.381(**)	1											
Q3	.178(**)	.539(**)	1										
Q4	.147(**)	.467(**)	.739(**)	1									
Q5	.144(**)	.408(**)	.545(**)	.625(**)	1								
Q6	.136(**)	.413(**)	.514(**)	.584(**)	.658(**)	1							
Q7	.106(**)	.428(**)	.641(**)	.697(**)	.684(**)	.668(**)	1						
Q8	.101(**)	.389(**)	.589(**)	.671(**)	.631(**)	.630(**)	.772(**)	1					
Q9	.139(**)	.472(**)	.575(**)	.574(**)	.603(**)	.544(**)	.656(**)	.631(**)	1				
Q10	0.013	.209(**)	.273(**)	.263(**)	.238(**)	.239(**)	.269(**)	.258(**)	.324(**)	1			
Q11	.140(**)	.470(**)	.645(**)	.690(**)	.709(**)	.654(**)	.781(**)	.717(**)	.730(**)	.296(**)	1		
Q14	.140(**)	.411(**)	.496(**)	.552(**)	.577(**)	.570(**)	.607(**)	.578(**)	.552(**)	.238(**)	.633(**)	1	
Q15	.131(**)	.418(**)	.524(**)	.557(**)	.607(**)	.593(**)	.657(**)	.602(**)	.581(**)	.245(**)	.672(**)	.731(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q10 この授業のシラバスは受講に役立った(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 文学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2011年度				2010年度				2009年度				2008年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
'全員' 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.48	0.799	4.45	0.268	4.51	0.811	4.45	0.258	4.43	0.870	4.40	0.303	4.37	0.916	4.38	0.345	4.39	0.915	4.38	0.312
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.65	0.965	3.74	0.405	3.63	0.962	3.68	0.369	3.60	0.974	3.68	0.386	3.53	0.974	3.61	0.355	3.44	0.886	3.53	0.413
	3	この授業のレベルは適切である	3.97	0.917	4.04	0.395	3.98	0.901	4.04	0.359	3.94	0.929	4.03	0.387	3.90	0.916	3.96	0.342	3.80	0.949	3.82	0.410
	4	この授業を進める速さは適切である	4.01	0.931	4.10	0.427	4.03	0.897	4.12	0.347	3.98	0.952	4.08	0.429	3.97	0.911	4.03	0.359	3.87	0.948	3.93	0.406
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.27	0.847	4.36	0.374	4.31	0.822	4.38	0.354	4.34	0.802	4.39	0.345	4.29	0.819	4.34	0.322	4.27	0.839	4.33	0.372
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.10	0.896	4.20	0.364	4.11	0.878	4.21	0.331	4.11	0.880	4.19	0.326	4.05	0.893	4.11	0.335	4.00	0.908	4.07	0.362
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.02	1.003	4.14	0.499	4.07	0.957	4.17	0.413	4.03	0.991	4.14	0.444	3.99	0.989	4.07	0.409	3.91	1.027	3.97	0.472
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.09	0.966	4.21	0.468	4.11	0.935	4.22	0.400	4.06	0.986	4.18	0.453	4.07	0.940	4.13	0.404	3.99	0.987	4.07	0.456
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.07	0.976	4.20	0.439	4.11	0.930	4.21	0.374	4.10	0.953	4.20	0.398	4.09	0.933	4.19	0.372	4.04	0.978	4.12	0.419
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.88	0.947	3.92	0.384	3.88	0.930	3.94	0.342	3.83	0.937	3.88	0.369	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価)できる	4.08	0.924	4.19	0.459	4.13	0.877	4.21	0.382	4.10	0.908	4.20	0.401	4.10	0.893	4.18	0.371	4.04	0.939	4.10	0.438
'講義' '語学' のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.92	1.022	4.00	0.506	3.96	0.991	4.05	0.434	3.82	1.074	3.94	0.508	3.81	1.044	3.89	0.481	3.70	1.084	3.78	0.528
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.06	0.955	4.16	0.467	4.11	0.891	4.18	0.382	4.03	0.963	4.12	0.427	4.00	0.941	4.08	0.411	3.95	0.957	4.01	0.432

部門名 文学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2011年度				2010年度				2009年度				2008年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
'全員' 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.57	0.712	4.56	0.310	4.61	0.679	4.59	0.274	4.57	0.725	4.55	0.304	4.58	0.701	4.58	0.301	4.56	0.747	4.54	0.284
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.18	0.799	4.22	0.334	4.15	0.826	4.17	0.321	4.11	0.839	4.13	0.344	4.07	0.846	4.09	0.352	4.01	0.882	4.04	0.371
	3	この授業のレベルは適切である	4.24	0.840	4.27	0.347	4.21	0.845	4.23	0.356	4.18	0.845	4.21	0.374	4.14	0.859	4.16	0.363	4.02	0.925	4.05	0.414
	4	この授業を進める速さは適切である	4.32	0.807	4.35	0.345	4.26	0.840	4.29	0.369	4.22	0.859	4.25	0.393	4.20	0.845	4.23	0.373	4.10	0.905	4.14	0.401
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.51	0.705	4.54	0.325	4.48	0.723	4.51	0.323	4.47	0.721	4.50	0.345	4.48	0.699	4.51	0.312	4.42	0.769	4.46	0.366
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.40	0.766	4.44	0.317	4.37	0.793	4.40	0.318	4.34	0.797	4.38	0.343	4.34	0.780	4.37	0.324	4.27	0.838	4.33	0.356
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.39	0.811	4.44	0.371	4.36	0.814	4.41	0.394	4.33	0.842	4.36	0.425	4.31	0.832	4.34	0.394	4.22	0.908	4.29	0.461
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.43	0.776	4.47	0.342	4.40	0.805	4.44	0.375	4.38	0.800	4.41	0.391	4.36	0.802	4.38	0.384	4.27	0.864	4.33	0.415
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.35	0.856	4.40	0.385	4.32	0.849	4.36	0.373	4.33	0.826	4.36	0.376	4.32	0.827	4.34	0.389	4.24	0.898	4.31	0.445
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.20	0.892	4.21	0.396	4.12	0.885	4.12	0.383	4.05	0.907	4.06	0.401	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価)できる	4.42	0.774	4.46	0.372	4.39	0.777	4.43	0.361	4.36	0.781	4.39	0.384	4.38	0.765	4.41	0.363	4.29	0.841	4.35	0.419
'演習' '語学' のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.39	0.810	4.45	0.369	4.38	0.795	4.42	0.362	4.35	0.809	4.39	0.386	4.32	0.814	4.36	0.373	4.20	0.883	4.27	0.433
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.42	0.797	4.47	0.335	4.39	0.801	4.43	0.370	4.35	0.820	4.38	0.387	4.33	0.808	4.37	0.365	4.24	0.855	4.30	0.406

. 理 学 部

1. 集計データからわかること

理学部では、平成21年度に生命科学科が開設され、物理学科、化学科、数学科と合わせて4学科体制となった。平成24年度は生命科学科が開設されて4年目となり、開設年度に入学した第1期生が卒業生となった。

講義

- 回答率は54.60%であり、昨年度の54.53%と比較して微増ではあるが、過去5年で最も高い数字であった。
- 学生の「出席状況」は良好であり、93.15%の学生が出席率80%以上と回答した。経年変化をみると、回答者ベースで4.73、科目ベースで4.69という平成24年度の平均値は、過去5年で最も高い数字となった平成23年度と全く同じ数字であった。一方、標準偏差を見ると、平成24年度は回答者ベースの標準偏差が0.673、科目ベースの標準偏差が0.251であり、これらの数字は、平成23年度の回答者ベースの標準偏差0.666、科目ベースの標準偏差0.222と比較すると、若干分布が広がっている。回答率が微増であったことを考慮すると、授業に出席する学生は引き続き増加傾向にあり、さらに、回答した学生の出席率は非常に高いことがわかる。
- 授業に対する取り組みでは、58.84%の学生が意欲的に取り組んでいると回答している。過去5年と比較すると、平成24年度の平均値は、回答者ベースでも科目ベースでも最も高い値であった。理学部の講義科目は、初学者にとっては難解な概念を教員が説明するという受け身の授業になりがちであることを考慮すると、意欲的に取り組む学生の割合は高く、また、経年変化でも意欲的に取り組む学生が増えていることは、授業改善の効果と考えられる。
- 授業のレベル、進める速さが適切である（「強くそう思う」、「そう思う」）と回答した学生は、各々57.71%、60.18%であった。平成23年度はそれぞれ53.8%、56.77%であったので、増加している。一方、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」と回答した学生は、授業のレベルについては14.76%、進める速さについては13.82%であり、これらを平成23年度の数字である16.38%、15.31%と比較すると、いずれも減少している。このように、授業のレベル、進める速さを適切と回答した学生が増加し、そう思わない学生が減少したことは、授業評価アンケートの結果が教員にフィードバックされることにより改善が実現されたものと考えられる。平均値でも、平成24年度の結果は過去5年間でもっと高い数字となっており、着実な改善がみられる。
- 「教員は理解しやすい授業を行っている」との設問においても、62.75%の学生が「強

くそう思う」または「そう思う」と回答し、13.41%の学生が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」と回答している。これらの平成23年度の数字は、58.48%と15.38%であったので、学生にとって理解しやすい授業が増えたことが分かる。平均値の経年変化を見ても、平成24年度の平均値は過去5年で最も高い結果であり、着実な改善がみられる。一方で、およそ8人に1人の学生は授業を理解しにくいと感じていることが伺える。理学部の講義科目は積み上げ式の内容のものが多く、例えば1年生の学習内容を理解していないと2年生の科目が理解できないということが起こる。このような状況において、理解しにくいと感じる学生を減らすことは容易なことではないと考えられるが、着実な改善がみられることは、少人数教育の下できめの細かい授業を実施する不断の努力が行われている顕れであろう。

- 「教員の熱意を感じるか」という質問には、77.61%の学生が「強くそう思う」または「そう思う」と回答し、「あまりそう思わない」または「全くそう思わない」という回答者の割合は5.28%であった。平成23年度の数字は、73.75%と6.05%であったので、教員の熱意を感じる学生が増加した。平均値の経年変化で見ても、平成24年度は過去5年で最も高い数字となった。
- 「教員による良好な学習環境の維持」、「教員の話し方」、「板書・スライドの提示の仕方」、「教材の適切性」については、6割以上の学生が「強くそう思う」または「そう思う」と回答している（それぞれの項目の数字は、68.32%、66.55%、65.54%、65.58%であり、平成23年度の66.19%、63.21%、61.22%、61.18%と比べるといずれの項目とも改善がみられる）。一方で、1割程度の学生が「あまりそう思わない」または「全くそう思わない」と回答している（それぞれの項目の数字は、7.9%、12.12%、12.47%、8.5%であり、やはり、平成23年度の8.38%、13.05%、12.63%、9.11%と比べ、いずれの項目とも改善がみられる）。
- 「知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られた」という項目についても、過去5年間で最も高い平均値となっており、着実な改善を示している。
- シラバスについては、50.11%が読まなかったと回答しているが、役に立たなかったという回答（「あまりそう思わない」または「全くそう思わない」）は3.62%であり、読めば役に立つという評価を得ているといえる。
- 総合的に見て高く評価できるかという質問に対しては、66.18%の学生が「強くそう思う」または「そう思う」と回答し、9.25%の学生が「あまりそう思わない」または「全くそう思わない」と回答している。昨年度のこれらの数字は、63.25%と9.95%であり、高い評価の学生が増加し、低い評価の学生が減少した。平均値で見ると、平成24年度は過去5年間で最も高い評価となった。一方、標準偏差については、いずれも僅かではあるが回答者ベースでは減少し、科目ベースでは増加した。相関係数表をみると、この「総合的な評価」は質問番号3~9の回答と高い相関があり、最も相関係数が大きいのは、質問番号7の「教員は理解しやすい授業を行っている」である。また、相関

係数表の中で最も相関係数が大きいのは、質問番号7と質問番号8の教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)の適切さである。

演習

- 回収率は65.82%であり、昨年度の64.75%と比較して、微増となった。
- 学生の「出席状況」は非常に良好であり、88.35%の学生が90%以上の出席率、80%以上の出席率の学生は96.05%であった。70%未満の出席率と回答した学生の割合は1.07%である。平均値の経年変化を見ると、回答者ベースの平均、科目ベースの平均ともに、過去5年で最も高い数字となった(回答者ベースで4.83、科目ベースで4.78)。また、標準偏差を見ても、平成24年度は回答者ベースの標準偏差が0.538、科目ベースの標準偏差が0.234と過去5年で最も小さくなった。すなわち、出席率が上昇し、出席率のばらつきも小さくなった。
- 約8割の学生が、教員の熱意や教員による課題参加への助力を感じ、意欲的に演習に取り組んでいる。

教員の熱意が感じられる：「強くそう思う」が80.39%、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」が3.01%。平成23年度は、74.02%と5.89%であったので、熱意を感じる学生が増加している。

教員による課題参加への助力：83.37%が「強くそう思う」、「そう思う」2.57%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。平成23年度は、69.76%と5.39%であったので、適切だと思う学生が大きく増加した。

意欲的な取り組み：79.59%が「強くそう思う」、「そう思う」3.76%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。平成23年度は、74.8%と5.89%であったので、意欲的に取り組む学生が増加した。

- 授業のレベル、進度は約7割の学生が適切と評価し、ついていけないと感じている学生は数%以下。

授業のレベルは適切である：「強くそう思う」、「そう思う」が70.68%、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」が6.02%。平成23年度は、65.9%と9.43%であったので、適切だと思う学生が増加した。

授業を進める速さの適切さ：「強くそう思う」、「そう思う」が72.7%、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」が4.7%。平成23年度は、64.99%と7.98%であったので、この項目においても適切だと思う学生が増加した。

- 良好な学習環境の維持、理解しやすい授業、話し方、知的好奇心の喚起、発言・議論の喚起についてもおよそ4分の3の学生から高い評価。

教員による良好な学習環境の維持：「強くそう思う」、「そう思う」が74.89%、「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」が5.84%。平成23年度は、それぞれ69.74%と7.79%であった。

第2章 各部門の評価・分析

理解しやすい授業：73.73%が「強くそう思う」、「そう思う」、4.96%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。平成23年度は、それぞれ67.15%と8.25%であった。

教員の話し方：75.67%が「強くそう思う」、「そう思う」、4.14%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。平成23年度は、それぞれ69.96%と6.28%であった。

知的好奇心の喚起：73%が「強くそう思う」、「そう思う」、4.91%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。平成23年度は、それぞれ61.78%と7.47%であり、肯定的な学生が10%以上増加している。

教員による参加者の発言・議論の喚起：73.89%が「強くそう思う」、「そう思う」、4.05%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。平成23年度は、それぞれ65.85%と7.2%であり、この項目においても肯定的な学生が増加。

- 総合評価では、70%以上の学生が授業を高く評価し、6%程度の学生が低く評価している。

総合的な評価：77.55%が「強くそう思う」、「そう思う」、3.85%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」。平成23年度は、それぞれ71.92%と6.09%であり、総合評価においても昨年度に比べて肯定的な学生が増加した。

- 平均値を見ても、平成24年度は平成23年度と比較して全て項目で改善がみられた。特に平均値の上昇がみられた項目を回答者ベースの平均であげると、授業を進める速さの適切さ(3.84 4.03)、授業に対する教員の熱意(4.06 4.21)、理解しやすい授業の実施(3.88 4.06)、活発な発言や議論(3.87 4.07)、課題への助力(4.08 4.27)であり、これらは教員の授業改善を反映する項目であり、その結果として、総合的な評価も3.99から4.13に平均値が上昇した。また、過去5年間と比較しても、平成24年度は13項目全てにおいて最も高い平均値となった。

2. 今後の授業改善に向けて

講義科目の2012年度の授業評価アンケートの平均値は、ほぼ全ての項目で過去5年間の最高点であった。唯一の例外は「板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である」の科目ベースの平均点であり、2011年度の平均点が3.84であったのに対し、2012年度の平均点は3.83となり、ごく僅かではあるが低下した。同じ項目の回答者ベースの平均点は、2011年度の3.76から、2012年度の3.79に上昇しているため、一部の科目の評価が低下したと推測される。しかし、同じ担当者の板書やスライドの評価が1年経過して低下することは通常は考えづらいので、この変化の原因は、教室に備え付けの黒板やプロジェクターの質の低下と考える方が自然である。実際、2012年度は、建物の耐震改修等の影響で2011年度とは異なる教室で行われた講義科目があり、移動後の教室の備品の質の低下が平均点の低下を招いたことが疑われる。この観点からは、2013年度も

教室が変更になった科目が多数あり、しかも、新規に使用を開始した南1号館は黒板が劣悪な教室が多く、その悪影響が出るのが懸念される。今後の講義科目の改善に向けて、教室の環境改善についても尽力する必要がある。

演習科目については、上で述べたように、2012年度の平均点は、全ての項目について過去5年間で最も高い数字となった。2011年度と比較すると、明らかな改善がみられる項目が多く、出席率も向上しており、担当者のより良い授業に向けた尽力の賜物であり、また、ファカルティディベロップメント活動の効果がでたものと考えられる。

全体として、2012年度授業評価アンケートの結果は、授業改善に向けた地道な活動が継続的に行われていることを示すものであったといえる。一部に教室環境の悪化が懸念される結果があるなど、今後とも改善すべき事柄は多くあるものと考えられ、より良い教育の実現に向けた継続的な取り組みを行っていきたい。

第2章 各部門の評価・分析

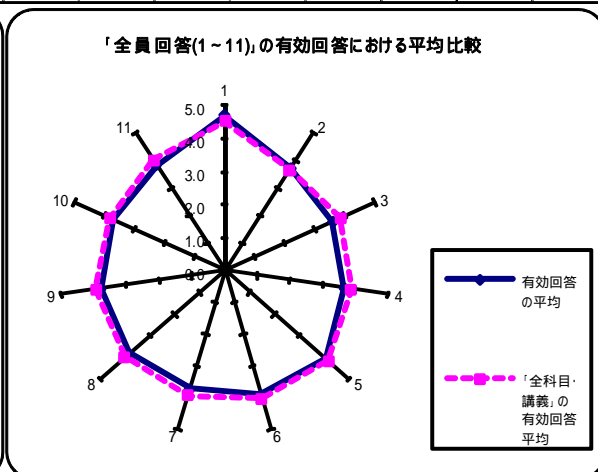
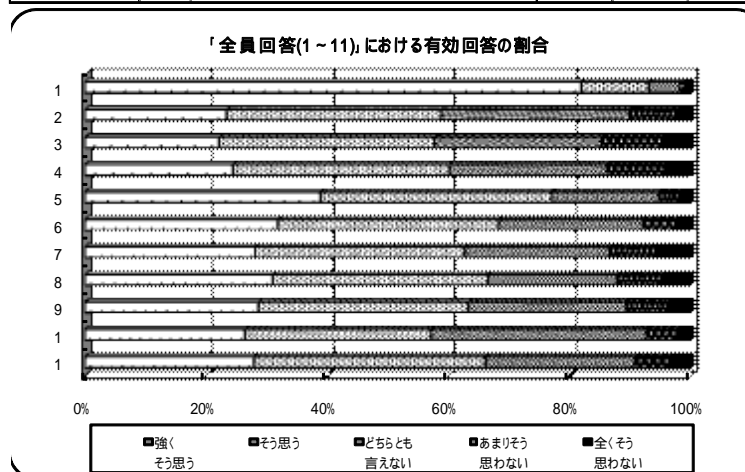
学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 理学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	4,882	8,942	54.60%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース			
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちら とも言 えない	2 あまり そう 思わ ない	1 全く そう 思わ ない			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	3,996	546	248	48	38	6	4,882	4.73	0.673	4.69	0.251
			81.85%	11.18%	5.08%	0.98%	0.78%	0.12%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,139	1,726	1,512	371	121	13	4,882				
			23.33%	35.35%	30.97%	7.60%	2.48%	0.27%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	1,078	1,729	1,339	489	229	18	4,882				
			22.08%	35.42%	27.43%	10.02%	4.69%	0.37%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	1,190	1,738	1,265	463	209	17	4,882				
			24.38%	35.60%	25.91%	9.48%	4.28%	0.35%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,893	1,861	854	158	99	17	4,882				
			38.78%	38.12%	17.49%	3.24%	2.03%	0.35%	100.00%				
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	1,552	1,775	1,158	264	121	12	4,882				
		31.79%	36.36%	23.72%	5.41%	2.48%	0.25%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	1,369	1,686	1,160	368	285	14	4,882					
		28.04%	34.54%	23.76%	7.54%	5.84%	0.29%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	1,512	1,727	1,038	347	243	15	4,882					
		30.97%	35.37%	21.26%	7.11%	4.98%	0.31%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	1,390	1,680	1,263	328	189	32	4,882					
		28.47%	34.41%	25.87%	6.72%	3.87%	0.66%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 49.84%)	641	743	862	118	58	27	4,882					
		13.13%	15.22%	17.66%	2.42%	1.19%	0.55%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,353	1,852	1,190	279	169	39	4,882					
		27.71%	37.94%	24.38%	5.71%	3.46%	0.80%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,447	1,637	1,035	368	219	176	4,882	3.79	1.103	3.83	0.570
			29.64%	33.53%	21.20%	7.54%	4.49%	3.61%	100.00%				
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	1,405	1,676	1,218	269	130	184	4,882	3.84	1.006	3.87	0.439
		28.78%	34.33%	24.95%	5.51%	2.66%	3.77%	100.00%					



学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 集計結果

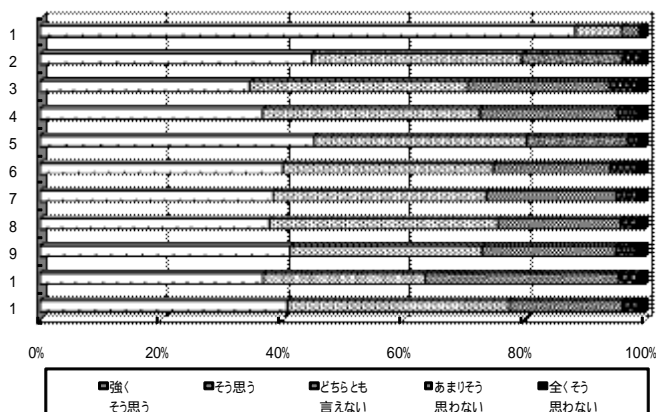
部門名 理学部

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,600	2,431	65.82%

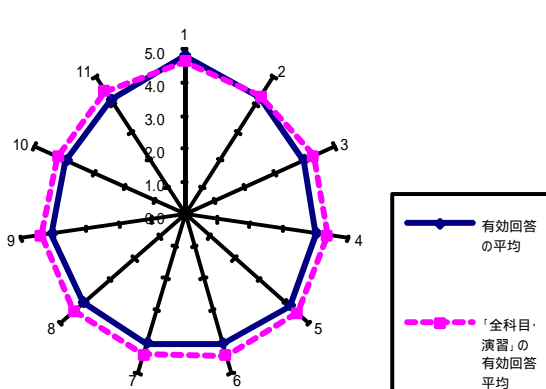
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース			
			5 強く 思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	1,411	123	46	10	7	3	1,600	4.83	0.538	4.78	0.234
			88.19%	7.69%	2.88%	0.63%	0.44%	0.19%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	717	554	266	44	16	3	1,600	4.20	0.882	4.13	0.406
			44.81%	34.63%	16.63%	2.75%	1.00%	0.19%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	553	575	372	71	25	4	1,600	3.98	0.948	3.92	0.371
			34.56%	35.94%	23.25%	4.44%	1.56%	0.25%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	588	573	361	52	23	3	1,600	4.03	0.924	3.99	0.385
			36.75%	35.81%	22.56%	3.25%	1.44%	0.19%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	723	560	265	29	19	4	1,600	4.21	0.868	4.18	0.358
			45.19%	35.00%	16.56%	1.81%	1.19%	0.25%	100.00%				
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	640	553	307	67	26	7	1,600	4.08	0.951	4.02	0.440
		40.00%	34.56%	19.19%	4.19%	1.63%	0.44%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	615	561	340	54	25	5	1,600	4.06	0.934	4.02	0.425	
		38.44%	35.06%	21.25%	3.38%	1.56%	0.31%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	605	602	322	40	26	5	1,600	4.08	0.907	4.05	0.401	
		37.81%	37.63%	20.13%	2.50%	1.63%	0.31%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	656	504	351	50	28	11	1,600	4.08	0.955	4.02	0.443	
		41.00%	31.50%	21.94%	3.13%	1.75%	0.69%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 49.50%)	294	214	255	24	11	10	1,600	3.95	0.965	3.91	0.362	
		18.38%	13.38%	15.94%	1.50%	0.69%	0.63%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	649	581	295	39	22	14	1,600	4.13	0.895	4.08	0.408	
		40.56%	36.31%	18.44%	2.44%	1.38%	0.88%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	589	529	331	40	24	87	1,600	4.07	0.923	4.07	0.362
			36.81%	33.06%	20.69%	2.50%	1.50%	5.44%	100.00%				
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	714	555	205	22	17	87	1,600	4.27	0.832	4.25	0.302
			44.63%	34.69%	12.81%	1.38%	1.06%	5.44%	100.00%				

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



第2章 各部門の評価・分析

相関係数表 部門名 理学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.259(**)	1											
Q3	.106(**)	.542(**)	1										
Q4	.074(**)	.453(**)	.772(**)	1									
Q5	.123(**)	.408(**)	.511(**)	.569(**)	1								
Q6	.111(**)	.429(**)	.512(**)	.562(**)	.626(**)	1							
Q7	.073(**)	.472(**)	.731(**)	.760(**)	.622(**)	.630(**)	1						
Q8	.083(**)	.423(**)	.623(**)	.721(**)	.618(**)	.607(**)	.795(**)	1					
Q9	.099(**)	.516(**)	.631(**)	.616(**)	.601(**)	.564(**)	.681(**)	.648(**)	1				
Q10	0	.282(**)	.319(**)	.290(**)	.224(**)	.250(**)	.297(**)	.258(**)	.327(**)	1			
Q11	.117(**)	.526(**)	.727(**)	.737(**)	.679(**)	.643(**)	.826(**)	.757(**)	.755(**)	.312(**)	1		
Q12	.091(**)	.440(**)	.574(**)	.659(**)	.567(**)	.562(**)	.719(**)	.719(**)	.586(**)	.248(**)	.726(**)	1	
Q13	.094(**)	.408(**)	.591(**)	.603(**)	.538(**)	.537(**)	.639(**)	.597(**)	.575(**)	.254(**)	.664(**)	.705(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 理学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.366(**)	1											
Q3	.174(**)	.561(**)	1										
Q4	.191(**)	.547(**)	.772(**)	1									
Q5	.220(**)	.503(**)	.587(**)	.642(**)	1								
Q6	.268(**)	.561(**)	.576(**)	.634(**)	.684(**)	1							
Q7	.196(**)	.520(**)	.654(**)	.708(**)	.702(**)	.740(**)	1						
Q8	.214(**)	.509(**)	.595(**)	.665(**)	.668(**)	.688(**)	.800(**)	1					
Q9	.264(**)	.583(**)	.596(**)	.595(**)	.656(**)	.659(**)	.685(**)	.662(**)	1				
Q10	0.025	.197(**)	.269(**)	.266(**)	.221(**)	.233(**)	.251(**)	.261(**)	.267(**)	1			
Q11	.260(**)	.579(**)	.682(**)	.729(**)	.706(**)	.701(**)	.767(**)	.733(**)	.752(**)	.256(**)	1		
Q14	.151(**)	.438(**)	.493(**)	.528(**)	.568(**)	.572(**)	.606(**)	.556(**)	.542(**)	.205(**)	.583(**)	1	
Q15	.191(**)	.464(**)	.527(**)	.578(**)	.641(**)	.582(**)	.630(**)	.605(**)	.603(**)	.181(**)	.663(**)	.678(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業のシラバスは受講に役立った(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 理学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2011年度				2010年度				2009年度				2008年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差
'全員' 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.73	0.673	4.69	0.251	4.73	0.666	4.69	0.222	4.67	0.742	4.63	0.265	4.64	0.758	4.60	0.252	4.54	0.881	4.53	0.287
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.70	0.990	3.70	0.352	3.64	1.027	3.65	0.385	3.60	1.024	3.61	0.333	3.50	1.028	3.52	0.334	3.47	1.017	3.50	0.381
	3	この授業のレベルは適切である	3.60	1.080	3.63	0.523	3.54	1.103	3.62	0.508	3.52	1.109	3.56	0.482	3.41	1.128	3.44	0.504	3.43	1.096	3.45	0.507
	4	この授業を進める速さは適切である	3.67	1.077	3.72	0.543	3.60	1.107	3.72	0.503	3.60	1.107	3.66	0.478	3.47	1.123	3.54	0.517	3.49	1.108	3.55	0.535
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.09	0.933	4.13	0.408	4.04	0.960	4.11	0.425	4.03	0.970	4.09	0.408	3.89	1.042	3.94	0.459	3.91	1.017	3.98	0.543
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3.90	0.993	3.96	0.430	3.86	1.011	3.95	0.429	3.83	1.014	3.90	0.395	3.71	1.045	3.80	0.446	3.74	1.022	3.83	0.478
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.72	1.126	3.78	0.611	3.64	1.139	3.73	0.576	3.63	1.135	3.69	0.520	3.48	1.182	3.55	0.584	3.53	1.157	3.59	0.603
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.81	1.105	3.87	0.576	3.76	1.106	3.86	0.551	3.73	1.109	3.80	0.517	3.58	1.144	3.66	0.556	3.62	1.117	3.69	0.582
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3.77	1.057	3.84	0.479	3.70	1.087	3.79	0.474	3.66	1.099	3.74	0.463	3.54	1.122	3.61	0.474	3.64	1.104	3.73	0.534
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.74	0.982	3.76	0.444	3.67	1.020	3.71	0.395	3.59	1.022	3.61	0.377	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価)できる	3.81	1.017	3.87	0.521	3.78	1.028	3.86	0.502	3.77	1.031	3.84	0.475	3.65	1.078	3.71	0.499	3.70	1.067	3.79	0.572
'講義' '語学' のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.79	1.103	3.83	0.570	3.76	1.101	3.84	0.525	3.73	1.096	3.79	0.467	3.56	1.148	3.63	0.542	3.55	1.120	3.63	0.590
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.84	1.006	3.87	0.439	3.81	1.039	3.86	0.446	3.79	1.027	3.85	0.416	3.67	1.043	3.72	0.426	3.70	0.995	3.76	0.472

部門名 理学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2011年度				2010年度				2009年度				2008年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差
'全員' 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.83	0.538	4.78	0.234	4.73	0.752	4.66	0.416	4.74	0.730	4.66	0.403	4.73	0.706	4.66	0.313	4.68	0.759	4.62	0.374
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.20	0.882	4.13	0.406	4.07	0.964	4.03	0.463	4.07	0.966	3.97	0.476	3.94	1.015	3.86	0.472	3.79	1.031	3.73	0.507
	3	この授業のレベルは適切である	3.98	0.948	3.92	0.371	3.84	1.014	3.83	0.400	3.86	1.031	3.79	0.397	3.72	1.027	3.65	0.432	3.61	1.025	3.55	0.436
	4	この授業を進める速さは適切である	4.03	0.924	3.99	0.385	3.84	1.003	3.81	0.398	3.89	1.004	3.84	0.380	3.79	1.021	3.75	0.428	3.69	0.998	3.64	0.383
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.21	0.868	4.18	0.358	4.06	0.966	4.01	0.368	4.07	0.966	4.04	0.428	3.99	0.995	3.95	0.430	3.90	0.972	3.88	0.391
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.08	0.951	4.02	0.440	3.95	1.021	3.91	0.408	3.95	1.000	3.90	0.427	3.84	1.050	3.79	0.456	3.68	1.038	3.65	0.423
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.06	0.934	4.02	0.425	3.88	1.014	3.82	0.420	3.88	1.035	3.84	0.438	3.78	1.093	3.75	0.487	3.67	1.013	3.65	0.429
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.08	0.907	4.05	0.401	3.95	0.960	3.92	0.345	3.97	0.971	3.94	0.370	3.89	1.025	3.84	0.402	3.74	1.010	3.73	0.397
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.08	0.955	4.02	0.443	3.94	1.025	3.90	0.471	3.94	1.043	3.85	0.489	3.81	1.079	3.74	0.534	3.70	1.055	3.67	0.462
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.95	0.965	3.91	0.362	3.83	0.968	3.82	0.362	3.80	1.022	3.75	0.434	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価)できる	4.13	0.895	4.08	0.408	3.99	0.978	3.95	0.425	3.99	0.963	3.96	0.443	3.90	1.044	3.84	0.504	3.78	0.999	3.74	0.430
'演習' '語学' のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.07	0.923	4.07	0.362	3.87	1.006	3.86	0.431	3.97	0.983	3.94	0.421	3.87	1.018	3.86	0.436	3.79	1.019	3.80	0.447
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.27	0.832	4.25	0.302	4.08	0.967	4.05	0.432	4.17	0.966	4.12	0.464	4.09	1.000	4.05	0.423	3.99	0.973	3.98	0.413

・ 計算機センター

計算機センターで開講している科目には次のような特徴がある。授業形態は講義のみであるが、座学のみだけではなく、学生1人に1台のコンピューター端末を割当て、実際に操作しながら学ぶ形態を講義の中に取り入れている。また、「初等情報処理1」は、学内の実習室等で計算機センターのコンピューターを利用する権利を得るためには単位取得が必要であり、ほとんどの学科で選択科目ではあるものの、実質的に必修科目に近い。そのため、複数の教員が担当しており、コマ数も履修者数も多い科目である。

以上のような科目の特徴をふまえて、本年度の授業評価アンケートの設問 Q1 から Q13 の集計結果について、2008 年度～2012 年度の過去 5 年間の経年変化を考慮しつつ分析した後、今後の改善点について検討する。

1. 集計データからわかること

図1に2008年度から2012年度までの過去5年間の授業評価の科目ベースの部門別・形態別平均の経年変化を折れ線グラフで示す（グレーの帯は標準偏差を表す）。また、図2に2012年度のアンケート項目間の回答傾向の類似性を示す。回答傾向が似ている設問ほど右側で合流する（相関係数を距離に変換し階層クラスタリングによりデンドログラムを作成した）。図中で、回答の傾向が互いに同じ設問を、四角の枠で囲んだ。

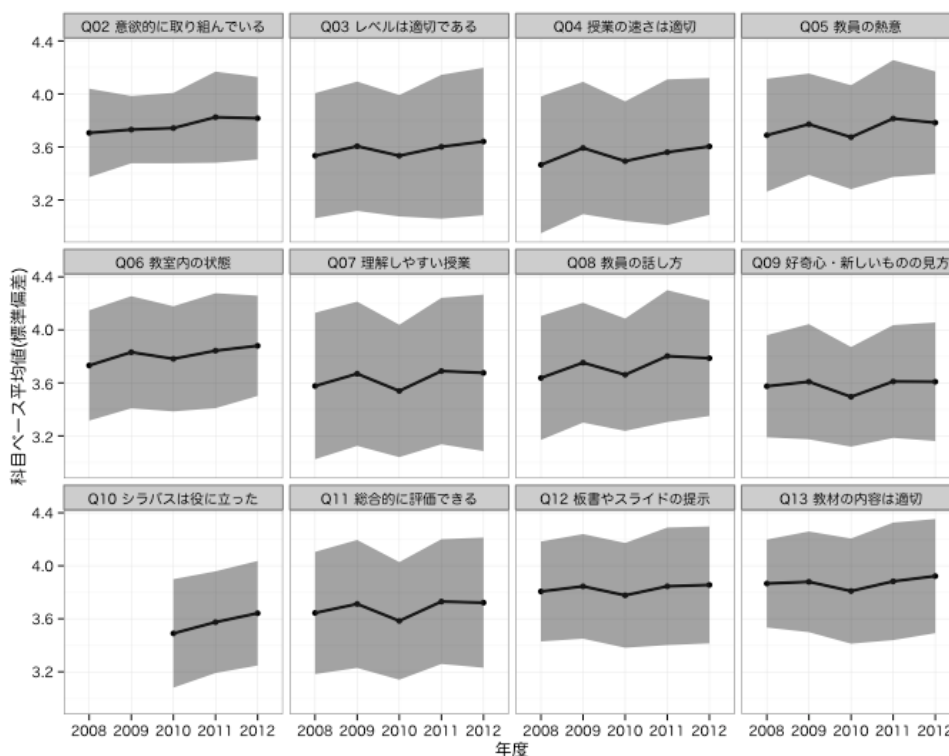


図1. 科目ベースの評価平均と標準偏差の経年変化

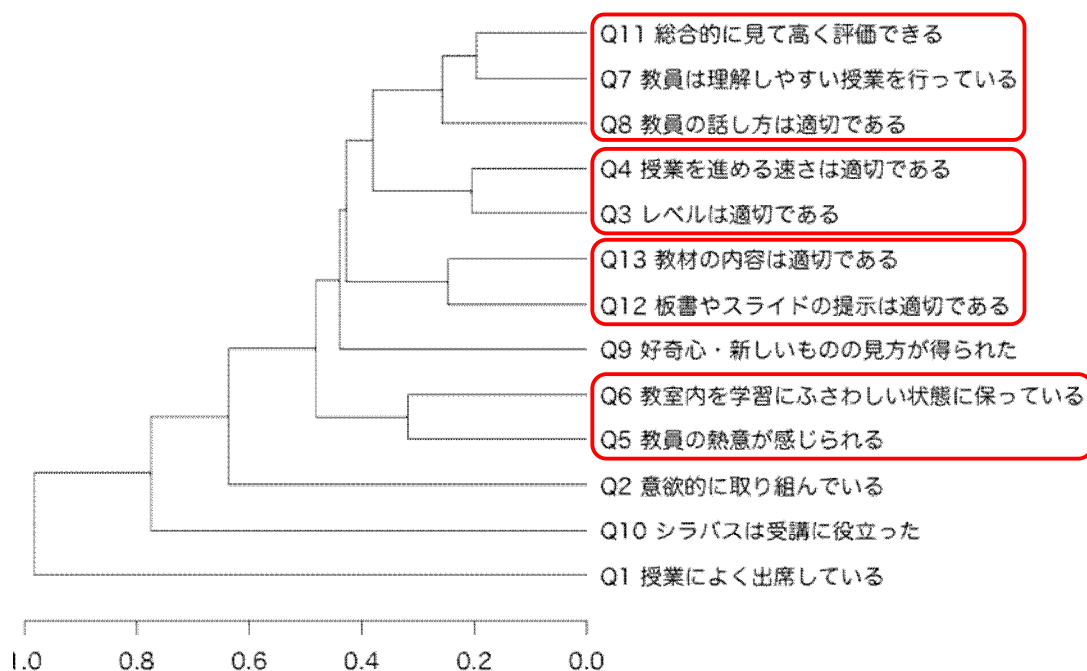


図 2. 設問間の類似度（設問間の相関係数に基づく階層クラスタリング）

Q1 出席率： 計算機センターの部門別平均 4.71(標準偏差 0.220)は、大学全体の講義の平均 4.52(標準偏差 0.297)と比べ高く、標準偏差も小さい。この結果は、過去 5 年間と同様に計算機センターで開講している講義科目では、学生全体の出席率が高いことが読み取れる。一方で、図 2 からわかるように、出席率(Q1)と意欲(Q2)は高い位置で合流しており、相関が非常に低いことがわかる。つまり、必ずしも学習意欲が出席率に結びついているわけではない。この傾向には大きな変化はなく、計算機センター開講授業のうち「初等情報処理 1」の単位取得は、計算機センターのコンピュータを卒業まで利用するための条件となっていることから、義務的・受け身的な態度で授業を受ける学生が多いためであると考えられる。

Q2 意欲的か： 計算機センターの部門別平均 3.82(標準偏差 0.312)は、大学全体の講義の平均 0.371(標準偏差 0.393)よりも高く、学生は意欲をもって授業に臨んでいる。しかし、学習意欲(Q2)、理解度(Q7)、総合評価(Q11)との相関は低く、学生の学習意欲に十分に応える授業内容になっていないことや、学生が義務的・受け身的な態度で授業を受けていることが、可能性として考えられる。

Q3 授業レベルの適切さ・Q4 授業の速さの適切さ： 図 2 よりこの 2 つの設問は同様の回答傾向があることがわかる。授業レベル(Q3)の評価については、計算機センターの部門別平均 3.64(標準偏差 0.556)は、大学全体の講義の平均 3.89(標準偏差 0.463)より低い。また、授業の速さ(Q4)の評価においても計算機センターの部門別平均 3.60(標準偏差 0.516)は、大学全体の講義の平均 3.94(標準偏差 0.471)より低い。標準偏差も、大学全体と比較して大き

第2章 各部門の評価・分析

いことから、学科別に割り当てられたクラスでのコンピューターの習熟度には大きな差があること、同じ科目でも教員間でのレベル設定に差があることが考えられる。今後、初等情報処理のように複数の教員で担当している科目については、教員間でより一層の授業内容のすり合わせを行なってゆく必要性がある。

Q5 教員の熱意・Q6 教員の授業環境保全： 図2から、設問Q5とQ6は同様の回答傾向があり、計算機センターの部門平均は、それぞれ3.78(標準偏差0.387)と3.88(標準偏差0.379)であり、大学全体の講義の平均よりやや低い。教員の熱意が授業の総合的な評価(Q11)に、必ずしも結びついているわけではないことも読み取れる。

Q7 授業のわかりやすさ・Q8 教員の話し方・Q11 総合評価： Q7、Q8、Q11の評価には比較的強い相関があることがわかる。授業のわかりやすさは、学生の主体性がそもそも前提になっており、授業が理解できた学生にとっては、授業の評価が高いという至極当然のことを表しているにすぎない可能性はある。計算機センターの部門別平均は、過去5年の結果と同様に大学全体よりも若干低い。ただし、2010年度は評価が頭打ちになり、若干下がる傾向にあったが、その後、2年間で再び評価は徐々に上昇している。

Q10 シラバスと受講： 計算機センターの部門別平均3.64は大学平均3.85より低い。1年生の計算機センター開講授業「初等情報処理」の時間割は、あらかじめ学科ごとに割り振られているために、シラバスを参考に選択する余地がないためであると考えられる。

Q12 板書・スライドの提示、Q13 教材(教科書、配布資料等)の内容： 図2より、この2つの設問の回答傾向は類似していることがわかる。評価から若干ながら年々改善されている傾向が図1からもうかがえる。

図3に、全情報科目の授業ごとの評価平均(Q2,Q5,Q11)と履修者数との関係を散布図で図示した。この図より、履修者数が少ないほど授業の総合評価が高くなる傾向にあること、教員の熱意は授業評価の高さと相関はあるものの、熱意があっても、必ずしも高い評価に結びついていない授業があることなどが読み取れる。

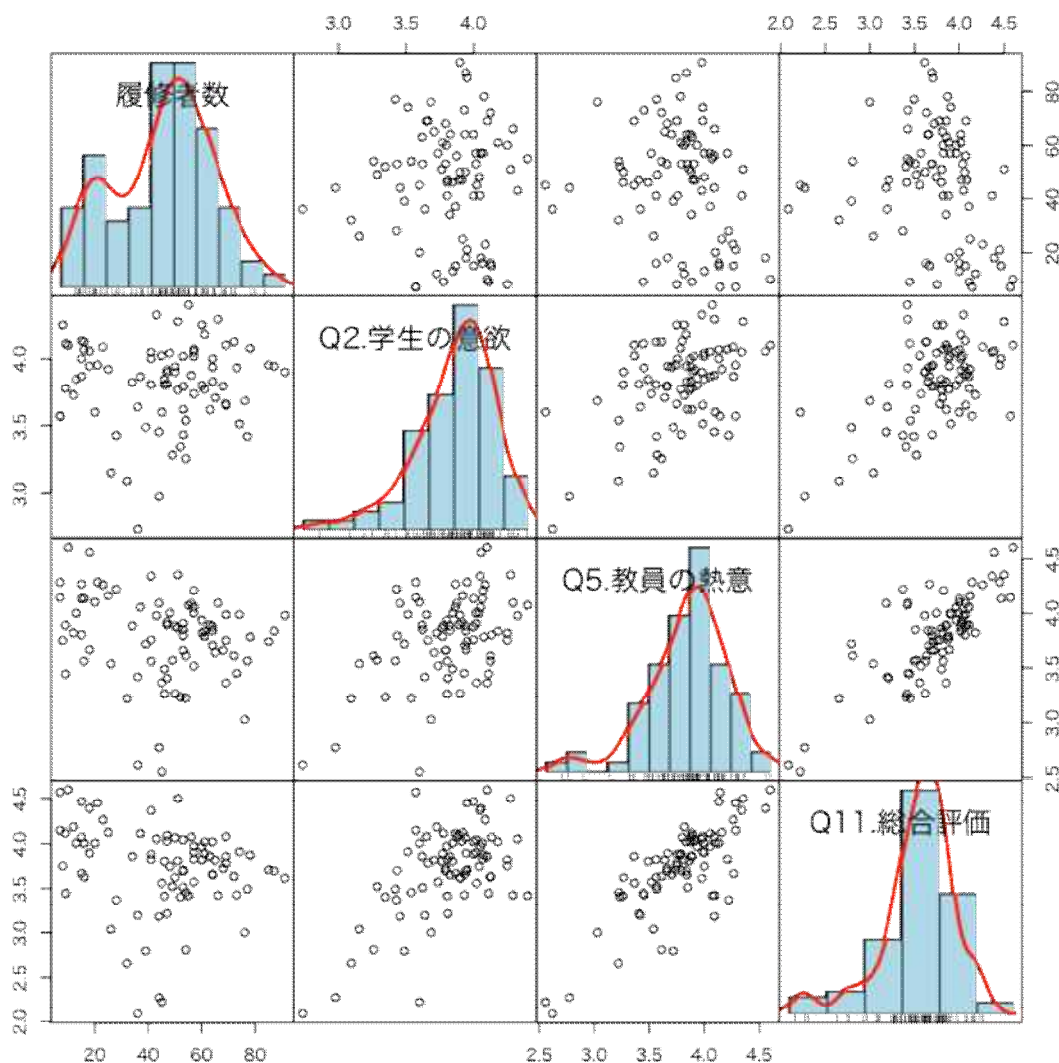


図 3. 授業ごとの評価平均と履修者数の関係

2. 今後の授業改善に向けて

例年の傾向であるが、概して学生の授業への評価が全学平均よりもやや低く、個々の学生のニーズ・レベルに合わせて授業の改善をする必要がある。ただし、計算機センター開講科目の特色として、次の2点に留意しなくてはならない。

- 1) 計算機センターで開講している講義科目のほとんど(約75%)は、コンピューターの基本操作等の情報リテラシー教育を行う「初等情報処理」であり、その受講生の大部分は1年生である。1人1台のコンピューター端末を操作する科目で、80名程度の規模のクラスも少なくない。一般的な傾向として、総履修者数が多くなるほど、授業の総合評価は低くなり、学年が低いほど、授業の総合評価は低くなっており、計算機センターの開講科目も、同様の傾向を示していることがわかる。
- 2) 特に初等情報処理の一学期開講科目である「初等情報処理 1」においては、この単位を修得した学生に限り、卒業まで継続してコンピューターを利用できる権利を与

えている。すなわち在学中に継続して大学でコンピューターを利用したい学生の大部分は、「初等情報処理1」の単位を修得する必要があり、出席は必須である。

「初等情報処理1」を履修する学生のコンピューター操作のスキルには、大きな個人差がある上に、実際にコンピューターを操作しながら授業を進める形態であることから、授業に一度ついていけなくなると、その後授業内容がわからないままに、ただ義務的・受身的に授業に出席するという状態に陥りやすい。

今後、義務的に出席している学生が、よりいっそう学習意欲や好奇心を感じられるように授業を改善してゆく必要がある。図2からは、学習意欲はあるにもかかわらず(Q2)、学生の好奇心を十分に満たせていない状況(Q9)も読み取れる。これは、授業がコンピューター操作の訓練の場として受け止められており、他の講義科目と同様に予習・復習を前提とした科目であるという認識が薄いことも一因であろう。コンピューターの操作に終始せず、その背後にある原理や、受講学生の属する学科の学問領域との関連性についても触れ、学生の知的好奇心を満たすことができる充実した内容にしてゆくことが一層望まれる。

学生のコンピューターへの習熟度は、入学時にすでに大きな開きがあり、すべての学生に満足のいくレベルの授業を行うことはいっそう難しくなりつつある。今後は、学生の学習意欲を高めるために、能力別クラス編成の導入などの柔軟な情報処理教育体制も視野に入れて、授業の改善を進める必要がある。

「初等情報処理1,2」はクラスが多く、多数の教員が担当している。図1の設問Q3,4,7のグラフは、他の設問と比較して標準偏差の値が大きく、図3からも、学生に理解しやすい授業をしているクラスとそうでないクラスの差が大きいことがわかる。総合評価に対する回帰分析を行ったところ、教員、学科の順で評価に及ぼす影響が大きいことがわかっている。このような状況を鑑み、共通のシラバスのもとで多数の教員が授業をする科目については、特に教員間で授業改善のための工夫を共有し、学生の声を反映させるための仕組みを作ることが望まれる。

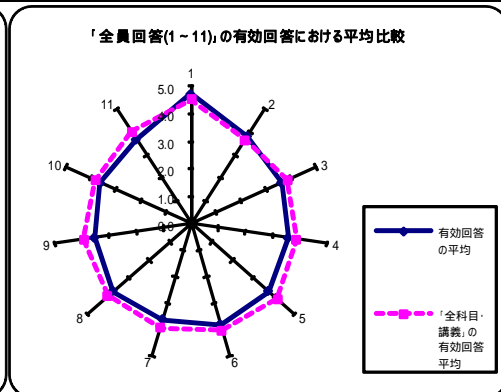
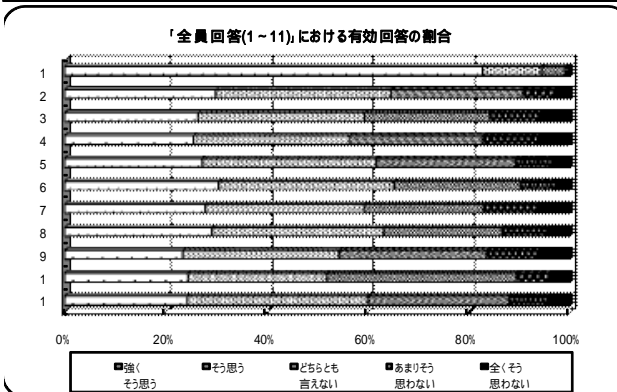
学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 計算機センター

	合計	総履修者数	回収率
回収数	3,748	4,975	75.34%

形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく(出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下)	3,089	438	171	29	10	11	3,748	4.76	0.595	4.71	0.220
			82.42%	11.69%	4.56%	0.77%	0.27%	0.29%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,116	1,294	973	229	120	16	3,748	3.82	1.031	3.82	0.312
			29.78%	34.53%	25.96%	6.11%	3.20%	0.43%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	985	1,229	922	360	235	17	3,748	3.63	1.154	3.64	0.556
			26.28%	32.79%	24.60%	9.61%	6.27%	0.45%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	952	1,156	983	405	237	15	3,748	3.58	1.162	3.60	0.516
			25.40%	30.84%	26.23%	10.81%	6.32%	0.40%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,017	1,281	1,027	263	141	19	3,748	3.74	1.051	3.78	0.387
			27.13%	34.18%	27.40%	7.02%	3.76%	0.51%	100.00%				
	6	教員は教室が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	1,137	1,295	932	252	114	18	3,748	3.83	1.035	3.88	0.379
		30.34%	34.55%	24.87%	6.72%	3.04%	0.48%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	1,039	1,171	880	393	246	19	3,748	3.63	1.182	3.68	0.590	
		27.72%	31.24%	23.48%	10.49%	6.56%	0.51%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	1,087	1,267	872	326	174	22	3,748	3.74	1.109	3.79	0.436	
		29.00%	33.80%	23.27%	8.70%	4.64%	0.59%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	869	1,149	1,083	373	242	32	3,748	3.55	1.143	3.61	0.448	
		23.19%	30.66%	28.90%	9.95%	6.46%	0.85%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 48.48%)	464	522	713	120	81	31	3,748	3.61	1.053	3.64	0.395	
		12.38%	13.93%	19.02%	3.20%	2.16%	0.83%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	899	1,329	1,027	278	172	43	3,748	3.68	1.065	3.72	0.491	
		23.99%	35.46%	27.40%	7.42%	4.59%	1.15%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,129	1,204	852	237	131	195	3,748	3.83	1.063	3.86	0.441
			30.12%	32.12%	22.73%	6.32%	3.50%	5.20%	100.00%				
13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	1,169	1,288	789	169	121	212	3,748	3.91	1.022	3.92	0.431	
		31.19%	34.36%	21.05%	4.51%	3.23%	5.66%	100.00%					



第2章 各部門の評価・分析

相関係数表 部門名 計算機センター
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.225(**)	1											
Q3	.084(**)	.472(**)	1										
Q4	.075(**)	.403(**)	.795(**)	1									
Q5	.095(**)	.438(**)	.523(**)	.586(**)	1								
Q6	.102(**)	.402(**)	.518(**)	.553(**)	.682(**)	1							
Q7	.061(**)	.420(**)	.697(**)	.729(**)	.684(**)	.656(**)	1						
Q8	.056(**)	.363(**)	.620(**)	.703(**)	.636(**)	.606(**)	.781(**)	1					
Q9	.068(**)	.469(**)	.588(**)	.560(**)	.595(**)	.554(**)	.634(**)	.579(**)	1				
Q10	-0.017	.246(**)	.279(**)	.283(**)	.275(**)	.257(**)	.284(**)	.260(**)	.366(**)	1			
Q11	.079(**)	.471(**)	.703(**)	.708(**)	.698(**)	.653(**)	.804(**)	.743(**)	.731(**)	.328(**)	1		
Q12	.077(**)	.393(**)	.573(**)	.605(**)	.599(**)	.595(**)	.704(**)	.654(**)	.563(**)	.246(**)	.716(**)	1	
Q13	.081(**)	.374(**)	.573(**)	.572(**)	.543(**)	.561(**)	.646(**)	.589(**)	.567(**)	.225(**)	.678(**)	.754(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業のシラバスは受講に役立つ(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 計算機センター
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2011年度				2010年度				2009年度				2008年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80-80% 3:出席率70-70% 2:出席率60-50% 1:出席率50%未満	4.76	0.595	4.71	0.220	4.77	0.577	4.69	0.282	4.73	0.624	4.66	0.254	4.72	0.640	4.65	0.259	4.70	0.679	4.63	0.286
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.82	1.031	3.82	0.312	3.79	1.008	3.82	0.344	3.74	1.029	3.74	0.266	3.72	1.009	3.73	0.254	3.68	1.042	3.71	0.334
	3	この授業のレベルは適切である	3.63	1.154	3.64	0.556	3.56	1.157	3.60	0.543	3.51	1.123	3.53	0.458	3.59	1.117	3.61	0.488	3.50	1.130	3.53	0.472
	4	この授業を進める速さは適切である	3.58	1.162	3.60	0.516	3.47	1.178	3.56	0.550	3.44	1.140	3.49	0.451	3.54	1.144	3.59	0.499	3.40	1.179	3.47	0.516
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	3.74	1.051	3.78	0.387	3.73	1.043	3.81	0.441	3.64	1.071	3.67	0.392	3.71	1.031	3.77	0.383	3.59	1.056	3.69	0.426
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	3.83	1.035	3.88	0.379	3.76	1.052	3.84	0.434	3.74	1.060	3.78	0.397	3.76	1.026	3.83	0.423	3.62	1.045	3.73	0.417
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.63	1.182	3.68	0.590	3.61	1.163	3.69	0.552	3.51	1.170	3.54	0.500	3.63	1.145	3.67	0.544	3.51	1.174	3.58	0.553
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.74	1.109	3.79	0.436	3.70	1.126	3.80	0.497	3.61	1.123	3.66	0.424	3.70	1.105	3.75	0.452	3.55	1.130	3.64	0.468
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3.55	1.143	3.61	0.448	3.50	1.119	3.61	0.426	3.43	1.130	3.49	0.376	3.55	1.112	3.61	0.435	3.47	1.095	3.57	0.386
	10	この授業のシラバスは受講に役立つ	3.61	1.053	3.64	0.395	3.53	1.056	3.57	0.384	3.46	1.097	3.49	0.409	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.68	1.065	3.72	0.491	3.64	1.062	3.73	0.471	3.54	1.074	3.58	0.444	3.66	1.056	3.71	0.483	3.56	1.055	3.64	0.461
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.83	1.063	3.86	0.441	3.77	1.052	3.84	0.444	3.75	1.067	3.78	0.395	3.83	1.017	3.84	0.395	3.77	1.024	3.81	0.377
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.91	1.022	3.92	0.431	3.83	1.017	3.88	0.444	3.82	1.027	3.81	0.397	3.87	1.004	3.88	0.380	3.85	0.971	3.87	0.332

・外国語教育研究センター

1. 集計データからわかること

外国語教育研究センターの授業評価アンケート実施率は99.59%であり、高い実施率となっている。昨年度も98.97%という高い実施率だったが、2012年度は更に高い実施率となっている。ただし、昨年度まで継続して上昇していた回答率が今年度は約0.3%下がっており、今後、この値がどのように変化していくのか注視していく必要があるだろう。

アンケート項目別分析

昨年度と比べ、Q1の数値が0.03%と僅かに下がっているものの、他のアンケート項目は全て昨年度よりも値が高くなっている。

以下、各項目に関して分析結果を示す。

Q1「私はこの授業によく出席している」

この項目の科目ベースの数値は4.56となっており、授業評価アンケートが実施された過去6回と同様、4.5を上回る高い数値となっている。昨年度は更に約0.03%高い数値だったが、授業評価アンケートが行われた年度の中では昨年度に次いで2番目に高い値となっている。これは、語学が必修科目となっていることだけでなく、3分の2以上出席しなくてはならないという規定が学生に広く認識され、授業において教員による出席確認も十分に行われているためであると思われる。また、40人以下という比較的少人数で授業が実施されていることも学生の高い出席率に結びついていると思われる。

Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」

この項目は、これまで授業評価アンケートが実施された過去6回において最も高い数値となっている。昨年度は4.01と初めて4.00を上回る数値であったが、2012度も、4.04と高い数値となっている。ただし、昨年度は70%以上の学生が意欲的に授業に取り組んでいると回答しているのに対し、2012年度は64.9%の学生が意欲的に取り組んでいると回答しており、5%ほど数値が低くなっている。今後、この数値が継続して下がることがないように、学生が意欲的に取り組めるような更なる工夫が教員に求められるだろう。課題や小テスト等により、学生自身が授業に意欲的に取り組んでいることを自覚できる環境づくりもその一つとなるだろう。

Q3「この授業のレベルは適切である」

この項目に関しても、数値の計算方法が異なる初年度を除いた過去5年間で最も高い数値となっている。「適切である」と回答している学生の割合も、昨年度から約1%上昇し、

77.80%となっており、開講されている授業のレベルは概ね適切なものであると言える。また、昨年度と比べ、「どちらとも言えない」と回答している学生が約 2%減少していることから、より授業レベルが適切だと判断する学生が増えたと判断できる。ただし、否定的な学生の割合には変化が見られないことから、今後も継続して注視していく必要があるだろう。

理学部に関しては、2008 年度より緩やかな習熟度別クラス編成を試みている。その結果、担当教員からは授業が行いやすくなったという感想があがっている。また、法学部政治学科に関しても、2011 年度から英語の習熟度別クラス編成が導入されている。政治学科においてどのような影響がみられるのかを今後確認する必要があるが、効果的であるという結果が得られた場合には、全学的な習熟度別クラス編成の導入を検討する必要があるだろう。全ての 1 年生が入学時に TOEIC を受験しており、この TOEIC の得点を用いて各学部における習熟度別クラス編成を行うことが可能である。習熟度別クラス編成を導入することにより、全学的に教育効果の向上が望めることにもなるだろう。

Q4「この授業を進める速さについて」

この項目も Q3 と同様、これまでで最も高い数値となっている。肯定的な回答をする学生の割合が 79.4%に達しており、否定的な回答も 5%弱となっていることから、概ね適切な速さで授業が進められていると考えることができる。「どちらとも言えない」という回答も、数値が昨年度よりも約 1%低くなっている。この数値を更に低くするためには、Q3 と同様、習熟度別クラス編成の導入等の大きな改善が必要となってくると思われる。

Q5「授業に対する教員の熱意が感じられる」

この項目も、授業評価が実施された 6 年間で最も高い平均ベースの値となっている。年々数値が少しずつ上がってきており、2012 年度は平均ベースの値が 4.38 に達し、肯定的な回答が 86.49%、そして否定的な回答も 2.67 %と低くなっていることから、熱意をもって授業を行っている教員が多いと判断することができる。

Q6「教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている」

この項目も、これまで授業評価が実施された中で最も高い平均ベースの値となっている。肯定的な回答は 83.9%と昨年度よりも高い数値となっており、否定的な回答も僅かながら減少している。「どちらとも言えない」という回答も 1%ほど減少していることから、昨年度と比較し、より多くの授業において教室がよりふさわしい状態に保たれていると考えることができる。ただし、まだ 13%ほどの学生が「どちらとも言えない」と回答しており、今後も継続して注視していく必要があるだろう。

Q7「教員は理解しやすい授業を行っている」

この項目も、科目ベースの平均がこの6年間で最も高い数値となっている。肯定的な回答が約83%と、昨年度と比較しても数値が高くなっているのに対し、否定的な回答は4.68%と値が低くなっている。したがって、昨年度よりも多くのクラスで理解しやすい授業が行われていると考えることが可能である。しかし、「どちらとも言えない」という回答が約12%となっていることから、さらなる授業改善が教員側に求められているともいえるだろう。

Q8 「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」

この項目は科目ベース平均が4.27となっており、昨年度よりも僅かではあるが数値が高くなっている。また、肯定的な回答が約83%、否定的な回答が約4.1%と、それぞれ昨年度よりも僅かに数値が低くなっている。したがって、昨年度と同様、教員はおおむね適切な話し方をしていると考えられる。「どちらとも言えない」という回答も約12.3%と値が昨年度と比べ小さくなっているが、まだ教員が話し方を改善すべき余地は残されていると思われる。

Q8とQ7の相関係数も.79と昨年度よりも値が高くなっていることから、わかりやすい授業と教員の適切な話し方は関連性が高いことが分かる。これは、教員の話し方により学生の理解度があがることを意味しており、教員が更に分かりやすい話し方をすることが求められるであろう。

Q9 「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」

この項目は、科目ベース平均が4.02と5年間で最も高い数値となった昨年度と同じ値である。肯定的な回答と否定的な回答、そして「どちらとも言えない」のいずれの数値にも大きな変化は見られない。

初修言語の場合には、基礎的な発音練習や会話練習、文法練習に多くの時間が割かれることが多く、知的好奇心が刺激される段階まで達していないことも影響していると思われる。そのような状況の中で、学生の知的好奇心を刺激し、新しいものの見方に触れる機会をつくるためには、言語が使用されている国の様子や文化的特徴を示している映画やビデオ、写真等を活用していくことが必要となるであろう。ビジュアルな情報を用いることにより、学生自身が訪れたことがない文化圏であっても、学生の興味、関心を高めることが可能となり、実際に訪れるきっかけになることもあると思われるからである。

Q10 「この授業のシラバスは役に立った」

この項目は一昨年度から新たに追加された項目であるため、過去3年度分のデータとのみ比較することが可能である。2012年度の科目ベース平均は3.96となっており、ほんの僅かに数値が高くなっている。ただし、教員に関する評価項目の中では最も低い値となっていることには変わりない。語学の場合、履修する科目があらかじめ決められている学科も多いことから、該当クラスのシラバスを読まない学生が43%に達していると考えられる。

また、初修の言語の場合には、基礎的な会話表現や文法を学ぶということがわかっているために、シラバスを確認しない学生も多いと思われる。一方、中級以上の科目で履修すべきクラスが指定されていない場合には、シラバスの内容によって履修科目を決定する学生が多いため、今後も履修科目選択の際に役立つシラバス作成が求められるであろう。

Q11 「総合的に見てこの授業は高く評価できる」

この項目は、科目ベースの平均が 4.23 と僅かながら数値が高くなっている。昨年同様、80%以上の学生が肯定的な回答をしており、否定的な回答も約 4%と大きな変化は見られない。したがって、概ね学生は授業を高く評価していると言える。

この項目と最も相関関係が高いのは、Q7「教員は理解しやすい授業を行っている」の.771、次いで Q8「教員の話し方は適切である」の.715、Q9「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」の.700 となっている。また、Q4「この授業を進める速さは適切である」と Q5「授業に対する教員の熱意が感じられる」の値がそれぞれ約 .69 と続く。したがって、総合的に評価が高い授業とは、適切な速度で進む理解しやすい授業、そして教員に熱意が感じられ、かつ話し方が適切で、知的好奇心が刺激される授業であることがわかる。このような授業を提供できるよう、教員の一層の努力が求められる。

Q12 「板書の仕方やスライドの提示の仕方は適切である」

科目ベースの平均点は 4.14 となっており、昨年度よりも高い数値となっている。これは、過去 6 年間で最も高い値である。肯定的な回答が全体の約 75%に達してはいるものの、まだ改善の余地があると思われる。否定的な回答も約 4%あることから、授業における教員の一層の努力と工夫が求められるであろう。

Q13 「教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である」

科目ベースの平均点は 4.22 となっており、この値は過去 6 年間で最も高い数値である。肯定的な回答も約 78%と昨年度よりも高くなっており、学生の要望にあった教材が多くのクラスで使用されていると思われる。「どちらとも言えない」との回答も約 14%と僅かながら減少しているが、この数値を更に低くするためには教員のさらなる努力が求められるであろう。

Q14 「教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心掛けていた」

科目ベースの平均点は 4.23 であり、昨年度よりも僅かながら高い数値となっている。肯定的な回答は約 74%と昨年度よりも僅かに高くなっており、授業において学生の発言や議論する場が確保されていると考えることができる。「どちらとも言えない」との回答も約 15%と昨年度よりも僅かに減少はしているが、大きな変化は見られない。初級の言語の場

合はドリル的な練習が多いことから、学生が活発に発言や議論を行っているとは感じていない可能性もあると考えられる。その一方で、学生が発言する機会が欠乏している可能性もあることから、今後も数値の変動を確認していく必要があるだろう。

Q15 「教員は参加者が課題に取り組むのを助けた」

この項目の科目ベース平均点は4.23となっており、昨年度よりも少し高い数値となっている。肯定的な回答は約75%に達し、その一方で、否定的な回答は約4%と昨年と同様に低くなっていることから、教員の多くが学生の学習を支援していることが分かる。この数値を更に高いものにするためには、例文の暗唱、音読、プレゼンテーションからレポート執筆まで、語学の授業ならではの特徴を生かした課題を用いていくことが求められるであろう。

Q16 「1回1回の授業のねらいが明確である」

この項目の科目ベース平均点は4.13となっており、これまでで最も高い数値となっている。肯定的な回答も約70%と昨年度よりも数値が高くなっている。否定的な回答は約4%と昨年度と変化がないことから、昨年度より僅かながら授業のねらいが明確なクラスが多くなったと考えることができる。ただし、無回答は約10%と昨年度同様に高く、今後も注視していく必要があるだろう。講読の授業の場合、1つの課全体としてのねらい・目標は明確であっても、一回一回の授業のねらい・目標は意識されないことも多いと思われる。学生が意識していない可能性も高いと考えられることから、教員側が意識的にねらい・目標を明確に示し、学生に伝えていくことも必要となるであろう。

Q17 「教員は授業時間を有効に活用している」

科目ベースの平均点が4.23と昨年度よりも数値が高く、過去6年間で最も高い値となっている。肯定的な回答も約73%と昨年度よりも数値が高くなっているため、概ね授業時間は有効に活用されていると言えるであろう。ただし、無回答が10%と昨年同様に高くなっており、教員が更に努力を重ねていく必要があるであろう。

2. 今後の授業改善に向けて

外国語教育研究センターが提供している語学の授業に関しては、学生からの評価が全般的に肯定的であると考えてよいと思われる。高い数値を示すアンケート項目が大半を占めてはいるが、まだ改善の余地がある項目も見受けられる。したがって、今後も継続して授業をより良いものにしていくための教員の努力が求められるだろう。

より良い授業にしていく過程には、カリキュラムの見直しや、更なる少人数教育の強化といった大きなものから、より適切な指導法やテキストの選択等の比較的小さな改善が含まれる。近年、外国語の重要性がグローバル化と共に注目されているが、学生の語学力を

伸ばしていくためには、更なる少人数教育の徹底、そして英語に関しては TOEIC スコアを利用しての習熟度別クラス編成が必要となってくるであろう。習熟度別クラス編成は、現在、理学部と政治学科で導入されているが、英語力をさらに伸ばすためにはより効果的な活用法が求められる。そして、入学時の英語習熟度にかかなりの開きが見られるようになっていることから、全学的にも習熟度別クラス編成が行われることが望まれるだろう。

また、現在の授業評価アンケートはすべてマークシート回答となっており、数値による分析が行われている。学生が具体的に何を語学のクラスに求めているのかを確認するためにも、今後、記述式項目を取り入れ、学生が具体的に意見を述べる機会を提供する必要があるのではないかと思われる。

第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 集計結果

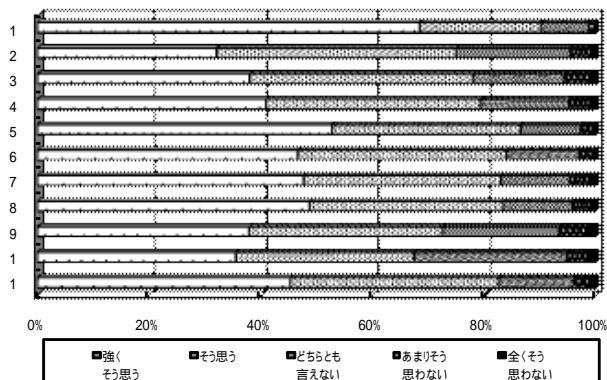
部門名 外国語教育研究センター

	合計	総履修者数	回収率
回収数	10,005	12,808	78.12%

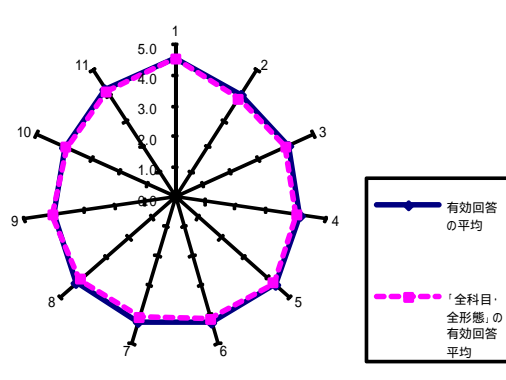
形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				無回答	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	6,842	2,163	854	123	10	13	10,005	4.57	0.708	4.56	0.237
			68.39%	21.62%	8.54%	1.23%	0.10%	0.13%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3,208	4,287	2,039	368	90	13	10,005	4.02	0.868	4.04	0.326
			32.06%	42.85%	20.38%	3.68%	0.90%	0.13%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	3,794	3,990	1,636	446	117	22	10,005	4.09	0.905	4.11	0.348
			37.92%	39.88%	16.35%	4.46%	1.17%	0.22%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	4,094	3,852	1,568	381	100	10	10,005	4.15	0.887	4.17	0.371
			40.92%	38.50%	15.67%	3.81%	1.00%	0.10%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	5,272	3,372	1,078	204	63	16	10,005	4.36	0.803	4.38	0.362
			52.69%	33.70%	10.77%	2.04%	0.63%	0.16%	100.00%				
	6	教員は教室が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4,663	3,731	1,305	233	61	12	10,005	4.27	0.820	4.30	0.328
		46.61%	37.29%	13.04%	2.33%	0.61%	0.12%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	4,766	3,526	1,231	335	133	14	10,005	4.25	0.891	4.28	0.423	
		47.64%	35.24%	12.30%	3.35%	1.33%	0.14%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4,872	3,465	1,235	311	104	18	10,005	4.27	0.870	4.31	0.386	
		48.70%	34.63%	12.34%	3.11%	1.04%	0.18%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3,779	3,457	2,082	471	181	35	10,005	4.02	0.969	4.07	0.414	
		37.77%	34.55%	20.81%	4.71%	1.81%	0.35%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 43.06%)	2,013	1,810	1,543	203	93	35	10,005	3.96	0.958	3.96	0.409	
		20.12%	18.09%	15.42%	2.03%	0.93%	0.35%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4,494	3,717	1,311	301	101	81	10,005	4.23	0.863	4.26	0.401	
		44.92%	37.15%	13.10%	3.01%	1.01%	0.81%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3,817	3,681	1,736	356	95	320	10,005	4.11	0.892	4.14	0.390
			38.15%	36.79%	17.35%	3.56%	0.95%	3.20%	100.00%				
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4,150	3,720	1,424	278	101	332	10,005	4.19	0.865	4.22	0.368
			41.48%	37.18%	14.23%	2.78%	1.01%	3.32%	100.00%				
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4,258	3,239	1,498	290	103	617	10,005	4.20	0.892	4.23	0.408
			42.56%	32.37%	14.97%	2.90%	1.03%	6.17%	100.00%				
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4,214	3,316	1,474	280	94	627	10,005	4.20	0.881	4.23	0.402
			42.12%	33.14%	14.73%	2.80%	0.94%	6.27%	100.00%				
「語学」 のみ	16	1回1回の授業のねらいが明確である	3,753	3,297	1,588	331	117	919	10,005	4.13	0.913	4.16	0.417
			37.51%	32.95%	15.87%	3.31%	1.17%	9.19%	100.00%				
	17	教員は授業時間を有効に活用している	4,033	3,323	1,311	272	121	945	10,005	4.20	0.889	4.23	0.397
			40.31%	33.21%	13.10%	2.72%	1.21%	9.45%	100.00%				

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 外国語教育研究センター
形態名 語学

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16	Q17
Q1	1																
Q2	.324(**)	1															
Q3	.142(**)	.521(**)	1														
Q4	.112(**)	.449(**)	.761(**)	1													
Q5	.109(**)	.417(**)	.548(**)	.602(**)	1												
Q6	.086(**)	.407(**)	.526(**)	.584(**)	.684(**)	1											
Q7	.076(**)	.418(**)	.625(**)	.674(**)	.688(**)	.676(**)	1										
Q8	.072(**)	.383(**)	.580(**)	.642(**)	.632(**)	.621(**)	.790(**)	1									
Q9	.088(**)	.472(**)	.553(**)	.557(**)	.599(**)	.569(**)	.631(**)	.605(**)	1								
Q10	-.020(*)	.232(**)	.232(**)	.218(**)	.199(**)	.214(**)	.231(**)	.223(**)	.317(**)	1							
Q11	.101(**)	.461(**)	.667(**)	.683(**)	.696(**)	.656(**)	.771(**)	.715(**)	.700(**)	.260(**)	1						
Q12	.093(**)	.396(**)	.543(**)	.581(**)	.579(**)	.582(**)	.660(**)	.630(**)	.575(**)	.254(**)	.666(**)	1					
Q13	.103(**)	.409(**)	.596(**)	.606(**)	.576(**)	.574(**)	.648(**)	.628(**)	.581(**)	.247(**)	.691(**)	.747(**)	1				
Q14	.088(**)	.387(**)	.479(**)	.525(**)	.583(**)	.573(**)	.581(**)	.561(**)	.551(**)	.209(**)	.620(**)	.579(**)	.589(**)	1			
Q15	.083(**)	.393(**)	.524(**)	.557(**)	.613(**)	.588(**)	.657(**)	.631(**)	.592(**)	.237(**)	.672(**)	.636(**)	.640(**)	.730(**)	1		
Q16	.091(**)	.415(**)	.536(**)	.565(**)	.610(**)	.579(**)	.636(**)	.589(**)	.606(**)	.247(**)	.686(**)	.643(**)	.642(**)	.603(**)	.662(**)	1	
Q17	.090(**)	.407(**)	.533(**)	.591(**)	.631(**)	.616(**)	.645(**)	.606(**)	.589(**)	.227(**)	.706(**)	.641(**)	.644(**)	.610(**)	.670(**)	.759(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q10 この授業のシラバスは受講に役立った(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【授業形態が「語学」の場合のみ回答】

- Q16 1回1回の授業のねらいが明確である
- Q17 教員は授業時間を有効に活用している

第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 外国語教育研究センター
形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2011年度				2010年度				2009年度				2008年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.57	0.708	4.56	0.237	4.61	0.695	4.59	0.236	4.57	0.729	4.55	0.252	4.54	0.753	4.52	0.256	4.55	0.747	4.53	0.260
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.02	0.868	4.04	0.326	3.99	0.902	4.01	0.341	3.95	0.909	3.97	0.352	3.94	0.927	3.95	0.368	3.89	0.910	3.91	0.374
	3	この授業のレベルは適切である	4.09	0.905	4.11	0.348	4.06	0.925	4.08	0.394	4.02	0.939	4.04	0.412	4.01	0.949	4.01	0.442	3.95	0.946	3.97	0.401
	4	この授業を進める速さは適切である	4.15	0.887	4.17	0.371	4.11	0.920	4.14	0.406	4.08	0.920	4.11	0.416	4.06	0.943	4.07	0.456	3.99	0.942	4.01	0.432
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.36	0.803	4.38	0.362	4.32	0.833	4.35	0.403	4.31	0.833	4.33	0.393	4.29	0.852	4.31	0.438	4.26	0.844	4.29	0.406
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.27	0.820	4.30	0.328	4.25	0.843	4.29	0.369	4.22	0.849	4.26	0.356	4.19	0.878	4.21	0.384	4.17	0.849	4.21	0.363
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.25	0.891	4.28	0.423	4.21	0.922	4.24	0.454	4.19	0.920	4.23	0.460	4.15	0.959	4.17	0.508	4.11	0.935	4.15	0.453
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.27	0.870	4.31	0.386	4.22	0.895	4.25	0.410	4.22	0.896	4.25	0.418	4.17	0.923	4.19	0.453	4.13	0.913	4.18	0.422
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.02	0.969	4.07	0.414	3.98	0.990	4.02	0.445	3.95	0.998	4.00	0.445	3.95	1.004	3.99	0.476	3.92	0.976	3.97	0.450
	10	この授業のシラバスは受講に役立つ	3.96	0.958	3.96	0.409	3.91	0.982	3.90	0.436	3.88	0.981	3.89	0.435	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価)できる	4.23	0.863	4.26	0.401	4.19	0.894	4.22	0.446	4.19	0.881	4.22	0.425	4.17	0.912	4.19	0.474	4.14	0.896	4.18	0.437
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.11	0.892	4.14	0.390	4.07	0.921	4.10	0.424	4.04	0.918	4.07	0.423	4.02	0.940	4.03	0.454	3.97	0.912	4.00	0.401
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.19	0.865	4.22	0.368	4.14	0.899	4.17	0.392	4.12	0.902	4.15	0.399	4.10	0.918	4.12	0.431	4.06	0.887	4.10	0.378
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が発表に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.20	0.892	4.23	0.408	4.16	0.912	4.20	0.433	4.16	0.914	4.20	0.441	4.12	0.932	4.15	0.455	4.07	0.927	4.12	0.460
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.20	0.881	4.23	0.402	4.17	0.896	4.21	0.416	4.16	0.895	4.20	0.419	4.12	0.923	4.15	0.451	4.08	0.914	4.12	0.439
「語学」 のみ	16	1回1回の授業のねらいが明確である	4.13	0.913	4.16	0.417	4.10	0.929	4.13	0.417	4.08	0.930	4.11	0.434	4.05	0.954	4.08	0.468	4.00	0.940	4.04	0.445
	17	教員は授業時間を有効に活用している	4.20	0.889	4.23	0.397	4.17	0.908	4.20	0.407	4.16	0.910	4.18	0.427	4.15	0.920	4.17	0.439	4.08	0.925	4.11	0.438

. スポーツ・健康科学センター

集計データからわかる事及び今後の授業改善に向けて

平成24年度の回収率は75.84%であり、過去3年間の回収率より4%ほど増加している。

出席状況においては、例年通り85%の学生が出席率80%以上と回答した。これは、他部門の平均値を下回る結果であった。実技という性質上、体調、時間帯（1時限の授業数が多い）などが大きく影響していることや、選択科目(スポーツ・健康科学)において卒業に必要な単位に直結しないなどの状況が影響していると思われる。

他の項目においては、回答者ベースの平均値は「4.30」から「4.65」の間、科目(演習)ベースの平均値は「4.36」から「4.70」の間で、今年度も全体を通して平均を超える高い評価を受けている。

また、部門別平均値の経年変化でも回答者ベースの平均値は「4.50」、科目(演習)ベースの平均値は「4.52」と、今年度も高い評価を受けている。

昨年同様集計データから、どのような項目が「総合評価」の高さと相関しているかを見てみる。「Q11 総合的評価」と相関の高い項目を見てみると、「Q3 レベルの適切」「Q4 進行の速さ」「Q5 教員の熱意」「Q6 環境の保全」「Q7 理解しやすい」「Q8 話し方が適切」「Q9 知的好奇心」の7つの項目で、相関係数が0.6以上という結果であった。今年度も受講生の状況を把握し、レベルに合わせての授業内容を進行していることで、このような結果になったのであろう。

また、スポーツ・健康科学関連の項目間で最も相関が高かったのは、「Q26 身体や運動に関する知識」「Q27 自分の身体の健康、体力の再確認」(0.745)間であった。昨年と同様な結果で、必修授業において健康体力の維持増進についての知識・実践の理解を深めるという科目の目的と合致している。

以上のように当センターの授業は、例年と同じ傾向で高い評価を得ているが、現状に甘んじることなく更に質の高い授業を提供できるように努力していく必要がある。

第2章 各部門の評価・分析

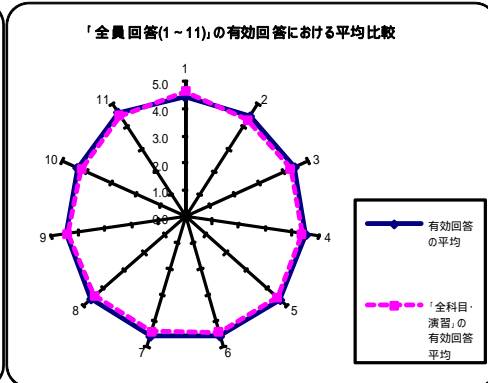
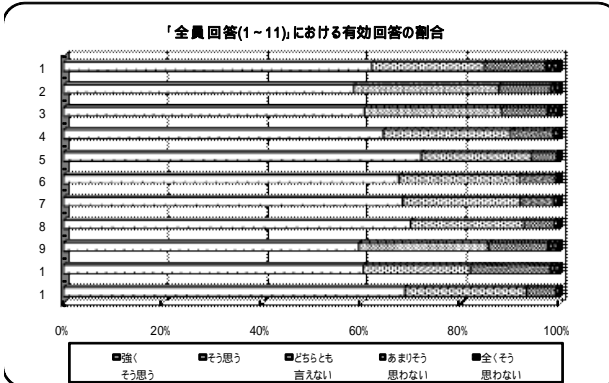
学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 スポーツ・健康科学センター

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,717	2,264	75.84%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5 強く 思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89-80% 3:出席率79-70% 2:出席率69-50% 1:出席率49%以下	1,062	389	209	42	10	5	1,717	4.43	0.841	4.43	0.358
			61.85%	22.66%	12.17%	2.45%	0.58%	0.29%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,002	501	177	29	6	2	1,717	4.44	0.772	4.48	0.299
			58.36%	29.18%	10.31%	1.69%	0.35%	0.12%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	1,038	472	158	36	9	4	1,717	4.46	0.789	4.51	0.289
			60.45%	27.49%	9.20%	2.10%	0.52%	0.23%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	1,105	439	147	21	4	1	1,717	4.53	0.723	4.59	0.270
			64.36%	25.57%	8.56%	1.22%	0.23%	0.06%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,234	380	87	8	4	4	1,717	4.65	0.620	4.70	0.212
			71.87%	22.13%	5.07%	0.47%	0.23%	0.23%	100.00%				
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	1,156	415	124	11	6	5	1,717	4.58	0.685	4.63	0.253
		67.33%	24.17%	7.22%	0.64%	0.35%	0.29%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	1,170	406	117	15	7	2	1,717	4.58	0.694	4.64	0.270	
		68.14%	23.65%	6.81%	0.87%	0.41%	0.12%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	1,198	392	103	17	5	2	1,717	4.61	0.673	4.67	0.261	
		69.77%	22.83%	6.00%	0.99%	0.29%	0.12%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	1,016	446	204	31	12	8	1,717	4.42	0.822	4.50	0.349	
		59.17%	25.98%	11.88%	1.81%	0.70%	0.47%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立った (シラバスを読まなかった人 39.55%)	619	221	165	17	4	12	1,717	4.40	0.841	4.41	0.375	
		36.05%	12.87%	9.61%	0.99%	0.23%	0.70%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,175	419	100	14	2	7	1,717	4.61	0.647	4.66	0.287	
		68.43%	24.40%	5.82%	0.82%	0.12%	0.41%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	605	298	202	12	14	586	1,717	4.30	0.883	4.36	0.414
			35.24%	17.36%	11.76%	0.70%	0.82%	34.13%	100.00%				
15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	687	289	131	14	3	593	1,717	4.46	0.767	4.51	0.387	
		40.01%	16.83%	7.63%	0.82%	0.17%	34.54%	100.00%					
スポーツ・ 健康科学科目	22	運動量は	940	486	99	24	8	160	1,717	4.49	0.729	4.56	0.312
			54.75%	28.31%	5.77%	1.40%	0.47%	9.32%	100.00%				
	23	体力・健康状態が改善された	770	484	267	26	15	155	1,717	4.26	0.866	4.35	0.398
			44.85%	28.19%	15.55%	1.51%	0.87%	9.03%	100.00%				
	24	運動技術が向上した	792	487	233	33	16	156	1,717	4.29	0.868	4.38	0.394
			46.13%	28.36%	13.57%	1.92%	0.93%	9.09%	100.00%				
	25	履修したスポーツ種目等について新しい知識が 得られた	896	477	142	24	15	163	1,717	4.43	0.798	4.49	0.331
			52.18%	27.78%	8.27%	1.40%	0.87%	9.49%	100.00%				
26	身体や運動に対する関心が高まった	855	445	226	20	12	159	1,717	4.35	0.830	4.43	0.376	
		49.80%	25.92%	13.16%	1.16%	0.70%	9.26%	100.00%					
27	自分の身体の健康、体力の再確認ができた	906	481	155	10	6	159	1,717	4.46	0.730	4.52	0.300	
		52.77%	28.01%	9.03%	0.58%	0.35%	9.26%	100.00%					
28	自分の生活習慣を見直す機会となった	807	441	250	44	16	159	1,717	4.27	0.901	4.35	0.366	
		47.00%	25.68%	14.56%	2.56%	0.93%	9.26%	100.00%					
29	施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた	1,048	404	86	14	4	161	1,717	4.59	0.661	4.65	0.257	
		61.04%	23.53%	5.01%	0.82%	0.23%	9.38%	100.00%					



相関係数表 部門名 スポーツ・健康科学センター
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15	Q22	Q23	Q24	Q25	Q26	Q27	Q28	Q29	
Q1	1																					
Q2	.398(**)	1																				
Q3	.163(**)	.528(**)	1																			
Q4	.148(**)	.484(**)	.809(**)	1																		
Q5	.161(**)	.444(**)	.520(**)	.560(**)	1																	
Q6	.129(**)	.421(**)	.573(**)	.625(**)	.693(**)	1																
Q7	.130(**)	.443(**)	.600(**)	.659(**)	.670(**)	.730(**)	1															
Q8	.125(**)	.440(**)	.552(**)	.612(**)	.651(**)	.683(**)	.790(**)	1														
Q9	.120(**)	.515(**)	.541(**)	.559(**)	.570(**)	.594(**)	.620(**)	.594(**)	1													
Q10	0.038	.220(**)	.239(**)	.230(**)	.200(**)	.218(**)	.213(**)	.204(**)	.319(**)	1												
Q11	.178(**)	.490(**)	.622(**)	.641(**)	.663(**)	.656(**)	.731(**)	.702(**)	.669(**)	.239(**)	1											
Q14	.104(**)	.454(**)	.461(**)	.491(**)	.451(**)	.490(**)	.550(**)	.505(**)	.531(**)	.234(**)	.565(**)	1										
Q15	.129(**)	.455(**)	.475(**)	.500(**)	.510(**)	.568(**)	.613(**)	.570(**)	.560(**)	.214(**)	.633(**)	.755(**)	1									
Q22	.099(**)	.395(**)	.327(**)	.328(**)	.362(**)	.329(**)	.341(**)	.335(**)	.347(**)	.135(**)	.395(**)	.364(**)	.395(**)	1								
Q23	.121(**)	.414(**)	.442(**)	.431(**)	.413(**)	.424(**)	.430(**)	.421(**)	.528(**)	.231(**)	.496(**)	.490(**)	.505(**)	.570(**)	1							
Q24	.103(**)	.450(**)	.471(**)	.474(**)	.407(**)	.427(**)	.445(**)	.432(**)	.551(**)	.262(**)	.493(**)	.489(**)	.515(**)	.508(**)	.714(**)	1						
Q25	.089(**)	.359(**)	.448(**)	.459(**)	.452(**)	.470(**)	.459(**)	.459(**)	.572(**)	.265(**)	.515(**)	.482(**)	.531(**)	.423(**)	.570(**)	.674(**)	1					
Q26	.126(**)	.452(**)	.483(**)	.499(**)	.474(**)	.521(**)	.527(**)	.492(**)	.648(**)	.264(**)	.598(**)	.537(**)	.554(**)	.414(**)	.671(**)	.679(**)	.676(**)	1				
Q27	.099(**)	.421(**)	.483(**)	.490(**)	.463(**)	.469(**)	.489(**)	.575(**)	.245(**)	.543(**)	.511(**)	.491(**)	.464(**)	.658(**)	.620(**)	.633(**)	.745(**)	1				
Q28	.059(**)	.405(**)	.413(**)	.427(**)	.408(**)	.450(**)	.449(**)	.445(**)	.567(**)	.247(**)	.494(**)	.511(**)	.527(**)	.417(**)	.628(**)	.553(**)	.568(**)	.708(**)	.711(**)	1		
Q29	.090(**)	.394(**)	.422(**)	.471(**)	.471(**)	.508(**)	.491(**)	.475(**)	.501(**)	.195(**)	.530(**)	.459(**)	.495(**)	.431(**)	.494(**)	.522(**)	.541(**)	.573(**)	.603(**)	.540(**)	1	

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業のシラバスは受講に役立つ(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【開設部門が「スポーツ・健康科学センター」の場合のみ回答】

- Q 22 運動量は(十分、 おおむね十分、 どちらともいえない、 やや不足、 不十分)
- Q 23 体力・健康状態が改善された
- Q 24 運動技術が向上した
- Q 25 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた
- Q 26 身体や運動に対する関心が高まった
- Q 27 自分の身体の健康、体力の再確認ができた
- Q 28 自分の生活習慣を見直す機会となった
- Q 29 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた

第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 スポーツ・健康科学センター
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~89% 3:出席率70~79% 2:出席率60~59% 1:出席率49%以下	4.43	0.841	4.43	0.358	4.46	0.823	4.46	0.282	4.44	0.837	4.45	0.329	4.43	0.861	4.44	0.298	4.33	0.911	4.35	0.331	
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.44	0.772	4.48	0.299	4.44	0.785	4.50	0.302	4.43	0.790	4.45	0.324	4.43	0.801	4.45	0.346	4.37	0.816	4.41	0.331	
	3	この授業のレベルは適切である	4.46	0.789	4.51	0.289	4.44	0.806	4.49	0.387	4.43	0.824	4.46	0.353	4.44	0.803	4.46	0.318	4.39	0.799	4.41	0.347	
	4	この授業を進める速さは適切である	4.53	0.723	4.59	0.270	4.51	0.737	4.56	0.336	4.52	0.735	4.57	0.330	4.55	0.695	4.56	0.286	4.47	0.745	4.48	0.305	
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.65	0.620	4.70	0.212	4.62	0.639	4.66	0.270	4.63	0.653	4.67	0.267	4.66	0.598	4.68	0.243	4.64	0.604	4.66	0.235	
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.58	0.685	4.63	0.253	4.54	0.744	4.59	0.324	4.56	0.703	4.62	0.316	4.57	0.671	4.59	0.274	4.56	0.679	4.58	0.251	
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.58	0.694	4.64	0.270	4.55	0.705	4.60	0.317	4.57	0.734	4.63	0.347	4.58	0.686	4.60	0.299	4.57	0.670	4.59	0.291	
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.61	0.673	4.67	0.261	4.58	0.697	4.63	0.305	4.61	0.684	4.66	0.301	4.64	0.624	4.66	0.251	4.62	0.623	4.65	0.260	
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	4.42	0.822	4.50	0.349	4.37	0.878	4.46	0.407	4.39	0.864	4.46	0.407	4.43	0.807	4.47	0.386	4.40	0.790	4.44	0.349	
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.40	0.841	4.41	0.375	4.33	0.887	4.37	0.398	4.32	0.914	4.35	0.402	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価)できる	4.61	0.647	4.66	0.287	4.59	0.684	4.64	0.334	4.62	0.678	4.67	0.313	4.63	0.638	4.66	0.306	4.61	0.628	4.64	0.271	
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.30	0.883	4.36	0.414	4.25	0.921	4.36	0.453	4.31	0.903	4.39	0.470	4.32	0.830	4.35	0.447	4.28	0.857	4.30	0.470	
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.46	0.767	4.51	0.387	4.43	0.808	4.54	0.387	4.45	0.836	4.53	0.457	4.48	0.751	4.50	0.414	4.48	0.719	4.53	0.349	
「スポ健」 のみ	22	運動量は	4.49	0.729	4.56	0.312	4.47	0.790	4.53	0.321	4.52	0.733	4.57	0.302	4.50	0.728	4.54	0.269	4.42	0.778	4.45	0.323	
	23	体力・健康状態が改善された	4.26	0.866	4.35	0.398	4.24	0.871	4.34	0.400	4.25	0.889	4.31	0.403	4.23	0.857	4.28	0.405	4.12	0.882	4.16	0.401	
	24	運動技術が向上した	4.29	0.868	4.38	0.394	4.26	0.874	4.35	0.400	4.25	0.877	4.33	0.416	4.24	0.879	4.30	0.447	4.16	0.892	4.20	0.421	
	25	履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られ た	4.43	0.798	4.49	0.331	4.38	0.831	4.43	0.371	4.40	0.813	4.45	0.330	4.35	0.839	4.39	0.360	4.30	0.841	4.31	0.340	
	26	身体や運動に対する関心が高まった	4.35	0.830	4.43	0.376	4.34	0.845	4.42	0.401	4.34	0.857	4.40	0.402	4.32	0.851	4.36	0.403	4.27	0.840	4.29	0.390	
	27	自分の身体の健康、体力の再確認ができた	4.46	0.730	4.52	0.300	4.44	0.773	4.51	0.340	4.47	0.758	4.51	0.336	4.44	0.737	4.47	0.324	4.39	0.750	4.41	0.330	
	28	自分の生活習慣を見直す機会となった	4.27	0.901	4.35	0.366	4.30	0.893	4.37	0.369	4.30	0.905	4.36	0.393	4.27	0.884	4.31	0.376	4.18	0.906	4.20	0.389	
	29	施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた	4.59	0.661	4.65	0.257	4.58	0.680	4.63	0.309	4.63	0.646	4.65	0.263	4.58	0.667	4.61	0.305	4.54	0.690	4.56	0.270	

VIII. 基礎教養科目運営委員会

本学では、いわゆる教養教育的科目を「総合基礎科目」と位置付けており、通称、学習院ベーシックとしている。基礎教養科目運営委員会は、この「総合基礎科目（学習院ベーシック）」のうち、外国語科目・体育科目・情報処理科目を除く科目の運営を担当している。このため、本章で分析する「基礎教養科目」は、「総合基礎科目」のうち基礎教養科目運営委員会が担当する科目のみを対象とする。

A) 集計データからわかること

平成 24 年度の「基礎教養科目」開設科目数は 82 科目（講義形式が 81 科目、演習形式が 1 科目）で、講義科目 1 科目のみ未実施であったことから実施率は 98.78%であった。総履修者数は、10,766 名で、このうちアンケート回答者数は 5,393 名であり、回答率は 50.12%という結果になった。昨年度の回答率が 44.79%という結果であったことからみると、回答率においては大幅に向上したと言えよう。なお、この結果は、過去の回答率（下表参照）と比較しても、始めて 50%を上回る回答者を得たことになり、データ結果の信頼性がよりいっそう高くなったと評価できよう。

年 度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
回答率	37.50%	42.57%	38.67%	41.72%	44.79%	50.12%

ただし、「基礎教養科目」を含む大学全体科目の回答率の 52.12%には、若干ながら達していないことから、回答率の向上に向けての施策については、継続して全学的に取り組む必要があると思われる。

以下、質問内容別に分析するが、前述のとおり、基礎教養科目は演習形態の科目が 1 科目のみであるため、記載する数値は、すべて講義形態のものを引用する。

Q 1 私はこの授業によく出席している

出席率 90%以上と回答した学生(65.10%)と出席率 80%以上と回答した学生(21.23%)の合計は、86%を超えた。アンケート回答者は、必然的によく出席している学生となるであろうから、出席状況は高い数字になる傾向にある。なお、例年同様、他の質問項目との相関係数は非常に低く、授業への出席率が高くても、学生の意欲や満足度には必ずしも結びついていない、との解説は本年度も付しておきたい。

Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる

学生の授業への意欲度については、肯定を意味する「強くそう思う」「そう思う」という回答の合計比率（以下、「肯定の割合」と略す）が 53.62%で、昨年度の 54.12%より数値を落とし、大学全体としての「肯定の割合」56.61%に対しても、3%低かった。他の質問項目との相関係数はやや低く、意欲的に授業に取り組んでいても、必ずしも満足度の高さ

に結びついていないことがわかる。

Q3 この授業のレベルは適切である

授業のレベルの適切度については、「肯定の割合」では74.56%であり、昨年度の73.55%を1%上回った。また、大学全体の平均(73.17%)も上回っている点は昨年同様の傾向である。授業を進める速さの適切度(Q4)や授業の理解しやすさ(Q7)や授業への総合的評価(Q11)との相関係数が昨年同様に高かった。

Q4 この授業を進める速さは適切である

授業を進める速さの適切度についても、大学全体の平均を上回り、「肯定の割合」は77.61%となった(大学全体の「肯定の割合」は74.66%)。大学全体の昨年度の平均値は67.72%であり、約7%も向上していることから、教員の適正さへの取組みが奏功して全授業を通しての満足度が向上したものと見て取れる。

Q5 授業に対する教員の熱意が感じられる

授業に対する教員の熱意については、回答者の約半数、率にして49.69%の学生が、「強くそう思う」と回答しており、「肯定の割合」で見ると実に85.53%であった。これは、大学全体の結果(83.28%)より高い評価となっており、教員の熱意が学生に十分に伝わっているといえよう。

Q6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

教室内が学習にふさわしい状態に保たれているかについては、今回は大学全体の平均を下回り、「肯定の割合」は76.01%であった(大学全体は78.45%)。

Q7 教員は理解しやすい授業を行っている

授業の理解しやすさについては、大学全体の平均をわずかに上回り、「肯定の割合」は77.44%であった(大学全体は76.3%)。しかしながら、約6%にあたる300名ほどの学生は、「否定」の回答をしている点も見逃してはならないであろう。

Q8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である

教員の話し方についても、大学全体の平均を上回り、「肯定の割合」は79.21%であり、昨年度(77.53%)より約1.7%上昇した。昨年同様に、ほぼ8割の受講生から評価を得られた結果となった(大学全体は78.18%)。

Q9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

知的好奇心の刺激についても、大学全体の平均を上回り、「肯定の割合」は77.01%であった。大学全体では68.51%であったことから考察すると、既に関心の高い所属学科領域を超えた「基礎教養科目」領域の授業提供の本望といえる点が評価される結果となった。

Q10 この授業のシラバスは受講に役立つ

「肯定の割合」は43.65%であり、経年比較でみると、23年度44.75%、22年度46.40%と、年々低下しているのがわかる。大学全体は、39.48%(23年度)から42.49%と一昨年度(42.36%)レベルに回復したが、昨年同様に、設問中、最も低い数値を示した。一方で、否定を意味する「全くそう思わない」「あまりそう思わない」という回答の合計比率も4.08%

(昨年度は 4.72%)(大学全体は 5.02% 3.75%)と低かったことから、シラバスが受講に役立たなかったということでもないということがわかる。つまり、シラバスが受講に役立ったか否かということよりも、そもそもシラバスを読まずに履修したという回答が 30.74%(23 年度は 27.68%、22 年度は 25.47%)に昇っており、これが大学全体では 35.74%に達することから、学生の 3 人に 1 人は、シラバスを読まずに履修登録したと解読せざるを得ない。

Q11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

授業への総合的評価については、大学全体の平均を上回り、「肯定の割合」は 78.39%であり、ほぼ 8 割の受講生から評価を得られた結果となった(大学全体は 78.17%)。授業のレベルの適切度(Q3)、授業を進める速さの適切度(Q4)、授業に対する教員の熱意(Q5)、授業の理解しやすさ(Q7)、教員の話し方(Q8)、知的好奇心の刺激(Q9)、といった多くの項目と本設問との相関係数が例年同様に非常に高い傾向にある。この傾向は基礎教養科目に限らず全学的に見られるものであり、教員の授業に対する取り組み姿勢が、そのまま授業に対する満足度としての評価につながっていることが分かる。

Q12 板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である

板書の仕方やすライド提示の仕方については、肯定の回答が 68.63%で、大学全体の平均(69.19%)を些かながら下回った。

Q13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

教材の内容の適切度についても、大学全体の平均を下回り、「肯定の割合」は 73.67%であった(大学全体は 73.83%)。大学全体が、昨年度 71.15% 73.83%と上昇したのに対し、基礎教養科目が 76.11% 73.6%と下降したことは、大学全体として教材の内容の充実度が向上し、平均化したと受けとめるべきであろうか。

Q18 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった

本設問は、基礎教養科目に特化した項目であり、「肯定の割合」は 48.69%であり、前年度の 85.58%という高い結果に対して、半減した結果となった。本設問では無回答が 43.80%であったことから、要因は授業内容に因るものではなく他の要素に求めるべきではないかと推察するが、原因の特定には至らない。

Q19 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった

この設問の結果は、「肯定の割合」が 17.95%と極めて低く、無回答が 77.14%という結果であった。昨年度は「肯定の割合」が 75.36%であったことから Q18 同様、授業内容に回答結果の原因を求めることは難しいと思われる。設問方法に、「(複数講師による授業の場合のみ回答)」という注記に影響を受けたと分析できようか。

授業形態別の分析

基礎教養科目は、演習科目が 1 科目のみの開講であり、ほぼすべて「講義」の形態で授業が行われている。全体のアンケート結果を見ると、「演習」形式の授業が、多くの項目で

第2章 各部門の評価・分析

「講義」形式の授業より評価が高いことがわかる。

その理由として、「演習」は、比較的履修者数が少ないために教員の目が届きやすいこと、発表やグループディスカッションなど履修者参加型の授業形式であることが挙げられる。

基礎教養科目の場合、履修者数が多い科目の比重が他の科目に比して高く、教員から学生への一方通行型の講義となる傾向になりがちであることから、学生が受身ではなく主体的に授業に参加しているという意識を持てるような工夫が個々の教員に求められる。

学年別の分析

今回のアンケート結果からは、例年同様、授業への出席状況を除くすべての質問項目において、学年進行と比例して、評価が高くなる傾向にあることが読み取れる。この理由については、アンケート結果のみで即断することはできないが、高学年になるにつれて、必修科目や選択必修科目の履修登録数が減少してくるため、結果的に時間割に余裕が生じ、学生は自らの意思で学びたい科目を履修しているということが影響しているものと思われる。

なお、出席率については、例年同様、学年進行と反比例し、1年生が最も高い数値という結果になった。

総履修者数ランク別の分析

総履修者数規模を「25名以下」「26～50名」「51名～100名」「101～200名」「201名以上」という5つのランクに分類し、これらのランク別に平均値の差について分析した。

Q1の出席状況を除く全設問で、高い評価を得ているのは「25名以下」の科目であることがわかる。この理由としては、学生と教員との距離感が近く、双方にとって適度な緊張感が生まれているためと考えられる。一方、「101～200名以上」「201名以上」という履修者数の多い科目では、評価の低い項目が目立つ傾向にある。

履修者数が非常に多い基礎教養科目が、いくつかの項目で大学全体の平均を下回った原因のひとつが、こうした傾向によるものであるならば、例えば今後、履修者数の多い科目を増設・分散化したり、あるいは履修者数制限を行うなど、1科目当りの履修者数の抑制（適正化）を図ることで、学生の授業に対する満足度を向上させるように、基礎教養科目運営委員会において、引き続き審議していく必要がある。

B) 今後の課題

今回の授業評価アンケートは7回目の実施となり、これまでのアンケート結果を踏まえた各担当教員の授業内容に対する改善の努力結果が、随所で数字にも表れている。しかし、今回の結果で浮き彫りになったシラバスを読まずに履修する学生が全体の3分の1に上る実態をいかに解消するか、また、履修登録のみで実際には授業に出席しない学生への対応や、学生を意欲的に授業に取り組みさせるための施策や、履修者全員が着座して授業を聴講

できるようにするための体制作り等、全学的に取り組むべき課題は多い。

第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 集計結果

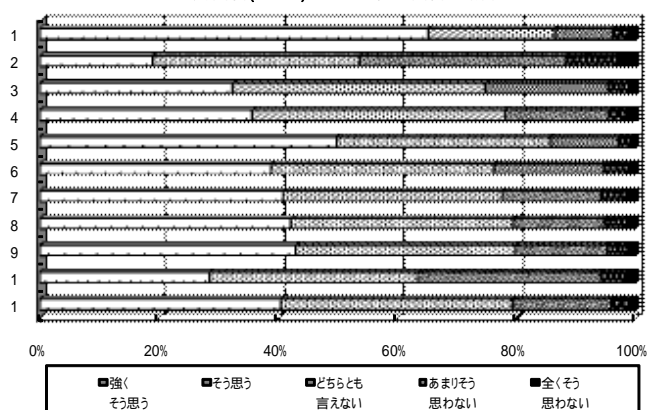
部門名 基礎教養

	合計	総履修者数	回収率
回収数	5,393	10,766	50.09%

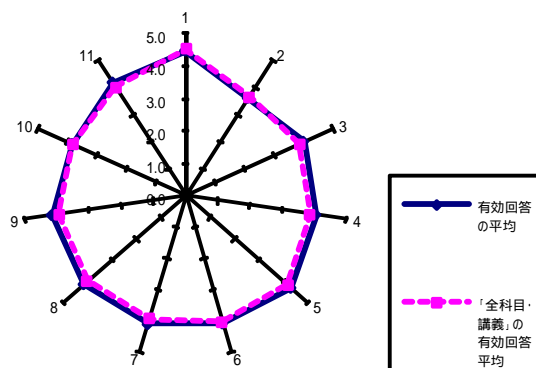
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率40%以下	3,511	1,145	517	139	73	8	5,393	4.46	0.871	4.43	0.246
			65.10%	21.23%	9.59%	2.58%	1.35%	0.15%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,021	1,871	1,863	454	174	10	5,393	3.58	0.993	3.61	0.356
			18.93%	34.69%	34.54%	8.42%	3.23%	0.19%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	1,742	2,279	1,107	187	65	13	5,393	4.01	0.882	3.99	0.344
			32.30%	42.26%	20.53%	3.47%	1.21%	0.24%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	1,919	2,281	932	162	87	12	5,393	4.07	0.889	4.10	0.327
			35.58%	42.30%	17.28%	3.00%	1.61%	0.22%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	2,680	1,933	611	104	53	12	5,393	4.32	0.823	4.31	0.322
			49.69%	35.84%	11.33%	1.93%	0.98%	0.22%	100.00%				
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	2,086	2,013	987	220	71	16	5,393	4.08	0.920	4.11	0.320
		38.68%	37.33%	18.30%	4.08%	1.32%	0.30%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	2,197	1,979	888	227	88	14	5,393	4.11	0.937	4.10	0.420	
		40.74%	36.70%	16.47%	4.21%	1.63%	0.26%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	2,264	2,008	820	199	86	16	5,393	4.15	0.919	4.18	0.397	
		41.98%	37.23%	15.20%	3.69%	1.59%	0.30%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	2,298	1,977	819	181	80	38	5,393	4.16	0.908	4.20	0.286	
		42.61%	36.66%	15.19%	3.36%	1.48%	0.70%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 30.74%)	1,058	1,296	1,137	151	69	24	5,393	3.84	0.947	3.86	0.264	
		19.62%	24.03%	21.08%	2.80%	1.28%	0.45%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,158	2,070	881	161	61	62	5,393	4.14	0.879	4.15	0.366	
		40.01%	38.38%	16.34%	2.99%	1.13%	1.15%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,787	1,914	988	335	129	240	5,393	3.95	1.011	4.01	0.424
			33.14%	35.49%	18.32%	6.21%	2.39%	4.45%	100.00%				
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	1,952	2,021	913	180	62	265	5,393	4.10	0.894	4.11	0.362
			36.20%	37.47%	16.93%	3.34%	1.15%	4.91%	100.00%				
基礎教養科目 運営委員会	18	授業は全学共通の総合基礎科目として ふさわしいものだった	1,483	1,143	305	73	27	2,362	5,393	4.31	0.817	4.26	0.424
			27.50%	21.19%	5.66%	1.35%	0.50%	43.80%	100.00%				
	19	授業の内容や構成は全体としてみとまりのあるもの だった(複数講師による授業の場合のみ回答)	501	467	198	48	19	4,160	5,393	4.12	0.920	4.20	0.465
			9.29%	8.66%	3.67%	0.89%	0.35%	77.14%	100.00%				

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 集計結果

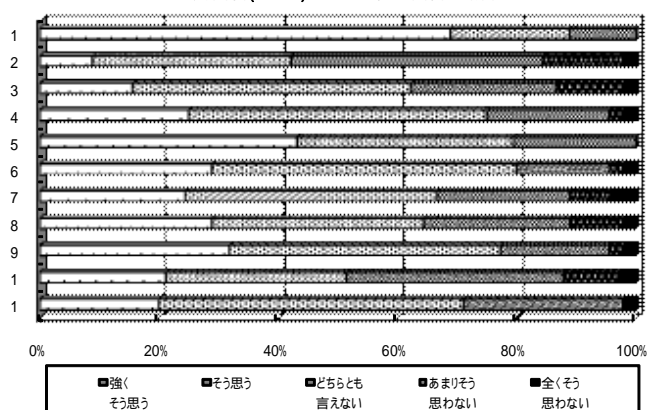
部門名 基礎教養

	合計	総履修者数	回収率
回収数	45	83	54.22%

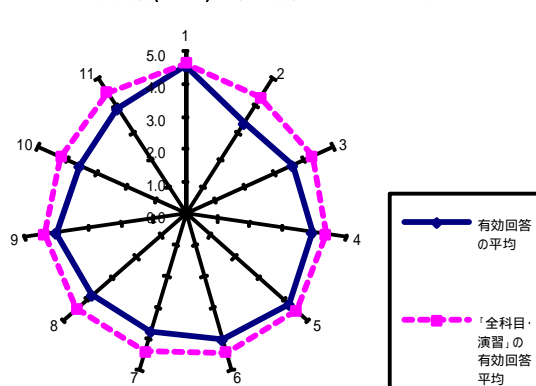
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	科目ベース			
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答		学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率40%以下	31	9	5	0	0	0	45	4.58	0.690	4.58	-
			68.89%	20.00%	11.11%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4	15	19	6	1	0	45	3.33	0.905	3.33	-
			8.89%	33.33%	42.22%	13.33%	2.22%	0.00%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	7	21	11	5	1	0	45	3.62	0.960	3.62	-
			15.56%	46.67%	24.44%	11.11%	2.22%	0.00%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	11	22	9	1	1	1	45	3.93	0.873	3.93	-
			24.44%	48.89%	20.00%	2.22%	2.22%	2.22%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	19	16	9	0	0	1	45	4.23	0.774	4.23	-
			42.22%	35.56%	20.00%	0.00%	0.00%	2.22%	100.00%				
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	13	23	7	1	1	0	45	4.02	0.866	4.02	-
		28.89%	51.11%	15.56%	2.22%	2.22%	0.00%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	11	19	10	3	2	0	45	3.76	1.048	3.76	-	
		24.44%	42.22%	22.22%	6.67%	4.44%	0.00%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	13	16	11	4	1	0	45	3.80	1.036	3.80	-	
		28.89%	35.56%	24.44%	8.89%	2.22%	0.00%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	14	20	8	1	1	1	45	4.02	0.902	4.02	-	
		31.11%	44.44%	17.78%	2.22%	2.22%	2.22%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立った (シラバスを読まなかった人 26.67%)	7	10	12	3	1	0	45	3.58	1.032	3.58	-	
		15.56%	22.22%	26.67%	6.67%	2.22%	0.00%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	9	23	12	0	1	0	45	3.87	0.815	3.87	-	
		20.00%	51.11%	26.67%	0.00%	2.22%	0.00%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	2	5	25	11	2	0	45	2.87	0.842	2.87	-
			4.44%	11.11%	55.56%	24.44%	4.44%	0.00%	100.00%				
15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	14	13	14	4	0	0	45	3.82	0.984	3.82	-	
		31.11%	28.89%	31.11%	8.89%	0.00%	0.00%	100.00%					
基礎教養科目 運営委員会	18	授業は全学共通の総合基礎科目として ふさわしいものだった	15	12	5	2	1	10	45	4.09	1.040	4.09	-
			33.33%	26.67%	11.11%	4.44%	2.22%	22.22%	100.00%				
19	授業の内容や構成は全体としてみとまりのあるものだった (複数講師による授業の場合のみ回答)	3	3	1	0	0	38	45	4.29	0.756	4.29	-	
		6.67%	6.67%	2.22%	0.00%	0.00%	84.44%	100.00%					

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



第2章 各部門の評価・分析

相関係数表 部門名 基礎教養
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q18	Q19
Q1	1														
Q2	.335(**)	1													
Q3	.206(**)	.514(**)	1												
Q4	.162(**)	.419(**)	.709(**)	1											
Q5	.200(**)	.373(**)	.562(**)	.589(**)	1										
Q6	.155(**)	.384(**)	.499(**)	.539(**)	.605(**)	1									
Q7	.162(**)	.444(**)	.690(**)	.666(**)	.629(**)	.629(**)	1								
Q8	.145(**)	.377(**)	.578(**)	.650(**)	.593(**)	.589(**)	.749(**)	1							
Q9	.181(**)	.468(**)	.565(**)	.519(**)	.537(**)	.461(**)	.598(**)	.558(**)	1						
Q10	.069(**)	.272(**)	.250(**)	.221(**)	.208(**)	.202(**)	.230(**)	.212(**)	.294(**)	1					
Q11	.201(**)	.495(**)	.679(**)	.660(**)	.664(**)	.594(**)	.771(**)	.707(**)	.694(**)	.278(**)	1				
Q12	.102(**)	.374(**)	.497(**)	.589(**)	.502(**)	.522(**)	.603(**)	.608(**)	.511(**)	.240(**)	.625(**)	1			
Q13	.129(**)	.395(**)	.553(**)	.570(**)	.525(**)	.528(**)	.619(**)	.590(**)	.522(**)	.253(**)	.647(**)	.705(**)	1		
Q18	.140(**)	.365(**)	.608(**)	.576(**)	.566(**)	.492(**)	.658(**)	.602(**)	.567(**)	.208(**)	.709(**)	.541(**)	.593(**)	1	
Q19	.114(**)	.398(**)	.589(**)	.543(**)	.571(**)	.508(**)	.660(**)	.621(**)	.566(**)	.214(**)	.695(**)	.577(**)	.600(**)	.701(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 基礎教養
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15	Q18	Q19
Q1	1														
Q2	0.267	1													
Q3	0.165	.698(**)	1												
Q4	0.295	.630(**)	.737(**)	1											
Q5	0.269	.451(**)	.300(*)	.575(**)	1										
Q6	0.282	.455(**)	.366(*)	.337(*)	.507(**)	1									
Q7	0.074	.639(**)	.629(**)	.660(**)	.579(**)	.507(**)	1								
Q8	0.038	.582(**)	.494(**)	.658(**)	.399(**)	0.233	.540(**)	1							
Q9	.313(*)	.640(**)	.669(**)	.810(**)	.465(**)	.323(*)	.566(**)	.475(**)	1						
Q10	0.267	.381(*)	.306(*)	0.243	0.096	0.236	0.2	0.188	0.231	1					
Q11	0.18	.771(**)	.748(**)	.808(**)	.560(**)	.391(**)	.813(**)	.641(**)	.787(**)	.347(*)	1				
Q14	-0.099	.567(**)	.470(**)	0.29	.366(*)	0.191	.503(**)	.334(*)	0.277	0.174	.437(**)	1			
Q15	.322(*)	.656(**)	.553(**)	.463(**)	.444(**)	.405(**)	.398(**)	.455(**)	.501(**)	0.152	.537(**)	.437(**)	1		
Q18	0.177	.639(**)	.653(**)	.760(**)	.620(**)	.439(**)	.754(**)	.576(**)	.687(**)	0.174	.805(**)	.464(**)	.518(**)	1	
Q19	0.52	.646	0.222	0.411	.795(*)	0.495	.609	0.415	.840(*)	.543	.805(*)	.603	0.42	.795(*)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業のシラバスは受講に役立った(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【開設部門が「基礎教養科目運営委員会」の場合のみ回答】

- Q 18 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった
- Q 19 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった(複数講師による授業の場合のみ)

学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 基礎教養
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2011年度				2010年度				2009年度				2008年度				
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	
'全員' 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.46	0.871	4.43	0.246	4.53	0.866	4.49	0.301	4.47	0.914	4.43	0.276	4.38	1.012	4.38	0.409	4.32	1.026	4.30	0.344	
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.58	0.993	3.61	0.356	3.57	1.005	3.60	0.374	3.58	1.025	3.61	0.414	3.48	1.047	3.55	0.418	3.35	1.035	3.42	0.419	
	3	この授業のレベルは適切である	4.01	0.882	3.99	0.344	3.99	0.876	3.99	0.334	4.04	0.883	4.05	0.355	3.97	0.921	3.95	0.400	3.90	0.917	3.87	0.372	
	4	この授業を進める速さは適切である	4.07	0.889	4.10	0.327	4.02	0.875	4.05	0.322	4.11	0.856	4.12	0.316	4.06	0.884	4.03	0.361	4.00	0.853	4.01	0.298	
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.32	0.823	4.31	0.322	4.26	0.831	4.29	0.355	4.31	0.814	4.31	0.357	4.23	0.869	4.24	0.416	4.20	0.858	4.22	0.390	
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.08	0.920	4.11	0.320	4.07	0.893	4.11	0.334	4.08	0.934	4.10	0.353	3.99	0.946	4.04	0.388	3.90	0.944	3.95	0.374	
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.11	0.937	4.10	0.420	4.07	0.937	4.10	0.410	4.13	0.927	4.15	0.438	4.04	0.975	4.04	0.507	3.98	0.954	3.98	0.429	
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.15	0.919	4.18	0.397	4.10	0.913	4.14	0.361	4.15	0.910	4.19	0.403	4.10	0.923	4.13	0.440	4.05	0.917	4.09	0.395	
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.16	0.908	4.20	0.286	4.11	0.908	4.17	0.295	4.15	0.927	4.18	0.343	4.09	0.960	4.11	0.371	4.05	0.943	4.09	0.344	
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.84	0.947	3.86	0.264	3.79	0.942	3.84	0.270	3.81	0.966	3.83	0.320	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価できる)	4.14	0.879	4.15	0.366	4.12	0.860	4.14	0.340	4.16	0.873	4.17	0.382	4.10	0.925	4.11	0.434	4.05	0.910	4.06	0.404	
'講義' '語学' のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.95	1.011	4.01	0.424	3.85	1.017	3.93	0.434	3.94	1.013	3.98	0.444	3.90	1.008	3.93	0.477	3.80	1.029	3.83	0.463	
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.10	0.894	4.11	0.362	4.06	0.878	4.11	0.315	4.09	0.910	4.13	0.408	3.99	0.949	4.04	0.431	3.95	0.937	3.97	0.426	
'基礎教養' のみ	18	授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいも のだった	4.31	0.817	4.26	0.424	4.29	0.811	4.31	0.390	4.33	0.804	4.30	0.411	4.23	0.899	4.19	0.443	4.23	0.849	4.14	0.416	
	19	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるも のだった(複数講師による授業の場合のみ回答)	4.12	0.920	4.20	0.465	4.05	0.932	4.19	0.538	4.05	0.923	4.14	0.573	3.90	1.019	4.10	0.545	3.96	0.921	3.95	0.502	

部門名 基礎教養
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2011年度				2010年度				2009年度				2008年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差
'全員' 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.58	0.690	4.58	-	4.70	0.720	4.70	-	4.21	0.940	4.21	-	4.48	0.802	4.48	-	4.48	0.750	4.48	-
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.33	0.905	3.33	-	3.23	1.005	3.23	-	3.72	0.960	3.72	-	3.11	1.311	3.11	-	2.95	0.899	2.95	-
	3	この授業のレベルは適切である	3.62	0.960	3.62	-	3.53	0.997	3.53	-	3.83	0.889	3.83	-	3.52	1.221	3.52	-	3.23	0.869	3.23	-
	4	この授業を進める速さは適切である	3.93	0.873	3.93	-	3.60	0.993	3.60	-	4.17	0.889	4.17	-	3.93	1.174	3.93	-	3.68	0.945	3.68	-
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.23	0.774	4.23	-	4.23	0.758	4.23	-	4.31	0.967	4.31	-	4.04	1.126	4.04	-	4.09	0.921	4.09	-
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.02	0.866	4.02	-	3.89	1.026	3.89	-	4.28	1.066	4.28	-	3.56	1.086	3.56	-	3.73	0.883	3.73	-
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	3.76	1.048	3.76	-	3.55	1.138	3.55	-	4.21	0.978	4.21	-	3.74	1.095	3.74	-	3.32	1.086	3.32	-
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	3.80	1.036	3.80	-	3.74	0.988	3.74	-	4.21	0.902	4.21	-	4.00	1.109	4.00	-	4.00	1.024	4.00	-
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.02	0.902	4.02	-	3.70	1.121	3.70	-	4.21	1.048	4.21	-	3.96	1.091	3.96	-	3.82	1.053	3.82	-
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.58	1.032	3.58	-	3.68	1.020	3.68	-	3.96	0.878	3.96	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価できる)	3.87	0.815	3.87	-	3.63	1.123	3.63	-	4.31	0.930	4.31	-	3.96	1.055	3.96	-	3.82	0.733	3.82	-
'演習' '語学' のみ	14	教員は参加者が発表に発言や議論が行えるよ う心がけていた	2.87	0.842	2.87	-	2.91	1.213	2.91	-	3.68	1.307	3.68	-	3.17	1.154	3.17	-	2.55	0.963	2.55	-
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	3.82	0.984	3.82	-	3.70	1.102	3.70	-	4.07	0.917	4.07	-	3.39	1.076	3.39	-	3.14	0.941	3.14	-
'基礎教養' のみ	18	授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいも のだった	4.09	1.040	4.09	-	4.00	1.062	4.00	-	4.32	0.988	4.32	-	5.00	-	5.00	-	4.17	0.835	4.17	-
	19	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるも のだった(複数講師による授業の場合のみ回答)	4.29	0.756	4.29	-	4.33	0.866	4.33	-	4.38	0.961	4.38	-	-	-	-	-	4.00	0.817	4.00	-

・教職課程

1. 集計データから分かること

教職課程において、学生による授業評価は、本学全体におけるのと同様に平成18(2006)年度から実施している。

平成24年度の場合、その実施率は講義、演習共に100%であり、回答率は講義67.42%、演習80.84%であった。これは対前年度比で講義1.54ポイント増、演習0.28ポイント増となっている。結果を見た場合、「演習」形式の授業において、「Q1 私はこの授業によく出席している」では、出席率90%以上が84.61%を占め、学生回答単純集計平均4.81となっている。これは、部門別平均4.80をわずかにだが上回っている。「講義」形式においては、順に78.05%、4.70であり、部門別4.69を上回っている。学生の授業への出席は、学習効果を高めるための最も基本的な課題であり、昨年度より向上しており良好な結果が得られている。とはいえ、出席の重要性を学生にさらに浸透させたい。

とりわけ教職課程の目ざす中等教育の教員としての高い資質の育成という点では、学生の主体的な授業への意欲を引き出せているかが問われなければならない。この点で、「Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」では、「演習」の場合、学生回答単純集計平均4.26で昨年の同平均4.18から向上している。しかしながら、部門別平均4.31より低い水準に止まっている。「講義」では学生回答単純集計平均3.85で、部門別平均3.87よりやや低い。

さらに、授業を受けた結果、学生がそれをどう評価しているのかという点では、「Q11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」が、「演習」の場合、学生回答単純集計平均4.38で前年の同平均4.28からわずかにポイントを上げている。「講義」は4.10とやや低い。以上から見たとき、おおむね良好な授業評価を学生から得てはいるが、資格取得を目指す学生が受講している部門であるので当然の結果ともいえる。現状に満足することなくさらに授業改善に努め、より充実した授業を目指したい。

2. 今後の授業改善に向けて

学生による授業評価の実施は、授業に対する問題点を解決していく糸口になり得るものであり、今後も、学生による授業評価を継続していくが、教職課程として授業改善にそれをどう活かすのかを、引き続き議論していく。

教職課程では、平成21年度から教育実習（実習事前講義）を3年時に集中講義方式で行うことのほか、「教育課程論」を必修科目として開設した。また、文部科学省の指導により、平成25年度から、教育実習を終えた4年生を対象とする「教職実践演習」を新規に開設している。これらのカリキュラム改革によって教職課程の授業体系が改善され、より実

践力の身に付いた学生を輩出することが可能になる見込みである。しかし、必修科目がますます増加することで、教職課程履修に対する学生の負担感がさらに一層高まることは間違いない。今後しばらくの年度、教員採用の増加が見込まれるだけに、このような負担増が教職課程履修希望者の減少を引き起こさないよう、新たな工夫を重ねていく必要があると考えている。

第2章 各部門の評価・分析

学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 集計結果

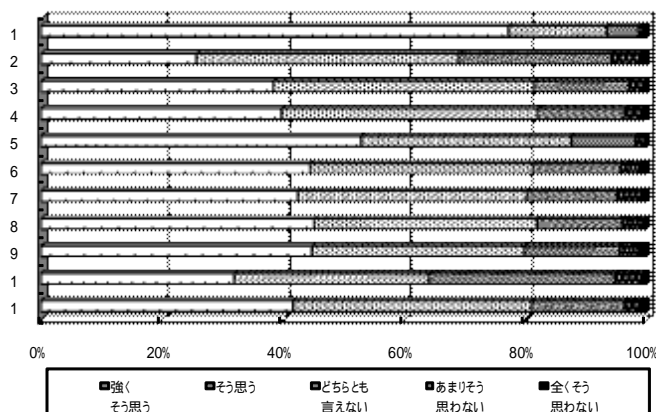
部門名 教職課程

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,618	2,400	67.42%

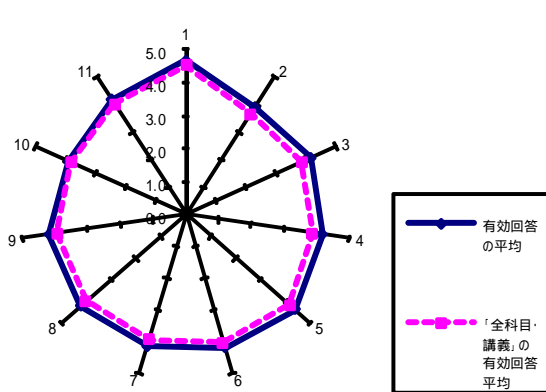
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によ(出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下)	1,249	263	84	13	9	0	1,618	4.69	0.659	4.66	0.162
			77.19%	16.25%	5.19%	0.80%	0.56%	0.00%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	415	699	407	75	20	2	1,618	3.88	0.889	3.88	0.290
			25.65%	43.20%	25.15%	4.64%	1.24%	0.12%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	620	696	252	37	10	3	1,618	4.16	0.813	4.16	0.267
			38.32%	43.02%	15.57%	2.29%	0.62%	0.19%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	641	683	230	46	13	5	1,618	4.17	0.835	4.14	0.297
			39.62%	42.21%	14.22%	2.84%	0.80%	0.31%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	855	562	170	23	7	1	1,618	4.38	0.764	4.39	0.249
			52.84%	34.73%	10.51%	1.42%	0.43%	0.06%	100.00%				
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	719	595	233	50	20	1	1,618	4.20	0.885	4.23	0.283
		44.44%	36.77%	14.40%	3.09%	1.24%	0.06%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	686	611	240	62	17	2	1,618	4.17	0.891	4.21	0.370	
		42.40%	37.76%	14.83%	3.83%	1.05%	0.12%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	729	595	225	53	13	3	1,618	4.22	0.863	4.24	0.344	
		45.06%	36.77%	13.91%	3.28%	0.80%	0.19%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	720	564	252	50	23	9	1,618	4.19	0.907	4.20	0.287	
		44.50%	34.86%	15.57%	3.09%	1.42%	0.56%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 38.26%)	318	320	306	43	9	3	1,618	3.90	0.933	3.94	0.265	
		19.65%	19.78%	18.91%	2.66%	0.56%	0.19%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	668	633	242	41	20	14	1,618	4.18	0.867	4.20	0.339	
		41.29%	39.12%	14.96%	2.53%	1.24%	0.87%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	483	545	388	119	44	39	1,618	3.83	1.036	3.91	0.502
			29.85%	33.68%	23.98%	7.35%	2.72%	2.41%	100.00%				
13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	642	622	231	54	19	50	1,618	4.16	0.883	4.20	0.296	
		39.68%	38.44%	14.28%	3.34%	1.17%	3.09%	100.00%					

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 集計結果

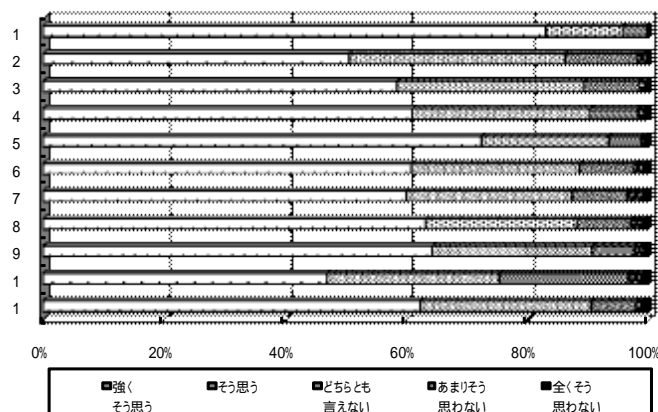
部門名 教職課程

	合計	総履修者数	回収率
回収数	1,869	2,312	80.84%

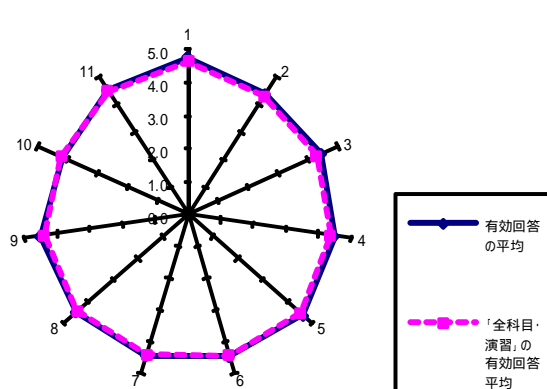
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全(そう) 思わない						
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	1,548	236	74	6	0	5	1,869	4.78	0.518	4.75	0.164
			82.83%	12.63%	3.96%	0.32%	0.00%	0.27%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	943	665	223	29	5	4	1,869	4.35	0.769	4.39	0.249
			50.45%	35.58%	11.93%	1.55%	0.27%	0.21%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	1,090	575	171	20	8	5	1,869	4.46	0.740	4.48	0.241
			58.32%	30.77%	9.15%	1.07%	0.43%	0.27%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	1,137	547	147	24	10	4	1,869	4.49	0.741	4.50	0.264
			60.83%	29.27%	7.87%	1.28%	0.54%	0.21%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	1,349	392	99	13	10	6	1,869	4.64	0.666	4.63	0.275
			72.18%	20.97%	5.30%	0.70%	0.54%	0.32%	100.00%				
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	1,135	518	167	27	18	4	1,869	4.46	0.794	4.49	0.295
		60.73%	27.72%	8.94%	1.44%	0.96%	0.21%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	1,119	510	169	48	18	5	1,869	4.43	0.835	4.49	0.356	
		59.87%	27.29%	9.04%	2.57%	0.96%	0.27%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	1,178	465	164	37	20	5	1,869	4.47	0.821	4.53	0.343	
		63.03%	24.88%	8.77%	1.98%	1.07%	0.27%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	1,196	491	130	30	14	8	1,869	4.52	0.759	4.54	0.263	
		63.99%	26.27%	6.96%	1.61%	0.75%	0.43%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立った (シラバスを読まなかった人 30.66%)	602	365	273	27	16	13	1,869	4.18	0.921	4.19	0.293	
		32.21%	19.53%	14.61%	1.44%	0.86%	0.70%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,146	520	134	21	18	30	1,869	4.50	0.763	4.53	0.286	
		61.32%	27.82%	7.17%	1.12%	0.96%	1.61%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	1,037	474	204	40	20	94	1,869	4.39	0.859	4.41	0.366
			55.48%	25.36%	10.91%	2.14%	1.07%	5.03%	100.00%				
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	1,010	511	195	40	18	95	1,869	4.38	0.845	4.43	0.340
			54.04%	27.34%	10.43%	2.14%	0.96%	5.08%	100.00%				

「全員回答(1~11)」における有効回答の割合



「全員回答(1~11)」の有効回答における平均比較



第2章 各部門の評価・分析

相関係数表 部門名 教職課程
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.312(**)	1											
Q3	.187(**)	.563(**)	1										
Q4	.120(**)	.435(**)	.766(**)	1									
Q5	.132(**)	.340(**)	.537(**)	.580(**)	1								
Q6	.090(**)	.369(**)	.538(**)	.559(**)	.604(**)	1							
Q7	.131(**)	.428(**)	.675(**)	.668(**)	.625(**)	.649(**)	1						
Q8	.121(**)	.428(**)	.654(**)	.649(**)	.591(**)	.611(**)	.761(**)	1					
Q9	.186(**)	.478(**)	.584(**)	.519(**)	.563(**)	.553(**)	.615(**)	.598(**)	1				
Q10	.085(**)	.286(**)	.248(**)	.243(**)	.205(**)	.225(**)	.263(**)	.216(**)	.293(**)	1			
Q11	.164(**)	.478(**)	.694(**)	.674(**)	.645(**)	.644(**)	.770(**)	.719(**)	.740(**)	.284(**)	1		
Q12	.067(**)	.410(**)	.530(**)	.519(**)	.480(**)	.501(**)	.628(**)	.573(**)	.513(**)	.271(**)	.662(**)	1	
Q13	.122(**)	.375(**)	.548(**)	.539(**)	.515(**)	.544(**)	.617(**)	.589(**)	.535(**)	.250(**)	.631(**)	.689(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 教職課程
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.290(**)	1											
Q3	.156(**)	.510(**)	1										
Q4	.134(**)	.418(**)	.763(**)	1									
Q5	.118(**)	.319(**)	.543(**)	.585(**)	1								
Q6	.123(**)	.351(**)	.556(**)	.592(**)	.638(**)	1							
Q7	.086(**)	.331(**)	.632(**)	.654(**)	.588(**)	.639(**)	1						
Q8	.082(**)	.335(**)	.608(**)	.664(**)	.587(**)	.646(**)	.774(**)	1					
Q9	.113(**)	.440(**)	.607(**)	.599(**)	.627(**)	.558(**)	.633(**)	.639(**)	1				
Q10	0.029	.231(**)	.254(**)	.253(**)	.179(**)	.224(**)	.249(**)	.245(**)	.269(**)	1			
Q11	.132(**)	.397(**)	.658(**)	.669(**)	.652(**)	.628(**)	.732(**)	.719(**)	.738(**)	.259(**)	1		
Q14	.126(**)	.336(**)	.468(**)	.506(**)	.511(**)	.523(**)	.503(**)	.533(**)	.498(**)	.230(**)	.555(**)	1	
Q15	.112(**)	.356(**)	.514(**)	.550(**)	.574(**)	.549(**)	.584(**)	.579(**)	.566(**)	.258(**)	.642(**)	.720(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業のシラバスは受講に役立った(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 教職課程
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2011年度				2010年度				2009年度				2008年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.69	0.659	4.66	0.162	4.70	0.656	4.69	0.153	4.63	0.740	4.56	0.281	4.60	0.719	4.58	0.162	4.64	0.756	4.60	0.231
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.88	0.889	3.88	0.290	3.85	0.921	3.87	0.283	3.82	0.959	3.82	0.283	3.81	0.937	3.80	0.293	3.88	0.893	3.85	0.314
	3	この授業のレベルは適切である	4.16	0.813	4.16	0.267	4.11	0.858	4.18	0.316	4.09	0.874	4.10	0.266	4.12	0.875	4.10	0.383	4.16	0.827	4.15	0.290
	4	この授業を進める速さは適切である	4.17	0.835	4.14	0.297	4.08	0.914	4.16	0.356	4.09	0.917	4.09	0.300	4.13	0.902	4.12	0.467	4.18	0.816	4.18	0.320
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.38	0.764	4.39	0.249	4.26	0.851	4.31	0.266	4.32	0.810	4.33	0.310	4.28	0.885	4.29	0.364	4.38	0.757	4.39	0.278
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.20	0.885	4.23	0.283	4.12	0.931	4.18	0.324	4.16	0.875	4.17	0.304	4.14	0.922	4.15	0.320	4.27	0.809	4.29	0.237
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.17	0.891	4.21	0.370	4.11	0.932	4.19	0.375	4.14	0.950	4.13	0.354	4.17	0.940	4.17	0.416	4.24	0.861	4.25	0.375
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.22	0.863	4.24	0.344	4.14	0.902	4.21	0.370	4.16	0.933	4.16	0.371	4.20	0.910	4.20	0.416	4.26	0.851	4.30	0.404
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.19	0.907	4.20	0.287	4.06	0.932	4.13	0.317	4.03	0.940	4.05	0.303	4.15	0.962	4.16	0.386	4.24	0.831	4.26	0.235
	10	この授業のシラバスは受講に役立つ	3.90	0.933	3.94	0.265	3.77	0.974	3.81	0.264	3.86	0.977	3.90	0.309	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.18	0.867	4.20	0.339	4.10	0.876	4.17	0.336	4.11	0.880	4.12	0.314	4.19	0.913	4.20	0.418	4.25	0.807	4.27	0.290
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.83	1.036	3.91	0.502	3.70	1.068	3.87	0.507	3.80	1.079	3.83	0.451	3.84	1.017	3.87	0.470	3.84	1.003	3.92	0.471
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.16	0.883	4.20	0.296	4.04	0.930	4.13	0.341	4.08	0.922	4.07	0.325	4.09	0.916	4.09	0.392	4.20	0.839	4.23	0.310

部門名 教職課程
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2011年度				2010年度				2009年度				2008年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下	4.78	0.518	4.75	0.164	4.81	0.483	4.80	0.163	4.76	0.538	4.74	0.169	4.81	0.518	4.73	0.236	4.79	0.494	4.75	0.201
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.35	0.769	4.39	0.249	4.26	0.820	4.31	0.249	4.18	0.872	4.23	0.310	4.29	0.801	4.26	0.302	4.22	0.793	4.25	0.265
	3	この授業のレベルは適切である	4.46	0.740	4.48	0.241	4.35	0.804	4.35	0.312	4.23	0.896	4.25	0.364	4.33	0.870	4.27	0.389	4.24	0.869	4.31	0.380
	4	この授業を進める速さは適切である	4.49	0.741	4.50	0.264	4.38	0.817	4.40	0.323	4.24	0.914	4.27	0.373	4.33	0.874	4.29	0.390	4.26	0.884	4.31	0.393
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.64	0.666	4.63	0.275	4.60	0.720	4.59	0.311	4.50	0.801	4.51	0.322	4.51	0.814	4.49	0.388	4.54	0.743	4.57	0.313
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.46	0.794	4.49	0.295	4.41	0.819	4.44	0.309	4.33	0.898	4.37	0.330	4.40	0.840	4.39	0.399	4.33	0.853	4.38	0.353
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.43	0.835	4.49	0.356	4.36	0.898	4.41	0.394	4.25	0.991	4.28	0.447	4.38	0.889	4.35	0.421	4.21	0.979	4.29	0.447
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.47	0.821	4.53	0.343	4.42	0.837	4.47	0.345	4.32	0.940	4.38	0.392	4.43	0.866	4.39	0.412	4.31	0.905	4.40	0.379
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.52	0.759	4.54	0.263	4.43	0.827	4.44	0.336	4.27	0.984	4.31	0.398	4.39	0.869	4.39	0.392	4.42	0.811	4.49	0.286
	10	この授業のシラバスは受講に役立つ	4.18	0.921	4.19	0.283	4.11	0.948	4.16	0.326	3.95	1.047	3.97	0.366	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.50	0.763	4.53	0.286	4.39	0.826	4.42	0.356	4.28	0.958	4.33	0.419	4.42	0.843	4.40	0.422	4.37	0.862	4.43	0.345
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.39	0.859	4.41	0.366	4.39	0.871	4.39	0.383	4.31	0.932	4.30	0.417	4.30	0.907	4.29	0.502	4.23	0.973	4.34	0.487
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.38	0.845	4.43	0.340	4.35	0.857	4.39	0.322	4.26	0.956	4.29	0.417	4.28	0.918	4.29	0.416	4.23	0.916	4.34	0.363

・学芸員課程委員会

1. 全体的に見て

2007年度より2011年度までと同様、2012年度もまた学芸部門は高い数値を維持している。学芸員資格取得の中心は言うまでも無く、4年次に履修が割り当てられている「博物館実習」(通年の演習形式授業)であるが、この授業に対する学生の評価は、Q3～Q9、Q11においていずれも全学10部門の中で最高となっている。各数値を見ると、回答のうち、「5.強くそう思う」が65～80%を占めており、大部分の学生から十分な評価を受けていることが分る。また、Q1「私はこの授業によく出席している」およびQ2「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」の項目に関しては、必ずしも全学の中でトップクラスの数値を示しているわけではないが、アンケートの回答率を見ると、83.02%と、全学で唯一80%を超える高率を示しており、学生の出席率、学習意欲は実際はきわめて高いと考えられる。まじめに授業に取り組んでいる者ほど、自己に対する評価が厳しいということは専門科目の演習にも見られる傾向であり、Q1、Q2の数値は必ずしも額面どおりには受け取れないと思われる。

いずれにせよ、そのような高い評価は、資格取得のため卒業に必要な単位を越えて自発的に選択するという学生の側の意識と、優れた後進を育てたいと考える授業担当者(多くが美術館・博物館・資料館等の現場で活躍する学芸員である)の側の意欲とがうまく噛み合っている結果である。また、昨年度の報告にも記したが、重要なことであるので本年も繰り返すならば、そうした両者の意識がうまく噛み合うという状況は、単に個々の授業の内容、進め方の良し悪しというだけではなく、カリキュラムの設定、非常勤講師の選任に関しての十分な検討、実習に必要な設備や備品の充実、学生に対して行なわれる徹底したガイダンス、事務室窓口での決め細やかな指導・アドバイスなど、授業以前の、あるいは授業を取り巻く環境の整備によるところが極めて大きいと考えられる。ある非常勤講師(美術館学芸員)からは、「学習院大学では私が教壇に上がると、すぐに私語が収まりシーンと静まり返るまことに心地よい」というお褒めの言葉をいただくほどである。言い換えるならば、FDにとって重要なのは、個々の教員の意識の問題だけではなく、教員が自らの理想とする授業を展開できる状況や枠組、学生が自ら積極的に参加したいと考えるような授業を用意できる状況や枠組を、外側から積極的に構築してゆくということであり、そのような全体としてのFDの仕組が学芸員資格取得関係の履修システムの中に組み込まれているということである。こうした環境は今後とも維持してゆきたいと考えている。

文部科学省による博物館法施行規則の改正により、平成24年4月から学芸員資格取得に関するカリキュラムが変更された。本学では以前より博物館関係の授業は充実しているので、新課程への移行とは言っても、さほど大幅な変更は生じていない。担当教員の顔ぶれも以前の教員がそのまま引き継がれるので、FDという点においても全く問題はない。た

だし、文部科学省の新指針に従って、設定科目は以前よりも細分化され、専門性が強くなるので、各科目の内容設定は、これから数年試行錯誤を行わなければならない。そのことは、Q10「この授業のシラバスは受講に役立った」の数値が全学的にも部門としてもさほど高くないということとも関連して、今後の課題となるだろう。

2. 今後の授業改善に向けて

毎年学年初めに行なわれる、非常勤講師との意見交換会において、情報を交換し、また授業の改善等についても話題としている。学芸部門は、とりわけ4年生の実習クラス（演習）が資格取得の総仕上げとして重要なものとなってくるので、学生の意見も充分聞いたうえで、実習環境の整備には常に心がけている。実習が終わり油断してしまう学生もあり、年度末まできちんと授業に対応させるようにしたい。また、学生の意見、希望等は常時、学芸員課程事務室において聴き取り、必要な場合に担当教員に伝えるようにしている。

第2章 各部門の評価・分析

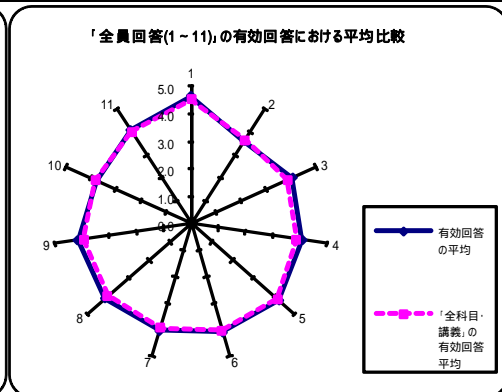
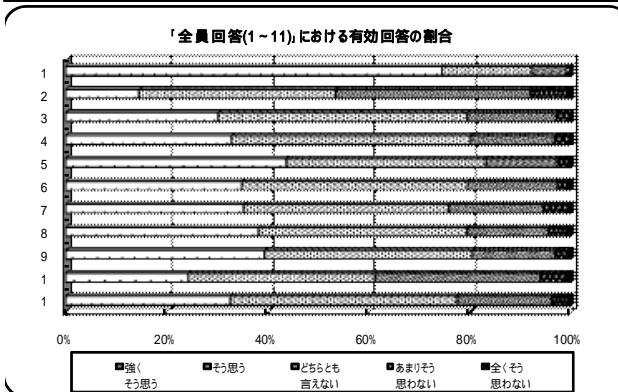
学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 学芸員

形態名 講義

	合計	総履修者数	回収率
回収数	826	1,113	74.21%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5	4	3	2	1	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	615	147	55	9	0	0	826	4.66	0.652	4.62	0.195
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	120	321	316	61	7	1	826	3.59	0.856	3.62	0.219
	3	この授業のレベルは適切である	249	406	146	21	3	1	826	4.06	0.781	4.09	0.270
	4	この授業を進める速さは適切である	271	391	137	24	3	0	826	4.09	0.797	4.13	0.199
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	361	326	117	18	4	0	826	4.24	0.809	4.29	0.263
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	288	369	146	15	8	0	826	4.11	0.821	4.16	0.191
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	291	335	154	40	6	0	826	4.05	0.893	4.09	0.292
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	315	340	133	30	7	1	826	4.12	0.866	4.16	0.289
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	324	339	135	18	8	2	826	4.16	0.842	4.19	0.244
	10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 25.06%)	150	228	202	30	8	1	826	3.78	0.913	3.83	0.205
	11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	267	368	152	27	5	7	826	4.06	0.834	4.09	0.256
「講義」 「語学」 のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	265	308	174	48	9	22	826	3.96	0.941	3.97	0.268
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	248	312	195	35	13	23	826	3.93	0.932	4.00	0.315



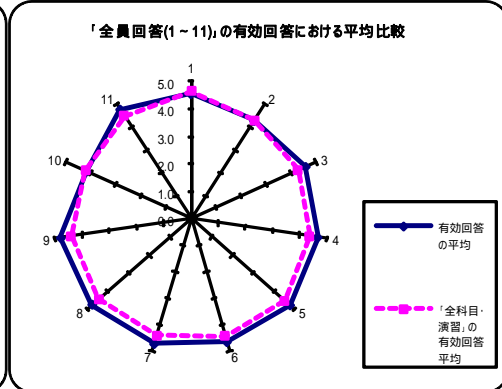
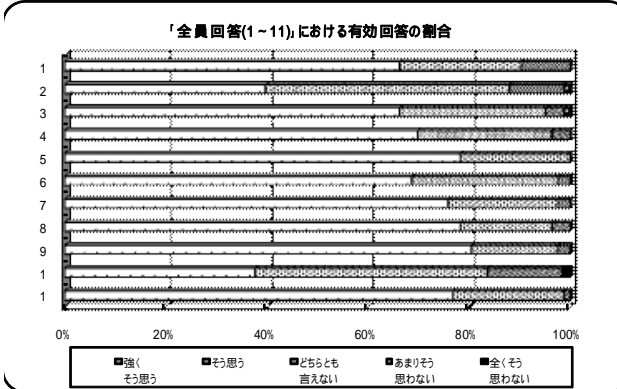
学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 学芸員

	合計	総履修者数	回収率
回収数	83	99	83.84%

形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	55	20	8	0	0	0	83	4.57	0.666	4.56	0.308
			66.27%	24.10%	9.64%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	33	40	9	1	0	0	83	4.27	0.700	4.26	0.269
			39.76%	48.19%	10.84%	1.20%	0.00%	0.00%	100.00%				
	3	この授業のレベルは適切である	55	24	3	1	0	0	83	4.60	0.624	4.59	0.239
			66.27%	28.92%	3.61%	1.20%	0.00%	0.00%	100.00%				
	4	この授業を進める速さは適切である	58	22	3	0	0	0	83	4.66	0.547	4.66	0.118
			69.88%	26.51%	3.61%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	65	18	0	0	0	0	83	4.78	0.415	4.78	0.099
			78.31%	21.69%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
	6	教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	57	24	2	0	0	0	83	4.66	0.524	4.67	0.128
		68.67%	28.92%	2.41%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%					
7	教員は理解しやすい授業を行っている	63	18	2	0	0	0	83	4.73	0.496	4.74	0.178	
		75.90%	21.69%	2.41%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%					
8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	65	15	3	0	0	0	83	4.75	0.514	4.75	0.126	
		78.31%	18.07%	3.61%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%					
9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの方が得られたりした	66	14	2	0	0	1	83	4.78	0.472	4.77	0.232	
		79.52%	16.87%	2.41%	0.00%	0.00%	1.20%	100.00%					
10	この授業のシラバスは受講に役立つ (シラバスを読まなかった人 26.51%)	23	28	9	0	1	0	83	4.18	0.806	4.23	0.255	
		27.71%	33.73%	10.84%	0.00%	1.20%	0.00%	100.00%					
11	総合的に見てこの授業は高く評価できる	63	18	1	0	0	1	83	4.76	0.460	4.75	0.192	
		75.90%	21.69%	1.20%	0.00%	0.00%	1.20%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	14	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	52	15	3	0	0	13	83	4.70	0.548	4.72	0.256
			62.65%	18.07%	3.61%	0.00%	0.00%	15.66%	100.00%				
15	教員は参加者が課題に取り組みのを助けた	56	12	2	0	0	13	83	4.77	0.487	4.79	0.126	
		67.47%	14.46%	2.41%	0.00%	0.00%	15.66%	100.00%					



第2章 各部門の評価・分析

相関係数表 部門名 学芸員
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1												
Q2	.150(**)	1											
Q3	0.028	.512(**)	1										
Q4	0.041	.435(**)	.759(**)	1									
Q5	0.035	.360(**)	.520(**)	.592(**)	1								
Q6	-0.006	.368(**)	.526(**)	.570(**)	.551(**)	1							
Q7	-0.035	.451(**)	.723(**)	.672(**)	.589(**)	.612(**)	1						
Q8	-0.056	.379(**)	.606(**)	.644(**)	.566(**)	.600(**)	.744(**)	1					
Q9	0.014	.438(**)	.619(**)	.551(**)	.542(**)	.491(**)	.683(**)	.623(**)	1				
Q10	0.014	.341(**)	.305(**)	.294(**)	.291(**)	.241(**)	.295(**)	.290(**)	.307(**)	1			
Q11	0.011	.506(**)	.684(**)	.672(**)	.620(**)	.578(**)	.758(**)	.681(**)	.725(**)	.332(**)	1		
Q12	-0.01	.386(**)	.578(**)	.572(**)	.506(**)	.497(**)	.664(**)	.669(**)	.583(**)	.307(**)	.654(**)	1	
Q13	-0.019	.396(**)	.601(**)	.611(**)	.523(**)	.531(**)	.697(**)	.646(**)	.561(**)	.292(**)	.676(**)	.733(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 学芸員
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q14	Q15
Q1	1												
Q2	.223(*)	1											
Q3	0.138	.384(**)	1										
Q4	0.162	.332(**)	.639(**)	1									
Q5	0.097	.327(**)	.512(**)	.641(**)	1								
Q6	0.1	0.18	.443(**)	.576(**)	.445(**)	1							
Q7	-0.094	0.17	0.207	.341(**)	.310(**)	.496(**)	1						
Q8	-0.182	0.155	0.101	.300(**)	.311(**)	.494(**)	.786(**)	1					
Q9	0.082	0.217	.293(**)	.387(**)	.274(*)	.254(*)	.271(*)	.222(*)	1				
Q10	-0.022	0.048	-0.075	-0.011	-0.07	-0.023	0.045	0.054	0.213	1			
Q11	-0.031	.350(**)	.298(**)	.399(**)	.426(**)	.417(**)	.648(**)	.585(**)	.545(**)	0.112	1		
Q14	-0.011	0.2	.256(*)	.435(**)	0.184	.340(**)	.328(**)	.280(*)	.609(**)	0.21	.505(**)	1	
Q15	-0.004	0.171	0.189	.474(**)	.281(*)	.357(**)	.331(**)	.275(*)	.572(**)	0.121	.454(**)	.718(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 この授業のシラバスは受講に役立った(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

学習院大学 平成24(2012)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 学芸員
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2011年度				2010年度				2009年度				2008年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差
'全員' 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.66	0.652	4.62	0.195	4.65	0.687	4.61	0.162	4.61	0.673	4.59	0.256	4.53	0.783	4.49	0.237	4.41	0.949	4.40	0.346
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.59	0.856	3.62	0.219	3.66	0.928	3.70	0.378	3.74	0.969	3.76	0.393	3.62	0.982	3.71	0.427	3.43	0.950	3.55	0.305
	3	この授業のレベルは適切である	4.06	0.781	4.09	0.270	4.07	0.894	4.02	0.426	4.21	0.808	4.14	0.440	4.12	0.817	4.18	0.322	3.89	0.854	4.04	0.310
	4	この授業を進める速さは適切である	4.09	0.797	4.13	0.199	4.13	0.860	4.13	0.291	4.27	0.799	4.23	0.295	4.20	0.815	4.26	0.279	3.95	0.862	4.11	0.303
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.24	0.809	4.29	0.263	4.36	0.785	4.45	0.328	4.44	0.742	4.45	0.300	4.44	0.752	4.52	0.315	4.24	0.818	4.43	0.319
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.11	0.821	4.16	0.191	4.17	0.859	4.23	0.267	4.24	0.785	4.25	0.249	4.19	0.844	4.28	0.298	3.94	0.857	4.11	0.339
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.05	0.893	4.09	0.292	4.17	0.916	4.16	0.406	4.30	0.817	4.23	0.409	4.20	0.887	4.31	0.358	4.05	0.883	4.20	0.303
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.12	0.866	4.16	0.289	4.24	0.887	4.23	0.403	4.33	0.759	4.30	0.300	4.32	0.807	4.39	0.292	4.17	0.807	4.32	0.300
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.16	0.842	4.19	0.244	4.15	0.933	4.22	0.379	4.31	0.809	4.34	0.271	4.21	0.863	4.32	0.321	4.14	0.851	4.33	0.284
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	3.78	0.913	3.83	0.205	3.84	0.943	3.83	0.326	3.90	0.940	3.95	0.256	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価)できる	4.06	0.834	4.09	0.256	4.15	0.912	4.22	0.388	4.27	0.818	4.24	0.306	4.22	0.849	4.32	0.370	4.03	0.850	4.21	0.318
'講義' '語学' のみ	12	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.96	0.941	3.97	0.268	4.15	0.919	4.23	0.302	4.19	0.874	4.22	0.322	4.12	0.951	4.23	0.372	3.92	0.930	4.06	0.302
	13	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.93	0.932	4.00	0.315	4.18	0.894	4.25	0.319	4.17	0.893	4.16	0.422	4.20	0.874	4.28	0.348	3.93	0.908	4.14	0.362

部門名 学芸員
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2012年度				2011年度				2010年度				2009年度				2008年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形勢別 平均	部門別 形勢別 標準偏差
'全員' 回答	1	私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率80~80% 3:出席率70~70% 2:出席率60~50% 1:出席率40%以下	4.57	0.666	4.56	0.308	4.56	0.623	4.56	0.258	4.60	0.693	4.59	0.189	4.60	0.705	4.60	0.283	4.46	0.693	4.46	0.184
	2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.27	0.700	4.26	0.269	4.22	0.777	4.20	0.315	4.15	0.831	4.15	0.213	4.13	0.780	4.11	0.317	3.94	0.833	3.95	0.362
	3	この授業のレベルは適切である	4.60	0.624	4.59	0.239	4.61	0.627	4.60	0.248	4.62	0.583	4.62	0.241	4.51	0.657	4.51	0.205	4.50	0.685	4.51	0.320
	4	この授業を進める速さは適切である	4.66	0.547	4.66	0.118	4.63	0.600	4.62	0.205	4.67	0.560	4.67	0.239	4.53	0.634	4.52	0.215	4.50	0.744	4.51	0.307
	5	授業に対する教員の熱意が感じられる	4.78	0.415	4.78	0.099	4.74	0.591	4.72	0.330	4.77	0.487	4.77	0.177	4.67	0.531	4.66	0.208	4.73	0.561	4.72	0.189
	6	教員は教室内が学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている	4.66	0.524	4.67	0.128	4.69	0.583	4.68	0.260	4.73	0.539	4.74	0.165	4.52	0.634	4.50	0.213	4.63	0.592	4.64	0.178
	7	教員は理解しやすい授業を行っている	4.73	0.496	4.74	0.178	4.74	0.576	4.73	0.319	4.72	0.520	4.72	0.208	4.67	0.545	4.66	0.212	4.69	0.551	4.69	0.226
	8	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である	4.75	0.514	4.75	0.126	4.64	0.696	4.63	0.288	4.74	0.490	4.74	0.176	4.63	0.595	4.62	0.220	4.73	0.586	4.73	0.205
	9	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	4.78	0.472	4.77	0.232	4.72	0.623	4.70	0.319	4.75	0.563	4.74	0.173	4.69	0.591	4.69	0.244	4.68	0.591	4.68	0.242
	10	この授業のシラバスは受講に役立った	4.18	0.806	4.23	0.255	4.07	0.845	4.06	0.320	4.21	0.865	4.21	0.408	-	-	-	-	-	-	-	-
	11	総合的に見てこの授業は高(評価)できる	4.76	0.460	4.75	0.192	4.73	0.582	4.72	0.297	4.70	0.519	4.69	0.203	4.64	0.619	4.63	0.250	4.66	0.599	4.66	0.284
'演習' '語学' のみ	14	教員は参加者が発表に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4.70	0.548	4.72	0.256	4.46	0.736	4.43	0.441	4.47	0.751	4.47	0.410	4.41	0.726	4.37	0.436	4.34	0.812	4.35	0.531
	15	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.77	0.487	4.79	0.126	4.62	0.630	4.62	0.288	4.65	0.602	4.66	0.289	4.55	0.650	4.53	0.297	4.57	0.622	4.57	0.339

第3章

授業への取り組み例

． 法学部

【法学科】

民事訴訟法の授業では、レジユメを配布するだけでなく、授業全体のポイントを理解しやすくするために、話をするテーマ毎に、それぞれのテーマが訴訟手続全体のどのような場面において問題となるものであるかについて説明した図を配布したうえで、テーマの位置付けについて説明している。

外国書講読において、前回取り扱った部分の英文和訳の小テストを実施した。これにより、参加者が毎回の授業の復習を行うように誘導し、間違いやすい英文の理解力の向上を図った。

講義をパワーポイントで行っている。使用するスライドは全て S ドライブに講義前に保存し、学生が予習・復習の際に自由にダウンロードできるようにしている。講義では、スライドの文字で書かれている情報をホワイトボードで図示するなど、スライドを読み上げるだけにならないように気を配る。

講義でも、途中で簡単な事例問題を出題して、その場で問題を解かせたり、時間を決めて周囲の学生と議論させたりすることで、講義内容を理解しているかを自己チェックできるようにしている。

演習では全員のメーリングリストをつくり、レジユメの配布等の準備作業を円滑に行えるようにしている。

民法の授業では、毎回、授業の初めに、B4 で 4 枚ほど (B5 で 8 ページ相当) の詳細なレジユメを学生に配布して、判例や学説の分かれ目や、重要な学説の構造などを学生が理解するのに役立ててもらっている。また、板書も多く行い (なお、マーカーは、黒のほか、赤、青、そして個人研究費で購入した緑のマーカーも用いて、学生の視覚に訴えるようにしている)、口頭の説明も、学生の反応を見ながら、できるだけ分かりやすい内容となるよう心がけているつもりである。

講義科目において、受講生の理解の向上および教員の板書負担の軽減のために、図表を多く採り入れた講義資料を配布している。なお、何らの理由で欠席せざるをえなかった受講生のため、講義資料は P D F 化し、G-Port でダウンロードできるようにしている。

法学科の科会に、法科大学院専任教員を含めた法学教育の担当教員全員が集まる機会を利用して、各教員の授業に対する取り組み事例を報告し、それをめぐって意見を交換することを継続している。

第3章 授業への取り組み例

【政治学科】

講義科目のうち、提供する情報量が多いものについては、講義ノートのものを G-Port を通じて配布している。就活を優先せざるを得ない 4 年生に好評だが、ノートを配布する回の出席率は低いと感じる。穴埋め式も試したが、穴に入る言葉は何かに学生の関心(質問)が集中してしまう。

受講者が講義内容に興味をもち、具体例に引きつけて理解できるよう、事前に課題を出し、ウェブを用いて簡単な調査をしてもらっている。やる気がある学生は積極的に取り組んでくれている。しかし、一部の回にとどめているが、負担感をもつ学生が脱落するとともに、友人の成果を写したり、翌週に持参したり、ミニレポートを提出することが目的化している学生もいて、ジレンマを感じている。

政治学科には、ほぼすべての 1 年生が履修する基礎演習が開設されている。これは、大学における授業の基礎をなす非常に重要な科目であると思われる。そのような見地から、次のような点に留意しながら基礎演習を進めている。

第一に、大学における勉強が円滑に始められるように、図書館の使い方、調査の方法、レジュメの書き方、報告の技法といった、学問の「技術」的な側面を、演習のプログラムの中に取り入れていることである。

第二に、人前で真面目な発言をすることに慣れていない学生が多いことに鑑み、ディスカッションを「グループ討論 全体討論」という二段階方式で行い、グループ討論で発言に慣れてから全体討論に参加するという形を徹底している。また、議論・発言は、指定されたテキストをめくり事前に準備した課題(A4用紙1枚)に基づいて行われるので、発言内容に困るということもない。また、課題は、その都度、コメントを付けて返却している。こうすることで、学生の課題文を書くモチベーションが多少なりとも上がることを期待できる。

第三に、テキストは、いわゆる古典よりも、現在の世界と日本の政治・社会に関わる新書を読むことにしている。知識の体系的な取得よりも、1 年生には様々な知的刺激を与える方がよいと思われるからである。その際、「多少、分量は多いかな」といった程度の分量を課題としている。ある程度の「負荷」をかけないと学力や好奇心の増進も見込めないからである。

基礎演習では、政治現象をゲーム理論で表現したものを、実際にゲームとしてプレーし、遊びながら政治のメカニズムが理解できるようにしている。例えば、ねじれ国会、公共財、連立政権、瀬戸際政策、政党の政策、などを扱った。

政治学 では、授業用サイトからデータやスクリプトをダウンロードして、各自が R という統計ソフトを用いて、授業中あるいは課外に、データ分析をさせている。

社会心理学的な実験などを説明する場合には、実際にその実験に使われた刺激材料などを

スクリーンに映し、まず学生自身に実験参加者と同じ体験をさせ、その後にその実験の結果と意味を説明することで、授業の内容にリアリティを持たせるようにしている。

なお、学生の私語に関しては、毎学期1回目の授業において少し時間を取り、注意事項として説明を行うことにより、その後の授業ではほとんど私語のない状態を保てるようになった。

． 経済学部

経済数学の授業において、全体の履修者を4分割した少人数の数学演習を行っている。同様に、経営数学の授業において、他大学では類を見ない少人数（一クラス30人）の数学演習を行っている。一人一台のコンピュータでグラフィクス教材を使い、教員やティーチングアシスタントの大学院生と話しながら演習を進められる。また、経済数学・経営数学双方でeラーニングシステムを駆使し、webベースの学習支援を行っている。これらの導入により、「理解しやすい授業」、「知的好奇心や新しいものの見方」、「教材の内容」の観点から学生へのサービス向上が図れていると考えられる。

管理会計の授業において、企業再生の研究で取り上げた日本航空の例をあげて、コスト管理やマネジメントコントロールについての説明を行っている。学生にとって管理会計の概念は抽象的でわかりにくい部分があると思われるが、日本航空の具体的な例をとりあげることにより、実際に適用した場合のイメージがわきやすくなるような工夫をしており、「理解しやすい授業」、「知的好奇心や新しいものの見方」の観点から授業内容が改善されていると考えられる。

． 文学部

【哲学科】

本学科は哲学思想系と美学美術史系の二つの系から成る複合学科であり、前者は文献の読解、後者は作品の解釈と、授業の方向性は異なるものの、両系ともに、基礎力の充実、豊かな思考と柔軟な応用力の涵養、卒業論文の作成、を重視する教育方針は同一である。以下、授業改善に向けての取り組みを、初年次教育の充実、達成度の検証とフィードバック、シラバスの改善、卒業論文の指導体制の順に記述する。

1. 初年次教育の充実

基礎演習における＜少人数教育＞を堅持し、予習復習を含め、学生一人一人の授業参加姿勢や習熟度を的確に把握し、欠席しがちな学生、課題提出が困難な学生へのサポートを

第3章 授業への取り組み例

行い、すべての学生が学ぶ楽しさを得つつ、目標とする学力を獲得するよう努めている。また、総合基礎科目の「東アジア日本の倫理思想」をA、B二コマ設定にするなど、学生の履修希望にきめ細かく対応し、総合基礎科目を活用しつつ、基礎から専門への道筋をつけている。なお、哲学系であるが美術史系も学んでみたい、西洋を第一志望としているが、日本東洋も学んでみたいといった、両系や対象地域をまたいでの向学心に応えるべく、時間割にも配慮している。さらに、教員と大学院生による初年次の学習サポートとして、ジュニアセミナーを年数回開催し、参考文献の探し方、プレゼンテーション技術、配布資料の作り方、レポートの書き方などを指導している。

2. 達成度の検証とフィードバック

演習科目においては、授業への積極的な参加を一層推し進めるための受講生への働きかけを様々に工夫している。たとえば発表エントリー表や課題の分割説明等を学科フロアの廊下掲示板に開示し受講生の相互関心を深め課題に対する協働の下地をつくる、発表者とコメンテーター双方を評価するなど、教員とTAは、学生が孤立することなく学習に向かう環境をつくり、授業の場のみならずその外側も活発なコミュニケーションの場となるよう努めている。

受講生一人一人と教員のコミュニケーションは、講義科目の場合、演習に比べ困難を伴うが、毎授業提出するリアクションペーパーの活用によって、それを補うことができる。質問事項や意見などを抜粋してコメント表を作成し、次の授業で配布し紹介する、リアクションペーパーに回答や意見を記入して返却する、など、教員個々によって、リアクションペーパー活用の実態は異なるが、基本は、それによって授業の理解度を把握し、質問など疑問点に答え、受講生の関心や興味を授業に反映させるということにある。

3. シラバスの改善

シラバスと実際の授業運営においては、受講生の質問、あるいは関心の広がりには答える局面が多く、学期初めに想定したシラバスの内容との齟齬が生まれることは珍しくない。だが、それによって、「シラバスは役に立たなかったという」感想が生まれることは残念である。よって、『文学部シラバス』に掲げたものと違いが生まれた場合、学期途中、再構成し直したシラバスを提示するよう努めた。また、シラバスの記述を見直し、専任・非常勤ともに、具体的な指針となるシラバスを作成するよう努めている。特に、できるだけ詳しく授業の予定を具体的に示すこと、成績評価の方法や基準を明らかに示すこと、参考文献や教科書の書誌情報を多く示すこと、を心がけている。

4. 卒業論文の重視

本学科では、4年間の学部での学習の集大成として、充実した卒業論文を書くよう、カリキュラムを構築し、各自が研究テーマに誠実に向かい合い、自分の言葉で論理を組み立て、

議論を完成させることを目指している。2年次に系志望届を提出し、そこで専門的学習へのモチベーションを高め、3年次では、卒業論文ガイダンスと卒論テーマ個人相談の時間を設定している。指導教員の演習や自主ゼミでの指導のほか、4年次では、春と秋の二度の中間発表をおこない、卒業論文の経過報告と教員のアドバイスがなされる。春の卒論中間発表会は公開を原則とし、テーマへの取り組み方、考察視点の可能性、先行研究の示唆など、教員全員からのアドバイスが与えられ、主査・副査の決定が行なわれる。秋の中間発表は、主査と副査に対して、卒業論文の組み立てや中核となる議論を発表する。卒業論文への評価は、口頭試問に対する主査・副査の評点を教員全員が確認して決定する。

なお、卒業論文ガイダンスでは「卒業論文への道」という小冊子を配り、卒業論文作成の心構え、提出までの教務上のスケジュール、卒業論文の執筆要項などを記載し、本学科が4年間の学業の達成として卒業論文の作成を重視していることを周知させている。

【史学科】

学生の学修達成度の検証と授業への反映

本学科では卒業論文の完成を目標にカリキュラムを編成されている。提出された卒業論文については、主査・副査・三査による審査をおこなうが、口頭試問には全教員が陪席し、最終的な評価は教員間での質疑をへたうえでくださる。他方、履修状況に問題を抱える学生にかんしては学科会議で状況を検討し、適宜、家庭と連絡をとりながら指導する態勢をとっている。

授業への取り組み例 1

本年度より新たな授業科目として「歴史文献講読入門」を設置し、週一コマ開講している。この科目は、従来のカリキュラムでは卒業論文執筆に要求される外国語文献や原史料を読みこなす学力を身に付けることが困難な学生の増加への対応策である。本年度は約30名の学生が受講している。

授業への取り組み例 2

1年生を対象にした「基礎演習B」(週一コマ)では、議論に取り組む姿勢を養う狙いをもって、グループ討論を試みている。約30名の受講者を3組に分けたうえで、テキストの担当箇所についてグループ内での討論を重ね、全体討論を実施する。受講者それぞれに何らかの役割を割り振って発言を促すようにしている。

【日本語日本文学科】

- 日本古典文学の授業では、授業評価アンケートから、学生の関心の低さと退屈ぶりがうかがえた。これは、学生の古文読解力の不足(高校までの教育に問題があるう)に一つの原因があると思われるが、なんとか学生の関心を高めるために、以下のような

第3章 授業への取り組み例

対策をとった。

1. 古文の実例を示す時には、必ず現代語訳を付すこと。そのために、2年かけて教材をすべて作りかえた。
2. 古代のことを説明するのに、それに近い現代の例を持ち出し、「古代や中世では…」と話を進めるようにした。
3. 授業の進行にあたっては、学生に問いかけを繰り返して、話題に意識を集中させるようにした。

- 日本古典文学の一年生向けの授業では、「シラバスが受講に役立った」「自分（学生のこと）は意欲的に取り組んでいる」という二点が、他に比べて評価が低かった。前者については、文系の場合、理系のような組織的なカリキュラムに則ったものにはなりにくいので、仕方ない一面もあるが、なるべく具体的な内容を提示できるよう努力することにした。また、後者については、一年生は取らなくてはならない単位も多く、すべての科目に意欲を発揮するのは難しいと思われるが、

1. 現代の問題にも通じるような形で問題提起をする。
2. 現代語訳を丁寧にする。
3. 図版や表を多用し、視覚的にも伝える。

というようなことを心がけて、興味・関心を高めるようにした。二年生以上の科目についてはおおむね問題はない。

- 日本近代文学の授業では、学生のアンケートで、特に1年生向けの授業内容の難しさが指摘された。しかし授業の難易度を急速に落とすことは、教育のレベル低下を招く恐れがある。そこで、具体例を多くし、質問の時間を充分に取るように心掛け、また重要なポイントについては授業で話した内容をプリントにして配布して、復習をしてもらうように求めるなどの対策を講じた。特に具体例の呈示に関しては、映像資料を見せて学生の理解を容易にするといった方法も試みている。

- 日本近代文学の授業では、いわゆるゆとり教育世代に属する昨今の学生のレベルに対

応する一方で、従来の授業の難易度をできるだけ維持する工夫をしている。そのため、授業の導入部分では、学生にとって身近な話題を多めに取り入れ、画像や映像資料による例示を増やすなど、できるだけ具体的な局面から入ることで、学生に関心をもってもらおうよう授業内容を改善してきた。またその上で、抽象度の高い論理的な文章や、微妙な感情を読みとる必要のある文章を少しずつ加えて行くことで、最終的にはこれまで通りの教育レベルに達するようにしている。授業の節目節目で十分に質問の時間をとり、小レポートを課して学生の理解をいっそう確かなもの機会を増やすとともに、重要なポイントに関しては授業で話した内容をプリントにして配布し、復習してくることを求めるといったことなども、ゆとり教育世代対策として打ち出された変更点といえる。現在までのところ、授業アンケートの結果からみても、これら一連の取り組みは一定の評価を得ているものと考えている。

日本語教育・日本語学の授業では、学生による授業アンケートにおいて、特別な不満や改善要求は見られなかった。しかし、日本語学・日本語に関する授業については、授業内容のレベルについての意見が多少分かれる傾向があるため、内容の理解度、わかりにくさの原因を探るため、多くの授業（特に講義科目）においては、授業に関するコメントシートの記入を毎回実施し、その結果を授業改善に役立てている。また、日本語教育を専攻する学生には、日本語教育の現場を知りたいという要望や、日本語・外国語によるコミュニケーション能力を高めたいという要望が強くあるため、長年にわたり、海外日本語教育研修をマレーシア、シンガポール、台湾、韓国等で実施してきた。これに加え、外部資金の導入により、海外日本語教育インターンシップの推進をはかり、オーストラリア、タイ、アメリカ合衆国などへ、学生を派遣している。

【英語英米文化学科】

1. 板書は時間を取られる。板書する事柄を書いたハンドアウトを初めに配布するのも副作用がありうる。板書とハンドアウトを組み合わせた講義を試みる。

2. 講義（2～4年生対象、120名程度）

アメリカ文学に描かれた弱者について、映画や写真等の映像資料を多用することで、学生の作品および同時代の社会的背景に対する理解を深めることができた。講義科目は学生が受け身になりがちだが、その日の授業の核となる問題について全学生がコメントを書く時間を毎回10分程度設けた。これにより、学生は授業中、自分なりに考えたり批評したりすることもできた。またこのコメントシートは、出席や毎回の授業への取り組みが成績に反映されにくい講義科目に対する学生の不満を解消することにも役立った。

第3章 授業への取り組み例

3. ゼミナール（3、4年生対象、30名程度）

前期において、4年生は卒論の内容について、3年生は卒論にむけて興味関心のある研究テーマについて、毎回3名程度の学生が30分間ほど発表を行う授業形式。後期は4年生の卒論ドラフトを3年生が批評するという授業形式。発表者以外の学生は質疑応答と発表者宛のコメントシートを書くことで、クラス全体が積極的に授業に参加できるようにした。卒業論文執筆への準備を進めるとともに、クラスメートの研究内容を知ることによって、学生たちは知識を広げたり刺激を受けることができた。

4. 講義（1～3年生対象、140名程度）

アメリカの歴史、アメリカ研究の講義形式の授業であるが、主体的に取り組んでほしいので、各回のポイントにかかわる資料を前週に配布し、その資料を読んで設問に対する答えを準備し、コメントシートの形で提出してもらっている。さらに、授業で使うスライドを前もってG-Portにアップロードしているので、学生はそれをノートに書いてくることができるようになっている。自筆ノートのみ持ち込み可の期末試験を行うため、理想的には授業中に各自がスライドの内容を準備したノートに授業で聞いた話を補っていけば、期末試験にも無理なく臨めることになると思われる。現実としては、学生によって熱意はまちまちで、コメントシートのコメントの質にもばらつきがあるので、熱意をどうやって保つかの工夫が必要だと考えている。コメントシート上の反応を授業中に紹介したり、また学期中1回は課す短めのレポートにコメントをつけて返却したりすることにより、一方通行にならないよう心がけている。

【ドイツ語圏文化学科】

1. 基礎教育の充実

本学科では、3年次から各自の関心に応じて3つのコース（現代地域事情、文学・文化、言語情報）のいずれかを選択するカリキュラムとなっているが、コース選択の準備段階として入門ゼミナールという必修科目を設置している。この授業では各コースの基本的知識を学ぶとともに、文献検索の仕方、発表の仕方、レポート作成の基本を習得することを目指しているが、学生に対するきめ細かい指導を行うために、授業時間外にTAによるグループ指導および個別指導を行っている。このTAによる指導によって、発表やレポートの質的向上をはかることができている。

2. 大学図書館ガイダンスの活用

毎年5月に、1年生、3年生、また卒業論文を執筆する4年生を対象としたガイダンスを大学図書館に依頼している。該当する学生たちには出席を強く勧め、ガイダンス内容については学年ごとの到達目標を勘案し、本学科教員と図書館職員で密接な打ち合わせを行っている。特に3年生にはより専門的な文献およびドイツ語文献の検索の基本を学ばせることに

よって、4年生で選択する卒業論文または卒業研究に向けた準備を早くから始めることができるようにしている。また卒業論文を執筆する4年生に対しては、上記のガイダンスのほか、に学科教員によるガイダンスを行い、自立的な文献調査ができるよう指導している。

3. リアクション・ペーパーの活用

受講者数の多い講義科目、さらには演習科目の一部では、毎回の授業でリアクション・ペーパーを配布し、授業内容についての質問や疑問などを学生に書かせている。各教員はリアクション・ペーパーに書かれた質問事項について、次回の授業で取り上げて説明するなどの形で、授業に反映させている。リアクション・ペーパーによって学生の理解度をその都度確認しながら授業を進めることが可能となり、また授業に対する学生の要望なども知ることができるために、全学一斉で行われる「学生による授業評価」よりきめ細かい対応が可能となっていると考える。

【フランス語圏文化学科】

1. コース制と単位読み替え

フランス語圏文化学科では、学生の多様な興味、関心に応えるべく、2007年度から「言語・翻訳」、「文学・思想」、「舞台・映像」および「広域」からなるコース制を敷いている。しかし、学生が取り扱うテーマが、各コースの限定された領域に収まりきれないことも明白であり、厳密なコース制の持つ様々な弊害が目につくようになってきている。これまでもゼミナールを複数のコースにまたがらせる等の工夫をしてきたが、今年度からはコース間の授業単位の読み替えなどを積極的に行い、学生の視野を広げつつ研究対象をより深く掘り下げられるよう配慮している。

2. 卒業論文、卒業翻訳、卒業演習に関する指導方針

フランス語圏文化学科では、卒業のための最終段階として、卒業論文、卒業翻訳、卒業演習の3つの選択肢が与えられている。この選択に関しては、これまでもゼミ担当者が個別に相談に応じ、指導をしてきたが、昨年度からはより客観的に判断を下せるよう、ゼミ単位で「3年次レポート」を義務付けている。3年次の学生に課題を選択させ、夏休み後にレポートを提出させて、優秀なものは小冊子にまとめて配布する、というものであるが、これによって各学生の適性や関心がより明確に把握できるようになり、特に従来多かった、卒論を書くべき学生が卒演に流れてしまう、というミスマッチが避けられることになると期待される。

3. 1年次の学生へのガイダンス

1年次の学生の必修科目である「基礎演習」は、フランス語圏文化学科の学生にとって文字通りもっとも基礎的な単位となる授業であるが、3クラス制になっているため、ク

第3章 授業への取り組み例

ラス間の交流がなかなか保てない、という弊害があった。そこで今年度からは、5月半ばにあらためて学年全体を対象としたオリエンテーションを開催し、飲み物と軽食をとりながら、全学生と教員間のコミュニケーションをとる機会とした。

4. 2年次のフランス語教育強化

「基礎演習II」の授業ではフランス語の文法の基礎を復習したあと中級文法を学び、それと同時にフランス語の読解力を向上させることを目的としており、フランス語圏文化学科の科目のなかでも重要な位置を占めている。しかし、ここ数年、授業内容を十分理解できていない学生が目立つようになってきた。そこで、学科教員と外国語教育研究センターの教員が協力して、学習院大学のレベルに合わせた教科書「フランス語文法」「フランス語解釈」を作成し、それを2010年度より使用している。またその後授業で利用した際の学生の反応などを汲み取って、内容の見直しを行なっている。

【心理学科】

1. パワーポイントを使って、視覚資料やビデオなどを織り交ぜながら、心理学の知見を体験的に理解できるように工夫している。（認知心理学、社会心理学など）
2. 授業で使ったパワーポイントのファイルを、授業後にホームページにアップロードしている。（認知心理学）
3. 授業後に、授業の感想や要望、質問などをコメントペーパーに書いてもらい、授業が一方通行にならないように配慮している。（認知心理学、性格心理学など）
4. コメントペーパーに対する回答や、授業に関連した参考資料などを、ホームページを使って学生に提供している。（認知心理学）
5. 英文講読演習で、初学者である1年生に講読の前に予備知識を提供するために事前に講義を実施している。（心理学演習）
6. 英文講読演習で、学生同士の討論を活性化するため、小グループに分け、さらに教員が討論の柱を提示して討論を引き出す工夫をしている。（心理学演習）

．理学部

電磁気学2、3の授業において、講義の際に使用したスライドをHP上にアップし、予習復習ができるようにしている。また、やや複雑な計算がある個所は、丁寧な計算過程を示した資料や練習問題などもHP上にアップして、理解を深めるように工夫している。

物理実験2、3について、実験の参考テキストをHP上にアップして実験内容の理解を深めるよう工夫している。

原子物理学概論（物理、2年生）授業への出席の動機付けのため、講義の中で学生への質問、小問題を課すなどの働きかけをしている。

一般物理学（物理、1年生）新棟（南7号館）の教室に移ったので、その設備の有効活用を図っている。ただし、例えば黒板が狭くなるなど、若干使い勝手が悪くなった点もあるので、その使いこなしを検討しつつ、改善すべき点をまとめてより使い易い教室となるよう考えている。

構造化学の講義において、前任者の用いていた教科書に準拠して講義を進めているが、省略されている背景や、図表を補足して理解を深める工夫を行っている。講義で用いた資料はホームページを通して公開し、復習に利用できるようにしている。

「地球化学」を担当していたが、環境問題に対する重要性を鑑み、環境を重視し「環境地球化学」という科目名にした。それに合わせて、配付資料やスライド（PowerPoint）の図も充実させた。

分かりにくいという声が聞こえた科目は練習問題のプリントを配ったりして、理解しやすいように工夫しつつある。

2年生の化学科の学生実験は、新しい校舎に移り実験室が広くなったので、デモンストレーションなども分かり易くし、TAもより効果的に活用していく予定である。また、新しい実験テーマも加え、より充実したものにしていく予定である。

「位相空間」の授業において、これまでいくつかの教科書を使ってきたが、詳しすぎたり、あるいは簡略に流れたり、ちょうどよいものになかなかめぐり合わない。そこで、毎時間、授業の内容をレジюмеにして、簡単な練習問題もつけたプリントとして配布している。

第3章 授業への取り組み例

線形代数の授業において、冒頭に簡単な問題を出して授業の終わりに解答をあつめ、次回には \times で採点して返している。

やさしい問題も手を動かして解くことが大切なので、毎回問題を出して解かせることに意義がある。もっと、大切なことは、ごく簡単な問題とっていたが1割くらいしか解けなくて、学生の講義理解が不十分なことがわかることがある。そのことがあると次回の講義で補える。問題は、G-Port に載せて、欠席の学生への配慮を行っている。

演習において、講義で学習する重要な定義・定理を書き出し、それらの関係をまとめたプリントを作成し配布している。

演習では基本的に講義で指定されている教科書に沿った演習問題を作成し学生に解いてもらっているが、学生が熱心によりペースで問題を解いてくれた場合には、やや発展的な内容や講義では触れないかもしれないが、重要または意義のある内容についての問題を作成し、配布している。

計算機（1学期）

昨年度までは授業でプログラム例をたくさん提示しすぎたため、学生が工夫してプログラムを作る余地が殆どなかった。そのことに気づき、今年度はプログラム例を極力減らし、文法の説明をして、学生に出来るだけ多くのプログラムを作ってもらうように改めた。その効果が出たのか、中間テストでは昨年度より出来がよくなった。よい方向に結果が出れば、来年度もこの方法を続けたいと思っている。

微分積分 III（1学期）

多変数関数の微積分とベクトル解析初歩が講義内容である。内容が多すぎるため、細かいことには目をつぶって、重要と思われる事柄を中心に講義を行っている。

従来、レジュメとして（証明などは省いて）主要定理をまとめたものをプリントにして講義ごとに配布していたものを、かなり改訂して、教科書では不十分な証明の細部もプリントにできるだけ書き込んだ形にした。

授業が難しいとの声があったので、基本的な事柄をより時間をかけて、分かりやすく説明するように心掛けている。また、学生の自習・復習を促すために、小テスト数回行う予定である。

必修科目および選択科目を担当しているが、例年通り、期末試験に加え中間試験を実施

している。なお、試験問題については、是非身につけてもらいたい重要な事項についての出題傾向は保ちつつ、決して同じ問題にならないようにしている。中間試験ならびに期末試験の前には、試験範囲の内容についてまとめを行い、特に重要なポイントについて周知徹底を図った。これらの作業によって、学生の習熟度の向上を試みた。

実験については、提出されたレポートについて、すぐに細部にわたり添削を行い、その内容に基づいて履修者全員に再提出を求めた。それでも理解が不十分な時は、理解できたと判断できるまで何度も提出を求めた。

授業内容と関連した課題も課してあり、そのような添削・再提出を通して、講義との連携を図りつつ(少なくとも)行った実験の内容については、徹底的に理解させるようにした。

前年度のアンケート結果から担当授業が平均以上の評価を受けていることが分かったので改善点はない。学生への連絡や課題提出などで積極的にG-Portを使っている。

物理化学 III および物理化学 IV では、講義の内容をまとめた資料を作成し、それに沿って講義を進めている。講義で用いた資料はホームページを通して公開し、復習に利用できるようにしている。毎回演習を行い、学生の理解度を確認しながら講義を進めている。

「構造化学」および「分光化学」では、講義の最後に「宿題」と称する簡単な演習問題を出題して、次の講義の冒頭でその問題に対する解答を示している。講義ノートの内容を出席者に毎回配布するとともに、Web ページにも掲載している。

物性物理学 1、3 (物理、3年生)において、数年前からスライド(PC+プロジェクター)を活用し、板書を補うこととしている。スライドは配付資料として配っているが、前年度まで6スライド/枚としたが、小さすぎたことを反省して、本年度から4スライド/枚とした。

教科書の画像に加えて、学生の理解が深まるよう、オリジナルの画像を工夫している。原則的に、毎回、講義内容に関連した問題を宿題とし、提出されたレポートは添削して次々回に返却している。

今年度は受講者数が倍増し、私語が目立つようになったので授業中に注意する回数を多くした。

学生の反応を目で見ているだけでは、講義をどこまで理解しているのか判断が難しいの

第3章 授業への取り組み例

で、講義の最後にその日の講義に関連した小問をプリント及びスライドで示し、指名するなどして答えさせるという工夫をした。そして正答を示し、時間の許す限りその理由をその日の授業の中で説明する、という風にしてみた。その結果、授業への集中度が高まり、理解度も進んだ。

基礎科学実験 1,2 の物理分野および物理実験 1 のテキスト原稿を web site に掲載するようにした。必要に応じてある部分のみを印刷することで予習や復習などに役立てることを期待している。

基礎科学実験 1,2 の物理分野および物理実験 1 では、学生の反応や理解度と学問分野を考え、新実験テーマの考案、実験テーマの変更を必要に応じて行っている。具体例 1(基礎科学実験 2)：化学科と生命化学科の学生に対する電気回路実験の開講時間数を減らし、その代わりに粒子の運動を顕微鏡を通して直接観測するテーマである「ブラウン運動」を新たに加えた。学生の反応はよい。具体例 2(基礎科学実験 1)：物理学科 1 年生のテーマである分光計テーマを物理実験 1(2 年生)で行うようにした。当該テーマは光のスペクトルを観測するための分光器の調整という、「計測器の取り扱い」に注意と時間を要する。それまで実験の経験が全くない 1 年生にとっては肝心の内容を味わう余裕がなくなっていると判断したため。具体例 3(物理実験 1)：実際に研究室での研究分野に関連する実験を考え、また、装置の不具合が頻発するテーマを削除した。新たに「画像解析」「フーリエ級数」「電気伝導度の測定」のテーマを考案し、物理実験 1 のテーマに加えた。具体例 4(物理実験 1)：従来、実験技術実習で行われていた製図、金属加工のテーマを物理実験 1 で行うこととし、実験装置の作成のための技術の習得も授業の目的に加えた。

基礎科学実験 2 の物理分野において、1 テーマ当たりの学生の人数が多すぎると教育効果が下がることを考え、必要に応じて開講日程を調整した。

授業内容のポイントとなる箇所や自ら計算を行った方が良い箇所はレポート課題として提出させ、理解の定着を図っている。

物理実験 2, 3 では、1 つの実験テーマを同時に行う学生数を原則として 2 名とし、2 名毎に 1 名の TA (大学院生、助教、または教授) が担当する少人数教育を実施している。実験の内容は、予め準備したものよりも、学生自身が考察し工夫した実験を行うことを推奨しており、自分の目で見て、自分の頭で考え、自分の手を動かす実験となるように努めている。実験終了後は発表会を行い、プレゼンテーション能力の向上につなげるとともに、能動的な実験の動機付けとなるようにしている。

． 計算機センター

初等情報処理は、全学の1年生を対象とした授業であるが、コンピュータの利用方法や興味の対象は学科毎に異なる。そのため、対象とする学科に応じた目標設定や題材を選ぶことによって、目的意識をもって学べるように配慮した。

初等情報処理の授業では、学生間のスキルや知識の差が大きい。PC操作に慣れていない学生にとっては、授業についてゆくのが困難である反面、すでにスキルのある学生には退屈な授業になりがちである。また、授業の進行に影響をあたえることを気にして質問を控え、ますます授業についていけなくなる学生もいる。このような状況を改善するために、すぐに学生の疑問や要望を反映できるように、匿名で書き込みができるWebの簡易チャットを設置し、教室前面のスクリーンに投影し、学生の声を確認しながら授業を進めることにしている。

比較的少人数のクラスでは、学生の顔と名前を把握し、一人一人の学生とのやりとりから、PCのスキルレベルや理解状況を把握して授業を進めている。

． 外国語教育研究センター

コミュニケーションの授業では、授業時間の一部を使い、写真やビデオを見せながら現地の文化や社会等に関する説明を行い、学生たちの興味関心を喚起するよう努めた。

リーディングの授業で、書画カメラでテキストを映し出し、直接原稿に線や矢印等を書き込んで、文の構造や、他の文との関係などを示すことで、学生の読解を助けた。

練習問題を解かせる際に、学生たちの机の間を頻繁に行き来し、理解の不十分な学生を見つけて、分からない点を再度説明したり、より噛み砕いた説明で理解させるように努めた。

コミュニケーションの授業で会話や作文の練習をする際、学生の興味やモチベーションを高めるため、インターネット上の当該言語のサイトを教材に使い、その言語や社会等に対する親近感を持たせるようにした。

リーディングの教材として、新聞や雑誌、インターネットのサイト内のテキスト等を用いて、アクティブな題材を取り上げることで、学生の興味を刺激するよう努めた。

文法の授業で、学習内容が定着しやすくなるように、単元毎に試験を行った。

リーディングの教材として、新聞や雑誌、インターネットのサイト内のテキスト等を用いて、アクティブな題材を取り上げることで、学生の興味を刺激するよう努めた。

オンライン学習支援システムを利用して、自宅からアクセスすることで授業後も継続して学習できる環境を提供している。

オンライン学習支援システムで問題ごとの正答率を出して、正答率の低い項目を重点的に復習させるようにした。

言語表現等の上達を図るため、授業中に当該外国語でブログを書かせ、コメントや意見を付け加えて返すようにしている。

．スポーツ・健康科学センター

実技授業全般において、前年の受講者数を参考に、開講時間、開講種目、各次元毎の開講コマ数などをできるだけ学生の要望に応えられるように調整している。

実技（本学のスポーツ・健康科学（必修）、b（選択）、b（野外教育））においては、運動学習理論に基づき指導法の変化をつけ、年次ごとに経験とデータを積み重ねて、指導法に反映させている。

スポーツ・健康科学（バレーボール）の授業において、極端に体力レベルの劣るクラスがあったため、教材（5号球 4号球 軽量ボール）を工夫して体力レベルに応じた授業内容に変更して進めている。

体力トレーニングの授業において、作成した資料を配布している。しかし、紙媒体での資料を携行した状態ではトレーニングしづらいことや、身体の操作法について文章や口頭説明では伝わりづらい部分もある。そこで、トレーニングルームに設置されたモニターに映像、画像を提示し、トレーニング動作修得が効率的に進むよう工夫している。

・ 教職課程

「教育基礎」の授業テキストとして「教育基礎資料集」を教職課程独自に作成し、受講生全員に配布している。教育に関する古典をはじめとして今日的な動向について資料収集し、基礎的かつ現代的に「教育とは何か」を考えることに資している。古典に関しては前記資料集のみならず毎授業時においても、関連資料の配付あるいは資料差し替えなどをし、興味・関心の深化・発展、内容理解の拡充に供した。また、現代的な資料に関してはこの一年間に発行された新聞や雑誌等からデータを収集しており、教職を目指す学生にとって新鮮な情報に接することができ、知識を得るだけでなく接した情報について自他者発信型の授業を進めることができている。学生の当該事に関する興味・関心の深化・発展に寄与することに努めた。

・ 学芸員課程委員会

毎年学年初めに行なわれる、非常勤講師との意見交換会において、情報を交換し、また授業の改善等についても話題としている。学芸部門は、とりわけ4年生の実習クラス(演習)が資格取得の総仕上げとして重要なものとなってくるので、学生の意見も充分聞いたうえで、実習環境の整備には常に心がけている。

学生の意見、希望等は常時、学芸員課程事務室において聴き取り、必要な場合には担当教員に伝えるようにしている。

第4章

資料集

(質問項目別基礎データクロス表)

第4章 資料集

Q1 私はこの授業によく出席している

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 出席率 90%以上	4 出席率 89-80%	3 出席率 79-70%	2 出席率 69-50%	1 出席率 49%以下				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	3,089 82.66%	438 11.72%	171 4.58%	29 0.78%	10 0.27%	3,737 100.00%	4.76	0.595	4.71	0.220
外セ	語学	6,842 68.47%	2,163 21.65%	854 8.55%	123 1.23%	10 0.10%	9,992 100.00%	4.57	0.708	4.56	0.237
スガ健	演習	1,062 62.03%	389 22.72%	209 12.21%	42 2.45%	10 0.58%	1,712 100.00%	4.43	0.841	4.43	0.358
基礎教養	講義	3,511 65.20%	1,145 21.26%	517 9.60%	139 2.58%	73 1.36%	5,385 100.00%	4.46	0.871	4.43	0.246
	演習	31 68.89%	9 20.00%	5 11.11%	0 0.00%	0 0.00%	45 100.00%	4.58	0.690	4.58	-
	計	3,542 65.23%	1,154 21.25%	522 9.61%	139 2.56%	73 1.34%	5,430 100.00%	4.46	0.870	4.43	0.245
法学部	講義	5,193 66.00%	1,408 17.90%	759 9.65%	280 3.56%	228 2.90%	7,868 100.00%	4.41	0.998	4.38	0.284
	演習	1,189 78.33%	233 15.35%	74 4.87%	14 0.92%	8 0.53%	1,518 100.00%	4.70	0.653	4.67	0.288
	計	6,382 67.99%	1,641 17.48%	833 8.87%	294 3.13%	236 2.51%	9,386 100.00%	4.45	0.957	4.50	0.318
経済学部	講義	5,178 67.82%	1,377 18.04%	669 8.76%	239 3.13%	172 2.25%	7,635 100.00%	4.46	0.939	4.46	0.336
	演習	1,189 88.14%	118 8.75%	34 2.52%	8 0.59%	0 0.00%	1,349 100.00%	4.84	0.466	4.80	0.303
	計	6,367 70.87%	1,495 16.64%	703 7.83%	247 2.75%	172 1.91%	8,984 100.00%	4.52	0.895	4.60	0.364
文学部	講義	4,591 63.74%	1,688 23.43%	753 10.45%	126 1.75%	45 0.62%	7,203 100.00%	4.48	0.799	4.45	0.288
	演習	4,245 68.64%	1,356 21.93%	489 7.91%	80 1.29%	14 0.23%	6,184 100.00%	4.57	0.712	4.56	0.310
	計	8,836 66.00%	3,044 22.74%	1,242 9.28%	206 1.54%	59 0.44%	13,387 100.00%	4.52	0.762	4.52	0.300
理学部	講義	3,996 81.95%	546 11.20%	248 5.09%	48 0.98%	38 0.78%	4,876 100.00%	4.73	0.673	4.69	0.251
	演習	1,411 88.35%	123 7.70%	46 2.88%	10 0.63%	7 0.44%	1,597 100.00%	4.83	0.538	4.78	0.234
	計	5,407 83.53%	669 10.34%	294 4.54%	58 0.90%	45 0.70%	6,473 100.00%	4.75	0.644	4.71	0.250
教職課程	講義	1,249 77.19%	263 16.25%	84 5.19%	13 0.80%	9 0.56%	1,618 100.00%	4.69	0.659	4.66	0.162
	演習	1,548 83.05%	236 12.66%	74 3.97%	6 0.32%	0 0.00%	1,864 100.00%	4.78	0.518	4.75	0.164
	計	2,797 80.33%	499 14.33%	158 4.54%	19 0.55%	9 0.26%	3,482 100.00%	4.74	0.589	4.72	0.169
学芸員	講義	615 74.46%	147 17.80%	55 6.66%	9 1.09%	0 0.00%	826 100.00%	4.66	0.652	4.62	0.195
	演習	55 66.27%	20 24.10%	8 9.64%	0 0.00%	0 0.00%	83 100.00%	4.57	0.666	4.56	0.308
	計	670 73.71%	167 18.37%	63 6.93%	9 0.99%	0 0.00%	909 100.00%	4.65	0.653	4.59	0.237
合計	44,994 70.87%	11,659 18.36%	5,049 7.95%	1,166 1.84%	624 0.98%	63,492 100.00%	4.56	0.796	4.56	0.297	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 出席率 90%以上	4 出席率 89-80%	3 出席率 79-70%	2 出席率 69-50%	1 出席率 49%以下				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義		27,422 70.05%	7,012 17.91%	3,256 8.32%	883 2.26%	575 1.47%	39,148 100.00%	4.53	0.853	4.52	0.297
演習		10,730 74.76%	2,484 17.31%	939 6.54%	160 1.11%	39 0.27%	14,352 100.00%	4.65	0.676	4.62	0.322
語学		6,842 68.47%	2,163 21.65%	854 8.55%	123 1.23%	10 0.10%	9,992 100.00%	4.57	0.708	4.56	0.237
合計		44,994 70.87%	11,659 18.36%	5,049 7.95%	1,166 1.84%	624 0.98%	63,492 100.00%	4.56	0.796	4.56	0.297

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 出席率 90%以上	4 出席率 89-80%	3 出席率 79-70%	2 出席率 69-50%	1 出席率 49%以下			
学部1年		18,326 74.80%	4,027 16.44%	1,597 6.52%	355 1.45%	196 0.80%	24,501 100.00%	4.63	0.739
学部2年		12,460 69.71%	3,491 19.53%	1,459 8.16%	303 1.70%	160 0.90%	17,873 100.00%	4.55	0.787
学部3年		7,142 67.84%	2,047 19.45%	958 9.10%	249 2.37%	131 1.24%	10,527 100.00%	4.50	0.850
学部4年		1,928 48.93%	1,148 29.14%	608 15.43%	169 4.29%	87 2.21%	3,940 100.00%	4.18	0.990

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 出席率 90%以上	4 出席率 89-80%	3 出席率 79-70%	2 出席率 69-50%	1 出席率 49%以下				平均	標準偏差
25名以下		6,925 72.60%	1,775 18.61%	686 7.19%	125 1.31%	28 0.29%	9,539 100.00%	4.62	0.703	4.60	0.321
26-50名		10,407 69.18%	3,149 20.93%	1,264 8.40%	193 1.28%	30 0.20%	15,043 100.00%	4.58	0.716	4.56	0.261
51-100名		11,821 76.03%	2,358 15.17%	1,050 6.75%	209 1.34%	110 0.71%	15,548 100.00%	4.64	0.728	4.60	0.293
101-200名		7,836 69.90%	2,107 18.79%	883 7.88%	253 2.26%	132 1.18%	11,211 100.00%	4.54	0.826	4.48	0.272
201名以上		8,005 65.88%	2,270 18.68%	1,166 9.60%	386 3.18%	324 2.67%	12,151 100.00%	4.42	0.973	4.36	0.248
合計		44,994 70.87%	11,659 18.36%	5,049 7.95%	1,166 1.84%	624 0.98%	63,492 100.00%	4.56	0.796	4.56	0.297

Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,116	1,294	973	229	120	3,732	3.82	1.031	3.82	0.312
		29.90%	34.67%	26.07%	6.14%	3.22%	100.00%				
外セ	語学	3,208	4,287	2,039	368	90	9,992	4.02	0.868	4.04	0.326
		32.11%	42.90%	20.41%	3.68%	0.90%	100.00%				
スガ健	演習	1,002	501	177	29	6	1,715	4.44	0.772	4.48	0.299
		58.43%	29.21%	10.32%	1.69%	0.35%	100.00%				
基礎教養	講義	1,021	1,871	1,863	454	174	5,383	3.58	0.993	3.61	0.356
		18.97%	34.76%	34.61%	8.43%	3.23%	100.00%				
	演習	4	15	19	6	1	45	3.33	0.905	3.33	-
	計	1,025	1,886	1,882	460	175	5,428	3.58	0.992	3.60	0.355
		18.88%	34.75%	34.67%	8.47%	3.22%	100.00%				
法学部	講義	1,445	2,636	2,617	864	298	7,860	3.52	1.032	3.64	0.370
		18.38%	33.54%	33.30%	10.99%	3.79%	100.00%				
	演習	719	585	183	20	8	1,515	4.31	0.774	4.35	0.299
	計	2,164	3,221	2,800	884	306	9,375	3.65	1.037	3.94	0.492
		23.08%	34.36%	29.87%	9.43%	3.26%	100.00%				
経済学部	講義	1,864	2,522	2,275	679	291	7,631	3.65	1.059	3.75	0.493
		24.43%	33.05%	29.81%	8.90%	3.81%	100.00%				
	演習	817	427	93	11	2	1,350	4.52	0.674	4.49	0.322
	計	2,681	2,949	2,368	690	293	8,981	3.78	1.057	4.06	0.562
		29.85%	32.84%	26.37%	7.68%	3.26%	100.00%				
文学部	講義	1,455	2,678	2,332	568	170	7,203	3.65	0.965	3.74	0.405
		20.20%	37.18%	32.38%	7.89%	2.36%	100.00%				
	演習	2,443	2,589	1,002	125	23	6,182	4.18	0.799	4.22	0.334
	計	3,898	5,267	3,334	693	193	13,385	3.90	0.931	4.06	0.424
		29.12%	39.35%	24.91%	5.18%	1.44%	100.00%				
理学部	講義	1,139	1,726	1,512	371	121	4,869	3.70	0.990	3.70	0.352
		23.39%	35.45%	31.05%	7.62%	2.49%	100.00%				
	演習	717	554	266	44	16	1,597	4.20	0.882	4.13	0.406
	計	1,856	2,280	1,778	415	137	6,466	3.82	0.989	3.80	0.407
		28.70%	35.26%	27.50%	6.42%	2.12%	100.00%				
教職課程	講義	415	699	407	75	20	1,616	3.88	0.889	3.88	0.290
		25.68%	43.25%	25.19%	4.64%	1.24%	100.00%				
	演習	943	665	223	29	5	1,865	4.35	0.769	4.39	0.249
	計	1,358	1,364	630	104	25	3,481	4.13	0.860	4.20	0.359
		39.01%	39.18%	18.10%	2.99%	0.72%	100.00%				
学芸員	講義	120	321	316	61	7	825	3.59	0.856	3.62	0.219
		14.55%	38.91%	38.30%	7.39%	0.85%	100.00%				
	演習	33	40	9	1	0	83	4.27	0.700	4.26	0.269
	計	153	361	325	62	7	908	3.65	0.865	3.85	0.389
		16.85%	39.76%	35.79%	6.83%	0.77%	100.00%				
合計		18,461	23,410	16,306	3,934	1,352	63,463	3.85	0.982	4.01	0.445
		29.09%	36.89%	25.69%	6.20%	2.13%	100.00%				

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義		8,575	13,747	12,295	3,301	1,201	39,119	3.64	1.010	3.71	0.393
		21.92%	35.14%	31.43%	8.44%	3.07%	100.00%				
演習		6,678	5,376	1,972	265	61	14,352	4.28	0.798	4.32	0.344
		46.53%	37.46%	13.74%	1.85%	0.43%	100.00%				
語学		3,208	4,287	2,039	368	90	9,992	4.02	0.868	4.04	0.326
		32.11%	42.90%	20.41%	3.68%	0.90%	100.00%				
合計		18,461	23,410	16,306	3,934	1,352	63,463	3.85	0.982	4.01	0.445
		29.09%	36.89%	25.69%	6.20%	2.13%	100.00%				

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		6,651	9,068	6,544	1,614	617	24,494	3.80	0.994
		27.15%	37.02%	26.72%	6.59%	2.52%	100.00%		
学部2年		4,781	6,748	4,847	1,153	333	17,862	3.81	0.964
		26.77%	37.78%	27.14%	6.46%	1.86%	100.00%		
学部3年		3,526	3,744	2,465	586	203	10,524	3.93	0.980
		33.50%	35.58%	23.42%	5.57%	1.93%	100.00%		
学部4年		1,449	1,434	811	176	67	3,937	4.02	0.952
		36.80%	36.42%	20.60%	4.47%	1.70%	100.00%		

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		4,389	3,640	1,269	203	43	9,544	4.27	0.803	4.28	0.379
		45.99%	38.14%	13.30%	2.13%	0.45%	100.00%				
26～50名		5,184	6,192	3,012	520	130	15,038	4.05	0.871	4.04	0.347
		34.47%	41.18%	20.03%	3.46%	0.86%	100.00%				
51～100名		4,234	5,586	4,349	1,006	353	15,528	3.79	0.987	3.77	0.375
		27.27%	35.97%	28.01%	6.48%	2.27%	100.00%				
101～200名		2,341	3,949	3,651	942	327	11,210	3.63	0.997	3.59	0.321
		20.88%	35.23%	32.57%	8.40%	2.92%	100.00%				
201名以上		2,313	4,043	4,025	1,263	499	12,143	3.53	1.042	3.48	0.316
		19.05%	33.29%	33.15%	10.40%	4.11%	100.00%				
合計		18,461	23,410	16,306	3,934	1,352	63,463	3.85	0.982	4.01	0.445
		29.09%	36.89%	25.69%	6.20%	2.13%	100.00%				

第4章 資料集

Q3 この授業のレベルは適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	985 26.40%	1,229 32.94%	922 24.71%	360 9.65%	235 6.30%	3,731 100.00%	3.63	1.154	3.64	0.556
	外セ	3,794 38.00%	3,990 39.97%	1,636 16.39%	446 4.47%	117 1.17%	9,983 100.00%	4.09	0.905	4.11	0.348
スポ健	演習	1,038 60.60%	472 27.55%	158 9.22%	36 2.10%	9 0.53%	1,713 100.00%	4.46	0.789	4.51	0.289
	基礎教養	1,742 32.38%	2,279 42.36%	1,107 20.58%	187 3.48%	65 1.21%	5,380 100.00%	4.01	0.882	3.99	0.344
	演習	7 15.56%	21 46.67%	11 24.44%	5 11.11%	1 2.22%	45 100.00%	3.62	0.960	3.62	-
	計	1,749 32.24%	2,300 42.40%	1,118 20.61%	192 3.54%	66 1.22%	5,425 100.00%	4.01	0.883	3.99	0.344
法学部	講義	2,065 26.27%	3,134 39.86%	2,005 25.50%	511 6.50%	147 1.87%	7,862 100.00%	3.82	0.956	3.90	0.344
	演習	783 51.58%	522 34.39%	179 11.79%	28 1.84%	6 0.40%	1,518 100.00%	4.35	0.788	4.36	0.358
	計	2,848 30.36%	3,656 38.98%	2,184 23.28%	539 5.75%	153 1.63%	9,380 100.00%	3.91	0.951	4.10	0.417
	経済学部	2,368 31.02%	2,741 35.91%	1,757 23.02%	521 6.82%	247 3.24%	7,634 100.00%	3.85	1.040	3.95	0.462
	演習	767 56.86%	448 33.21%	118 8.75%	13 0.96%	3 0.22%	1,349 100.00%	4.46	0.713	4.45	0.337
	計	3,135 34.90%	3,189 35.50%	1,875 20.87%	534 5.94%	250 2.78%	8,983 100.00%	3.94	1.021	4.16	0.481
文学部	講義	2,267 31.50%	2,998 41.66%	1,473 20.47%	360 5.00%	98 1.36%	7,196 100.00%	3.97	0.917	4.04	0.395
	演習	2,790 45.12%	2,335 37.76%	837 13.54%	181 2.93%	40 0.65%	6,183 100.00%	4.24	0.840	4.27	0.347
	計	5,057 37.80%	5,333 39.86%	2,310 17.27%	541 4.04%	138 1.03%	13,379 100.00%	4.09	0.892	4.19	0.379
	理学部	1,078 22.16%	1,729 35.55%	1,339 27.53%	489 10.05%	229 4.71%	4,864 100.00%	3.60	1.080	3.63	0.523
	演習	553 34.65%	575 36.03%	372 23.31%	71 4.45%	25 1.57%	1,596 100.00%	3.98	0.948	3.92	0.371
	計	1,631 25.25%	2,304 35.67%	1,711 26.49%	560 8.67%	254 3.93%	6,460 100.00%	3.70	1.061	3.69	0.507
教職課程	講義	620 38.39%	696 43.10%	252 15.60%	37 2.29%	10 0.62%	1,615 100.00%	4.16	0.813	4.16	0.267
	演習	1,090 58.48%	575 30.85%	171 9.17%	20 1.07%	8 0.43%	1,864 100.00%	4.46	0.740	4.48	0.241
	計	1,710 49.15%	1,271 36.53%	423 12.16%	57 1.64%	18 0.52%	3,479 100.00%	4.32	0.789	4.36	0.293
	学芸員	249 30.18%	406 49.21%	146 17.70%	21 2.55%	3 0.36%	825 100.00%	4.06	0.781	4.09	0.270
	演習	55 66.27%	24 28.92%	3 3.61%	1 1.20%	0 0.00%	83 100.00%	4.60	0.624	4.59	0.239
	計	304 33.48%	430 47.36%	149 16.41%	22 2.42%	3 0.33%	908 100.00%	4.11	0.783	4.27	0.355
合計	22,251 35.07%	24,174 38.10%	12,486 19.68%	3,287 5.18%	1,243 1.96%	63,441 100.00%	3.99	0.965	4.11	0.446	

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	11,374 29.08%	15,212 38.90%	9,001 23.02%	2,486 6.36%	1,034 2.64%	39,107 100.00%	3.85	0.996	3.89	0.463
演習	7,083 49.36%	4,972 34.65%	1,849 12.88%	355 2.47%	92 0.64%	14,351 100.00%	4.30	0.832	4.34	0.361
語学	3,794 38.00%	3,990 39.97%	1,636 16.39%	446 4.47%	117 1.17%	9,983 100.00%	4.09	0.905	4.11	0.348
合計	22,251 35.07%	24,174 38.10%	12,486 19.68%	3,287 5.18%	1,243 1.96%	63,441 100.00%	3.99	0.965	4.11	0.446

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	7,617 31.12%	9,453 38.62%	5,317 21.72%	1,480 6.05%	612 2.50%	24,479 100.00%	3.90	0.992
学部2年	5,985 33.51%	7,086 39.68%	3,498 19.59%	977 5.47%	314 1.76%	17,860 100.00%	3.98	0.953
学部3年	4,451 42.28%	3,865 36.72%	1,724 16.38%	372 3.53%	115 1.09%	10,527 100.00%	4.16	0.896
学部4年	1,959 49.77%	1,324 33.64%	541 13.74%	85 2.16%	27 0.69%	3,936 100.00%	4.30	0.834

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	4,755 49.83%	3,322 34.81%	1,128 11.82%	270 2.83%	68 0.71%	9,543 100.00%	4.30	0.838	4.32	0.385
26～50名	6,049 40.26%	5,842 38.88%	2,371 15.78%	609 4.05%	155 1.03%	15,026 100.00%	4.13	0.893	4.13	0.378
51～100名	4,599 29.63%	5,812 37.44%	3,580 23.06%	1,032 6.65%	500 3.22%	15,523 100.00%	3.84	1.028	3.83	0.485
101～200名	3,295 29.40%	4,420 39.44%	2,554 22.79%	677 6.04%	260 2.32%	11,206 100.00%	3.88	0.978	3.86	0.396
201名以上	3,553 29.26%	4,778 39.35%	2,853 23.50%	699 5.76%	260 2.14%	12,143 100.00%	3.88	0.967	3.87	0.337
合計	22,251 35.07%	24,174 38.10%	12,486 19.68%	3,287 5.18%	1,243 1.96%	63,441 100.00%	3.99	0.965	4.11	0.446

Q4 この授業を進める速さは適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	952	1,156	983	405	237	3,733	3.58	1.162	3.60	0.516
		25.50%	30.97%	26.33%	10.85%	6.35%	100.00%				
外セ	語学	4,094	3,852	1,568	381	100	9,995	4.15	0.887	4.17	0.371
		40.96%	38.54%	15.69%	3.81%	1.00%	100.00%				
スポ健	演習	1,105	439	147	21	4	1,716	4.53	0.723	4.59	0.270
		64.39%	25.58%	8.57%	1.22%	0.23%	100.00%				
基礎教養	講義	1,919	2,281	932	162	87	5,381	4.07	0.889	4.10	0.327
		35.66%	42.39%	17.32%	3.01%	1.62%	100.00%				
	演習	11	22	9	1	1	44	3.93	0.873	3.93	-
		25.00%	50.00%	20.45%	2.27%	2.27%	100.00%				
計	1,930	2,303	941	163	88	5,425	4.07	0.889	4.10	0.326	
	35.58%	42.45%	17.35%	3.00%	1.62%	100.00%					
法学部	講義	2,217	2,999	1,830	624	191	7,861	3.82	1.009	3.94	0.364
		28.20%	38.15%	23.28%	7.94%	2.43%	100.00%				
	演習	845	485	158	24	5	1,517	4.41	0.765	4.42	0.349
		55.70%	31.97%	10.42%	1.58%	0.33%	100.00%				
計	3,062	3,484	1,988	648	196	9,378	3.91	0.998	4.14	0.432	
	32.65%	37.15%	21.20%	6.91%	2.09%	100.00%					
経済学部	講義	2,504	2,758	1,572	531	264	7,629	3.88	1.053	4.03	0.454
		32.82%	36.15%	20.61%	6.96%	3.46%	100.00%				
	演習	831	398	101	18	1	1,349	4.51	0.699	4.51	0.309
		61.60%	29.50%	7.49%	1.33%	0.07%	100.00%				
計	3,335	3,156	1,673	549	265	8,978	3.97	1.033	4.23	0.463	
	37.15%	35.15%	18.63%	6.11%	2.95%	100.00%					
文学部	講義	2,440	2,953	1,311	380	107	7,191	4.01	0.931	4.10	0.427
		33.93%	41.07%	18.23%	5.28%	1.49%	100.00%				
	演習	3,069	2,199	749	131	34	6,182	4.32	0.807	4.35	0.345
		49.64%	35.57%	12.12%	2.12%	0.55%	100.00%				
計	5,509	5,152	2,060	511	141	13,373	4.15	0.890	4.27	0.392	
	41.19%	38.53%	15.40%	3.82%	1.05%	100.00%					
理学部	講義	1,190	1,738	1,265	463	209	4,865	3.67	1.077	3.72	0.543
		24.46%	35.72%	26.00%	9.52%	4.30%	100.00%				
	演習	588	573	361	52	23	1,597	4.03	0.924	3.99	0.385
		36.82%	35.88%	22.60%	3.26%	1.44%	100.00%				
計	1,778	2,311	1,626	515	232	6,462	3.76	1.053	3.78	0.522	
	27.51%	35.76%	25.16%	7.97%	3.59%	100.00%					
教職課程	講義	641	683	230	46	13	1,613	4.17	0.835	4.14	0.297
		39.74%	42.34%	14.26%	2.85%	0.81%	100.00%				
	演習	1,137	547	147	24	10	1,865	4.49	0.741	4.50	0.264
		60.97%	29.33%	7.88%	1.29%	0.54%	100.00%				
計	1,778	1,230	377	70	23	3,478	4.34	0.801	4.37	0.326	
	51.12%	35.37%	10.84%	2.01%	0.66%	100.00%					
学芸員	講義	271	391	137	24	3	826	4.09	0.797	4.13	0.199
		32.81%	47.34%	16.59%	2.91%	0.36%	100.00%				
	演習	58	22	3	0	0	83	4.66	0.547	4.66	0.118
		69.88%	26.51%	3.61%	0.00%	0.00%	100.00%				
計	329	413	140	24	3	909	4.15	0.794	4.32	0.309	
	36.19%	45.43%	15.40%	2.64%	0.33%	100.00%					
合計	23,872	23,496	11,503	3,287	1,289	63,447	4.03	0.973	4.17	0.454	
	37.63%	37.03%	18.13%	5.18%	2.03%	100.00%					

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	12,134	14,959	8,260	2,635	1,111	39,099	3.88	1.016	3.94	0.471	
	31.03%	38.26%	21.13%	6.74%	2.84%	100.00%					
演習	7,644	4,685	1,675	271	78	14,353	4.36	0.802	4.41	0.352	
	53.26%	32.64%	11.67%	1.89%	0.54%	100.00%					
語学	4,094	3,852	1,568	381	100	9,995	4.15	0.887	4.17	0.371	
	40.96%	38.54%	15.69%	3.81%	1.00%	100.00%					
合計	23,872	23,496	11,503	3,287	1,289	63,447	4.03	0.973	4.17	0.454	
	37.63%	37.03%	18.13%	5.18%	2.03%	100.00%					

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	8,010	9,263	5,009	1,494	703	24,479	3.91	1.013	
	32.72%	37.84%	20.46%	6.10%	2.87%	100.00%			
学部2年	6,468	6,923	3,213	964	300	17,868	4.02	0.953	
	36.20%	38.75%	17.98%	5.40%	1.68%	100.00%			
学部3年	4,862	3,692	1,491	358	115	10,518	4.22	0.889	
	46.23%	35.10%	14.18%	3.40%	1.09%	100.00%			
学部4年	2,106	1,255	467	84	26	3,938	4.35	0.820	
	53.48%	31.87%	11.86%	2.13%	0.66%	100.00%			

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	5,156	3,078	1,033	225	49	9,541	4.37	0.808	4.39	0.387	
	54.04%	32.26%	10.83%	2.36%	0.51%	100.00%					
26～50名	6,556	5,636	2,228	484	138	15,042	4.20	0.870	4.20	0.360	
	43.58%	37.47%	14.81%	3.22%	0.92%	100.00%					
51～100名	4,891	5,649	3,377	1,098	509	15,524	3.86	1.044	3.86	0.510	
	31.51%	36.39%	21.75%	7.07%	3.28%	100.00%					
101～200名	3,530	4,505	2,270	644	248	11,197	3.93	0.971	3.93	0.375	
	31.53%	40.23%	20.27%	5.75%	2.21%	100.00%					
201名以上	3,739	4,628	2,595	836	345	12,143	3.87	1.018	3.89	0.376	
	30.79%	38.11%	21.37%	6.88%	2.84%	100.00%					
合計	23,872	23,496	11,503	3,287	1,289	63,447	4.03	0.973	4.17	0.454	
	37.63%	37.03%	18.13%	5.18%	2.03%	100.00%					

第4章 資料集

Q5 授業に対する教員の熱意が感じられる

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,017	1,281	1,027	263	141	3,729	3.74	1.051	3.78	0.387
		27.27%	34.35%	27.54%	7.05%	3.78%	100.00%				
外セ	語学	5,272	3,372	1,078	204	63	9,989	4.36	0.803	4.38	0.362
		52.78%	33.76%	10.79%	2.04%	0.63%	100.00%				
入水健	演習	1,234	380	87	8	4	1,713	4.65	0.620	4.70	0.212
		72.04%	22.18%	5.08%	0.47%	0.23%	100.00%				
基礎教養	講義	2,680	1,933	611	104	53	5,381	4.32	0.823	4.31	0.322
		49.80%	35.92%	11.35%	1.93%	0.98%	100.00%				
	演習	19	16	9	0	0	44	4.23	0.774	4.23	-
		43.18%	36.36%	20.45%	0.00%	0.00%	100.00%				
	計	2,699	1,949	620	104	53	5,425	4.32	0.823	4.30	0.321
		49.75%	35.93%	11.43%	1.92%	0.98%	100.00%				
法学部	講義	3,319	2,930	1,268	244	98	7,859	4.16	0.891	4.24	0.336
		42.23%	37.28%	16.13%	3.10%	1.25%	100.00%				
	演習	983	412	102	14	7	1,518	4.55	0.702	4.57	0.346
		64.76%	27.14%	6.72%	0.92%	0.46%	100.00%				
	計	4,302	3,342	1,370	258	105	9,377	4.22	0.875	4.38	0.376
		45.88%	35.64%	14.61%	2.75%	1.12%	100.00%				
経済学部	講義	3,466	2,559	1,162	288	150	7,625	4.17	0.952	4.25	0.456
		45.46%	33.56%	15.24%	3.78%	1.97%	100.00%				
	演習	960	304	71	13	2	1,350	4.63	0.643	4.63	0.337
		71.11%	22.52%	5.26%	0.96%	0.15%	100.00%				
	計	4,426	2,863	1,233	301	152	8,975	4.24	0.928	4.41	0.453
		49.31%	31.90%	13.74%	3.35%	1.69%	100.00%				
文学部	講義	3,439	2,630	862	199	67	7,197	4.27	0.847	4.36	0.374
		47.78%	36.54%	11.98%	2.77%	0.93%	100.00%				
	演習	3,797	1,859	439	62	23	6,180	4.51	0.705	4.54	0.325
		61.44%	30.08%	7.10%	1.00%	0.37%	100.00%				
	計	7,236	4,489	1,301	261	90	13,377	4.38	0.793	4.48	0.352
		54.00%	33.56%	9.73%	1.95%	0.67%	100.00%				
理学部	講義	1,893	1,861	854	158	99	4,865	4.09	0.933	4.13	0.408
		38.91%	38.25%	17.55%	3.25%	2.03%	100.00%				
	演習	723	560	265	29	19	1,596	4.21	0.888	4.18	0.358
		45.30%	35.09%	16.60%	1.82%	1.19%	100.00%				
	計	2,616	2,421	1,119	187	118	6,461	4.12	0.919	4.14	0.397
		40.49%	37.47%	17.32%	2.89%	1.83%	100.00%				
教職課程	講義	855	562	170	23	7	1,617	4.38	0.764	4.39	0.249
		52.88%	34.76%	10.51%	1.42%	0.43%	100.00%				
	演習	1,349	392	99	13	10	1,863	4.64	0.666	4.63	0.275
		72.41%	21.04%	5.31%	0.70%	0.54%	100.00%				
	計	2,204	954	269	36	17	3,480	4.52	0.725	4.54	0.290
		63.33%	27.41%	7.73%	1.03%	0.49%	100.00%				
学芸員	講義	361	326	117	18	4	826	4.24	0.809	4.29	0.263
		43.70%	39.47%	14.16%	2.18%	0.48%	100.00%				
	演習	65	18	0	0	0	83	4.78	0.415	4.78	0.099
		78.31%	21.69%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
	計	426	344	117	18	4	909	4.29	0.797	4.46	0.325
		46.86%	37.84%	12.87%	1.98%	0.44%	100.00%				
合計		31,432	21,395	8,221	1,640	747	63,435	4.28	0.870	4.38	0.404
		49.55%	33.73%	12.96%	2.59%	1.18%	100.00%				

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義		17,030	14,082	6,071	1,297	619	39,099	4.17	0.916	4.21	0.414
		43.56%	36.02%	15.53%	3.32%	1.58%	100.00%				
演習		9,130	3,941	1,072	139	65	14,347	4.53	0.715	4.57	0.331
		63.64%	27.47%	7.47%	0.97%	0.45%	100.00%				
語学		5,272	3,372	1,078	204	63	9,989	4.36	0.803	4.38	0.362
		52.78%	33.76%	10.79%	2.04%	0.63%	100.00%				
合計		31,432	21,395	8,221	1,640	747	63,435	4.28	0.870	4.38	0.404
		49.55%	33.73%	12.96%	2.59%	1.18%	100.00%				

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		10,840	8,704	3,728	824	382	24,478	4.18	0.916
		44.28%	35.56%	15.23%	3.37%	1.56%	100.00%		
学部2年		8,761	6,241	2,259	409	196	17,866	4.29	0.852
		49.04%	34.93%	12.64%	2.29%	1.10%	100.00%		
学部3年		6,138	3,153	957	187	82	10,517	4.43	0.792
		58.36%	29.98%	9.10%	1.78%	0.78%	100.00%		
学部4年		2,458	1,069	324	64	23	3,938	4.49	0.763
		62.42%	27.15%	8.23%	1.63%	0.58%	100.00%		

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		6,145	2,596	647	114	35	9,537	4.54	0.707	4.56	0.358
		64.43%	27.22%	6.78%	1.20%	0.37%	100.00%				
26～50名		8,303	4,897	1,487	259	94	15,040	4.40	0.785	4.40	0.346
		55.21%	32.56%	9.89%	1.72%	0.63%	100.00%				
51～100名		6,572	5,457	2,647	537	309	15,522	4.12	0.947	4.14	0.440
		42.34%	35.16%	17.05%	3.46%	1.99%	100.00%				
101～200名		5,053	4,084	1,564	344	147	11,192	4.21	0.888	4.20	0.327
		45.15%	36.49%	13.97%	3.07%	1.31%	100.00%				
201名以上		5,359	4,361	1,876	386	162	12,144	4.18	0.900	4.14	0.338
		44.13%	35.91%	15.45%	3.18%	1.33%	100.00%				
合計		31,432	21,395	8,221	1,640	747	63,435	4.28	0.870	4.38	0.404
		49.55%	33.73%	12.96%	2.59%	1.18%	100.00%				

Q6 教員は教室内で学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計	講義	1,137 30.48%	1,295 34.72%	932 24.99%	252 6.76%	114 3.06%	3,730 100.00%	3.83	1.035	3.88	0.379
	外ゼ	4,663 46.66%	3,731 37.34%	1,305 13.06%	233 2.33%	61 0.61%	9,993 100.00%	4.27	0.820	4.30	0.328
スポーツ	演習	1,156 67.52%	415 24.24%	124 7.24%	11 0.64%	6 0.35%	1,712 100.00%	4.58	0.685	4.63	0.253
	基礎教養	2,086 38.79%	2,013 37.44%	987 18.36%	220 4.09%	71 1.32%	5,377 100.00%	4.08	0.920	4.11	0.320
法学部	演習	13 28.89%	23 51.11%	7 15.56%	1 2.22%	1 2.22%	45 100.00%	4.02	0.866	4.02	-
	計	2,099 38.71%	2,036 37.55%	994 18.33%	221 4.08%	72 1.33%	5,422 100.00%	4.08	0.920	4.11	0.318
経済学部	講義	2,880 36.64%	2,828 35.98%	1,600 20.36%	404 5.14%	148 1.88%	7,860 100.00%	4.00	0.972	4.15	0.371
	演習	938 61.83%	438 28.87%	117 7.71%	18 1.19%	6 0.40%	1,517 100.00%	4.51	0.723	4.55	0.318
文学部	計	3,818 40.72%	3,266 34.83%	1,717 18.31%	422 4.50%	154 1.64%	9,377 100.00%	4.08	0.954	4.32	0.401
	講義	3,019 39.60%	2,628 34.47%	1,415 18.56%	380 4.98%	182 2.39%	7,624 100.00%	4.04	0.997	4.19	0.415
経済学部	演習	953 70.59%	302 22.37%	80 5.93%	14 1.04%	1 0.07%	1,350 100.00%	4.62	0.652	4.62	0.296
	計	3,972 44.26%	2,930 32.65%	1,495 16.66%	394 4.39%	183 2.04%	8,974 100.00%	4.13	0.976	4.37	0.428
文学部	講義	2,796 38.87%	2,781 38.66%	1,269 17.64%	270 3.75%	78 1.08%	7,194 100.00%	4.10	0.896	4.20	0.364
	演習	3,383 54.74%	2,058 33.30%	617 9.98%	94 1.52%	28 0.45%	6,180 100.00%	4.40	0.766	4.44	0.317
理学部	計	6,179 46.20%	4,839 36.18%	1,886 14.10%	364 2.72%	106 0.79%	13,374 100.00%	4.24	0.851	4.36	0.353
	講義	1,552 31.87%	1,775 36.45%	1,158 23.78%	264 5.42%	121 2.48%	4,870 100.00%	3.90	0.993	3.96	0.430
理学部	演習	640 40.18%	553 34.71%	307 19.27%	67 4.21%	26 1.63%	1,593 100.00%	4.08	0.951	4.02	0.440
	計	2,192 33.92%	2,328 36.02%	1,465 22.67%	331 5.12%	147 2.27%	6,463 100.00%	3.94	0.986	3.98	0.432
教職課程	講義	719 44.47%	595 36.80%	233 14.41%	50 3.09%	20 1.24%	1,617 100.00%	4.20	0.885	4.23	0.283
	演習	1,135 60.86%	518 27.77%	167 8.95%	27 1.45%	18 0.97%	1,865 100.00%	4.46	0.794	4.49	0.295
学芸員	計	1,854 53.25%	1,113 31.96%	400 11.49%	77 2.21%	38 1.09%	3,482 100.00%	4.34	0.847	4.40	0.314
	講義	288 34.87%	369 44.67%	146 17.68%	15 1.82%	8 0.97%	826 100.00%	4.11	0.821	4.16	0.191
学芸員	演習	57 68.67%	24 28.92%	2 2.41%	0 0.00%	0 0.00%	83 100.00%	4.66	0.524	4.67	0.128
	計	345 37.95%	393 43.23%	148 16.28%	15 1.65%	8 0.88%	909 100.00%	4.16	0.815	4.34	0.302
合計	27,415 43.22%	22,346 35.23%	10,466 16.50%	2,320 3.66%	889 1.40%	63,436 100.00%	4.15	0.920	4.29	0.396	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	講義	14,477 37.03%	14,284 36.53%	7,740 19.80%	1,855 4.74%	742 1.90%	39,098 100.00%	4.02	0.964	4.11	0.394
	演習	8,275 57.69%	4,351 30.19%	1,421 9.91%	232 1.62%	86 0.60%	14,345 100.00%	4.43	0.782	4.49	0.340
語学	語学	4,663 46.66%	3,731 37.34%	1,305 13.06%	233 2.33%	61 0.61%	9,993 100.00%	4.27	0.820	4.30	0.328
	合計	27,415 43.22%	22,346 35.23%	10,466 16.50%	2,320 3.66%	889 1.40%	63,436 100.00%	4.15	0.920	4.29	0.396

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	9,278 37.92%	8,986 36.72%	4,650 19.00%	1,110 4.54%	446 1.82%	24,470 100.00%	4.04	0.955
	学部2年	7,517 42.06%	6,554 36.68%	3,001 16.79%	585 3.27%	213 1.19%	17,870 100.00%	4.15
学部3年	5,498 52.25%	3,392 32.24%	1,232 11.71%	292 2.78%	108 1.03%	10,522 100.00%	4.32	0.861
	学部4年	2,284 58.00%	1,164 29.56%	385 9.78%	78 1.98%	27 0.69%	3,938 100.00%	4.42

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	5,841 61.21%	2,802 29.36%	750 7.86%	119 1.25%	31 0.32%	9,543 100.00%	4.50	0.722	4.52	0.327
	26～50名	7,325 48.72%	5,394 35.87%	1,891 12.58%	327 2.17%	99 0.66%	15,036 100.00%	4.30	0.819	4.31
51～100名	5,700 36.72%	5,599 36.07%	3,176 20.46%	737 4.75%	310 2.00%	15,522 100.00%	4.01	0.970	4.01	0.394
	101～200名	4,167 37.21%	4,274 38.16%	2,128 19.00%	448 4.00%	183 1.63%	11,200 100.00%	4.05	0.931	4.06
201名以上	4,382 36.11%	4,277 35.25%	2,521 20.77%	689 5.68%	266 2.19%	12,135 100.00%	3.97	0.996	3.98	0.353
	合計	27,415 43.22%	22,346 35.23%	10,466 16.50%	2,320 3.66%	889 1.40%	63,436 100.00%	4.15	0.920	4.29

第4章 資料集

Q7 教員は理解しやすい授業を行っている

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計セ	講義	1,039 27.86%	1,171 31.40%	880 23.60%	393 10.54%	246 6.60%	3,729 100.00%	3.63	1.182	3.68	0.590
外セ	語学	4,766 47.70%	3,526 35.29%	1,231 12.32%	335 3.35%	133 1.33%	9,991 100.00%	4.25	0.891	4.28	0.423
スボ健	演習	1,170 68.22%	406 23.67%	117 6.82%	15 0.87%	7 0.41%	1,715 100.00%	4.58	0.694	4.64	0.270
基礎教養	講義	2,197 40.84%	1,979 36.79%	888 16.51%	227 4.22%	88 1.64%	5,379 100.00%	4.11	0.937	4.10	0.420
	演習	11 24.44%	19 42.22%	10 22.22%	3 6.67%	2 4.44%	45 100.00%	3.76	1.048	3.76	-
	計	2,208 40.71%	1,998 36.84%	898 16.56%	230 4.24%	90 1.66%	5,424 100.00%	4.11	0.938	4.09	0.419
法学部	講義	2,541 32.34%	2,882 36.68%	1,694 21.56%	544 6.92%	197 2.51%	7,858 100.00%	3.89	1.015	4.02	0.428
	演習	962 63.41%	412 27.16%	112 7.38%	24 1.58%	7 0.46%	1,517 100.00%	4.51	0.740	4.55	0.381
	計	3,503 37.37%	3,294 35.14%	1,806 19.26%	568 6.06%	204 2.18%	9,375 100.00%	3.99	1.002	4.24	0.486
経済学部	講義	2,923 38.33%	2,507 32.87%	1,434 18.80%	475 6.23%	287 3.76%	7,626 100.00%	3.96	1.076	4.08	0.520
	演習	926 68.69%	318 23.59%	84 6.23%	17 1.26%	3 0.22%	1,348 100.00%	4.59	0.685	4.59	0.352
	計	3,849 42.89%	2,825 31.48%	1,518 16.92%	492 5.48%	290 3.23%	8,974 100.00%	4.05	1.051	4.29	0.521
文学部	講義	2,719 37.80%	2,659 36.96%	1,226 17.04%	403 5.60%	187 2.60%	7,194 100.00%	4.02	1.003	4.14	0.499
	演習	3,447 55.77%	1,953 31.60%	594 9.61%	140 2.27%	47 0.76%	6,181 100.00%	4.39	0.811	4.44	0.371
	計	6,166 46.10%	4,612 34.48%	1,820 13.61%	543 4.06%	234 1.75%	13,375 100.00%	4.19	0.938	4.34	0.440
理学部	講義	1,369 28.12%	1,686 34.63%	1,160 23.83%	368 7.56%	285 5.85%	4,868 100.00%	3.72	1.126	3.78	0.611
	演習	615 38.56%	561 35.17%	340 21.32%	54 3.39%	25 1.57%	1,595 100.00%	4.06	0.934	4.02	0.425
	計	1,984 30.70%	2,247 34.77%	1,500 23.21%	422 6.53%	310 4.80%	6,463 100.00%	3.80	1.092	3.84	0.582
教職課程	講義	686 42.45%	611 37.81%	240 14.85%	62 3.84%	17 1.05%	1,616 100.00%	4.17	0.891	4.21	0.370
	演習	1,119 60.03%	510 27.36%	169 9.07%	48 2.58%	18 0.97%	1,864 100.00%	4.43	0.835	4.49	0.356
	計	1,805 51.87%	1,121 32.21%	409 11.75%	110 3.16%	35 1.01%	3,480 100.00%	4.31	0.871	4.39	0.383
学芸員	講義	291 35.23%	335 40.56%	154 18.64%	40 4.84%	6 0.73%	826 100.00%	4.05	0.893	4.09	0.292
	演習	63 75.90%	18 21.69%	2 2.41%	0 0.00%	0 0.00%	83 100.00%	4.73	0.496	4.74	0.178
	計	354 38.94%	353 38.83%	156 17.16%	40 4.40%	6 0.66%	909 100.00%	4.11	0.886	4.32	0.405
合計	26,844 42.32%	21,553 33.98%	10,335 16.29%	3,148 4.96%	1,555 2.45%	63,435 100.00%	4.09	0.999	4.24	0.504	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別 平均	部門別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義		13,765 35.21%	13,830 35.37%	7,676 19.63%	2,512 6.43%	1,313 3.36%	39,096 100.00%	3.93	1.050	4.00	0.532
演習		8,313 57.94%	4,197 29.25%	1,428 9.95%	301 2.10%	109 0.76%	14,348 100.00%	4.42	0.812	4.49	0.383
語学		4,766 47.70%	3,526 35.29%	1,231 12.32%	335 3.35%	133 1.33%	9,991 100.00%	4.25	0.891	4.28	0.423
合計		26,844 42.32%	21,553 33.98%	10,335 16.29%	3,148 4.96%	1,555 2.45%	63,435 100.00%	4.09	0.999	4.24	0.504

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強く思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		9,060 37.02%	8,652 35.35%	4,516 18.45%	1,467 5.99%	778 3.18%	24,473 100.00%	3.97	1.039
学部2年		7,321 40.99%	6,256 35.02%	2,966 16.61%	909 5.09%	410 2.30%	17,862 100.00%	4.07	0.990
学部3年		5,457 51.88%	3,338 31.73%	1,255 11.93%	327 3.11%	142 1.35%	10,519 100.00%	4.30	0.892
学部4年		2,314 58.73%	1,084 27.51%	413 10.48%	96 2.44%	33 0.84%	3,940 100.00%	4.41	0.836

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		5,900 61.85%	2,650 27.78%	747 7.83%	184 1.93%	58 0.61%	9,539 100.00%	4.48	0.771	4.51	0.387
26～50名		7,340 48.81%	5,206 34.62%	1,825 12.14%	469 3.12%	199 1.32%	15,039 100.00%	4.26	0.885	4.27	0.424
51～100名		5,344 34.42%	5,315 34.24%	3,176 20.46%	1,067 6.87%	622 4.01%	15,524 100.00%	3.88	1.082	3.89	0.557
101～200名		3,923 35.02%	4,060 36.24%	2,203 19.67%	679 6.06%	337 3.01%	11,202 100.00%	3.94	1.028	3.95	0.448
201名以上		4,337 35.75%	4,322 35.63%	2,384 19.65%	749 6.17%	339 2.79%	12,131 100.00%	3.95	1.025	3.93	0.408
合計		26,844 42.32%	21,553 33.98%	10,335 16.29%	3,148 4.96%	1,555 2.45%	63,435 100.00%	4.09	0.999	4.24	0.504

Q8 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,087 29.17%	1,267 34.00%	872 23.40%	326 8.75%	174 4.67%	3,726 100.00%	3.74	1.109	3.79	0.436
外セ	語学	4,872 48.78%	3,465 34.70%	1,235 12.37%	311 3.11%	104 1.04%	9,987 100.00%	4.27	0.870	4.31	0.386
	スポ健	1,198 69.85%	392 22.86%	103 6.01%	17 0.99%	5 0.29%	1,715 100.00%	4.61	0.673	4.67	0.261
基礎教養	講義	2,264 42.11%	2,008 37.34%	820 15.25%	199 3.70%	86 1.60%	5,377 100.00%	4.15	0.919	4.18	0.397
	演習	13 28.89%	16 35.56%	11 24.44%	4 8.89%	1 2.22%	45 100.00%	3.80	1.036	3.80	-
	計	2,277 42.00%	2,024 37.33%	831 15.33%	203 3.74%	87 1.60%	5,422 100.00%	4.14	0.920	4.17	0.397
法学部	講義	2,624 33.38%	2,842 36.15%	1,607 20.44%	549 6.98%	239 3.04%	7,861 100.00%	3.90	1.040	4.02	0.443
	演習	958 63.19%	402 26.52%	121 7.98%	28 1.85%	7 0.46%	1,516 100.00%	4.50	0.759	4.54	0.381
	計	3,582 38.20%	3,244 34.60%	1,728 18.43%	577 6.15%	246 2.62%	9,377 100.00%	4.00	1.024	4.24	0.491
経済学部	講義	3,070 40.27%	2,636 34.58%	1,275 16.72%	435 5.71%	208 2.73%	7,624 100.00%	4.04	1.021	4.15	0.446
	演習	952 70.57%	295 21.87%	84 6.23%	13 0.96%	5 0.37%	1,349 100.00%	4.61	0.681	4.62	0.320
	計	4,022 44.82%	2,931 32.66%	1,359 15.15%	448 4.99%	213 2.37%	8,973 100.00%	4.13	0.999	4.34	0.460
文学部	講義	2,876 39.96%	2,724 37.85%	1,098 15.26%	339 4.71%	160 2.22%	7,197 100.00%	4.09	0.966	4.21	0.468
	演習	3,533 57.24%	1,939 31.42%	552 8.94%	113 1.83%	35 0.57%	6,172 100.00%	4.43	0.776	4.47	0.342
	計	6,409 47.94%	4,663 34.88%	1,650 12.34%	452 3.38%	195 1.46%	13,369 100.00%	4.24	0.900	4.38	0.408
理学部	講義	1,512 31.07%	1,727 35.48%	1,038 21.33%	347 7.13%	243 4.99%	4,867 100.00%	3.81	1.105	3.87	0.576
	演習	605 37.93%	602 37.74%	322 20.19%	40 2.51%	26 1.63%	1,595 100.00%	4.08	0.907	4.05	0.401
	計	2,117 32.76%	2,329 36.04%	1,360 21.05%	387 5.99%	269 4.16%	6,462 100.00%	3.87	1.066	3.91	0.545
教職課程	講義	729 45.14%	595 36.84%	225 13.93%	53 3.28%	13 0.80%	1,615 100.00%	4.22	0.863	4.24	0.344
	演習	1,178 63.20%	465 24.95%	164 8.80%	37 1.98%	20 1.07%	1,864 100.00%	4.47	0.821	4.53	0.343
	計	1,907 54.81%	1,060 30.47%	389 11.18%	90 2.59%	33 0.95%	3,479 100.00%	4.36	0.850	4.43	0.370
学芸員	講義	315 38.18%	340 41.21%	133 16.12%	30 3.64%	7 0.85%	825 100.00%	4.12	0.866	4.16	0.289
	演習	65 78.31%	15 18.07%	3 3.61%	0 0.00%	0 0.00%	83 100.00%	4.75	0.514	4.75	0.126
	計	380 41.85%	355 39.10%	136 14.98%	30 3.30%	7 0.77%	908 100.00%	4.18	0.859	4.37	0.375
合計	27,851 43.92%	21,730 34.26%	9,663 15.24%	2,841 4.48%	1,333 2.10%	63,418 100.00%	4.13	0.971	4.28	0.465	

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義	14,477 37.03%	14,139 36.17%	7,068 18.08%	2,278 5.83%	1,130 2.89%	39,092 100.00%	3.99	1.022	4.06	0.486
演習	8,502 59.29%	4,126 28.77%	1,360 9.48%	252 1.76%	99 0.69%	14,339 100.00%	4.44	0.790	4.51	0.363
語学	4,872 48.78%	3,465 34.70%	1,235 12.37%	311 3.11%	104 1.04%	9,987 100.00%	4.27	0.870	4.31	0.386
合計	27,851 43.92%	21,730 34.26%	9,663 15.24%	2,841 4.48%	1,333 2.10%	63,418 100.00%	4.13	0.971	4.28	0.465

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	9,431 38.55%	8,811 36.01%	4,247 17.36%	1,345 5.50%	633 2.59%	24,467 100.00%	4.02	1.006
学部2年	7,687 43.04%	6,262 35.06%	2,734 15.31%	815 4.56%	362 2.03%	17,860 100.00%	4.13	0.966
学部3年	5,577 53.05%	3,283 31.23%	1,216 11.57%	288 2.74%	149 1.42%	10,513 100.00%	4.32	0.885
学部4年	2,354 59.82%	1,101 27.98%	350 8.89%	98 2.49%	32 0.81%	3,935 100.00%	4.44	0.819

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	6,013 63.05%	2,604 27.30%	727 7.62%	147 1.54%	46 0.48%	9,537 100.00%	4.51	0.744	4.53	0.358
26～50名	7,551 50.24%	5,095 33.90%	1,786 11.88%	439 2.92%	159 1.06%	15,030 100.00%	4.29	0.864	4.30	0.384
51～100名	5,708 36.79%	5,416 34.91%	2,947 18.99%	921 5.94%	524 3.38%	15,516 100.00%	3.96	1.048	3.97	0.515
101～200名	4,106 36.67%	4,171 37.25%	2,027 18.10%	612 5.47%	281 2.51%	11,197 100.00%	4.00	0.996	4.00	0.398
201名以上	4,473 36.85%	4,444 36.61%	2,176 17.93%	722 5.95%	323 2.66%	12,138 100.00%	3.99	1.013	3.98	0.400
合計	27,851 43.92%	21,730 34.26%	9,663 15.24%	2,841 4.48%	1,333 2.10%	63,418 100.00%	4.13	0.971	4.28	0.465

第4章 資料集

Q9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計セ	講義	869 23.39%	1,149 30.92%	1,083 29.14%	373 10.04%	242 6.51%	3,716 100.00%	3.55	1.143	3.61	0.448
	外セ	3,779 37.90%	3,457 34.67%	2,082 20.88%	471 4.72%	181 1.82%	9,970 100.00%	4.02	0.969	4.07	0.414
スボ健	演習	1,016 59.45%	446 26.10%	204 11.94%	31 1.81%	12 0.70%	1,709 100.00%	4.42	0.822	4.50	0.349
	基礎教養	2,298 42.91%	1,977 36.92%	819 15.29%	181 3.38%	80 1.49%	5,355 100.00%	4.16	0.908	4.20	0.286
基礎教養	演習	14 31.82%	20 45.45%	8 18.18%	1 2.27%	44 2.27%	44 100.00%	4.02	0.902	4.02	-
	計	2,312 42.82%	1,997 36.99%	827 15.32%	182 3.37%	81 1.50%	5,399 100.00%	4.16	0.908	4.20	0.285
法学部	講義	2,636 33.61%	2,892 36.87%	1,716 21.88%	407 5.19%	192 2.45%	7,843 100.00%	3.94	0.990	4.07	0.352
	演習	981 64.75%	398 26.27%	106 7.00%	22 1.45%	8 0.53%	1,515 100.00%	4.53	0.735	4.57	0.356
法学部	計	3,617 38.65%	3,290 35.16%	1,822 19.47%	429 4.58%	200 2.14%	9,358 100.00%	4.04	0.978	4.28	0.432
	経済学部	2,676 35.18%	2,370 31.16%	1,701 22.36%	568 7.47%	292 3.84%	7,607 100.00%	3.86	1.096	4.00	0.539
経済学部	演習	906 67.36%	335 24.91%	84 6.25%	15 1.12%	5 0.37%	1,345 100.00%	4.58	0.693	4.57	0.331
	計	3,582 40.01%	2,705 30.22%	1,785 19.94%	583 6.51%	297 3.32%	8,952 100.00%	3.97	1.076	4.24	0.543
文学部	講義	2,890 40.29%	2,563 35.73%	1,225 17.08%	341 4.75%	154 2.15%	7,173 100.00%	4.07	0.976	4.20	0.439
	演習	3,392 55.06%	1,838 29.84%	723 11.74%	137 2.22%	70 1.14%	6,160 100.00%	4.35	0.856	4.40	0.385
文学部	計	6,282 47.12%	4,401 33.01%	1,948 14.61%	478 3.59%	224 1.68%	13,333 100.00%	4.20	0.933	4.34	0.414
	理学部	1,390 28.66%	1,680 34.64%	1,263 26.04%	328 6.76%	189 3.90%	4,850 100.00%	3.77	1.057	3.84	0.479
理学部	演習	656 41.28%	504 31.72%	351 22.09%	50 3.15%	28 1.76%	1,589 100.00%	4.08	0.955	4.02	0.443
	計	2,046 31.78%	2,184 33.92%	1,614 25.07%	378 5.87%	217 3.37%	6,439 100.00%	3.85	1.041	3.88	0.476
教職課程	講義	720 44.75%	564 35.05%	252 15.66%	50 3.11%	23 1.43%	1,609 100.00%	4.19	0.907	4.20	0.287
	演習	1,196 64.27%	491 26.38%	130 6.99%	30 1.61%	14 0.75%	1,861 100.00%	4.52	0.759	4.54	0.263
教職課程	計	1,916 55.22%	1,055 30.40%	382 11.01%	80 2.31%	37 1.07%	3,470 100.00%	4.36	0.847	4.42	0.317
	学芸員	324 39.32%	339 41.14%	135 16.38%	18 2.18%	8 0.97%	824 100.00%	4.16	0.842	4.19	0.244
学芸員	演習	66 80.49%	14 17.07%	2 2.44%	0 0.00%	0 0.00%	82 100.00%	4.78	0.472	4.77	0.232
	計	390 43.05%	353 38.96%	137 15.12%	18 1.99%	8 0.88%	906 100.00%	4.21	0.834	4.40	0.370
合計	講義	25,809 40.80%	21,037 33.26%	11,884 18.79%	3,023 4.78%	1,499 2.37%	63,252 100.00%	4.05	0.999	4.19	0.473

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				部門別 平均	部門別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義	13,803 35.41%	13,534 34.72%	8,194 21.02%	2,266 5.81%	1,180 3.03%	38,977 100.00%	3.94	1.032	4.02	0.471
演習	8,227 57.51%	4,046 28.28%	1,608 11.24%	286 2.00%	138 0.96%	14,305 100.00%	4.39	0.836	4.46	0.385
語学	3,779 37.90%	3,457 34.67%	2,082 20.88%	471 4.72%	181 1.82%	9,970 100.00%	4.02	0.969	4.07	0.414
合計	25,809 40.80%	21,037 33.26%	11,884 18.79%	3,023 4.78%	1,499 2.37%	63,252 100.00%	4.05	0.999	4.19	0.473

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	8,402 34.42%	8,410 34.45%	5,376 22.02%	1,465 6.00%	756 3.10%	24,409 100.00%	3.91	1.037
学部2年	7,052 39.58%	6,176 34.66%	3,380 18.97%	835 4.69%	375 2.10%	17,818 100.00%	4.05	0.980
学部3年	5,315 50.65%	3,291 31.36%	1,423 13.56%	304 2.90%	161 1.53%	10,494 100.00%	4.27	0.908
学部4年	2,322 59.11%	1,086 27.65%	398 10.13%	89 2.27%	33 0.84%	3,928 100.00%	4.42	0.826

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	5,479 57.55%	2,685 28.20%	1,059 11.12%	208 2.18%	89 0.93%	9,520 100.00%	4.39	0.839	4.43	0.430
26～50名	6,639 44.27%	4,961 33.08%	2,586 17.24%	574 3.83%	236 1.57%	14,996 100.00%	4.15	0.943	4.16	0.406
51～100名	5,484 35.44%	5,192 33.55%	3,392 21.92%	898 5.80%	508 3.28%	15,474 100.00%	3.92	1.046	3.94	0.475
101～200名	4,078 36.53%	3,974 35.60%	2,189 19.61%	585 5.24%	338 3.03%	11,164 100.00%	3.97	1.021	3.98	0.384
201名以上	4,129 34.13%	4,225 34.92%	2,658 21.97%	758 6.27%	328 2.71%	12,098 100.00%	3.91	1.024	3.87	0.388
合計	25,809 40.80%	21,037 33.26%	11,884 18.79%	3,023 4.78%	1,499 2.37%	63,252 100.00%	4.05	0.999	4.19	0.473

Q10 この授業のシラバスは受講に役立った

【部門別・形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	0 読まなかった				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	464	522	713	120	81	1,817	3,717	3.61	1.053	3.64	0.395
		12.48%	14.04%	19.18%	3.23%	2.18%	48.88%	100.00%				
外セ	語学	2,013	1,810	1,543	203	93	4,308	9,970	3.96	0.958	3.96	0.409
		20.19%	18.15%	15.48%	2.04%	0.93%	43.21%	100.00%				
スポ健	演習	619	221	165	17	4	679	1,705	4.40	0.841	4.41	0.375
		36.30%	12.96%	9.68%	1.00%	0.23%	39.82%	100.00%				
基礎教養	講義	1,058	1,296	1,137	151	69	1,658	5,369	3.84	0.947	3.86	0.264
		19.71%	24.14%	21.18%	2.81%	1.29%	30.88%	100.00%				
	演習	7	10	12	3	1	12	45	3.58	1.032	3.58	-
		15.56%	22.22%	26.67%	6.67%	2.22%	26.67%	100.00%				
	計	1,065	1,306	1,149	154	70	1,670	5,414	3.84	0.948	3.86	0.264
		19.67%	24.12%	21.22%	2.84%	1.29%	30.85%	100.00%				
法学部	講義	1,448	1,775	1,837	255	116	2,406	7,837	3.77	0.966	3.86	0.310
		18.48%	22.65%	23.44%	3.25%	1.48%	30.70%	100.00%				
	演習	574	332	172	26	9	402	1,515	4.29	0.868	4.27	0.489
		37.89%	21.91%	11.35%	1.72%	0.59%	26.53%	100.00%				
	計	2,022	2,107	2,009	281	125	2,808	9,352	3.86	0.969	4.04	0.443
		21.62%	22.53%	21.48%	3.00%	1.34%	30.03%	100.00%				
経済学部	講義	1,692	1,654	1,558	239	156	2,302	7,601	3.85	1.018	3.93	0.370
		22.26%	21.76%	20.50%	3.14%	2.05%	30.29%	100.00%				
	演習	518	256	150	32	7	378	1,341	4.29	0.898	4.30	0.439
		38.63%	19.09%	11.19%	2.39%	0.52%	28.19%	100.00%				
	計	2,210	1,910	1,708	271	163	2,680	8,942	3.92	1.013	4.08	0.440
		24.71%	21.36%	19.10%	3.03%	1.82%	29.97%	100.00%				
文学部	講義	1,506	1,838	1,378	229	88	2,151	7,190	3.88	0.947	3.92	0.384
		20.95%	25.56%	19.17%	3.18%	1.22%	29.92%	100.00%				
	演習	1,994	1,356	829	95	48	1,855	6,167	4.20	0.892	4.21	0.396
		32.33%	21.99%	13.44%	1.38%	0.78%	30.08%	100.00%				
	計	3,500	3,194	2,207	314	136	4,006	13,357	4.03	0.935	4.12	0.415
		26.20%	23.91%	16.52%	2.35%	1.02%	29.99%	100.00%				
理学部	講義	641	743	862	118	58	2,433	4,855	3.74	0.982	3.76	0.444
		13.20%	15.30%	17.75%	2.43%	1.19%	50.11%	100.00%				
	演習	294	214	255	24	11	792	1,590	3.95	0.965	3.91	0.362
		18.49%	13.46%	16.04%	1.51%	0.69%	49.81%	100.00%				
	計	935	957	1,117	142	69	3,225	6,445	3.79	0.981	3.80	0.430
		14.51%	14.85%	17.33%	2.20%	1.07%	50.04%	100.00%				
教職課程	講義	318	320	306	43	9	619	1,615	3.90	0.933	3.94	0.265
		19.69%	19.81%	18.95%	2.66%	0.56%	38.33%	100.00%				
	演習	602	365	273	27	16	573	1,856	4.18	0.921	4.19	0.293
		32.44%	19.67%	14.71%	1.45%	0.86%	30.87%	100.00%				
	計	920	685	579	70	25	1,192	3,471	4.06	0.936	4.10	0.308
		26.51%	19.73%	16.68%	2.02%	0.72%	34.34%	100.00%				
学芸員	講義	150	228	202	30	8	207	825	3.78	0.913	3.83	0.205
		18.18%	27.64%	24.48%	3.64%	0.97%	25.09%	100.00%				
	演習	23	28	9	0	1	22	83	4.18	0.806	4.23	0.255
		27.71%	33.73%	10.84%	0.00%	1.20%	26.51%	100.00%				
	計	173	256	211	30	9	229	908	3.82	0.910	3.97	0.293
		19.05%	28.19%	23.24%	3.30%	0.99%	25.22%	100.00%				
合計		13,921	12,968	11,401	1,602	775	22,614	63,281	3.93	0.973	4.02	0.435
		22.00%	20.49%	18.02%	2.53%	1.22%	35.74%	100.00%				

【形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	0 読まなかった				部門別 平均	部門別 標準偏差
講義		7,277	8,376	7,993	1,185	585	13,593	39,009	3.81	0.979	3.85	0.374
		18.65%	21.47%	20.49%	3.04%	1.50%	34.85%	100.00%				
演習		4,631	2,782	1,865	214	97	4,713	14,302	4.21	0.901	4.24	0.417
		32.38%	19.45%	13.04%	1.50%	0.68%	32.95%	100.00%				
語学		2,013	1,810	1,543	203	93	4,308	9,970	3.96	0.958	3.96	0.409
		20.19%	18.15%	15.48%	2.04%	0.93%	43.21%	100.00%				
合計		13,921	12,968	11,401	1,602	775	22,614	63,281	3.93	0.973	4.02	0.435
		22.00%	20.49%	18.02%	2.53%	1.22%	35.74%	100.00%				

【学部生・学年別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	0 読まなかった			
学部1年		4,026	4,328	4,574	689	360	10,451	24,428	3.78	0.999
		16.48%	17.72%	18.72%	2.82%	1.47%	42.78%	100.00%		
学部2年		3,678	3,984	3,406	510	199	6,050	17,825	3.89	0.956
		20.62%	22.35%	19.11%	2.86%	1.12%	33.94%	100.00%		
学部3年		3,282	2,564	1,783	216	103	2,543	10,491	4.10	0.924
		31.28%	24.44%	17.00%	2.06%	0.98%	24.24%	100.00%		
学部4年		1,486	956	587	61	33	803	3,926	4.22	0.889
		37.85%	24.35%	14.95%	1.55%	0.84%	20.45%	100.00%		

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	0 読まなかった				平均	標準偏差
25名以下		3,175	1,953	1,200	168	72	2,944	9,512	4.22	0.906	4.21	0.454
		33.38%	20.53%	12.62%	1.77%	0.76%	30.95%	100.00%				
26～50名		3,666	2,947	2,294	282	118	5,700	15,007	4.05	0.935	4.02	0.384
		24.43%	19.64%	15.29%	1.88%	0.79%	37.98%	100.00%				
51～100名		2,756	3,044	2,904	416	213	6,154	15,487	3.83	0.980	3.80	0.392
		17.80%	19.66%	18.75%	2.69%	1.38%	39.74%	100.00%				
101～200名		2,028	2,435	2,302	348	186	3,872	11,169	3.79	0.985	3.78	0.279
		18.14%	21.80%	20.61%	3.12%	1.67%	34.67%	100.00%				
201名以上		2,298	2,589	2,701	388	186	3,944	12,106	3.79	0.981	3.78	0.242
		18.98%	21.39%	22.31%	3.21%	1.54%	32.58%	100.00%				
合計		13,921	12,968	11,401	1,602	775	22,614	63,281	3.93	0.973	4.02	0.435
		22.00%	20.49%	18.02%	2.53%	1.22%	35.74%	100.00%				

第4章 資料集

Q11 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	899	1,329	1,027	278	172	3,705	3.68	1.065	3.72	0.491
		24.26%	35.87%	27.72%	7.50%	4.64%	100.00%				
外セ	語学	4,494	3,717	1,311	301	101	9,924	4.23	0.863	4.26	0.401
		45.28%	37.45%	13.21%	3.03%	1.02%	100.00%				
スポ健	演習	1,175	419	100	14	2	1,710	4.61	0.647	4.66	0.287
		68.71%	24.50%	5.85%	0.82%	0.12%	100.00%				
基礎教養	講義	2,158	2,070	881	161	61	5,331	4.14	0.879	4.15	0.366
	演習	9	23	12	0	1	45	3.87	0.815	3.87	-
	計	2,167	2,093	893	161	62	5,376	4.14	0.879	4.15	0.365
法学部	講義	2,512	3,153	1,678	318	136	7,797	3.97	0.926	4.08	0.372
	演習	978	412	85	19	6	1,500	4.56	0.696	4.58	0.352
	計	3,490	3,565	1,763	337	142	9,297	4.07	0.918	4.30	0.439
経済学部	講義	2,863	2,675	1,425	397	201	7,561	4.01	1.008	4.13	0.498
	演習	947	305	72	9	4	1,337	4.63	0.646	4.62	0.359
	計	3,810	2,980	1,497	406	205	8,898	4.10	0.988	4.34	0.507
文学部	講義	2,721	2,799	1,217	285	119	7,141	4.08	0.924	4.19	0.459
	演習	3,463	1,959	567	87	43	6,119	4.42	0.774	4.46	0.372
	計	6,184	4,758	1,784	372	162	13,260	4.24	0.875	4.37	0.422
理学部	講義	1,353	1,852	1,190	279	169	4,843	3.81	1.017	3.87	0.521
	演習	649	581	295	39	22	1,586	4.13	0.895	4.08	0.408
	計	2,002	2,433	1,485	318	191	6,429	3.89	0.998	3.92	0.504
教職課程	講義	668	633	242	41	20	1,604	4.18	0.867	4.20	0.339
	演習	1,146	520	134	21	18	1,839	4.50	0.763	4.53	0.286
	計	1,814	1,153	376	62	38	3,443	4.35	0.828	4.41	0.343
学芸員	講義	267	368	152	27	5	819	4.06	0.834	4.09	0.256
	演習	63	18	1	0	0	82	4.76	0.460	4.75	0.192
	計	330	386	153	27	5	901	4.12	0.832	4.33	0.399
合計	講義	26,365	22,833	10,389	2,276	1,080	62,943	4.13	0.931	4.27	0.469
	演習	41.89%	36.28%	16.51%	3.62%	1.72%	100.00%				

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 平均	部門別 標準偏差
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない					
講義	13,441	14,879	7,812	1,786	883	38,801	3.98	0.968	4.05	0.476	
	34.64%	38.35%	20.13%	4.60%	2.28%	100.00%					
演習	8,430	4,237	1,266	189	96	14,218	4.46	0.766	4.52	0.375	
	59.29%	29.80%	8.90%	1.33%	0.68%	100.00%					
語学	4,494	3,717	1,311	301	101	9,924	4.23	0.863	4.26	0.401	
	45.28%	37.45%	13.21%	3.03%	1.02%	100.00%					
合計	26,365	22,833	10,389	2,276	1,080	62,943	4.13	0.931	4.27	0.469	
	41.89%	36.28%	16.51%	3.62%	1.72%	100.00%					

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	8,780	9,197	4,672	1,111	548	24,308	4.01	0.969	
	36.12%	37.84%	19.22%	4.57%	2.25%	100.00%			
学部2年	7,240	6,715	2,878	626	274	17,733	4.13	0.913	
	40.83%	37.87%	16.23%	3.53%	1.55%	100.00%			
学部3年	5,369	3,444	1,279	232	107	10,431	4.32	0.848	
	51.47%	33.02%	12.26%	2.22%	1.03%	100.00%			
学部4年	2,312	1,138	374	51	28	3,903	4.45	0.777	
	59.24%	29.16%	9.58%	1.31%	0.72%	100.00%			

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない					
25名以下	5,798	2,750	717	137	54	9,456	4.49	0.746	4.51	0.387	
	61.32%	29.08%	7.58%	1.45%	0.57%	100.00%					
26～50名	7,239	5,309	1,840	386	149	14,923	4.28	0.850	4.29	0.401	
	48.51%	35.58%	12.33%	2.59%	1.00%	100.00%					
51～100名	5,278	5,766	3,220	731	418	15,413	3.96	0.992	3.97	0.496	
	34.24%	37.41%	20.89%	4.74%	2.71%	100.00%					
101～200名	3,838	4,379	2,172	497	229	11,115	4.00	0.951	4.00	0.377	
	34.53%	39.40%	19.54%	4.47%	2.06%	100.00%					
201名以上	4,212	4,629	2,440	525	230	12,036	4.00	0.948	3.97	0.380	
	35.00%	38.46%	20.27%	4.36%	1.91%	100.00%					
合計	26,365	22,833	10,389	2,276	1,080	62,943	4.13	0.931	4.27	0.469	
	41.89%	36.28%	16.51%	3.62%	1.72%	100.00%					

Q12 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,129 31.78%	1,204 33.89%	852 23.98%	237 6.67%	131 3.69%	3,553 100.00%	3.83	1.063	3.86	0.441
外セ	語学	3,817 39.41%	3,681 38.01%	1,736 17.92%	356 3.68%	95 0.98%	9,685 100.00%	4.11	0.892	4.14	0.390
基礎教養	講義	1,787 34.68%	1,914 37.14%	988 19.17%	335 6.50%	129 2.50%	5,153 100.00%	3.95	1.011	4.01	0.424
法学部	講義	2,031 26.86%	2,380 31.47%	2,022 26.74%	798 10.55%	331 4.38%	7,562 100.00%	3.66	1.112	3.79	0.436
経済学部	講義	2,780 37.81%	2,457 33.42%	1,370 18.63%	504 6.86%	241 3.28%	7,352 100.00%	3.96	1.064	4.05	0.463
文学部	講義	2,377 33.59%	2,602 36.77%	1,408 19.90%	510 7.21%	179 2.53%	7,076 100.00%	3.92	1.022	4.00	0.506
理学部	講義	1,447 30.75%	1,637 34.79%	1,035 21.99%	368 7.82%	219 4.65%	4,706 100.00%	3.79	1.103	3.83	0.570
教職課程	講義	483 30.59%	545 34.52%	388 24.57%	119 7.54%	44 2.79%	1,579 100.00%	3.83	1.036	3.91	0.502
学芸員	講義	265 32.96%	308 38.31%	174 21.64%	48 5.97%	9 1.12%	804 100.00%	3.96	0.941	3.97	0.268
合計		16,116 33.95%	16,728 35.24%	9,973 21.01%	3,275 6.90%	1,378 2.90%	47,470 100.00%	3.90	1.038	4.01	0.464

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
講義	12,299 32.55%	13,047 34.53%	8,237 21.80%	2,919 7.73%	1,283 3.40%	37,785 100.00%	3.85	1.066	3.93	0.488
語学	3,817 39.41%	3,681 38.01%	1,736 17.92%	356 3.68%	95 0.98%	9,685 100.00%	4.11	0.892	4.14	0.390
合計	16,116 33.95%	16,728 35.24%	9,973 21.01%	3,275 6.90%	1,378 2.90%	47,470 100.00%	3.90	1.038	4.01	0.464

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	6,534 32.27%	7,216 35.64%	4,397 21.72%	1,446 7.14%	652 3.22%	20,245 100.00%	3.87	1.048
学部2年	4,517 32.65%	4,894 35.37%	2,977 21.52%	1,033 7.47%	415 3.00%	13,836 100.00%	3.87	1.046
学部3年	2,563 39.36%	2,226 34.18%	1,198 18.40%	368 5.65%	157 2.41%	6,512 100.00%	4.02	1.010
学部4年	939 43.29%	717 33.06%	361 16.64%	114 5.26%	38 1.75%	2,169 100.00%	4.11	0.978

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも言 えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	1,519 43.01%	1,338 37.88%	549 15.54%	102 2.89%	24 0.68%	3,532 100.00%	4.20	0.851	4.22	0.400
26～50名	3,733 39.51%	3,516 37.21%	1,691 17.90%	400 4.23%	109 1.15%	9,449 100.00%	4.10	0.915	4.11	0.391
51～100名	3,909 31.40%	4,316 34.67%	2,809 22.56%	966 7.76%	449 3.61%	12,449 100.00%	3.82	1.070	3.83	0.493
101～200名	3,257 31.52%	3,675 35.57%	2,288 22.14%	780 7.55%	333 3.22%	10,333 100.00%	3.85	1.051	3.84	0.458
201名以上	3,698 31.59%	3,883 33.17%	2,636 22.52%	1,027 8.77%	463 3.95%	11,707 100.00%	3.80	1.098	3.80	0.439
合計	16,116 33.95%	16,728 35.24%	9,973 21.01%	3,275 6.90%	1,378 2.90%	47,470 100.00%	3.90	1.038	4.01	0.464

第4章 資料集

Q13 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計セ	講義	1,169 33.06%	1,288 36.43%	789 22.31%	169 4.78%	121 3.42%	3,536 100.00%	3.91	1.022	3.92	0.431
外セ	語学	4,150 42.90%	3,720 38.46%	1,424 14.72%	278 2.87%	101 1.04%	9,673 100.00%	4.19	0.865	4.22	0.368
基礎教養	講義	1,952 38.07%	2,021 39.41%	913 17.80%	180 3.51%	62 1.21%	5,128 100.00%	4.10	0.894	4.11	0.362
法学部	講義	2,363 31.34%	2,678 35.51%	1,857 24.63%	461 6.11%	182 2.41%	7,541 100.00%	3.87	1.003	4.01	0.385
経済学部	講義	2,787 38.04%	2,529 34.52%	1,455 19.86%	367 5.01%	189 2.58%	7,327 100.00%	4.00	1.006	4.09	0.413
文学部	講義	2,697 38.21%	2,685 38.04%	1,226 17.37%	303 4.29%	148 2.10%	7,059 100.00%	4.06	0.955	4.16	0.467
理学部	講義	1,405 29.91%	1,676 35.67%	1,218 25.93%	269 5.73%	130 2.77%	4,698 100.00%	3.84	1.006	3.87	0.439
教職課程	講義	642 40.94%	622 39.67%	231 14.73%	54 3.44%	19 1.21%	1,568 100.00%	4.16	0.883	4.20	0.296
学芸員	講義	248 30.88%	312 38.85%	195 24.28%	35 4.36%	13 1.62%	803 100.00%	3.93	0.932	4.00	0.315
合計		17,413 36.79%	17,531 37.04%	9,308 19.66%	2,116 4.47%	965 2.04%	47,333 100.00%	4.02	0.963	4.11	0.415

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義		13,263 35.22%	13,811 36.67%	7,884 20.93%	1,838 4.88%	864 2.29%	37,660 100.00%	3.98	0.981	4.04	0.427
語学		4,150 42.90%	3,720 38.46%	1,424 14.72%	278 2.87%	101 1.04%	9,673 100.00%	4.19	0.865	4.22	0.368
合計		17,413 36.79%	17,531 37.04%	9,308 19.66%	2,116 4.47%	965 2.04%	47,333 100.00%	4.02	0.963	4.11	0.415

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	7,075 35.07%	7,560 37.48%	4,167 20.66%	910 4.51%	461 2.29%	20,173 100.00%	3.99	0.971
学部2年	5,022 36.38%	5,154 37.34%	2,688 19.47%	659 4.77%	281 2.04%	13,804 100.00%	4.01	0.966
学部3年	2,734 42.09%	2,343 36.07%	1,085 16.70%	226 3.48%	108 1.66%	6,496 100.00%	4.13	0.927
学部4年	980 45.27%	737 34.04%	352 16.26%	71 3.28%	25 1.15%	2,165 100.00%	4.19	0.903

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	1,702 48.24%	1,272 36.05%	447 12.67%	87 2.47%	20 0.57%	3,528 100.00%	4.29	0.822	4.32	0.381
26～50名	3,984 42.25%	3,604 38.22%	1,439 15.26%	282 2.99%	121 1.28%	9,430 100.00%	4.17	0.884	4.18	0.375
51～100名	4,208 33.90%	4,585 36.94%	2,695 21.71%	604 4.87%	321 2.59%	12,413 100.00%	3.95	0.990	3.95	0.418
101～200名	3,534 34.32%	3,929 38.16%	2,092 20.32%	522 5.07%	219 2.13%	10,296 100.00%	3.97	0.970	3.97	0.373
201名以上	3,985 34.16%	4,141 35.50%	2,635 22.59%	621 5.32%	284 2.43%	11,666 100.00%	3.94	0.998	3.94	0.372
合計	17,413 36.79%	17,531 37.04%	9,308 19.66%	2,116 4.47%	965 2.04%	47,333 100.00%	4.02	0.963	4.11	0.415

Q14 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
外セ	語学	4,258 45.36%	3,239 34.50%	1,498 15.96%	290 3.09%	103 1.10%	9,388 100.00%	4.20	0.892	4.23	0.408
スポ健	演習	605 53.49%	298 26.35%	202 17.86%	12 1.06%	14 1.24%	1,131 100.00%	4.30	0.883	4.36	0.414
基礎教養	演習	2 4.44%	5 11.11%	25 55.56%	11 24.44%	2 4.44%	45 100.00%	2.87	0.842	2.87	-
法学部	演習	887 62.77%	339 23.99%	148 10.47%	24 1.70%	15 1.06%	1,413 100.00%	4.46	0.829	4.53	0.387
経済学部	演習	879 68.03%	301 23.30%	95 7.35%	15 1.16%	2 0.15%	1,292 100.00%	4.58	0.692	4.56	0.391
文学部	演習	3,329 55.46%	1,861 31.00%	647 10.78%	128 2.13%	38 0.63%	6,003 100.00%	4.39	0.810	4.45	0.369
理学部	演習	589 38.93%	529 34.96%	331 21.88%	40 2.64%	24 1.59%	1,513 100.00%	4.07	0.923	4.07	0.362
教職課程	演習	1,037 58.42%	474 26.70%	204 11.49%	40 2.25%	20 1.13%	1,775 100.00%	4.39	0.859	4.41	0.366
学芸員	演習	52 74.29%	15 21.43%	3 4.29%	0 0.00%	0 0.00%	70 100.00%	4.70	0.548	4.72	0.256
合計		11,638 51.43%	7,061 31.20%	3,153 13.93%	560 2.47%	218 0.96%	22,630 100.00%	4.30	0.867	4.36	0.415

【形態別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
演習	7,380 55.73%	3,822 28.86%	1,655 12.50%	270 2.04%	115 0.87%	13,242 100.00%	4.37	0.842	4.44	0.399
語学	4,258 45.36%	3,239 34.50%	1,498 15.96%	290 3.09%	103 1.10%	9,388 100.00%	4.20	0.892	4.23	0.408
合計	11,638 51.43%	7,061 31.20%	3,153 13.93%	560 2.47%	218 0.96%	22,630 100.00%	4.30	0.867	4.36	0.415

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない				
学部1年	3,507 43.95%	2,734 34.26%	1,401 17.56%	251 3.15%	87 1.09%	7,980 100.00%	4.17	0.900
学部2年	3,222 49.49%	2,170 33.33%	886 13.61%	166 2.55%	67 1.03%	6,511 100.00%	4.28	0.865
学部3年	2,602 63.95%	1,030 25.31%	350 8.60%	63 1.55%	24 0.59%	4,069 100.00%	4.50	0.765
学部4年	1,144 65.33%	420 23.99%	159 9.08%	19 1.09%	9 0.51%	1,751 100.00%	4.53	0.747

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下	4,885 60.64%	2,186 27.14%	807 10.02%	131 1.63%	47 0.58%	8,056 100.00%	4.46	0.785	4.48	0.402
26～50名	5,419 46.86%	3,944 34.11%	1,745 15.09%	339 2.93%	117 1.01%	11,564 100.00%	4.23	0.881	4.23	0.374
51～100名	1,089 43.23%	779 30.92%	523 20.76%	81 3.22%	47 1.87%	2,519 100.00%	4.10	0.962	4.08	0.437
101～200名	245 49.90%	152 30.96%	78 15.89%	9 1.83%	7 1.43%	491 100.00%	4.26	0.891	4.13	0.386
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	11,638 51.43%	7,061 31.20%	3,153 13.93%	560 2.47%	218 0.96%	22,630 100.00%	4.30	0.867	4.36	0.415

第4章 資料集

Q15 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
外セ	語学	4,214 44.93%	3,316 35.36%	1,474 15.72%	280 2.99%	94 1.00%	9,378 100.00%	4.20	0.881	4.23	0.402
スポ健	演習	687 61.12%	289 25.71%	131 11.65%	14 1.25%	3 0.27%	1,124 100.00%	4.46	0.767	4.51	0.387
基礎教養	演習	14 31.11%	13 28.89%	14 31.11%	4 8.89%	0 0.00%	45 100.00%	3.82	0.984	3.82	-
法学部	演習	848 60.14%	375 26.60%	151 10.71%	26 1.84%	10 0.71%	1,410 100.00%	4.44	0.810	4.48	0.371
経済学部	演習	863 66.90%	307 23.80%	98 7.60%	17 1.32%	5 0.39%	1,290 100.00%	4.56	0.725	4.55	0.397
文学部	演習	3,433 57.27%	1,830 30.53%	577 9.63%	109 1.82%	45 0.75%	5,994 100.00%	4.42	0.797	4.47	0.335
理学部	演習	714 47.19%	555 36.68%	205 13.55%	22 1.45%	17 1.12%	1,513 100.00%	4.27	0.832	4.25	0.302
教職課程	演習	1,010 56.93%	511 28.80%	195 10.99%	40 2.25%	18 1.01%	1,774 100.00%	4.38	0.845	4.43	0.340
学芸員	演習	56 80.00%	12 17.14%	2 2.86%	0 0.00%	0 0.00%	70 100.00%	4.77	0.487	4.79	0.126
合計		11,839 52.39%	7,208 31.90%	2,847 12.60%	512 2.27%	192 0.85%	22,598 100.00%	4.33	0.843	4.38	0.396

【形態別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
演習	7,625 57.68%	3,892 29.44%	1,373 10.39%	232 1.75%	98 0.74%	13,220 100.00%	4.42	0.803	4.48	0.360
語学	4,214 44.93%	3,316 35.36%	1,474 15.72%	280 2.99%	94 1.00%	9,378 100.00%	4.20	0.881	4.23	0.402
合計	11,839 52.39%	7,208 31.90%	2,847 12.60%	512 2.27%	192 0.85%	22,598 100.00%	4.33	0.843	4.38	0.396

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない				
学部1年	3,509 44.03%	2,809 35.24%	1,328 16.66%	243 3.05%	81 1.02%	7,970 100.00%	4.18	0.887
学部2年	3,279 50.45%	2,202 33.88%	811 12.48%	150 2.31%	58 0.89%	6,500 100.00%	4.31	0.841
学部3年	2,666 65.58%	1,045 25.71%	284 6.99%	50 1.23%	20 0.49%	4,065 100.00%	4.55	0.721
学部4年	1,178 67.43%	413 23.64%	121 6.93%	22 1.26%	13 0.74%	1,747 100.00%	4.56	0.742

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下	4,860 60.41%	2,270 28.22%	747 9.29%	125 1.55%	43 0.53%	8,045 100.00%	4.46	0.769	4.48	0.389
26～50名	5,504 47.67%	3,943 34.15%	1,667 14.44%	320 2.77%	111 0.96%	11,545 100.00%	4.25	0.870	4.26	0.372
51～100名	1,203 47.83%	846 33.64%	377 14.99%	56 2.23%	33 1.31%	2,515 100.00%	4.24	0.881	4.23	0.337
101～200名	272 55.17%	149 30.22%	56 11.36%	11 2.23%	5 1.01%	493 100.00%	4.36	0.846	4.29	0.299
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	11,839 52.39%	7,208 31.90%	2,847 12.60%	512 2.27%	192 0.85%	22,598 100.00%	4.33	0.843	4.38	0.396

Q16 1回1回の授業のねらいが明確である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない						
外セ	語学	3,753 41.31%	3,297 36.29%	1,588 17.48%	331 3.64%	117 1.29%	9,086 100.00%	4.13	0.913	4.16	0.417
合計		3,753 41.31%	3,297 36.29%	1,588 17.48%	331 3.64%	117 1.29%	9,086 100.00%	4.13	0.913	4.16	0.417

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない			
学部1年	1,906 39.76%	1,770 36.92%	870 18.15%	191 3.98%	57 1.19%	4,794 100.00%	4.10	0.914
学部2年	1,264 42.06%	1,092 36.34%	515 17.14%	93 3.09%	41 1.36%	3,005 100.00%	4.15	0.904
学部3年	253 56.60%	128 28.64%	53 11.86%	9 2.01%	4 0.89%	447 100.00%	4.38	0.838
学部4年	81 50.63%	61 38.13%	10 6.25%	7 4.38%	1 0.63%	160 100.00%	4.34	0.831

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない					
25名以下	1,119 44.51%	900 35.80%	405 16.11%	63 2.51%	27 1.07%	2,514 100.00%	4.20	0.873	4.24	0.420
26～50名	2,634 40.08%	2,397 36.47%	1,183 18.00%	268 4.08%	90 1.37%	6,572 100.00%	4.10	0.926	4.11	0.405
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	3,753 41.31%	3,297 36.29%	1,588 17.48%	331 3.64%	117 1.29%	9,086 100.00%	4.13	0.913	4.16	0.417

第4章 資料集

Q17 教員は授業時間を有効に活用している

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない					
外セ	語学	4,033 44.51%	3,323 36.68%	1,311 14.47%	272 3.00%	121 1.34%	9,060 100.00%	4.20	0.889	4.23	0.397
合計		4,033 44.51%	3,323 36.68%	1,311 14.47%	272 3.00%	121 1.34%	9,060 100.00%	4.20	0.889	4.23	0.397

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない			
学部1年	2,058 43.05%	1,802 37.70%	719 15.04%	147 3.08%	54 1.13%	4,780 100.00%	4.18	0.878
学部2年	1,359 45.35%	1,098 36.64%	402 13.41%	88 2.94%	50 1.67%	2,997 100.00%	4.21	0.901
学部3年	267 59.87%	129 28.92%	41 9.19%	6 1.35%	3 0.67%	446 100.00%	4.46	0.771
学部4年	90 56.25%	50 31.25%	16 10.00%	2 1.25%	2 1.25%	160 100.00%	4.40	0.818

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない					
25名以下	1,173 46.73%	924 36.81%	325 12.95%	64 2.55%	24 0.96%	2,510 100.00%	4.26	0.848	4.29	0.407
26～50名	2,860 43.66%	2,399 36.63%	986 15.05%	208 3.18%	97 1.48%	6,550 100.00%	4.18	0.903	4.18	0.383
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	4,033 44.51%	3,323 36.68%	1,311 14.47%	272 3.00%	121 1.34%	9,060 100.00%	4.20	0.889	4.23	0.397

Q18 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない					
基礎教養	講義	1,483 48.93%	1,143 37.71%	305 10.06%	73 2.41%	27 0.89%	3,031 100.00%	4.31	0.817	4.26	0.424
	演習	15 42.86%	12 34.29%	5 14.29%	2 5.71%	1 2.86%	35 100.00%	4.09	1.040	4.09	-
合計		1,498 48.86%	1,155 37.67%	310 10.11%	75 2.45%	28 0.91%	3,066 100.00%	4.31	0.820	4.25	0.422

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない			
学部1年	996 45.75%	882 40.51%	215 9.88%	64 2.94%	20 0.92%	2,177 100.00%	4.27	0.826
学部2年	253 53.49%	162 34.25%	46 9.73%	7 1.48%	5 1.06%	473 100.00%	4.38	0.804
学部3年	102 56.67%	57 31.67%	21 11.67%	0 0.00%	0 0.00%	180 100.00%	4.45	0.695
学部4年	42 64.62%	13 20.00%	6 9.23%	2 3.08%	2 3.08%	65 100.00%	4.40	0.997

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない					
25名以下	23 82.14%	5 17.86%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	28 100.00%	4.82	0.390	4.81	0.187
26～50名	123 55.41%	77 34.68%	21 9.46%	1 0.45%	0 0.00%	222 100.00%	4.45	0.683	4.38	0.358
51～100名	185 46.13%	144 35.91%	49 12.22%	17 4.24%	6 1.50%	401 100.00%	4.21	0.920	4.22	0.483
101～200名	406 39.49%	442 43.00%	133 12.94%	38 3.70%	9 0.88%	1,028 100.00%	4.17	0.851	4.09	0.422
201名以上	761 54.87%	487 35.11%	107 7.71%	19 1.37%	13 0.94%	1,387 100.00%	4.42	0.770	4.32	0.267
合計	1,498 48.86%	1,155 37.67%	310 10.11%	75 2.45%	28 0.91%	3,066 100.00%	4.31	0.820	4.25	0.422

第4章 資料集

Q19 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない					
基礎教養	講義	501 40.63%	467 37.88%	198 16.06%	48 3.89%	19 1.54%	1,233 100.00%	4.12	0.920	4.20	0.465
	演習	3 42.86%	3 42.86%	1 14.29%	0 0.00%	0 0.00%	7 100.00%	4.29	0.756	4.29	-
合計		504 40.65%	470 37.90%	199 16.05%	48 3.87%	19 1.53%	1,240 100.00%	4.12	0.919	4.20	0.463

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない			
学部1年	327 38.11%	335 39.04%	147 17.13%	32 3.73%	17 1.98%	858 100.00%	4.08	0.936
学部2年	90 43.69%	84 40.78%	24 11.65%	6 2.91%	2 0.97%	206 100.00%	4.23	0.840
学部3年	35 48.61%	27 37.50%	9 12.50%	1 1.39%	0 0.00%	72 100.00%	4.33	0.751
学部4年	15 40.54%	12 32.43%	6 16.22%	4 10.81%	0 0.00%	37 100.00%	4.03	1.013

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない					
25名以下	10 83.33%	1 8.33%	1 8.33%	0 0.00%	0 0.00%	12 100.00%	4.75	0.622	4.50	0.577
26～50名	54 52.94%	39 38.24%	6 5.88%	3 2.94%	0 0.00%	102 100.00%	4.41	0.736	4.46	0.341
51～100名	63 36.84%	61 35.67%	35 20.47%	8 4.68%	4 2.34%	171 100.00%	4.00	0.988	4.12	0.444
101～200名	180 34.48%	207 39.66%	100 19.16%	27 5.17%	8 1.53%	522 100.00%	4.00	0.940	4.04	0.500
201名以上	197 45.50%	162 37.41%	57 13.16%	10 2.31%	7 1.62%	433 100.00%	4.23	0.880	4.28	0.363
合計	504 40.65%	470 37.90%	199 16.05%	48 3.87%	19 1.53%	1,240 100.00%	4.12	0.919	4.20	0.463

Q20 私は授業に遅刻したことがない

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計		学生回答 単純集計 平均		学生回答 単純集計 標準偏差		科目ベース	
		5	4	3	2	1							部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない								
経済学部	講義	2,160 37.16%	1,240 21.33%	979 16.84%	698 12.01%	736 12.66%	5,813 100.00%	3.58	1.409	3.56	0.523			
	演習	559 55.57%	195 19.38%	115 11.43%	57 5.67%	80 7.95%	1,006 100.00%	4.09	1.267	4.00	0.643			
合計		2,719 39.87%	1,435 21.04%	1,094 16.04%	755 11.07%	816 11.97%	6,819 100.00%	3.66	1.401	3.75	0.614			

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計		学生回答 単純集計 平均		学生回答 単純集計 標準偏差	
		5	4	3	2	1						
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない						
学部1年	982 45.44%	396 18.32%	315 14.58%	238 11.01%	230 10.64%	2,161 100.00%	3.77	1.395				
学部2年	797 42.08%	414 21.86%	284 14.99%	193 10.19%	206 10.88%	1,894 100.00%	3.74	1.375				
学部3年	639 36.29%	399 22.66%	305 17.32%	200 11.36%	218 12.38%	1,761 100.00%	3.59	1.392				
学部4年	176 25.96%	149 21.98%	132 19.47%	92 13.57%	129 19.03%	678 100.00%	3.22	1.452				

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計		学生回答 単純集計 平均		学生回答 単純集計 標準偏差		科目ベース	
		5	4	3	2	1							平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう思 わない								
25名以下	582 51.78%	229 20.37%	139 12.37%	74 6.58%	100 8.90%	1,124 100.00%	4.00	1.307	3.94	0.635				
26～50名	159 44.54%	67 18.77%	54 15.13%	35 9.80%	42 11.76%	357 100.00%	3.75	1.410	3.66	0.807				
51～100名	181 37.24%	103 21.19%	71 14.61%	57 11.73%	74 15.23%	486 100.00%	3.53	1.465	3.47	0.473				
101～200名	683 43.48%	294 18.71%	235 14.96%	166 10.57%	193 12.29%	1,571 100.00%	3.71	1.424	3.65	0.472				
201名以上	1,114 33.95%	742 22.62%	595 18.13%	423 12.89%	407 12.40%	3,281 100.00%	3.53	1.390	3.47	0.406				
合計	2,719 39.87%	1,435 21.04%	1,094 16.04%	755 11.07%	816 11.97%	6,819 100.00%	3.66	1.401	3.75	0.614				

第4章 資料集

Q21 高校で履修した数学科目

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計		学生回答 単純集計 平均		学生回答 単純集計 標準偏差		科目ベース	
		5	4	3	2	1							部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		-	数・数・ 数を履修した	数・数 のみ履修した	数のみ 履修した	いずれにも該当しな い(例:留学生)								
経済学部	講義	-	743 12.97%	4,181 72.99%	557 9.72%	247 4.31%	5,728 100.00%	-	-	-	-	-	-	
	演習	-	142 14.24%	719 72.12%	101 10.13%	35 3.51%	997 100.00%	-	-	-	-	-	-	
合計		-	885 13.16%	4,900 72.86%	658 9.78%	282 4.19%	6,725 100.00%	-	-	-	-	-	-	

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計		学生回答 単純集計 平均		学生回答 単純集計 標準偏差	
		5	4	3	2	1						
		-	数・数・ 数を履修した	数・数 のみ履修した	数のみ 履修した	いずれにも該当しな い(例:留学生)						
学部1年	-	277 13.10%	1,575 74.47%	194 9.17%	69 3.26%	2,115 100.00%	-	-	-	-	-	
学部2年	-	224 11.89%	1,436 76.22%	173 9.18%	51 2.71%	1,884 100.00%	-	-	-	-	-	
学部3年	-	228 13.10%	1,253 72.01%	168 9.66%	91 5.23%	1,740 100.00%	-	-	-	-	-	
学部4年	-	98 14.61%	438 65.28%	88 13.11%	47 7.00%	671 100.00%	-	-	-	-	-	

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計		学生回答 単純集計 平均		学生回答 単純集計 標準偏差		科目ベース	
		5	4	3	2	1							平均	標準偏差
		-	数・数・ 数を履修した	数・数 のみ履修した	数のみ 履修した	いずれにも該当しな い(例:留学生)								
25名以下	-	163 14.63%	791 71.01%	112 10.05%	48 4.31%	1,114 100.00%	-	-	-	-	-	-	-	
26～50名	-	59 16.67%	241 68.08%	39 11.02%	15 4.24%	354 100.00%	-	-	-	-	-	-	-	
51～100名	-	63 12.91%	341 69.88%	49 10.04%	35 7.17%	488 100.00%	-	-	-	-	-	-	-	
101～200名	-	226 14.82%	1,059 69.44%	166 10.89%	74 4.85%	1,525 100.00%	-	-	-	-	-	-	-	
201名以上	-	374 11.53%	2,468 76.08%	292 9.00%	110 3.39%	3,244 100.00%	-	-	-	-	-	-	-	
合計	-	885 13.16%	4,900 72.86%	658 9.78%	282 4.19%	6,725 100.00%	-	-	-	-	-	-	-	

Q22 運動量は

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 十分であった	4 おおむね 十分であった	3 どちらとも 言えない	2 やや不足 していた	1 不十分で あった				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
スポ健	演習	940 60.37%	486 31.21%	99 6.36%	24 1.54%	8 0.51%	1,557 100.00%	4.49	0.729	4.56	0.312
合計		940 60.37%	486 31.21%	99 6.36%	24 1.54%	8 0.51%	1,557 100.00%	4.49	0.729	4.56	0.312

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 十分であった	4 おおむね 十分であった	3 どちらとも 言えない	2 やや不足 していた	1 不十分で あった			
学部1年	391 50.85%	288 37.45%	66 8.58%	18 2.34%	6 0.78%	769 100.00%	4.35	0.797
学部2年	184 68.91%	66 24.72%	14 5.24%	2 0.75%	1 0.37%	267 100.00%	4.61	0.659
学部3年	155 78.28%	41 20.71%	2 1.01%	0 0.00%	0 0.00%	198 100.00%	4.77	0.444
学部4年	106 76.26%	27 19.42%	5 3.60%	1 0.72%	0 0.00%	139 100.00%	4.71	0.568

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 十分であった	4 おおむね 十分であった	3 どちらとも 言えない	2 やや不足 していた	1 不十分で あった				平均	標準偏差
25名以下	453 70.56%	157 24.45%	28 4.36%	2 0.31%	2 0.31%	642 100.00%	4.65	0.610	4.68	0.267
26～50名	487 53.22%	329 35.96%	71 7.76%	22 2.40%	6 0.66%	915 100.00%	4.39	0.785	4.40	0.299
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	940 60.37%	486 31.21%	99 6.36%	24 1.54%	8 0.51%	1,557 100.00%	4.49	0.729	4.56	0.312

第4章 資料集

Q23 体力・健康状態が改善された

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
スポ健	演習	770 49.30%	484 30.99%	267 17.09%	26 1.66%	15 0.96%	1,562 100.00%	4.26	0.866	4.35	0.398
合計		770 49.30%	484 30.99%	267 17.09%	26 1.66%	15 0.96%	1,562 100.00%	4.26	0.866	4.35	0.398

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	295 38.36%	275 35.76%	174 22.63%	17 2.21%	8 1.04%	769 100.00%	4.08	0.887
学部2年	158 58.52%	74 27.41%	31 11.48%	5 1.85%	2 0.74%	270 100.00%	4.41	0.821
学部3年	140 70.71%	46 23.23%	12 6.06%	0 0.00%	0 0.00%	198 100.00%	4.65	0.593
学部4年	98 70.50%	34 24.46%	6 4.32%	0 0.00%	1 0.72%	139 100.00%	4.64	0.637

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	391 60.71%	167 25.93%	76 11.80%	6 0.93%	4 0.62%	644 100.00%	4.45	0.784	4.51	0.357
26～50名	379 41.29%	317 34.53%	191 20.81%	20 2.18%	11 1.20%	918 100.00%	4.13	0.895	4.14	0.358
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	770 49.30%	484 30.99%	267 17.09%	26 1.66%	15 0.96%	1,562 100.00%	4.26	0.866	4.35	0.398

Q24 運動技術が向上した

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
スポ健	演習	792 50.74%	487 31.20%	233 14.93%	33 2.11%	16 1.02%	1,561 100.00%	4.29	0.868	4.38	0.394
合計		792 50.74%	487 31.20%	233 14.93%	33 2.11%	16 1.02%	1,561 100.00%	4.29	0.868	4.38	0.394

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	312 40.57%	286 37.19%	139 18.08%	25 3.25%	7 0.91%	769 100.00%	4.13	0.884
学部2年	162 60.00%	71 26.30%	32 11.85%	2 0.74%	3 1.11%	270 100.00%	4.43	0.814
学部3年	141 71.21%	44 22.22%	13 6.57%	0 0.00%	0 0.00%	198 100.00%	4.65	0.601
学部4年	101 72.66%	29 20.86%	6 4.32%	0 0.00%	3 2.16%	139 100.00%	4.62	0.765

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	415 64.64%	161 25.08%	56 8.72%	7 1.09%	3 0.47%	642 100.00%	4.52	0.739	4.58	0.297
26～50名	377 41.02%	326 35.47%	177 19.26%	26 2.83%	13 1.41%	919 100.00%	4.12	0.911	4.13	0.362
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	792 50.74%	487 31.20%	233 14.93%	33 2.11%	16 1.02%	1,561 100.00%	4.29	0.868	4.38	0.394

第4章 資料集

Q25 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
スポ健	演習	896 57.66%	477 30.69%	142 9.14%	24 1.54%	15 0.97%	1,554 100.00%	4.43	0.798	4.49	0.331
合計		896 57.66%	477 30.69%	142 9.14%	24 1.54%	15 0.97%	1,554 100.00%	4.43	0.798	4.49	0.331

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	386 50.39%	275 35.90%	85 11.10%	13 1.70%	7 0.91%	766 100.00%	4.33	0.810
学部2年	161 59.85%	75 27.88%	26 9.67%	3 1.12%	4 1.49%	269 100.00%	4.43	0.829
学部3年	152 77.55%	36 18.37%	5 2.55%	3 1.53%	0 0.00%	196 100.00%	4.72	0.589
学部4年	107 77.54%	22 15.94%	6 4.35%	1 0.72%	2 1.45%	138 100.00%	4.67	0.727

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	443 69.33%	150 23.47%	33 5.16%	8 1.25%	5 0.78%	639 100.00%	4.59	0.717	4.63	0.279
26～50名	453 49.51%	327 35.74%	109 11.91%	16 1.75%	10 1.09%	915 100.00%	4.31	0.830	4.32	0.307
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	896 57.66%	477 30.69%	142 9.14%	24 1.54%	15 0.97%	1,554 100.00%	4.43	0.798	4.49	0.331

Q26 身体や運動に対する関心が高まった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
スポ健	演習	855 54.88%	445 28.56%	226 14.51%	20 1.28%	12 0.77%	1,558 100.00%	4.35	0.830	4.43	0.376
合計		855 54.88%	445 28.56%	226 14.51%	20 1.28%	12 0.77%	1,558 100.00%	4.35	0.830	4.43	0.376

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	355 46.16%	251 32.64%	142 18.47%	13 1.69%	8 1.04%	769 100.00%	4.21	0.874
学部2年	165 61.57%	67 25.00%	32 11.94%	1 0.37%	3 1.12%	268 100.00%	4.46	0.804
学部3年	150 76.14%	37 18.78%	10 5.08%	0 0.00%	0 0.00%	197 100.00%	4.71	0.556
学部4年	103 74.64%	26 18.84%	7 5.07%	1 0.72%	1 0.72%	138 100.00%	4.66	0.678

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	432 67.39%	134 20.90%	64 9.98%	10 1.56%	1 0.16%	641 100.00%	4.54	0.749	4.58	0.336
26～50名	423 46.13%	311 33.91%	162 17.67%	10 1.09%	11 1.20%	917 100.00%	4.23	0.860	4.24	0.340
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	855 54.88%	445 28.56%	226 14.51%	20 1.28%	12 0.77%	1,558 100.00%	4.35	0.830	4.43	0.376

第4章 資料集

Q27 自分の身体の健康、体力の再認識ができた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
スポ健	演習	906 58.15%	481 30.87%	155 9.95%	10 0.64%	6 0.39%	1,558 100.00%	4.46	0.730	4.52	0.300
合計		906 58.15%	481 30.87%	155 9.95%	10 0.64%	6 0.39%	1,558 100.00%	4.46	0.730	4.52	0.300

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	389 50.59%	272 35.37%	100 13.00%	5 0.65%	3 0.39%	769 100.00%	4.35	0.758
学部2年	174 64.93%	72 26.87%	16 5.97%	4 1.49%	2 0.75%	268 100.00%	4.54	0.741
学部3年	148 75.13%	40 20.30%	9 4.57%	0 0.00%	0 0.00%	197 100.00%	4.71	0.548
学部4年	102 73.91%	29 21.01%	6 4.35%	0 0.00%	1 0.72%	138 100.00%	4.67	0.630

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	443 69.22%	147 22.97%	48 7.50%	1 0.16%	1 0.16%	640 100.00%	4.61	0.646	4.64	0.267
26～50名	463 50.44%	334 36.38%	107 11.66%	9 0.98%	5 0.54%	918 100.00%	4.35	0.766	4.36	0.269
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	906 58.15%	481 30.87%	155 9.95%	10 0.64%	6 0.39%	1,558 100.00%	4.46	0.730	4.52	0.300

Q28 自分の生活習慣を見直す機会となった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
スポ健	演習	807 51.80%	441 28.31%	250 16.05%	44 2.82%	16 1.03%	1,558 100.00%	4.27	0.901	4.35	0.366
合計		807 51.80%	441 28.31%	250 16.05%	44 2.82%	16 1.03%	1,558 100.00%	4.27	0.901	4.35	0.366

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	336 43.75%	240 31.25%	157 20.44%	25 3.26%	10 1.30%	768 100.00%	4.13	0.935
学部2年	153 56.88%	69 25.65%	34 12.64%	10 3.72%	3 1.12%	269 100.00%	4.33	0.914
学部3年	142 72.08%	37 18.78%	15 7.61%	3 1.52%	0 0.00%	197 100.00%	4.61	0.695
学部4年	98 71.01%	28 20.29%	11 7.97%	0 0.00%	1 0.72%	138 100.00%	4.61	0.699

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	403 62.87%	146 22.78%	78 12.17%	11 1.72%	3 0.47%	641 100.00%	4.46	0.807	4.50	0.318
26～50名	404 44.06%	295 32.17%	172 18.76%	33 3.60%	13 1.42%	917 100.00%	4.14	0.939	4.16	0.331
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	807 51.80%	441 28.31%	250 16.05%	44 2.82%	16 1.03%	1,558 100.00%	4.27	0.901	4.35	0.366

第4章 資料集

Q29 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
スポ健	演習	1,048 67.35%	404 25.96%	86 5.53%	14 0.90%	4 0.26%	1,556 100.00%	4.59	0.661	4.65	0.257
合計		1,048 67.35%	404 25.96%	86 5.53%	14 0.90%	4 0.26%	1,556 100.00%	4.59	0.661	4.65	0.257

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	471 61.49%	231 30.16%	55 7.18%	9 1.17%	0 0.00%	766 100.00%	4.52	0.681
学部2年	197 72.96%	59 21.85%	13 4.81%	0 0.00%	1 0.37%	270 100.00%	4.67	0.603
学部3年	154 78.17%	34 17.26%	5 2.54%	3 1.52%	1 0.51%	197 100.00%	4.71	0.641
学部4年	113 81.88%	23 16.67%	1 0.72%	0 0.00%	1 0.72%	138 100.00%	4.79	0.519

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも言 えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	498 77.93%	120 18.78%	18 2.82%	2 0.31%	1 0.16%	639 100.00%	4.74	0.535	4.76	0.191
26～50名	550 59.98%	284 30.97%	68 7.42%	12 1.31%	3 0.33%	917 100.00%	4.49	0.719	4.51	0.259
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	1,048 67.35%	404 25.96%	86 5.53%	14 0.90%	4 0.26%	1,556 100.00%	4.59	0.661	4.65	0.257

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧

		平成 24 年度	平成 25 年度
委員長	副 学 長	青 木 幸 弘	青 木 幸 弘
委 員	学生センター所長	桂 木 隆 夫	桂 木 隆 夫
委 員	学 長 室 部 長	荒 木 健 二	佐 藤 吉 孝
委 員	法 学 部	小 塚 莊 一 郎	小 塚 莊 一 郎
委 員	経 済 学 部	清 水 大 昌	清 水 大 昌
委 員	文 学 部	野 村 正 人	野 村 正 人
委 員	理 学 部	平 野 琢 也	平 野 琢 也
委 員	法 務 研 究 科	浅 野 有 紀	淵 圭 吾
委 員	スポーツ・健康科学センター	廣 紀 江	廣 紀 江
委 員	計算機センター	久保山 哲 二	久保山 哲 二
委 員	外国語教育研究センター	志 村 美 加	志 村 美 加
委 員	教 職 課 程	川 口 幸 宏	川 口 幸 宏
委 員	学芸員課程委員会	荒 川 正 明	荒 川 正 明

学習院大学

平成24(2012)年度「授業評価アンケート」報告書

平成25年7月16日発行

編集 学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

発行 学習院大学

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL 03(3986)0221 代表

お問合せ先：学長室経営企画課